

『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換

2026年度 単位互換履修生 募集要項

岡 山 大 学

吉 備 国 際 大 学

岡 山 県 立 大 学

倉 敷 芸 術 科 学 大 学

岡 山 学 院 大 学

く ら し き 作 陽 大 学

岡 山 商 科 大 学

山 陽 学 園 大 学

岡 山 理 科 大 学

就 実 大 学

川 崎 医 科 大 学

中 国 学 園 大 学

川 崎 医 療 福 祉 大 学

ノートルダム清心女子大学

環 太 平 洋 大 学

美 作 大 学

目 次

| | |
|--|-----|
| 1. 『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換制度について | 1 |
| 2. 2つの授業形態(遠隔授業科目・対面授業科目) | 2 |
| 3. 出願方法について | 2 |
| 4. 単位互換履修科目履修願を提出した後の手続について | 3 |
| 5. 開講科目一覧 | 4 |
| 6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」 | 11 |
| 7. 各大学提供科目 | 16 |
| (1) 岡山大学 | 17 |
| (2) 岡山県立大学 | 63 |
| (3) 岡山学院大学 | 74 |
| (4) 岡山商科大学 | 79 |
| (5) 岡山理科大学 | 126 |
| (6) 川崎医科大学 | N/A |
| (7) 川崎医療福祉大学 | 150 |
| (8) 環太平洋大学 | 158 |
| (9) 吉備国際大学 | 162 |
| (10) 倉敷芸術科学大学 | 173 |
| (11) くらしき作陽大学 | 186 |
| (12) 山陽学園大学 | 200 |
| (13) 就実大学 | 212 |
| (14) 中国学園大学 | 233 |
| (15) ノートルダム清心女子大学 | 257 |
| (16) 美作大学 | 286 |

付属資料・・・事件・事故報告書

※ 「所属大学」と「科目提供大学」

この要項では、学生にとって自分が在籍している大学を「所属大学」、その学生を単位互換履修生として受け入れ、授業科目を提供する他大学を「科目提供大学」と呼びます。

1. 『大学コンソーシアム岡山』参加大学単位互換制度について

(1) 制度の概要

この単位互換制度は、『大学コンソーシアム岡山』参加大学で協定を結ぶ岡山県内16大学間において互いに学生の受け入れを行い、それぞれの科目提供大学等において修得した単位を所属大学等の正規の単位として組み入れる制度です。

この制度を利用して他大学で履修する学生は、「単位互換履修生」と呼びます。

(2) ねらい

異なる専門分野を持つ大学等の間において、制度的・恒常的な交流を行うことを通じて視野が広く行動力のある人材を養成することを期待しています。

(3) 参加大学

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| (1) 岡山大学 | (10) 倉敷芸術科学大学 |
| (2) 岡山県立大学 | (11) くらしき作陽大学 |
| (3) 岡山学院大学 | (12) 山陽学園大学 |
| (4) 岡山商科大学 | (13) 就実大学 |
| (5) 岡山理科大学 | (14) 中国学園大学 |
| (6) 川崎医科大学 | (15) ノートルダム清心女子大学 (女子のみ受け入れ) |
| (7) 川崎医療福祉大学 | |
| (8) 環太平洋大学 | (16) 美作大学 |
| (9) 吉備国際大学 | |

(4) 履修できる科目

「5. 開講科目一覧」(6ページ～)に記載されている科目(本人の所属大学の科目を除く)ただし、科目によっては科目提供大学により履修制限を行う場合があります。

(5) 履修できる単位数

所属大学等の定めに従ってください。

(6) 単位認定

大学設置基準第28条及び各大学等の定めに基づき、所属大学等の正規の単位として認定されます。

(7) 授業料について

単位互換に関する授業料は無料で、それぞれが所属大学に納入する授業料がこれに充てられます。ただし、科目によっては実習費等の実費を徴収することがあります。

(8) 出願資格

3. の参加大学等に在籍する学生で、所属大学等の許可を得た学生

(9) その他

履修期間中は、各科目提供大学の定める範囲において、図書館等の施設を利用することができます。

2. 2つの授業形態(遠隔授業科目・対面授業科目)

大学コンソーシアム岡山の単位互換科目には、2つの授業形態(遠隔授業・対面授業)があり、科目一覧及びシラバスに、どの形態で行われるかを表示しています。授業形態により履修のための手続き等が異なるため、「4. 単位互換履修科目履修願を提出した後の手続について」を参照してください。

(1) 遠隔授業科目

他大学の授業を所属大学の講義室等から、オンライン(双方向ライブ型, オンデマンド型)で受講する。

- ・ 授業時間は、科目提供大学の時間割に従います。
- ・ 授業の内容によっては、他の授業形態も組み合わせて実施することがあります。

(2) 対面授業科目

科目提供大学の講義室で行われている授業を、その大学に向いて受講するもの。

3. 出願方法について

(1) 申込受付期間及び受付窓口

所属大学の担当窓口で、所定の期間内に出願書類を提出してください。

なお、所属大学で選考を行うことがありますので、担当窓口で指示を受けてください。

| 所属大学名 | 担当窓口 | 申 込 受 付 期 間 |
|-------------------------------|----------------------------|--|
| 岡山大学 | 学務部 学務企画課 | 前期受付： 2026年3月3日(火) ~4月8日(水) 後期受付： 2026年7月1日(水) ~9月24日(木) ※所属大学の担当窓口受付時間中に限ります。 科目提供大学によっては、この他の時期に受付を行うことがあります。 「7. 各大学提供科目」(P.11~)で確認してください。 また、所属大学等によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。 |
| 岡山県立大学 | 教学課 教務班 | |
| 岡山学院大学 | 学務課 教務係 | |
| 岡山商科大学 | 教務課 | |
| 岡山理科大学 | 教学支援部 教務課 | |
| 川崎医科大学 | 事務部 教務課 | |
| 川崎医療福祉大学 | 事務部 教務課 | |
| 環太平洋大学 | 教務課 | |
| 吉備国際大学 | スチューデントサポートセンター 教務部 教務課 | |
| 倉敷芸術科学大学 | 学務部 教務課 | |
| くらしき作陽大学 | 教育企画部 教育支援室 | |
| 山陽学園大学 | 教務部 教務課 | |
| 就実大学 | 教務課 | |
| 中国学園大学 | 教学・アドミッション課 | |
| ノートルダム清心女子大学 | 学務部 教務係 | |
| 美作大学 | 教務課 | |
| ※岡山医療専門職大学・新見公立大学の学生は履修できません。 | | |

(2) 出願書類

① 単位互換履修科目履修願

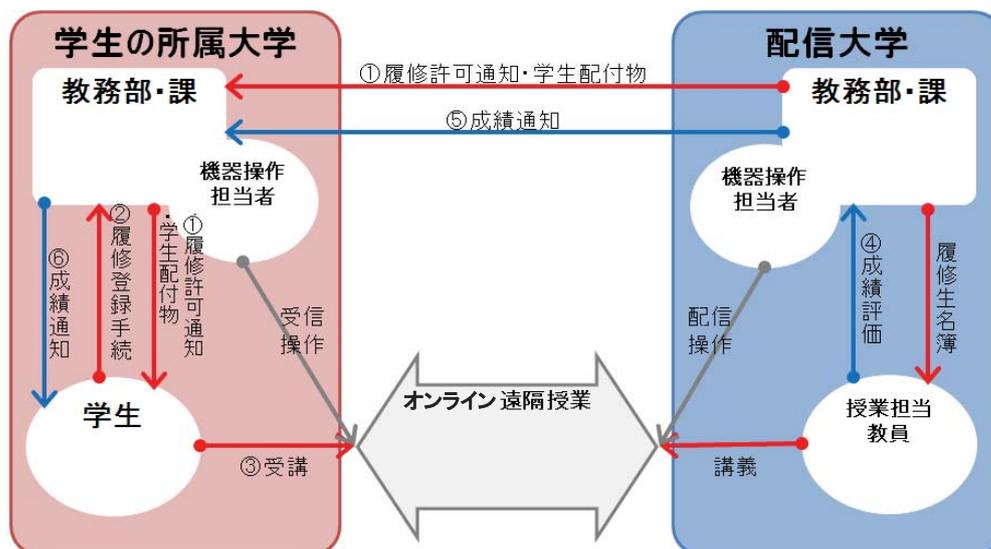
② 学生証等用写真(カラー, 4cm×3cm, 裏面に大学名・氏名を記入してください。)

必要枚数は、科目提供大学により異なります。

「単位互換履修科目履修願」下部の指示を読んで提出してください。

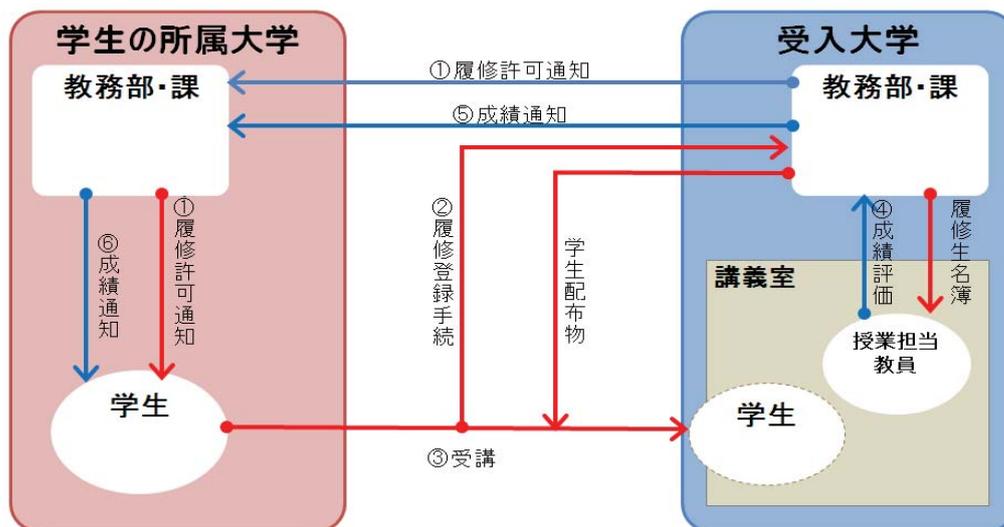
4. 単位互換履修科目履修願を提出した後の手続について

(1) 遠隔授業科目(双方向ライブ型, オンデマンド型)



- ① 「履修許可通知・学生配付物」 科目提供大学によって異なります。
- ② 「履修登録手続」 科目提供大学により異なり, 特に必要がないこともあります。
- ③ 「受講」 遠隔授業は, 所属大学の講義室等からオンラインで受講します。
- ④ 「成績評価」 成績評価方法は, シラバスに記載されています。期末試験等を実施する場合は, 所属大学において期日と場所が決定され, 実施されますので, 所属大学で指示を受けてください。レポート提出の場合は, 所属大学の教務担当窓口へ提出する・電子メールにより提出する等, 授業中に指示があります。

(2) 対面授業科目



- ② 「履修登録手続」 対面授業科目の履修を許可された学生は, 科目提供大学の担当窓口で履修手続き等の指示を受けてください。(別途履修手続きが必要な大学では, 手続きが完了するまでは, 仮履修期間として扱われます。)
科目提供大学の担当窓口や注意事項等は, 「7. 各大学提供科目」で確認してください。
- ④ 「成績評価」 成績評価の方法は, 各科目のシラバスにより確認してください。
試験の実施・レポート・課題等の提出については, すべて科目提供大学の規定に従い行われますので, 科目担当教員からの指示に従ってください。

5. 開講科目一覧

授業時間及び各科目のシラバスは、「6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目〈ちゅうぎん『金融知力』講座〉及び「7. 各大学提供科目」を参照してください。

(1) 遠隔授業科目

| 大学 | No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開 講 期 | 配 当 学 年 | 備 考 | 曜日・時限 | |
|--------|-------|-------------------|-----|---|-----|------------|---------|--|----------------|-------------|
| 岡山大学 | 1101 | 人文学概説(美学a) | 専門 | 川野 恵子 | 1 | 第1学期 | 2~4 | オンライン | 火 | 10:45~12:35 |
| | 1102 | 人文学概説(美学b) | 専門 | 川野 恵子 | 1 | 第2学期 | 2~4 | オンライン | 火 | 10:45~12:35 |
| | 1104 | 人文学概説(西洋美術史a) | 専門 | 龍野 有子 | 1 | 第1学期 | 2~4 | オンデマンド | 木 | 13:25~15:15 |
| | 1105 | 人文学概説(西洋美術史b) | 専門 | 龍野 有子 | 1 | 第2学期 | 2~4 | オンデマンド 「人文学概説(西洋美術史a)」を受講済みであること。 | 木 | 13:25~15:15 |
| | 1109 | キャンパスライフ不適應への対策講座 | 教養 | 原田 新 池谷 航介 | 1 | 第2学期 | 1~4 | オンデマンド ●特に大学1年生で、入学後に大学生生活の様々な面で困り感を抱えている方や大学生生活に上手く馴染めていないという方を歓迎。 | 受講の曜日や時間は学生の任意 | |
| | 1103 | 人文学概説(倫理学2b) | 専門 | 本村 昌文 | 1 | 第4学期 | 2~4 | 対面とのハイブリッド | 月 | 15:30~17:20 |
| | 1106 | 人文学講義(西洋美術史a) | 専門 | 龍野 有子 | 1 | 第3学期 | 2~4 | オンデマンド 「人文学概説(西洋美術史a)」、「人文学概説(西洋美術史b)」を受講済みであること。 | 木 | 13:25~15:15 |
| | 1107 | 人文学講義(西洋美術史b) | 専門 | 龍野 有子 | 1 | 第4学期 | 2~4 | オンデマンド 「人文学概説(西洋美術史a)」、「人文学概説(西洋美術史b)」、「人文学講義(西洋美術史a)」を受講済みであること。 | 木 | 13:25~15:15 |
| | 1108 | セキュリティ概論 | 専門 | 野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太 三浦 秀芳 | 2 | 第3 第4学期 | 3~4 | ハイブリッド | 月 | 15:30~17:20 |
| 岡山県立大学 | 2101 | 社会連携要論 | 教養 | 岩満 賢次 | 1 | 第2Q | 1~4 | オンデマンド | 水 | 14:20~15:50 |
| 環太平洋大学 | 8101 | スポーツバイオメカニクス | 専門 | 佐藤 伸之 | 2 | 後期 | 2~4 | オンデマンド 定員:若干名 | 水 | 10:45~12:25 |
| 美作大学 | 16101 | 韓国語 I | 教養 | 朴 貞淑 | 1 | 前期 | 1~4 | オンライン、定員5名 | 金 | 12:40~14:10 |
| | 16102 | 韓国語 II | 教養 | 朴 貞淑 | 1 | 後期 | 1~4 | オンライン、定員5名 「韓国語 I」を履修していることが望ましい。 | 金 | 12:40~14:10 |

(2) 対面授業科目

| 大学 | No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開 講 期 | 配 当 学 年 | 備 考 | 曜 日・時 限 |
|------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------|---------------------------|----------|------------------------|----------|--|---------------|
| コーディネーター 岡山大学 | 20001 | ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I | 教養 | 坂入 信也 (コーディネーター) | 1 | 夏季 集中 | 1~4 | 定員50名 ※会場に注意 9月1日・2日(各日9:00~17:00) | |
| | 20002 | ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II | 教養 | 坂入 信也 (コーディネーター) | 1 | 夏季 集中 | 1~4 | 定員50名 ※会場に注意 9月3日・4日(各日9:00~17:00) | |
| 岡山大学 | 1001 | 人文学概説(哲学1) | 専門 | 植村 玄輝 | 2 | 第1 学期 | 2~4 | | 金 10:45~15:15 |
| | 1002 | 中等社会科・公民科指導法 I A | 専門 | 桑原 敏典 | 1 | 第2 学期 | 2~4 | 「中等社会科・公民科 指導法基礎A」を履修 しておくことが望まし い。 | 火 15:30~17:20 |
| | 1007 | 基礎生物学1a | 専門 | 齊藤 恭紀 | 1 | 第1 学期 | 1~4 | | 火 8:40~10:30 |
| | 1008 | 医用画像検査機器工学 | 専門 | 木田 勝博 | 1 | 第1 学期 | 3 | 定員5名 | 金 10:45~12:35 |
| | 1009 | 痛みの科学 | 専門 | 宮脇 卓也 他 | 1 | 第2 学期 | 1~4 | | 月 8:40~10:30 |
| | 1015 | 中国語中級 | 教養 | 孫 路易 | 1 | 第1 学期 | 1~4 | | 火 10:45~12:35 |
| | 1016 | 中国語中級 | 教養 | 孫 路易 | 1 | 第2 学期 | 1~4 | | 火 10:45~12:35 |
| | 1019 | 生命保険を考える | 教養 | 山本 一輝 | 1 | 第1 学期 | 1~4 | | 月 13:25~15:15 |
| | 1020 | 生命保険を考える | 教養 | 山本 一輝 | 1 | 第2 学期 | 1~4 | | 月 15:30~17:20 |
| | 1022 | 韓国語中級 | 教養 | 陳 南澤 | 1 | 第1 学期 | 1~4 | 第1学期と第2学期を 併せて受講することが 望ましい。 | 火 13:25~15:15 |
| | 1023 | 韓国語中級 | 教養 | 陳 南澤 | 1 | 第2 学期 | 1~4 | | 火 13:25~15:15 |
| | 1026 | 安全衛生入門 | 教養 | 中西 真 他 | 1 | 第1 学期 | 1~4 | | 月 13:25~15:15 |
| | 1028 | 健康・スポーツ科学C | 教養 | 鈴木 久雄 | 1 | 第1~ 4学期 また がり | 1~4 | | 水 18:30~20:20 |
| | 1011 | 先端半導体テクノロジー入門 | 専門 | 高橋 和 紀和 利彦 鶴田 健二 | 1 | 夏季 集中 | 1~4 | 8/7(金) 8:40~17:20 8/10(月) 8:40~17:20 (計16時間) | |
| | 1012 | 農場体験実習 | 専門 | 福田 文夫 | 1 | 夏季 集中 | 1~4 | 9/28(月)~9/30(水)(3日間) ●場所:岡山大学農学部山陽園フィール ド科学センター ●定員:15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする。 | |
| | 1021 | "アタリマエ"の科学 ~スマホ に映る半導体と社会~ | 教養 | 宮崎 悟 | 1 | 夏季 集中 | 1~4 | 第2回は学外(工場見学) 第1回 9/8 8:40~15:15 (計6時限) 第2回 9/9 8:40~15:15 (計6時限) 第3回 9/10 8:40~12:35 (計4時限) | |
| | 1003 | 中等社会科・公民科指導法 II A | 専門 | 桑原 敏典 | 1 | 第4 学期 | 2~4 | 「中等社会科・公民科 指導法I A」を履修して おくことが望ましい。 | 火 15:30~17:20 |
| | 1004 | GCED(グローバルシティズン シップ教育) I | 専門 | 桑原 敏典 | 1 | 第3 学期 | 2~4 | 教員免許取得を目指 していることが望まし い。 | 月 8:40~10:30 |
| | 1005 | 中等社会科・公民科指導法基 礎A | 専門 | 桑原 敏典 | 1 | 第4 学期 | 1~4 | 教員免許取得を目指 していることが望まし い。 | 火 10:45~12:35 |
| | 1006 | 法哲学 | 専門 | 大森 秀臣 | 1 | 第3 学期 | 3~4 | | 金 10:45~12:35 |
| 1010 | 食と栄養の科学 | 専門 | 岡元 邦彰 | 1 | 第4 学期 | 1~4 | | 月 10:45~12:35 | |
| 1013 | Introductory Mathematics I | 専門 | UDDIN MD. AZHAR | 1 | 第3 学期 | 1~4 | ※英語による授業 | 月 15:30~17:20 | |
| 1014 | Introductory Mathematics II | 専門 | 唐 健 | 1 | 第4 学期 | 1~4 | ※英語による授業 | 月 15:30~17:20 | |

| 大学 | No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開講 期 | 配当 学年 | 備 考 | 曜日・時限 |
|--------|--------|----------------|-------|--------|-----|----------------|--------|--------------------------------------|---------------|
| 岡山大学 | 1017 | 中国語中級 | 教養 | 孫 路易 | 1 | 第3学期 | 1～4 | | 火 10:45～12:35 |
| | 1018 | 中国語中級 | 教養 | 孫 路易 | 1 | 第4学期 | 1～4 | | 火 10:45～12:35 |
| | 1024 | 韓国語中級 | 教養 | 陳 南澤 | 1 | 第3学期 | 1～4 | 第3学期と第4学期を併せて受講することが望ましい。 | 火 13:25～15:15 |
| | 1025 | 韓国語中級 | 教養 | 陳 南澤 | 1 | 第4学期 | 1～4 | | 火 13:25～15:15 |
| | 1027 | 数理・データサイエンスの基礎 | 教養 | 羅 明振 | 1 | 第3学期 | 1～4 | 定員10名 | 木 10:45～12:35 |
| 岡山県立大学 | 2001 | 国際家族政策論 | 専門 | 近藤 理恵 | 2 | 前期 | 3～4 | | 木 10:20～11:50 |
| | 2002 | サービスマーケティング論 | 専門 | 喜村 仁詞 | 2 | 前期 | 2～4 | | 金 14:20～15:50 |
| | 2005 | 環境生理学 | 専門 | 大下 和茂 | 2 | 前期 | 2～4 | | 火 10:20～11:50 |
| | 2006 | 森林生態学・地盤工学 | 専門 | 穂苅 耕介 | 2 | 前期 | 3～4 | | 木 10:20～11:50 |
| | 2003 | 符号理論 | 専門 | 榊原 勝己 | 2 | 後期 | 3～4 | | 金 8:40～10:10 |
| | 2004 | 設計工学・生産システム | 専門 | 妻屋 彰 | 2 | 後期 | 3～4 | オンライン併用可 (期末試験を除く) | 火 10:20～11:50 |
| | 2007 | 木構造学・木構造デザイン | 専門 | 向山 徹 | 2 | 後期 | 3～4 | | 火 14:20～15:50 |
| 岡山学院大学 | 3001 | 調理学Ⅰ | 専門 | 氏峰 菜里 | 2 | 前期 | 1 | 定員10名 | 月 10:50～12:20 |
| | 3002 | 調理学Ⅱ | 専門 | 氏峰 菜里 | 2 | 後期 | 1 | 定員10名 | 月 10:50～12:20 |
| 岡山商科大学 | 4001 | 行政法Ⅰ | 専門 | 伊藤 治彦 | 2 | 前期 | 2～4 | 定員20名 1・Ⅱ受講要件なし | 木 13:10～14:40 |
| | 4003 | 民法概説 | 専門 | 倉持 弘 | 2 | 前期 | 1～4 | 定員20名 | 月 9:00～10:30 |
| | 4004 | 民法総則 | 専門 | 倉持 弘 | 2 | 前期 | 2～4 | 定員20名 ※民法概説を履修済 であること。 | 月 15:00～16:30 |
| | 4005 | 刑事政策 | 専門 | 白井 諭 | 2 | 前期 | 2～4 | 定員20名 | 月 13:10～14:40 |
| | 4008 | 国際経済学Ⅰ | 専門 | 山下 賢二 | 2 | 前期 | 2～4 | 定員15名 1・Ⅱ受講要件なし | 木 10:50～12:20 |
| | 4011 | 岡山経営者論Ⅰ | 専門 | 陳 恵貞 | 2 | 前期 | 1～4 | 定員15名 1・Ⅱ受講要件なし | 月 15:00～16:30 |
| | 4014 | 地方財政論 | 専門 | 多田 憲一郎 | 2 | 前期 | 2～4 | 定員15名 | 火 15:00～16:30 |
| | 4016 | 岡山産業概論 | 教養 | 渡邊 信治 | 2 | 前期 | 1～4 | 定員 20名 | 月 13:10～14:40 |
| | 4017 | 観光・地域開発論特殊講義 | 専門 | 三好 宏 | 2 | 前期 後期 集中 | 1～4 | 日程調整中 定員 30名程度の予定 ※成績評価は後期に行う。 | |
| | 4002 | 行政法Ⅱ | 専門 | 伊藤 治彦 | 2 | 後期 | 2～4 | 定員20名 1・Ⅱ受講要件なし | 木 13:10～14:40 |
| | 4006 | 現代刑事法 | 専門 | 白井 諭 | 2 | 後期 | 2～4 | 定員20名 | 火 15:00～16:30 |
| | 4007 | ミクロ経済学B | 専門 | 熊代 和樹 | 2 | 後期 | 2～4 | 定員15名 | 水 10:50～12:20 |
| | 4009 | 国際経済学Ⅱ | 専門 | 山下 賢二 | 2 | 後期 | 2～4 | 定員15名 1・Ⅱ受講要件なし | 木 10:50～12:20 |
| | 4010 | マクロ経済学B | 専門 | 劉 政達 | 2 | 後期 | 2～4 | 定員15名 | 木 13:10～14:40 |
| | 4012 | 岡山経営者論Ⅱ | 専門 | 陳 恵貞 | 2 | 後期 | 1～4 | 定員15名 1・Ⅱ受講要件なし | 月 15:00～16:30 |
| 4013 | 簿記論Ⅰ | 専門 | 手嶋 竜二 | 2 | 後期 | 1～4 | 定員15名 | 木 10:50～12:20 | |
| 4015 | 生命倫理と法 | 専門 | 栗屋 剛 | 2 | 後期 | 2～4 | 定員 20名 | 火 15:00～16:30 | |

| 大学 | No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開 講 期 | 配 当 学 年 | 備 考 | 曜日・時限 | |
|----------|------|------------------|-----|------------|-----|-------|---------|-----------|-------|-------------|
| 岡山理科大学 | 5002 | 鉱物科学 | 専門 | 新原 隆史 | 2 | 春 | 2～4 | 定員10名 | 金 | 9:10～10:40 |
| | 5004 | 安全化学 | 専門 | 岩永 哲夫 | 2 | 春 | 3～4 | 定員10名 | 水 | 9:10～10:40 |
| | 5005 | 微生物学 | 専門 | 水野 信哉 | 2 | 春 | 2～4 | 定員10名 | 水 | 9:10～10:40 |
| | 5007 | 電波法規 | 専門 | 荒井 伸太郎 | 1 | 春前半 | 3～4 | 定員10名 | 水 | 13:15～14:45 |
| | 5011 | ロボット工学概論 | 専門 | 藤本 真作 | 1 | 春後半 | 1～4 | 定員10名 | 木 | 9:10～10:40 |
| | 5014 | 地質学 | 専門 | 能美 洋介 | 2 | 春 | 2～4 | 定員10名 | 木 | 16:45～18:15 |
| | 5015 | 恐竜学基礎論 | 専門 | 林 明次 | 2 | 春 | 2～4 | 定員10名 | 月 | 16:45～18:15 |
| | 5016 | 現代日本語の多様性と運用 | 専門 | ダッタ シヤミ | 1 | 春前半 | 2～4 | 定員10名 | 水 | 9:10～10:40 |
| | 5017 | 商学基礎 | 専門 | 新任 | 2 | 春 | 1～4 | 定員10名 | 水 | 13:15～14:45 |
| | 5018 | 課題・問題発見演習 | 専門 | 重松 利信 他 | 2 | 春 | 2～4 | 定員10名 | 木 | 15:00～16:30 |
| | 5001 | データの数理Ⅱ | 専門 | 大江 貴司 | 2 | 秋 | 3～4 | 定員10名 | 金 | 13:15～14:45 |
| | 5003 | 量子力学の基礎 | 専門 | 今井 剛樹 | 2 | 秋 | 2～4 | 定員10名 | 水 | 13:15～14:45 |
| | 5006 | 航空宇宙材料の力学 | 専門 | 中井 賢治 | 2 | 秋 | 3～4 | 定員10名 | 金 | 10:55～12:25 |
| | 5008 | 暗号とセキュリティ | 専門 | 麻谷 淳 | 2 | 秋 | 3～4 | 定員10名 | 水 | 13:15～14:45 |
| | 5009 | ナノサイエンス | 専門 | 竹崎 誠 | 2 | 秋 | 3～4 | 定員10名 | 木 | 13:15～14:45 |
| | 5010 | エコロジカルデザイン | 専門 | 増田 俊哉 他 | 2 | 秋 | 3～4 | 定員10名 | 木 | 10:55～12:25 |
| | 5012 | 食薬学 | 専門 | 松浦 信康 | 2 | 秋 | 3～4 | 定員10名 | 水 | 10:55～12:25 |
| | 5013 | 再生医療移植学 | 専門 | 片岡 健 | 1 | 秋後半 | 2～4 | 定員10名 | 火 | 10:55～12:25 |
| | 5019 | 人間を読みとくA(ジェンダー論) | 教養 | 林 美帆 | 2 | 秋 | 1～4 | 定員10名 | 木 | 15:00～16:30 |
| 川崎医療福祉大学 | 7001 | 健康科学論 | 教養 | 矢野 博己 | 2 | 春学期 | 1～4 | 定員15名 | 水 | 12:45～14:15 |
| | 7002 | 自閉症の理解と支援 | 教養 | 小田桐 早苗 他 | 2 | 春学期 | 1～4 | 定員15名 | 水 | 12:45～14:15 |
| | 7003 | 生命科学 | 教養 | 竹内 雅貴 | 2 | 秋学期 | 1～4 | 定員15名 | 火 | 8:45～10:15 |
| | 7004 | ヒューマンセクシャリティー論 | 教養 | 谷野 宏美 他 | 2 | 秋学期 | 1～4 | 定員15名 | 水 | 12:45～14:15 |
| 環太平洋大学 | 8001 | 社会学概論 | 専門 | 濱嶋 幸司 | 2 | 後期 | 2～4 | 定員:若干名 | 金 | 13:05～14:45 |
| 吉備国際大学 | 9003 | 健康支援と社会保障制度 | 専門 | 磯濱 亜矢子 | 2 | 春学期 | 2～4 | 高梁キャンパス開講 | 火 | 9:30～11:00 |
| | 9004 | リハビリテーション概論 | 専門 | 河村 顕治 | 1 | 春学期 | 1～4 | 高梁キャンパス開講 | 水 | 15:10～16:40 |
| | 9005 | 作業療法概論 | 専門 | 京極 真 他 | 1 | 春学期 | 1～4 | 高梁キャンパス開講 | 火 | 11:10～12:40 |
| | 9001 | 社会学 | 教養 | 赤坂 真人 | 2 | 秋学期 | 1～4 | 高梁キャンパス開講 | 火 | 11:10～12:40 |
| | 9002 | 生涯スポーツ論 | 教養 | 羽野 真哉 | 2 | 秋学期 | 1～4 | 高梁キャンパス開講 | 火 | 9:30～11:00 |
| | 9006 | 神経・生理心理学Ⅱ | 専門 | 橋本 翠 | 2 | 秋学期 | 3～4 | 高梁キャンパス開講 | 火 | 11:10～12:40 |
| | 9007 | ディスカッション英語 | 専門 | ジョン フォーセット | 2 | 秋学期 | 2～4 | 岡山キャンパス開講 | 水 | 15:10～16:40 |
| | 9008 | 美術史B | 専門 | 前嶋 英輝 | 2 | 秋学期 | 3～4 | 高梁キャンパス開講 | 金 | 11:10～12:40 |

| 大学 | No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開 講 期 | 配 当 学 年 | 備 考 | 曜日・時限 |
|----------|-------|-------------|-----|---------|-----|-------|---------|--|----------------------|
| 倉敷芸術科学大学 | 10003 | 絵画基礎 I (A)※ | 専門 | 原田 よもぎ | 2 | 前期 | 1~4 | 定員10名 ※「絵画基礎 I (B)」を履修の場合、履修不可。 | 火 13:10~14:40 |
| | 10004 | 絵画基礎 I (B)※ | 専門 | 原田 よもぎ | 2 | 前期 | 1~4 | 定員10名 ※「絵画基礎 I (A)」を履修の場合、履修不可。 | 木 14:55~16:25 |
| | 10006 | 生活習慣病予防 | 専門 | 市川 勉 | 2 | 前期 | 3~4 | 定員5名 | 水 13:10~14:40 |
| | 10007 | 動物行動学 | 専門 | 唐川 千秋 | 2 | 前期 | 3~4 | 定員10名 | 木 9:10~10:40 |
| | 10008 | 医学概論 | 専門 | 渡部 俊幸 他 | 2 | 前期 | 1~4 | 定員10名 | 火 9:10~10:40 |
| | 10001 | 地域デザイン | 教養 | 橋元 純也 | 2 | 後期 | 1~4 | 定員10名 | 木 13:10~14:40 |
| | 10002 | メディア・アート論 | 専門 | 大森 隆 | 2 | 後期 | 1~4 | 定員10名 | 火 13:10~14:40 |
| | 10005 | 水族育成学 | 専門 | 山野 ひとみ | 2 | 後期 | 3~4 | 定員10名 | 火 10:50~12:20 |
| | 10009 | 解剖学 | 専門 | 野島 望 | 2 | 後期 | 1~4 | 定員10名 | 火 9:10~10:40 |
| くらしき作陽大学 | 11001 | ロシア語 I | 教養 | オランスカヤ | 1 | 前期 | 1~4 | 各科目の曜日・時間は変更の場合がある為事前に開講大学まで問合せ下さい。 「ロシア語」I・IIは受講要件なし。 「吹奏楽」I・IIは受講要件なし。 「和声学」I・IIはIを履修しておくことが望ましい。 | 木 13:25~14:55 |
| | 11003 | 食統計学 | 専門 | 松本 隆行 | 2 | 前期 | 2~4 | | 金 16:45~18:15 |
| | 11005 | 吹奏楽の歴史と魅力 | 専門 | 長瀬 敏和 他 | 2 | 前期 | 2~4 | | 月 11:10~12:40 |
| | 11006 | 吹奏楽I | 専門 | 長瀬 敏和 他 | 2 | 前期 | 1~4 | | 木 15:05~18:15 |
| | 11008 | 和声学I | 専門 | 米倉 由起 | 1 | 前期 | 1~4 | | 木 9:30~11:00 |
| | 11010 | マリンスポーツ | 教養 | 杉山 貴義 他 | 1 | 前期 | 1~4 | | 集中(未定) |
| | 11002 | ロシア語 II | 教養 | オランスカヤ | 1 | 後期 | 1~4 | | 火 11:10~12:40 |
| | 11004 | 発達障害児教育総論 | 専門 | 檜皮 修他 他 | 2 | 後期 | 1~4 | | 木 15:05~16:35 |
| | 11007 | 吹奏楽 II | 専門 | 長瀬 敏和 他 | 2 | 後期 | 1~4 | | 木 15:05~18:15 |
| | 11009 | 和声学 II | 専門 | 米倉 由起 | 1 | 後期 | 1~4 | | 金 9:30~11:00 |
| | 11011 | ウィンタースポーツ | 教養 | 杉山 貴義 他 | 1 | 後期 | 1~4 | | 集中(未定) |
| 山陽学園大学 | 12001 | 日本文学特講 | 専門 | 佐藤 雅代 | 2 | 前期 | 3~4 | | 火 13:05~14:35 |
| | 12002 | 日本作家作品研究 | 専門 | 高嶋 哲夫 | 2 | 前期 | 2~4 | | 9月集中 9/7(月)~10(木) |
| | 12003 | 経営学概論 | 専門 | 西川 英臣 | 2 | 前期 | 1~4 | | 月 9:00~10:30 |
| | 12004 | 地域経営入門 | 専門 | 中村 聡志 | 2 | 前期 | 1~4 | | 火 13:05~14:35 |
| | 12005 | 日中関係史 | 専門 | 班 偉 | 2 | 後期 | 2~4 | | 木 9:00~10:30 |
| | 12006 | 感情・人格心理学 | 専門 | 松浦 美晴 | 2 | 後期 | 2~4 | | 火 13:05~14:35 |
| | 12007 | 中小企業論 | 専門 | 西川 英臣 | 2 | 後期 | 1~4 | | 月 9:00~10:30 |
| | 12008 | 宇宙科学論 | 教養 | 米田 瑞生 | 2 | 後期 | 1~4 | | 水 9:00~10:30 |

| 大学 | No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開 講 期 | 配 当 学 年 | 備 考 | 曜 日 ・ 時 限 | |
|-------------|-------|-----------------|-----|-------------|-----|-------|---------|-------|-----------|-------------|
| 就 実 大 学 | 13001 | 古典文学研究1 | 専 門 | 瓦 井 裕 子 | 2 | 前 期 | 2~4 | 同時履修可 | 火 | 10:50~12:20 |
| | 13004 | 近現代文学講義3 | 専 門 | 坂 堅 太 | 2 | 前 期 | 3~4 | | 火 | 13:10~14:40 |
| | 13005 | 異文化理解と交流1A | 専 門 | L. ダンテ | 2 | 前 期 | 3~4 | 同時履修可 | 木 | 9:10~10:40 |
| | 13006 | 異文化理解と交流1B | 専 門 | テレサ ストックウェル | 2 | 前 期 | 3~4 | 同時履修可 | 水 | 10:50~12:20 |
| | 13007 | 異文化理解と交流1C | 専 門 | 福 田 耕 佑 | 2 | 前 期 | 3~4 | 同時履修可 | 火 | 9:10~10:40 |
| | 13011 | 英語文化文学研究2 | 専 門 | 原 田 昂 | 2 | 前 期 | 3~4 | 同時履修可 | 火 | 13:10~14:40 |
| | 13014 | 日本史講義2C | 専 門 | 苅 米 一 志 | 2 | 前 期 | 3~4 | 同時履修可 | 金 | 13:10~14:40 |
| | 13002 | 古典文学講義2 | 専 門 | 川 崎 剛 志 | 2 | 後 期 | 3~4 | | 木 | 10:50~12:20 |
| | 13003 | 古典文学研究3 | 専 門 | 竹 内 洪 介 | 2 | 後 期 | 2~4 | 同時履修可 | 木 | 13:10~14:40 |
| | 13008 | 異文化理解と交流2A | 専 門 | D.J.マカントニー | 2 | 後 期 | 3~4 | 同時履修可 | 金 | 13:10~14:40 |
| | 13009 | 異文化理解と交流2B | 専 門 | D.J.マカントニー | 2 | 後 期 | 3~4 | 同時履修可 | 木 | 9:10~10:40 |
| | 13010 | 英語文化文学研究1 | 専 門 | 雨 森 未 来 | 2 | 後 期 | 3~4 | 同時履修可 | 木 | 13:10~14:40 |
| | 13012 | 英語文化文学研究3 | 専 門 | 苅 米 地 夏 緒 | 2 | 後 期 | 3~4 | 同時履修可 | 火 | 13:10~14:40 |
| | 13013 | 日本史講義1A | 専 門 | 鈴 木 琢 郎 | 2 | 後 期 | 3~4 | 同時履修可 | 金 | 10:50~12:20 |
| | 13015 | 日本史講義3C | 専 門 | 三 田 智 子 | 2 | 後 期 | 3~4 | 同時履修可 | 木 | 10:50~12:20 |
| | 13016 | ヨーロッパ・アメリカ史講義1C | 専 門 | 小 林 亜 沙 美 | 2 | 後 期 | 3~4 | | 水 | 13:10~14:40 |
| | 13017 | アジア史講義1A | 専 門 | 渡 邊 将 智 | 2 | 後 期 | 3~4 | | 木 | 13:10~14:40 |
| 中 国 学 園 大 学 | 14001 | フードコーディネーター論 | 専 門 | 山 崎 真 未 | 2 | 前 期 | 1~4 | 定員10名 | 木 | 14:50~16:20 |
| | 14002 | 食生活論 | 専 門 | 藤 原 三 保 子 | 2 | 前 期 | 1~4 | 定員10名 | 金 | 11:00~12:30 |
| | 14003 | 心理学 | 教 養 | 國 田 祥 子 | 2 | 前 期 | 1~4 | 定員10名 | 金 | 9:20~10:50 |
| | 14004 | 自然科学概論 | 教 養 | 清 水 憲 志 | 2 | 前 期 | 1~4 | 定員10名 | 月 | 11:00~12:30 |
| | 14005 | 英語プレゼンテーション | 専 門 | 藤 代 昇 丈 | 2 | 前 期 | 3~4 | 定員10名 | 水 | 9:20~10:50 |
| | 14006 | 現代ビジネス論 | 専 門 | 佐 々 木 公 之 | 2 | 前 期 | 3~4 | 定員10名 | 水 | 11:00~12:30 |
| | 14007 | マーケティング論 | 専 門 | 宋 娘 沃 | 2 | 前 期 | 2~4 | 定員10名 | 木 | 13:10~14:40 |
| | 14008 | カウンセリング論 | 専 門 | 平 尾 太 亮 | 2 | 後 期 | 3~4 | 定員10名 | 水 | 9:20~10:50 |
| | 14009 | 現代環境論 | 教 養 | 小 築 康 弘 | 2 | 後 期 | 1~4 | 定員10名 | 火 | 13:10~14:40 |
| | 14010 | 英語科教育法 | 専 門 | 西 田 寛 子 | 2 | 後 期 | 2~4 | 定員10名 | 火 | 13:10~14:40 |
| | 14011 | ブランド戦略論 | 専 門 | 宋 娘 沃 | 2 | 後 期 | 3~4 | 定員10名 | 木 | 11:00~12:30 |
| | 14012 | 観光英語B | 専 門 | 佐 々 木 真 帆 美 | 2 | 後 期 | 2~4 | 定員10名 | 火 | 11:00~12:30 |

| 大学 | No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開 講 期 | 配 当 学 年 | 備 考 | 曜 日 ・ 時 限 | |
|--------------|-------|-----------------------------------|-------|--------|-----|----------|---------|---|-------------------|-------------|
| ノートルダム清心女子大学 | 15001 | キリスト教学Ⅱ | 教養 | 岡田 紅理子 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ Ⅱ・Ⅲ受講要件なし | 火2 | 10:45～12:15 |
| | 15004 | 英語学・言語学研究ⅣA | 専門 | 齋藤 衛 | 2 | 1期 | 3～4 | 女子のみ | 木1 | 9:00～10:30 |
| | 15005 | 英米文学研究ⅢA | 専門 | 新野 緑 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ、ⅢA・ⅢB 受講要件なし | 木5 | 16:30～18:00 |
| | 15007 | International Communication IA | 専門 | 桑山 敬己 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ、ⅠA・ⅠB 受講要件なし | 水3 | 13:00～14:30 |
| | 15009 | 古代文学特講Ⅰ | 専門 | 東城 敏毅 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ受講要件なし | 月2 | 10:45～12:15 |
| | 15011 | 古代文学特講Ⅲ | 専門 | 中井 賢一 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ受講要件なし | 金4 | 14:45～16:15 |
| | 15013 | 中世文学特講Ⅰ | 専門 | 江草 弥由起 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ 受講 要件なし | 金2 | 10:45～12:15 |
| | 15015 | 近代文学特講Ⅰ | 専門 | 山根 知子 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ受講要件なし | 火2 | 10:45～12:15 |
| | 15017 | 近代文学特講Ⅲ | 専門 | 長原 しのぶ | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ受講要件なし | 水3 | 13:00～14:30 |
| | 15019 | 日本語学特講Ⅳ | 専門 | 星野佳之 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ | 月3 | 13:00～14:30 |
| | 15021 | 地域社会学Ⅰ | 専門 | 二階堂 裕子 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ | 火5 | 16:30～18:00 |
| | 15024 | ヨーロッパ社会史Ⅰ | 専門 | 轟木 広太郎 | 2 | 1期 | 2～4 | 女子のみ | 火3 | 13:00～14:30 |
| | 15002 | キリスト教学Ⅷ | 教養 | 岡田 紅理子 | 2 | 2期 | 1～4 | 女子のみ Ⅱ・Ⅲ受講要件なし | 火2 | 10:45～12:15 |
| | 15003 | キリスト教学Ⅹ | 教養 | 岡田 紅理子 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ、他のキリス ト教科目履修必要 | 水2 | 10:45～12:15 |
| | 15006 | 英米文学研究ⅢB | 専門 | 新野 緑 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ、ⅢA・ⅢB 受講要件なし | 木5 | 16:30～18:00 |
| | 15008 | International Communication IB | 専門 | 桑山 敬己 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ、ⅠA・ⅠB 受講要件なし | 水3 | 13:00～14:30 |
| | 15010 | 古代文学特講Ⅱ | 専門 | 東城 敏毅 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ受講要件なし | 水1 | 9:00～10:30 |
| | 15012 | 古代文学特講Ⅳ | 専門 | 中井 賢一 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ受講要件なし | 木3 | 13:00～14:30 |
| | 15014 | 中世文学特講Ⅱ | 専門 | 江草 弥由起 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ 受講 要件なし | 金2 | 10:45～12:15 |
| | 15016 | 近代文学特講Ⅱ | 専門 | 山根 知子 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ受講要件なし | 水2 | 10:45～12:15 |
| | 15018 | 近代文学特講Ⅳ | 専門 | 長原 しのぶ | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ Ⅳ受講要件なし | 火2 | 10:45～12:15 |
| | 15020 | 家族社会学 | 専門 | 山下 美紀 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ | 水2 | 10:45～12:15 |
| | 15022 | 日本社会史Ⅱ | 専門 | 久野 洋 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ | 火1 | 9:00～10:30 |
| | 15023 | アジア社会史Ⅱ | 専門 | 鈴木 真 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ | 火2 | 10:45～12:15 |
| 15025 | 考古学Ⅱ | 専門 | 紺谷 亮一 | 2 | 2期 | 2～4 | 女子のみ | 木3 | 13:00～14:30 | |
| 美作大学 | 16001 | 情報のユニバーサルデザイン 論 | 専門 | 関根 千佳 | 2 | 前期 集中 | 2～4 | 定員20名、6/13(土)・6/14(日)・7/18 (土)・7/19(日) | | |
| | 16002 | 災害を知る | 教養 | オムニバス | 2 | 前期 集中 | 1～4 | 定員20名 | 8月17日～21日 (予定) | |
| | 16003 | 災害に備える | 教養 | オムニバス | 2 | 前期 集中 | 1～4 | 定員20名 | 8月24日～28日 (予定) | |

6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」

(1)ちゅうぎん『金融知力』講座

① 開講期間・授業時間について

| | | | | |
|------|---------|-----------|---|-----------|
| 開講期間 | Part I | 2026年9月1日 | ～ | 2026年9月2日 |
| | Part II | 2026年9月3日 | ～ | 2026年9月4日 |
| 授業時間 | 各日とも | 9:00 | ～ | 17:00 |

② アクセス(案内図)

会場のご案内

《注意》 日によって会場が異なります

中国銀行本店入口

9月1日 (Part I の1日目)

(1)岡山大学(コーディネート)-1

ちゅうぎん駅前ビル入口

9月2日～4日 (Part I の2日目 / Part II)



《注意》
ちゅうぎん駅前ビルには
駐輪場がありません。
公共交通機関等をご利用
ください。

中国銀行岡山駅前支店入口
※こちらからは、講義会場に
お入りいただけません。

こちらの入口からお入り
いただき、エレベーターで
4階までお上がりください。

宇野バス
岡山駅前・中銀前バス停

JR 岡山駅東口方面より

③ 「ちゅうぎん『金融知力』講座」の履修に関する連絡事項

「ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I」、「ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II」を履修する岡山大学以外の学生は、岡山大学の単位互換履修生となります。

※「ちゅうぎん『金融知力』講座」は、Part I、Part IIを両方受講することで、金融に関する知識が深まる内容になっていますので、ぜひとも両講座を受講して下さるようお願いいたします。

・ 履修申込期限

2026年6月12日(金) 15時

※定員(50人)を超える申し込みがあった場合は抽選により受講者を決定します。

定員に満たない場合、追加募集を行うことがあります。

・ 履修手続

初回の授業までに受講に必要な事項等をメールで連絡します。(岡山大学／中国銀行)
岡山大学以外の学生には所属大学を通じて「岡山大学単位互換履修生証」を交付します。
岡山大学の学生は、学務情報システムでの履修登録は必要ありません。

・ 特記事項

講義会場について

9月1日(Part Iの1日目): 中国銀行本店(岡山市北区丸の内1-15-20)

9月2日～4日(Part Iの2日目・Part II): ちゅうぎん駅前ビル(岡山市北区本町2-5)

※中国銀行本店には駐車場がありません。また、ちゅうぎん駅前ビルには駐車場および駐輪場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

近隣の施設や路上、歩道等への違法駐輪は絶対にしないでください。

④ シラバス

・対面授業科目

| | | | | | |
|---|-----|------|---|--------------------|-----------------|
| 対面授業 | | | | 20001 | |
| 授業科目名:ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I | | | 担当教員氏名:坂入信也教授 非常勤講師(メンター): 天野 久美・生部 敬子・林 寛之・池上 夏穂 | | |
| Financial Literacy (Part I) | | | 連絡先:中国銀行地方創生SDGs推進部 TEL:086-223-3111 Eメール:coordinate.chugin@okayama-u.ac.jp | | |
| 履修年次 全 | 1単位 | 夏季集中 | 定員 50人 | 9月1日(火) 9月2日(水) | (各日 9:00-17:00) |
| 【授業の目的】 金融リテラシーを向上させ、日々の生活や今後のライフプランに役立てる。 | | | | | |
| 【授業内容】 社会で活躍する専門家などを講師に迎え、日常生活に必要な金融の基礎知識を分かりやすく解説します。日本経済・岡山県経済、地域金融など、社会を理解するうえで重要なテーマを幅広く学ぶほか、各種金融制度やトラブルへの対処方法を身につけます。 また、金融の現場を知る機会として、中国銀行本店や日本銀行岡山支店の見学も行います。 ＜講座で取り上げる主な内容＞ ・日本経済・岡山県経済 ・日本の財政 ・多重債務問題 ・特殊詐欺・悪質商法 ・公的年金制度 ・国際業務(為替ほか) ・金融機関の役割 ・日本銀行・中国銀行見学 ・銀行が取り組む地方創生 など ※内容が変更になる場合がございます。 | | | | | |
| 【テキスト】 公的機関等が作成配布しているパンフレットや講師が作成したレジュメ等を使用します。 (テキスト・教材費無料) | | | | | |
| 【参考図書】 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 出席およびレポート、受講態度・勉学意欲(±α)。 | | | | | |
| 【受講要件】 特になし | | | | | |

| | | | | |
|--|-----|------|--|------------------------------------|
| 対面授業 | | | 20002 | |
| 授業科目名: ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II | | | 担当教員氏名: 坂入信也教授 非常勤講師(メンター): 天野 久美・生部 敬子・林 寛之・池上 夏穂 | |
| Financial Literacy (Part II) | | | 連絡先: 中国銀行地方創生SDGs推進部 TEL: 086-223-3111 Eメール: coordinate.chugin@okayama-u.ac.jp | |
| 履修年次 全 | 1単位 | 夏季集中 | 定員 50人 | 9月3日(木) 9月4日(金) (各日 9:00-17:00) |
| 【授業の目的】 金融リテラシーを向上させ、日々の生活や今後のライフプランに役立てる。 | | | | |
| 【授業内容】 社会で活躍する専門家などを講師に迎え、日常生活や将来設計に役立つ金融知識を分かりやすく学びます。講座では、将来の目標の実現に必要な資金計画や、さまざまなライフイベントに向けたお金の備え方、資産形成に欠かせない金融商品や投資の基礎などを学ぶとともに、ライフプランニングのワークショップや模擬投資など、体験型のプログラムを通じて“実践的な金融リテラシー”を身につけます。 また、「マイカーローン」や「住宅ローン」の基礎、「無理のない返済の考え方」など、ローンに関しても実生活に役立つポイントを分かりやすく解説するほか、キャッシュレス決済などのデジタルサービスの仕組みや、保険の基礎についても学びます。 ＜講座で取り上げる主な内容＞ ・投資シミュレーション体験 ・社会人のライフプランニング ・保険(仕組みほか) ・ローン(住宅ローン、マイカーローンほか) ・デジタルサービス(キャッシュレス決済) ・中国銀行役員による特別授業 など ※内容が変更になる場合がございます。 | | | | |
| 【テキスト】 公的機関等が作成配布しているパンフレットや講師が作成したレジュメ等を使用します。 (テキスト・教材費無料) | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| 【成績評価の方法】 出席およびレポート、受講態度・勉学意欲(±α)。 | | | | |
| 【受講要件】 特になし | | | | |

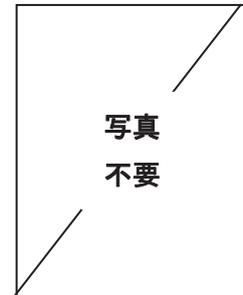
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|--|----------|-------------|--|---|
| 所属大学等 | 大学 | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | 学科 | | 年 |
| 学生番号 | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | | |
| | | | 昭和・平成 年 月 日 | | |
| 現住所 | 〒 - Tel () - | | | | |
| メールアドレス | @ ※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。 | | | | |

* 履修受付締切日：6月12日(金)15時まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

* 定員(各回50人)を超える申し込みがあった場合は、抽選により履修者を決定します。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|-----------------------|----|---------------------|----|------|------|------------------|----------------------------|------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 20001 | ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I | 教養 | 坂入 信也 (コーディネーター) | 1 | 夏季集中 | 1~4 | 定員 50人 ※会場に注意 | 9月1日・2日 (各日 9:00-17:00) | | |
| 20002 | ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II | 教養 | 坂入 信也 (コーディネーター) | 1 | 夏季集中 | 1~4 | 定員 50人 ※会場に注意 | 9月3日・4日 (各日 9:00-17:00) | | |

※各回の会場は、募集要項 12~13 ページ「②アクセス(案内図)」で確認してください。

| | | | |
|--|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 0 枚 | 0 枚 | 0 枚 |

7. 各大学提供科目

- ① 開講期間・試験期間・授業時間について
- ② アクセス(案内図)
- ③ 担当窓口
- ④ 大学コンソーシアム岡山単位互換履修生への連絡事項
 - ・履修申込期限
 - ・履修手続
 - ・施設利用
- ⑤ 各科目のシラバス
 - ・遠隔授業科目
 - ・対面授業科目
- ⑥ 単位互換履修科目履修願
 - (1) 岡山大学
 - (2) 岡山県立大学
 - (3) 岡山学院大学
 - (4) 岡山商科大学
 - (5) 岡山理科大学
 - (6) 川崎医科大学 ※N/A:2026 年度科目の提供はありません
 - (7) 川崎医療福祉大学
 - (8) 環太平洋大学
 - (9) 吉備国際大学
 - (10) 倉敷芸術科学大学
 - (11) くらしき作陽大学
 - (12) 山陽学園大学
 - (13) 就実大学
 - (14) 中国学園大学
 - (15) ノートルダム清心女子大学
 - (16) 美作大学

(1) 岡山大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|------|-------------|--------------------------------------|-------------|
| 開講期間 | 第1学期 | 2026年4月8日 | ～ | 2026年6月9日 |
| | 第2学期 | 2026年6月10日 | ～ | 2026年8月10日 |
| | 第3学期 | 2026年10月1日 | ～ | 2026年12月3日 |
| | 第4学期 | 2026年12月3日 | ～ | 2027年2月14日 |
| 試験期間 | 第1学期 | 2026年6月3日 | ～ | 2026年6月9日 |
| | 第2学期 | 2026年7月31日 | ～ | 2026年8月6日 |
| | 第3学期 | 2026年11月27日 | ～ | 2026年12月3日 |
| | 第4学期 | 2027年2月5日 | ～ | 2027年2月12日 |
| 授業時間 | 1限 | 8:40～9:30 | 7限 | 15:30～16:20 |
| | 2限 | 9:40～10:30 | 8限 | 16:30～17:20 |
| | 3限 | 10:45～11:35 | 9限 | 17:30～18:20 |
| | 4限 | 11:45～12:35 | 10限 | 18:30～19:20 |
| | 5限 | 13:25～14:15 | ※9、10限は授業の性質や時間割設定上やむを得ない場合に限り授業を行う。 | |
| | 6限 | 14:25～15:15 | | |

※補講については、授業担当教員が指定した日に行う。

② アクセス(案内図)

津島キャンパスへ



バス

- 岡電バス 駅西口「47」系統 (岡大西門経由岡山理科大) 行
- 駅東口「17」系統 (妙善寺) 行

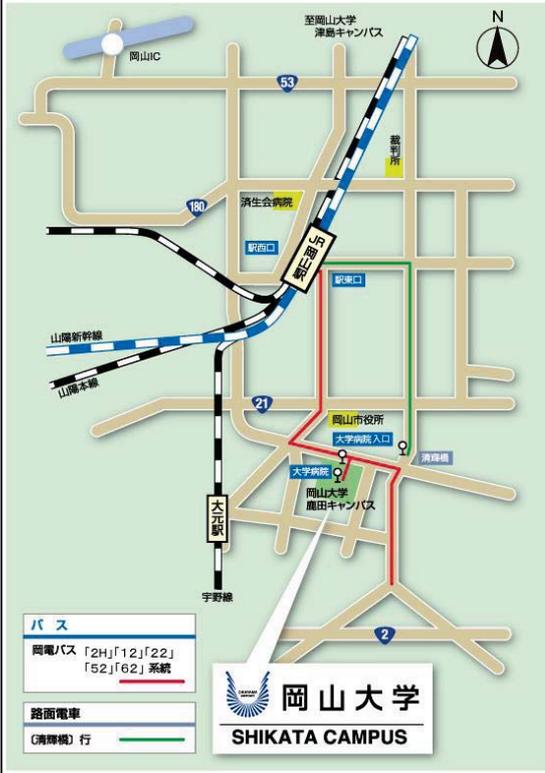
JR 津山線「法界院」駅: 徒歩約10分

JR岡山駅→岡電バス

- 岡山駅運動公園口(西口)バスターミナル22番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車 (所要時間約7～10分)
- ※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。なお、「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。
- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル13番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車「岡大東門」、「岡大西門」又は「福居入口」で下車 (所要時間約30分)
- 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル7番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き、【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「運転免許センター」行きに乗車「岡山大学筋」で下車 大学まで徒歩 (所要時間 バス約10分、徒歩約7分)

タクシー 岡山駅運動公園口(西口)広場2階タクシー乗り場から 約7分

鹿田キャンパスへ



JR岡山駅→岡電バス

- ① 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル4番乗り場【2H】系統「大学病院」行きに乗車「大学病院」(病院構内)で下車
- ② 岡山駅後楽園口(東口)バスターミナル3番乗り場から【22】系統「(市役所経由)並木町・岡山ろうさい病院」行き、【52】系統「(市役所経由)当新田・大東」行き、【62】系統「南ふれあいセンター・岡南飛行場」行き、または4番乗り場から【12】系統「岡南営業所」行きに乗車「大学病院入口」で下車 (所要時間約10分)

岡山駅→路面電車

岡山駅前の電車乗り場から「清輝橋」行きに乗車 終点「清輝橋」下車 大学まで徒歩。
(所要時間 電車約10分 徒歩約8分)

タクシー

JR岡山駅後楽園口(東口)タクシー乗り場から約7分

循環バス「めぐりん」

岡山駅前から循環バスで「大学病院入口」で下車

岡山大学公式ホームページ「交通アクセス」

(<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access.html>)

③ 担当窓口

学務部学務企画課

所在地: 津島地区東キャンパス 一般教育棟A棟2階

津島キャンパス

- ① 文学部 ② 教育学部 ③ 法学部 ④ 経済学部 ⑤ 理学部
- ⑥ 薬学部 ⑦ 工学部 ⑧ 環境理工学部 ⑨ 農学部



学務部 学務企画課
総務・企画グループ
企画担当 ⑨番窓口
(一般教育棟A棟2階)

| 津島地区北キャンパス | | |
|------------|-----|--------|
| 文学部 | 理学部 | 工学部 |
| 教育学部 | 法学部 | 環境理工学部 |
| 経済学部 | 薬学部 | 農学部 |

| 津島地区西キャンパス | | |
|------------|--------|-----|
| 文学部 | 教育学部 | 理学部 |
| 法学部 | 経済学部 | 薬学部 |
| 工学部 | 環境理工学部 | 農学部 |

電話: 086-251-7186(直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

第1・2学期:4月1日(水)15時まで 第3・4学期:9月17日(木)15時まで
岡山大学学務部学務企画課での受付期限です。
所属大学によって定められている提出期間やその他の指示に従ってお申し込みください。
(申込期限は延長しません。)

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

1. 初回の授業(またはオリエンテーション)当日に以下の印刷物をお渡します。
※事前に所属大学の教務(単位互換担当)を通じて配布する場合があります。
対面授業科目の履修者は、必ず受け取りに来てください。
その際、講義室の場所を含め簡単な説明をしますので、時間に余裕を持って来学してください。
 - ①キャンパスマップ
 - ②単位互換履修生証
 - ③自動車通学許可申請書類(希望者のみ)
 - ④岡大ID・パスワード通知
 - ⑤その他 講義関係書類
2. 自動車・自動二輪車での通学は特殊事情がある場合に限り許可されます。
希望する場合は事前にお申し出ください。

遠隔授業科目を履修する方

所属大学の教務(単位互換担当)を通じて上記「①～⑤」の書類を配布します。

・ 施設利用

岡山大学在学の学生と同じ扱いとします。
岡山大学図書館・学食等が利用可能です。図書館の利用方法は図書館カウンターで単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 岡山大学 学習支援システムMoodleについて

本学の多くの授業ではMoodleという学習支援システムを使用します。このシステムは主にレジュメ等の資料共有やレポート提出等で、また、遠隔授業では必ず利用します。単位互換履修生には、事前に、ログインに必要な「岡大ID・パスワード」、「Moodleの手引き」等をお渡しますので、必ず一読し、初回授業までにログイン等の手続きを終えておいてください。
(※詳細は申込完了後に別途連絡いたします。)

・ 今後の実施内容の変更について

やむを得ない事情により実施内容を一部変更する場合がありますので、その旨ご理解いただいたうえでお申し込みください。変更が生じた場合は、申込後に所属大学の単位互換事務担当者を通じて連絡いたします。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

シラバスは本募集要項に掲載していますが、以下から検索することもできます。

https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

(岡山大学HP→在学生・保護者の方→シラバス→岡山大学開講科目)

2026(令和8)年度 岡山大学授業日程計画

※ 他の曜日の授業を行う日 がありますので注意してください。

| 月 | 曜日 | | | | | | | 備 考 | 月 | 曜日 | | | | | | | 備 考 | |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----------|---|------|----|----|----|----|-----------|----|----|---|--|
| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | |
| 4 月 | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 2日 入学式 8日 第1学期授業開始 29日 昭和の日 | 10 月 | | | | | 1 | 2 | 3 | 1日 第3学期開始 1日 秋季入学者入学式 12日 スポーツの日 10月30日～ 大学祭 11月2日 ※10/30,11/2臨時休業 | |
| | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | | |
| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | | | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | | | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | | |
| | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |
| 5 月 | | | | | | 1 | 2 | 注:7日 火曜日の授業を行う 注:8日 水曜日の授業を行う 3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日 6日 振替休日 | 11 月 | | | | | 4 | 5 | 6 | 7 | 3日 文化の日 注:4日 月曜日の授業を行う 注:19日 月曜日の授業を行う 23日 勤労感謝の日 |
| | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | | |
| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | | | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | | |
| | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | | | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | |
| | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | 29 | 30 | | | | | | | |
| | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 月 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 10日 第2学期開始 30日 卒業日 | 12 月 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 4日 第4学期開始 25日～1月4日 冬季休業 27日 卒業日 | |
| | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | | | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | |
| | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | | | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | | |
| | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | |
| | 28 | 29 | 30 | | | | | | | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | |
| 7 月 | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 20日 海の日 注:22日 月曜日の授業を行う | 1 月 | | | | | | 1 | 2 | 1日 元日 11日 成人の日 注:12日 月曜日の授業を行う 注:13日 金曜日の授業を行う 15日 共通テスト実施に伴う臨時休講 16,17日 大学入学共通テスト | |
| | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | | | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | |
| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | | | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | | |
| | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | | | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | | |
| | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |
| 8 月 | | | | | | | 1 | 7～9日(予定) オープンキャンパス 11日 山の日 | 2 月 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 注:5日 木曜日の授業(試験)を行う 11日 建国記念の日 23日 天皇誕生日 25,26日 一般選抜(前期日程) | |
| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | | |
| | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | | | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | | |
| | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | | | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | |
| | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | | | 28 | | | | | | | | |
| | 30 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 月 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 21日 敬老の日 22日 国民の休日 23日 秋分の日 25日 学位記等授与式 | 3 月 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 21日 春分の日 22日 振替休日 25日 学位記等授与式 | |
| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | | |
| | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | | | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | | |
| | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | |
| | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | | |
| 第1学期計 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 授業週数(含試験) | 第3学期計 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 授業週数(含試験) | | | | |
| 第2学期計 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | | 第4学期計 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | | | | | |

- 第1学期 4月1日～6月9日
- 第2学期 6月10日～8月10日
- 第3学期 10月1日～12月3日
- 第4学期 12月4日～2月14日
- 試験期間

休業日及び臨時休講を示す。
 他の曜日の授業を行う日を示す。
 気象警報等により休講とした場合の補講日を示す。
 ※補講については、授業担当教員が指定した日に行う。

・遠隔授業科目

| | | | | |
|---|------|--------|---------------|------------------|
| 遠隔授業(オンライン:文学部) | | | | 01101 |
| 授業科目名: 人文学概説(美学a) | | | 担当教員氏名: 川野 恵子 | |
| Introduction to Aesthetics a | | | | |
| 履修年次 2~4 | 1 単位 | 第 1 学期 | 1 コマ | 50 分×2(火曜 3・4 限) |
| <p>【授業の目的】 西洋美学の歴史を古代から近代にかけて学んでいく授業です。なかでも諸芸術比較論に焦点をあて、諸芸術間のヒエラルキーの変化と連動して、学問としての「美学」が生まれ、展開していく歴史を概観します。諸芸術比較論は、美学が誕生する以前から西洋において古代から連綿と議論されてきた伝統的テーマです。ただしとりわけ 18 世紀以前は「諸芸術比較論」といっても事実上、詩を上位とする絵画との比較論、言い換えれば、テキストとイメージのヒエラルキー論として論じられてきました。それが学問としての美学の誕生する 18 世紀頃に大きく変化し、テキストとイメージのヒエラルキーが転覆し、さらにはイメージとイメージを比較する文字通りの諸芸術比較論が論じられるようになります。この諸芸術比較論の変化の理解を西洋美学の誕生とその展開の理解につなげ、西洋美学史を学ぶことがこの授業の目的です。美学 a においては古代から近世まで、美学 b においては近世から近代までを扱います。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 美学 a(1 学期)においては、「美学」成立前、古代からルネサンスの美学的理論を扱い、詩を上位とする諸芸術のヒエラルキー／位階概念の成立経緯を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 プラトン 3 アリストテレス 4 プロティノス 5 アウグスティヌス 6 トマス・アキナス 7 ダ・ヴィンチ 8 まとめ | | | | |
| <p>【テキスト】 教科書は使用しない。授業中にレジュメを配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 カロール・タロン＝ユゴン『美学への手引き』上村博訳、白水社、2015 年 小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009 年 井奥陽子『近代美学入門』筑摩書房、2023 年 佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995 年</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 平常点(授業内発表)30% 授業後のレポート 70%</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 なし</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|--------|---------------|------------------|
| 遠隔授業(オンライン:文学部) | | | | 01102 |
| 授業科目名: 人文学概説(美学b) | | | 担当教員氏名: 川野 恵子 | |
| Introduction to Aesthetics b | | | | |
| 履修年次 2~4 | 1 単位 | 第 2 学期 | 1 コマ | 50 分×2(火曜 3・4 限) |
| <p>【授業の目的】 西洋美学の歴史を古代から近代にかけて学んでいく授業です。なかでも諸芸術比較論に焦点をあて、諸芸術間のヒエラルキーの変化と連動して、学問としての「美学」が生まれ、展開していく歴史を概観します。諸芸術比較論は、美学が誕生する以前から西洋において古代から連綿と議論されてきた伝統的テーマです。ただしとりわけ 18 世紀以前は「諸芸術比較論」といっても事実上、詩を上位とする絵画との比較論、言い換えれば、テキストとイメージのヒエラルキー論として論じられてきました。それが学問としての美学の誕生する 18 世紀頃に大きく変化し、テキストとイメージのヒエラルキーが転覆し、さらにはイメージとイメージを比較する文字通りの諸芸術比較論が論じられるようになります。この諸芸術比較論の変化の理解を西洋美学の誕生とその展開の理解につなげ、西洋美学史を学ぶことがこの授業の目的です。美学 a においては古代から近世まで、美学 b においては近世から近代までを扱います。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 美学 b(2 学期)においては、「美学」成立を可能にした哲学的背景を抑えながら、諸芸術のヒエラルキーがいかに転覆し、今日にも通じる美学・芸術学概念が成立したのか学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 バトウ、デュボス 3 レッシング 4 デイドロ 5 ライプニッツ 6 バウムガルテン 7 カント 8 まとめ | | | | |
| <p>【テキスト】 教科書は使用しない。授業中にレジュメを配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 カロール・タロン＝ユゴン『美学への手引き』上村博訳、白水社、2015 年 小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009 年 井奥陽子『近代美学入門』筑摩書房、2023 年 佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995 年</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 平常点(授業内発表)30% 授業後のレポート 70%</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 なし</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|-----|------|------------------|---------------|--|
| 遠隔授業(ハイブリッド:文学部) | | | | 01103 | |
| 授業科目名: 人文学概説(倫理学 2b) | | | 担当教員氏名: 本村 昌文 | | |
| Introduction to Ethics 2b | | | 対面とオンデマンドのハイブリッド | | |
| 履修年次 2~4 | 1単位 | 第4学期 | 1コマ | 50分×2(月曜7・8限) | |
| <p>【授業の目的】 一般目標: 日本思想史研究の視座と方法を説明することができる。 個別目標: 1. 朱子学, 陽明学の基本的な考え方を説明することができる。 2. 朱子学, 陽明学の日本における受容と展開について説明できる。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 講義題目: 朱子学・陽明学と近世日本 日本における儒教の受容と展開を通して, 日本思想史を概観する。特に日本に大きな影響を与えた朱子学・陽明学を中心に講義を行う。</p> <p>1-2: ガイダンス 3-4: 「心」をいかにコントロールするか? - 朱子学の世界 5-6: 王陽明の挫折体験 - 陽明学の世界 7-8: 幕藩体制を支えたのは朱子学か? - 苦悩する林羅山, 「悪」の根源は何か? - 「心」の深淵をみつめる中江藤樹 9-10: 「闇斎ガ如キ者ハ、必皆天主教ニ帰スベキナリ」 - 敬虔な朱子学者・山崎闇斎とその門人 11-12: 人はみな聖人になれるか? - 荻生徂徠とその門人 13-14: 朱子学を批判する朱子学者 - 孤高の朱子学者・中井履軒と懐徳堂</p> <p>※この授業は、メディア授業です。対面授業、オンデマンド受講、いずれを選択してもかまいません。</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 特になし。随時、資料を配布します。moodle にアップするので、各自、授業の際にみられるようにしてください。</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 本村昌文『いまを生きる江戸思想 - 17世紀における仏教批判と死生観』(ペリかん社, 2016)。その他、授業中に指示する。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業での取り組み 60%, 最終レポート 40%</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 特になし</p> | | | | | |

| | | | | |
|---|------|--------|---------------|------------------|
| 遠隔授業(オンデマンド:文学部) | | | | 01104 |
| 授業科目名: 人文学概説(西洋美術史a) | | | 担当教員氏名: 龍野 有子 | |
| Introduction to History of Western Art a | | | | |
| 履修年次 2~4 | 1 単位 | 第 1 学期 | 1 コマ | 50 分×2(木曜 5・6 限) |
| <p>【授業の目的】 ヨーロッパ文化圏の美術(建築、彫刻、絵画、素描、版画、写真等)の主要な素材と技法について、各種の複製技法の問題を含めて概観する。ヨーロッパ文化圏の建築・彫刻・絵画・画像類の主要な素材と技法及び複製に関する問題について、基礎的な知識を獲得する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第 1 回 はじめに:「人工物」としての美術作品 第 2 回 美術作品の制作と複製 第 3 回 建材・彫刻材としての石、土砂、木材 第 4 回 聖堂建築の展開 第 5 回 鑄造技法とブロンズ彫刻の複数性 第 6 回 陶器と陶像、陶器 第 7 回 絵画類の基本構造:基底材(支持体)と色材(絵具) 第 8 回 壁画の技法:フレスコとモザイク 第 9 回 板絵の領域:エンカウスティック、テンペラ、油彩 第 10 回 油彩技法の展開とカンヴァスの登場 第 11 回 中世装飾写本:紙が存在しなかった時代 第 12 回 紙とルネサンス:印刷術としての版画技法 第 13 回 写真術の開発前史:カメラオブスキュラ 第 14 回 写真術の発明</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 ヨーロッパの美術と歴史の双方に関心を持っていること。</p> | | | | |

| | | | | | |
|---|------|--------|---------------|------------------|--|
| 遠隔授業(オンデマンド:文学部) | | | | 01105 | |
| 授業科目名: 人文学概説(西洋美術史 b) | | | 担当教員氏名: 龍野 有子 | | |
| Introduction to History of Western Art b | | | | | |
| 履修年次 2~4 | 1 単位 | 第 2 学期 | 2 コマ | 50 分×2(木曜 5・6 限) | |
| <p>【授業の目的】 ヨーロッパの彫刻及び絵画類の主要な主題とジャンルについて概観する。 ヨーロッパの彫刻及び絵画類の主要な主題とジャンルに関する基礎知識を獲得する。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 01. はじめに 02. 「美術(史)」とは何(ではない)か 03. 「大芸術」という概念(1)職業美術家の社会的地位 04. 「大芸術」という概念(2)ルネサンス的な美術論の形成 05. 「大芸術」という概念(3)美術アカデミーの成立とアカデミックな芸術論の形成 06. 「宗教美術」という枠組み(1)「教会」と「教会堂」 07. 「宗教美術」という枠組み(2)礼拝対象としての彫像と画像 08. 「宗教美術」という枠組み(3)礼拝図像と物語図像 09. 「主題の序列」という思想(1)「歴史物語画」という枠組み 10. 「主題の序列」という思想(2)非宗教美術としての神話主題 11. 「主題の序列」という思想(3)肖像 12. 「主題の序列」という思想(4)風俗主題と人物像 13. 「主題の序列」という思想(5)風景表現と風景画 14. 「主題の序列」という思想(6)静物</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 1 学期開講の人文学概説(西洋美術史 a)を受講済みであること。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|--------|---------------|------------------|--|
| 遠隔授業(オンデマンド:文学部) | | | | 01106 | |
| 授業科目名: 人文学講義(西洋美術史 a) | | | 担当教員氏名: 龍野 有子 | | |
| Lecture on History of Western Art a | | | | | |
| 履修年次 2~4 | 1 単位 | 第 3 学期 | 2 コマ | 50 分×2(木曜 5・6 限) | |
| <p>【授業の目的】 古典古代から近世までのヨーロッパ美術史について通史的に講ずる。ヨーロッパの造型芸術(建築・彫刻・絵画・工芸等)に対し、単に感覚的・情緒的・主観的に接近するのではなく、日本を含む東アジア文化圏で生育した者にとっては異文化圏であるヨーロッパ世界が生み出した歴史的な産物として、客観的に理解する視点を獲得する。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 01. イントロダクション 02. ヨーロッパ美術史の時代区分 03. 古典古代(1)古代ギリシア美術 04. 古典古代(2)古代ローマ美術 05. キリスト教の発生 06. 初期キリスト教美術と初期ビザンティン美術 07. ビザンティン美術 08. 西欧初期中世美術、ロマネスク美術 09. ゴシック美術 10. 中世から近世へ:「中世の秋」と「古典復興」 11. 近世(1)ルネサンスと 15-16 世紀の美術(1)初期ルネサンスから盛期ルネサンスへ 12. 近世(2)ルネサンスと 15-16 世紀の美術(2)マニエリスムとロマネスム 13. 近世(3)バロックと 17 世紀の美術 14. 近世(4)ロココと 18 世紀の美術</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 1 学期開講の人文学概説(西洋美術史 a)、2 学期開講の人文学概説(西洋美術史 b)を受講済みであること。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|---|------|--------|---------------|------------------|--|
| 遠隔授業(オンデマンド:文学部) | | | | 01107 | |
| 授業科目名: 人文学講義(西洋美術史b) | | | 担当教員氏名: 龍野 有子 | | |
| Lecture on History of Western Art b | | | | | |
| 履修年次 2~4 | 1 単位 | 第 4 学期 | 2 コマ | 50 分×2(木曜 5・6 限) | |
| <p>【授業の目的】 18 世紀末から 20 世紀半ばまでのヨーロッパ絵画史の展開についてパリ画壇を中心に通史的に講ずる。近代ヨーロッパ絵画に対し、単に感覚的・情緒的・主観的に接近するのではなく、日本を含む東アジア文化圏で生育した者にとっては異文化圏であるヨーロッパ世界が生み出した歴史的な産物として、客観的に理解する視点を獲得する。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 01. イントロダクション 02. 近代アカデミズムの形成(1)美術行政と美術市場 03. 近代アカデミズムの形成(2)基新古典主義とロマン主義 04. 前衛としてのレアリスム 05. 印象派と印象主義 06. ポスト印象主義、象徴主義と表現主義(1)印象主義に対する反発と反動 07. ポスト印象主義、象徴主義と表現主義(2)絵画の再定義の試み 08. キュビズム(1)「具象絵画」としてのキュビズム 09. キュビズム(2)キュビズムから非具象絵画へ 10. 未来派とダダ、構成主義 11. ダダからシュルレアリスムへ 12. シュルレアリスムと抽象美術(1)第二次大戦前夜の状況 13. シュルレアリスムと抽象美術(2)第二次大戦と抽象表現主義 14. モダニズムの終焉</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 毎回 Moodle で資料を配付する。あらかじめ印刷した上で講義ビデオを視聴すること。</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 第一回目の授業中に詳細に紹介する。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 毎週 Moodle で小テストを課す(評点全体の 70%)。出題形式は選択式、穴埋め式など回により異なる。回答回数に制限を加えるので注意すること。回答期限は原則として次週の火曜 18:00 とし、締切後の回答は受け付けない。 別に期末レポートを課す(評点全体の 30%)。提出は Moodle で行う。課題は、「講義内容に関連する書籍を 2 冊以上通読し、講義全体の内容を踏まえた上で、自分が考えたことを具体的な作品に即して 2,000 字程度で述べなさい」とする。内容に即した表題を付し、冒頭に通読した書籍の書誌(著者名『書名』出版社、出版年)を明記すること。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 1 学期開講の人文学概説(西洋美術史 a)、2 学期開講の人文学概説(西洋美術史 b)、3 学期開講の人文学講義(西洋美術史 a)を受講済みであること。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|-----|--------|---|---------------|--|
| 遠隔授業(ハイブリッド:工学部) | | | | 01108 | |
| 授業科目名: セキュリティ概論 | | | 担当教員氏名: 野上 保之・福島 行信・ 五百旗頭 健吾・小寺 雄太・三浦 秀芳 | | |
| Introduction to Security | | | | | |
| 履修年次 3~4年 | 2単位 | 第3・4学期 | 2コマ | 50分×2(月曜7・8限) | |
| <p>【授業の目的】 サイバーフィジカル・ネットワークに渡る情報セキュリティの重要性とそれを実現するための技術に関する深い理解を習得すること.</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 暗号の歴史と概要 2. 暗号数学 3. 共通鍵暗号とデータ暗号化/公開鍵暗号と認証技術 4. 暗号計算のハードウェア実装 5. 暗号ハードウェアに対する工夫と安全性評価 6. 通信における様々な脅威と安全に通信するための暗号技術 7. データリンク層セキュリティ 8. ネットワーク層セキュリティ(1) 9. ネットワーク層セキュリティ(2) 10. トランスポート層セキュリティ 11. アプリケーション層セキュリティ 12. マルウェア感染と解析 (1) 13. マルウェア感染と解析 (2) 14. メモリ破棄攻撃と対策 (1) 15. メモリ破棄攻撃と対策 (2), アクセス制御 (100分の授業を1回としている) | | | | | |
| <p>【テキスト】 Web やメールで資料を配布する.</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 全15回のうち、5回区切りで小テストやレポート課題を課す。座学60%、テスト・課題40%で成績をつける.</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】</p> | | | | | |

| | | | | |
|--|------|--------|--------------------|--------------------|
| 遠隔授業(オンデマンド:全学共通科目) | | | | 01109 |
| 授業科目名: キャンパスライフ不適應への対策講座 | | | 担当教員氏名: 原田 新・池谷 航介 | |
| University Adjustment Seminar | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 2 学期 | 2 コマ | 50 分×2(受講曜日・時間は任意) |
| <p>【授業の目的】 高校までの学校段階とは異なり、大学では学業面を始め大学生活の様々な面で自主性や自己管理が求められる。特に大学に入学したばかりの1年生は、大学という新しい環境への適応に難しさを持つ場合が多い。本授業の目的は、大学生活の困難さ低減に役立つスキルの向上を促すことで、受講者の高大移行や大学生活の適応に寄与することである。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 本授業では、大学生活で生じる問題や困難さを減らす上で役立つスキルの知識を学ぶと共に、自身で演習を行う。なお、本授業は、オンデマンド授業の形で実施する。毎週、授業の教材動画をアップするので、それを任意の時間に視聴してもらった上で、その週のうちに課題を提出してもらう予定である。</p> <p><授業計画></p> <p>1 週目: 大学生活で何に困りやすいのか 2 週目: 大学特有の社会常識 3 週目: 資源の活用(ICT 機器) 4 週目: 資源の活用(援助要請) 5 週目: 自己管理(時間管理、タスク管理) 6 週目: スモールステップ(雑談スキル) 7 週目: 悪質勧誘対策(アサーションスキル) 8 週目: 気持ちの切り替え</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 無し。毎回パワーポイントの資料を配布します。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 適時、紹介します。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 レポート 44%、提出物 56%とし、総合評価を行う。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 特に大学 1 年生で、入学後に大学生活の様々な面で困り感を抱えている方や大学生活に上手く馴染めていないという方を歓迎します。</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|---|-----|------|---------------|-------------------|
| 対面授業(文学部) | | | | 01001 |
| 授業科目名: 人文学概説(哲学1) | | | 担当教員氏名: 植村 玄輝 | |
| Introduction to Philosophy 1 | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 第1学期 | 1コマ | 50分×4(金曜3・4・5・6限) |
| <p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論証を分析し評価するための基礎スキルを手に入れる。 ・現代哲学の基本的な知識を獲得する。 ・哲学の文献を読む習慣を身に付ける。 | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <p>この授業では、現代哲学がどのような営みであるのかを、いくつかのトピックに話題を絞って概説する。毎回の授業では、表題として掲げられている問いについて、(1)それがいったいどのような問いなのか、(2)その問いへの回答になる立場にはどのようなものがあるのか、(3)その問いがなぜ興味深いのかを中心に解説する。したがってこの授業では、現代のさまざまな哲学者の思想を紹介するというよりも、個別の哲学の問題に対してどのような主張がなされているのか、それらの主張にどのような論証が与えられているのかをはっきりさせることに重点が置かれることになる。</p> | | | | |
| <p>【スケジュール】</p> <p>第1回: イントロダクション／穴は回るのか？(1) 第2回: 穴は回るのか？(2) 第3回: 私たちは他人の心について知ることができるのか？(1) 第4回: 私たちは他人の心について知ることができるのか？(2) 第5回: 私たちは何を見ているのか？(1) 第6回: 私たちは何を見ているのか？(2) 第7回: 心を持つロボットを作ることはできるのか？(1) 第8回: 心を持つロボットを作ることはできるのか？(2) 第9回: 私たちは自由意志にもとづいて行為しているのか？(1) 第10回: 私たちは自由意志にもとづいて行為しているのか？(2) 第11回: 幸福とは何か？(1) 第12回: 幸福とは何か？(2) 第13回: ここまでの授業に関する Q&A 第14回: ここまでの授業に関する Q&A／まとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p>特になし</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> <p>適宜紹介する。主要なものについては、岡山大学のシラバスで当授業を検索すれば見ることができる。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>Moodle 上での小テスト(30%)および期末レポート(70%)で評価する。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】</p> <p>特になし</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|------|--------|---------------|------------------|--|
| 対面授業(教育学部) | | | | 01002 | |
| 授業科目名: 中等社会科・公民科指導法 I A | | | 担当教員氏名: 桑原 敏典 | | |
| Secondary Social Studies (Civics) Teaching Methods I A | | | | | |
| 履修年次 2~4 | 1 単位 | 第 2 学期 | 1コマ | 50 分×2(火曜 7・8 限) | |
| <p>【授業の目的】 次の 3 点を講義の目標とする。 1. 中等教育段階における中等社会科・公民科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用できるようになる。 2. 中等教育段階における中等社会科・公民科の発展的な学習内容について探究し、学習指導への位置づけを考察することができる。 中等社会科・公民科指導法基礎の学びと、自らの学習者としての学びの経験に基づく「教える」という営みの意味を捉え直し、中等社会科・公民科の教科の特質と学習指導の意義を認識することを目的とする。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認 第1回 中等社会科教育の目標論の再考 第2回 公民科教育の目標論の再考 第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆) 第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆) II. 授業構想と模擬授業 第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究 第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想 第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究 第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想 第9回 公民科公共の教材研究 第10回 公民科公共の学習指導の構想 第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究 第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想 III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築 第13回 中等社会科学習指導論の構築 第14回 公民科学習指導論の構築 試験</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 教員免許取得を目指していることが望ましい。 「中等社会科・公民科指導法基礎 A」を履修しておくことが望ましい。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|---|-----|------|---------------|---------------|--|
| 対面授業(教育学部) | | | | 01003 | |
| 授業科目名: 中等社会科・公民科指導法ⅡA | | | 担当教員氏名: 桑原 敏典 | | |
| Secondary Social Studies (Civics) Teaching Methods ⅡA | | | | | |
| 履修年次 2~4 | 1単位 | 第4学期 | 1コマ | 50分×2(火曜7・8限) | |
| <p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 1. 一般的な中学校社会科・公民科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 中学校社会科・公民科授業の分析視点と方法を理解する。 3. 様々な中学校社会科・公民科授業実践の分析を通して、それらの授業構成の理論と方法を把握する。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回: 公民科教育の歴史的変遷と現状 第2回: 公民科教育の課題 第3回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の目標 第4回: 学習指導要領中学校社会科各分野・公民科各科目の目標 第5回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の全体構造 第6回: 学習指導要領中学校社会科・公民科の内容 第7回: 学習指導要領公民科各科目の内容 第8回: 学習指導要領中学校社会科・公民科(公共)の指導上の留意点 第9回: 学習指導要領公民科(倫理)(政治・経済)の指導上の留意点 第10回: 中学校社会科の授業構成原理 第11回: 公民科の授業構成原理 第12回: 中学校社会科の授業分析 第13回: 公民科(公共)の授業分析 第14回: 公民科(倫理)の授業分析 第15回: 公民科(政治・経済)の授業分析 第16回: 試験</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 教員免許取得を目指していることが望ましい。 「中等社会科・公民科指導法ⅠA」を履修しておくことが望ましい。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|-----|------|---------------|---------------|--|
| 対面授業(教育学部) | | | | 01004 | |
| 授業科目名: GCED(グローバルシティズンシップ教育) I | | | 担当教員氏名: 桑原 敏典 | | |
| GCED I | | | | | |
| 履修年次 2~4 | 1単位 | 第3学期 | 1コマ | 50分×2(月曜1・2限) | |
| <p>【授業の目的】 次の3点を講義の目標とする。 (1)グローバル・シティズンシップ教育のカリキュラムについて理解する。 (2)グローバル・シティズンシップ教育の学習指導と評価に関する基礎的な知識とスキルを身に付ける。 (3)グローバル・シティズンシップ教育の課題を理解する。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回 グローバル・シティズンシップ教育とは何か 第2回 日本の教育政策とグローバル・シティズンシップ教育 第3回 ユネスコにおけるグローバル・シティズンシップ教育普及の取り組み 第4回 ユネスコがめざすグローバル・シティズンシップ教育の実際 第5回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第6回 ヨーロッパのシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第7回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの実際 第8回 米国のシティズンシップ教育カリキュラムの分析 第9回 日本におけるシティズンシップ教育の導入 第10回 日本におけるシティズンシップ教育の展開 第11回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の特質 第12回 グローバル社会におけるシティズンシップ教育の課題 第13回 シティズンシップ教育の評価の方法 第14回 シティズンシップ教育の評価の課題 第15回 教師のためのグローバル・シティズンシップ教育 試験</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 テキストは用いない</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017年。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 教員免許取得を目指していることが望ましい。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|--------|---------------|------------------|--|
| 対面授業(教育学部) | | | | 01005 | |
| 授業科目名: 中等社会科・公民科指導法基礎 A | | | 担当教員氏名: 桑原 敏典 | | |
| Secondary Social Studies (Civics) Class Method Basic A | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 4 学期 | 1コマ | 50 分×2(火曜 3・4 限) | |
| <p>【授業の目的】 次の 3 点を講義の目標とする。 1. 一般的な社会科授業の特徴と問題点を理解する。 2. 探求としての社会科授業構成のねらいと方法を理解する。 3. 社会科授業分析や指導案作成のための基礎的な力を養う。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 I. 中等社会科・公民科の目標の再考と授業デザインの方向性の確認 第1回 中等社会科教育の目標論の再考 第2回 公民科教育の目標論の再考 第3回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科探究学習論からの示唆) 第4回 中等社会科・公民科学習指導論の展開(社会科意思決定学習論からの示唆) II. 授業構想と模擬授業 第5回 中等社会科公民的分野政治学習の教材研究 第6回 中等社会科公民的分野政治学習の学習指導の構想 第7回 中等社会科公民的分野経済学習の教材研究 第8回 中等社会科公民的分野経済学習の学習指導の構想 第9回 公民科公共の教材研究 第10回 公民科公共の学習指導の構想 第11回 公民科倫理、政治・経済の教材研究 第12回 公民科倫理、政治・経済の学習指導の構想 III. 中等社会科・公民科学習指導論の構築 第13回 中等社会科学習指導論の構築 第14回 公民科学習指導論の構築 試験</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 ・『中学校学習指導要領解説 社会編』 ・『高等学校学習指導要領解説 公民編』</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 ・社会認識教育学会編『中学校社会科・高等学校公民科教育』学術図書出版、2020 年。 ・森分孝治『社会科授業構成の理論と方法』明治図書、1978 年。 ・渡部竜也『社会科授業づくりの理論と方法』明治図書、2020 年。 ・桑原敏典編著『高校生のための主権者教育実践ハンドブック』明治図書、2017 年。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 数回の課題提出と試験により総合的に評価する。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 教員免許取得を目指していることが望ましい。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|--------|---------------|------------------|--|
| 対面授業(法学部) | | | | 01006 | |
| 授業科目名: 法哲学 | | | 担当教員氏名: 大森 秀臣 | | |
| Philosophy of Law | | | | | |
| 履修年次 3~4 | 1 単位 | 第 3 学期 | 1 コマ | 50 分×2(金曜 3・4 限) | |
| <p>【授業の目的】 本講義は、「法とは何か」、「法的なものの考え方の特徴とは何か」など、法の根源や全体像、法的思考にかかわる様々な問いについて解説する。大きな時代変革に対応する法的取り組みを構想するために、法哲学的な思考を身に着けることは不可欠である。この講義では、法への根源的な問いを考える能力や、法への多角的な視点を身につけることを目的とする。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回: ガイダンス 第2回: 法的思考の特徴 第3回: 法とは何か—法＝強制説の諸問題 第4回: 法とは何か—二つの法体系論 第5回: 法規範—義務賦課規範と権能付与規範、裁決規範と行為規範 第6回: 法規範—ルールと原理 第7回: 法の妥当性—法学的妥当論と社会学的妥当論 第8回: 法の妥当性—心理学的妥当論と哲学的妥当論 第9回: 法と道德 第10回: 自然法論と法実証主義 第11回: 悪法問題 第12回: ハート対フラウー論争 第13回: 法による道德の強制 第14回: パターナリズム</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 とくに指定はしないが、以下の参考書を入手する方が望ましい。</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 ・瀧川裕英・宇佐美誠・大屋雄裕『法哲学』(有斐閣、二〇一四年) ・平野仁彦・亀本洋・服部高宏『法哲学』(有斐閣、二〇〇二年) ・酒匂一郎『法哲学講義』(成文堂、二〇一九年)</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 期末試験(レポート)によって成績評価する。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】</p> | | | | | |

| | | | | |
|--|-----|------|---------------|---------------|
| 対面授業(理学部) | | | | 01007 |
| 授業科目名: 基礎生物学1a | | | 担当教員氏名: 齊藤 恭紀 | |
| Basic Biology 1a | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1単位 | 第1学期 | 1コマ | 50分×2(火曜1・2限) |
| 【授業の目的】 現代生物学が成り立つまでの重要な発見や考えを辿り、生物学史を概観する。 | | | | |
| 【授業内容】 第1週 1. ガイダンス 2. 生命とは何か? 第2週 3. 生命の基本単位:「細胞」-1 4. 生命の基本単位:「細胞」-2 第3週 5. 遺伝子-1 6. 遺伝子-2 第4週 7. 自然淘汰による進化-1 8. 自然淘汰による進化-2 第5週 9. 生命体で発生する膨大な化学反応:「代謝」-1 10. 生命体で発生する膨大な化学反応:「代謝」-2 第6週 11. 情報としての生命-1 12. 情報としての生命-2 第7週 13. 生体膜と区画化-1 14. 生体膜と区画化-2 第8週 15. 期末テスト 16. 期末テスト | | | | |
| 【テキスト】 指定しない。 | | | | |
| 【参考図書】 東京大学生命科学教科書編集委員会編「現代生命科学」羊土社(2021) ポール・ナース著、竹内薫訳「What is life? (ホワット・イズ・ライフ?): 生命とは何か」ヤモンド社(2021) | | | | |
| 【成績評価の方法】 出席、講義中の態度、毎回の簡単なレポート、期末テストの成績をもとに総合評価する。 | | | | |
| 【受講要件】 高校時代に生物を履修していることが望ましい。 | | | | |

| | | | | |
|---|------|--------|---------------|------------------|
| 対面授業(医学部保健学科) | | | | 01008 |
| 授業科目名: 医用画像検査機器工学 | | | 担当教員氏名: 木田 勝博 | |
| Equipment Engineering for Medical Imaging | | | | |
| 履修年次 3 | 1 単位 | 第 1 学期 | 1 コマ | 50 分×2(金曜 3・4 限) |
| <p>【授業の目的】 MRI は, 核磁気共鳴現象を利用して検出した生体信号をコンピュータ処理して画像を再構成する診断装置である。MRI 装置の理論, 原理, 構造について学ぶ。また, 超音波診断装置, 眼底写真装置の原理, 構成を学ぶ。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第 1 回;MRI の原理 第 2 回;MRI 装置 第 3 回;傾斜磁場 第 4 回;画像生成(k-space) 第 5 回;MRI 撮像法① 第 6 回;MRI 撮像法② 第 7 回;MRI の安全管理 第 8 回;MRI の品質管理 第 9 回;超音波の基礎 第 10 回;超音波装置の基礎 第 11 回;超音波の検出と画像表示 第 12 回;超音波画像のアーチファクト 第 13 回;眼底撮影の基礎と手技 第 14 回;眼底撮影装置の構造と眼底画像 第 15 回;まとめテスト</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 毎回の資料は Moodle にアップロードする／基本的に板書は行わない。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 適宜紹介する。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 毎回, 授業後に授業内容に関するミニテストを行い, 期末試験と併せて総合的に評価する。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 機器工学に関する基本的な知識を有していること。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|--------|----------------|------------------|
| 対面授業(歯学部) | | | | 01009 |
| 授業科目名: 痛みの科学 | | | 担当教員氏名: 宮脇卓也・他 | |
| Essays on pain | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 2 学期 | 2 コマ | 50 分×2(月曜 1・2 限) |
| <p>【授業の目的】 痛みはそれを感じる生体への警告信号であり、誰もが日常生活で経験するものです。しかし、それが過剰で持続すれば生活を困難にする場合も生じます。逆に、生活習慣が痛みの原因になることもあります。本授業では、痛みの種類と発生機序、様々な病態における痛みの特徴、および痛みを制御する方法について理解し、日常生活における痛みと健康との関連について考察することを目的としています。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回: 痛みの科学概説(1) 第2回: 痛みの科学概説(2) 第3回: 痛みの神経解剖生理学(1) 第4回: 痛みの神経解剖生理学(2) 第5回: 痛みの神経薬理学(1) 第6回: 痛みの神経薬理学(2) 第7回: 痛みの臨床(1) 第8回: 痛みの臨床(2) 第9回: 痛みの臨床(3) 第10回: 痛みの臨床(4) 第11回: 痛みの臨床(5) 第12回: 痛みの臨床(6) 第13回: 痛みの臨床(7) 第14回: 痛みの臨床(8) 第15回: 痛みの科学のまとめ 第16回: 予備日</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 なし</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 特にありません。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 出席並びにレポート又は小テストによる各担当教員の成績評価を毎回行い、これを集計して総合評価が 60 点以上を合格とします。レポート又は小テストを課すことから、基本的には毎回の出席を合格の条件とします。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】</p> | | | | |

| | | | | | |
|---|------|--------|-----------------|------------------|--|
| 対面授業(歯学部) | | | | 01010 | |
| 授業科目名: 食と栄養の科学 | | | 担当教員氏名: 岡元 邦彰・他 | | |
| Diet and nutrition | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 4 学期 | 2 コマ | 50 分×2(月曜 3・4 限) | |
| <p>【授業の目的】 食にまつわる基礎的知識から始まり、食中毒予防や健康食品情報など生活に即した問題、そして地域規模の食糧問題に至るまで、幅広い題材を使って講義と討論を重ねる。 正解が常に存在するわけではないが、それでも自分で考え続ける習慣を涵養する。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回(12月7日): 岡元邦彰(歯科薬理学): 食と薬剤、食物アレルギー 第2回(12月14日): 堀江謙吾(口腔生理学): 現代の食の問題、食の生理 第3回(12月21日): 河田かずみ(口腔生化学): 三大栄養素の科学、微量栄養素の科学 第4回(1月12日): 山中玲子(予防歯科学): 健康食品、歯を守る食品 第5回(1月18日): 野島靖子(スペシャルニーズ歯科): 咀嚼の科学、嚥下の科学 第6回(1月25日): 丸山貴之(予防歯科学): 食中毒、寄生虫 第7回(2月1日): 園井教裕(医療教育センター): 多職種で支えるフレイル, サルコペニア対策: 第8回(2月8日): 園井教裕(医療教育センター): 口腔機能と栄養(オンデマンド授業)</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 該当なし</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 基本的に資料は配布しない。一部講師は moodle にて資料を配布する場合がある。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 主にレポート(小テスト)の内容を重視します。 ・本講義はオムニバス形式の講義です。 ・各回、各担当教員が出席、レポート(小テスト)を基に成績評価します。 ・全8回分の平均(公欠除く)を総合成績とします。 ・各回の欠席は0点となります。 ・全講義の 3/4 の出席が必須です(3 回以上の欠席で不可,公欠含む)。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 特になし</p> | | | | | |

| | | | | |
|---|------|------|------------------------------|---|
| 対面授業(工学部) | | | | 01011 |
| 授業科目名: 先端半導体テクノロジー入門 | | | 担当教員氏名: 高橋 和・紀和 利彦・ 鶴田 健二 | |
| Introduction to advanced semiconductor technology | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 夏季集中 | 2 日間 | 8 月 7 日(金) 8:40~17:20 8 月 10 日(月) 8:40~17:20 |
| <p>【授業の目的】 AI・EV 普及を支える半導体産業は、2033 年世界市場 200 兆円を越す市場へ成長する見通しで、日本国も 6,000 億円以上の巨額予算を投資する最重要分野に選定されています。皆さんが卒業する頃、“半導体テクノロジー”は市場価値の高い人材に必須の知識になっています。本授業では、企業の現役研究者をゲスト講師として迎え、このテクノロジーを支える技術と応用の状況と共に、どのように各種産業と関連して成り立っているのかを講述し、ひいては、受講者が高年次で履修する専門科目と社会との関係性を理解する上で必須の素養を提供します。</p> <p>(一般目標) ・次世代半導体テクノロジーが社会でどのように活用されているかを理解できる。 ・次世代半導体テクノロジーの基礎を構成する技術について理解できる。 ・次世代半導体テクノロジーの産業構造とビジネスについて理解できる。</p> <p>(個別目標) (1) 各種半導体デバイスの応用・製造プロセスを理解する。 (2) 半導体製造装置・素材を理解する。 (3) 半導体サプライチェーン・バリューチェーンを理解する。 (4) 半導体ビジネスについて理解する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 スマホはどうやって動いてる? ~イントロダクション~ 2 新幹線や EV を動かしているものは??? ~パワーエレクトロニクス~ 3 ”ウエハ”のトリセツ ~半導体の”作り方”~ 4 半導体を“使える”ようにする技術 5 日本人ノーベル賞受賞者が牽引した光半導体とビジネス応用 6 日本の”勝ち筋”は? ~半導体産業を支える日本の強み~ 7 身近にある半導体デバイスの原理を知る ~成長を続ける半導体を産業と経済から考える~ 8 半導体の最先端とは何か? 製造業で働くとは?</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 資料を PDF ファイル等で配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 特になし</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 レポート(100%)</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 特になし</p> | | | | |

| 対面授業(農学部) | | | | 01012 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|----------------------|---------------|-------------------------|-------------|-------------|-------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|--------------------|------------------|-------------------|---------------------|-------------------|--------------------|--------------------|----------------------|----------|---------------------|---------------------|--|--------------------|--------------------|--|----------|--------------------|
| 授業科目名: 農場体験実習 | | | 担当教員氏名: 福田 文夫 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Experience of Farm Practice | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 夏季集中 | 3 日間 | 9 月 28 日(月)~9 月 30 日(水) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業の目的】 農学部附属山陽圏フィールド科学センターにおいて、実際の農場での作業や運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の面白さや奥深さについて理解を深める。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業内容】 1. 受講を希望する学生は事前に担当教員(ffukuda@(@以下は okayama-u.ac.jp))に直接メールにて問い合わせ下さい(希望人数によっては抽選になります)。 7 月 31 日(金)17:00 より、農学部第 3 講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。</p> <p>2. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間(9 月 28、29、30 日)、以下のような要領で実習を行います(一部、農学部 2 年生と共に実習)。 1) 野菜部門(岡山農場)、果樹部門(岡山農場)、水田部門(岡山農場)、畜産部門(津高牧場)において、教員・技術職員とともに作業を行い、農業技術の体系を習得して、その必要性、合理性を理解するとともに、農業の面白さや奥深さを感じてもらう。 2) 実習日程(詳細については、天候などの条件他で、時間帯を含め変更となる可能性がある)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">9 月 28 日(月)</th> <th style="text-align: center;">9 月 29 日(火)</th> <th style="text-align: center;">9 月 30 日(水)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30-11:45 センター紹介</td> <td>9:00-10:15 果樹園管理 1</td> <td>9:00- 9:30 移動(津高牧場)</td> </tr> <tr> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>10:30-11:45 畑雑草の管理</td> <td>9:45-10:45 草地の管理</td> </tr> <tr> <td>13:15-15:00 水田の管理</td> <td>11:45-13:15 昼食(生協等)</td> <td>11:00-12:00 和牛の管理</td> </tr> <tr> <td>15:15-17:00 野菜の管理1</td> <td>13:15-15:00 ブドウの収穫</td> <td>12:00-12:30 移動(岡山農場)</td> </tr> <tr> <td>17:00 解散</td> <td>15:15-16:00 果樹園管理 2</td> <td>12:30-14:00 昼食(生協等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:00-17:00 ブドウの評価</td> <td>14:00-16:00 野菜の管理2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:00 解散</td> <td>16:00-16:30 着替え、解散</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 終了後、指示されたレポートは、Moodle にて担当教員へ提出する。</p> | | | | | 9 月 28 日(月) | 9 月 29 日(火) | 9 月 30 日(水) | 10:30-11:45 センター紹介 | 9:00-10:15 果樹園管理 1 | 9:00- 9:30 移動(津高牧場) | 11:45-13:15 昼食(生協等) | 10:30-11:45 畑雑草の管理 | 9:45-10:45 草地の管理 | 13:15-15:00 水田の管理 | 11:45-13:15 昼食(生協等) | 11:00-12:00 和牛の管理 | 15:15-17:00 野菜の管理1 | 13:15-15:00 ブドウの収穫 | 12:00-12:30 移動(岡山農場) | 17:00 解散 | 15:15-16:00 果樹園管理 2 | 12:30-14:00 昼食(生協等) | | 16:00-17:00 ブドウの評価 | 14:00-16:00 野菜の管理2 | | 17:00 解散 | 16:00-16:30 着替え、解散 |
| 9 月 28 日(月) | 9 月 29 日(火) | 9 月 30 日(水) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10:30-11:45 センター紹介 | 9:00-10:15 果樹園管理 1 | 9:00- 9:30 移動(津高牧場) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11:45-13:15 昼食(生協等) | 10:30-11:45 畑雑草の管理 | 9:45-10:45 草地の管理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:15-15:00 水田の管理 | 11:45-13:15 昼食(生協等) | 11:00-12:00 和牛の管理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15:15-17:00 野菜の管理1 | 13:15-15:00 ブドウの収穫 | 12:00-12:30 移動(岡山農場) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17:00 解散 | 15:15-16:00 果樹園管理 2 | 12:30-14:00 昼食(生協等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 16:00-17:00 ブドウの評価 | 14:00-16:00 野菜の管理2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 17:00 解散 | 16:00-16:30 着替え、解散 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【テキスト】 特に使用せず、実習内容の説明にプリント・プロジェクター等を適宜用いる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【参考図書】 応用植物科学栽培実習マニュアル、森源治郎ほか監修、養賢堂、東京(2000)ISBN4-8425-0058-1</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【受講要件】 学研災加入を履修の条件とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|--|------|--------|-------------------------|------------------|
| 対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム) | | | | 01013 |
| 授業科目名: Introductory Mathematics I | | | 担当教員氏名: Md. Azhar Uddin | |
| Introductory Mathematics I | | | ※英語による授業 | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 3 学期 | 1 コマ | 50 分×2(月曜 7・8 限) |
| 【授業の目的】 This subject is designed for students who enter university without a strong background in mathematics. This course is an introductory mathematics course which will cover basic skills in numeracy, algebra, linear function and graphing. The course aims to provide a sound foundation in basic mathematical skills and an introduction to their application to problem solving. | | | | |
| 【授業内容】 1. Algebra of factorials and quadratic functions 2. Exponents and logarithms 3. Polynomials 4. Trigonometric functions 5. Graphical methods 6. Sequences and series 7. Binomial expansion 8. Final examination 完全に英語による授業 | | | | |
| 【テキスト】 N/A | | | | |
| 【参考図書】 Lecture PowerPoint file and reference books in pdf will be uploaded to Moodle. | | | | |
| 【成績評価の方法】 Regular attendance. Exercises and final test are combined for grading. | | | | |
| 【受講要件】 N/A | | | | |

| | | | | | |
|--|------|--------|-------------|------------------|--|
| 対面授業(グローバル・ディスカバリー・プログラム) | | | | 01014 | |
| 授業科目名: Introductory Mathematics II | | | 担当教員氏名: 唐 健 | | |
| Introductory Mathematics II | | | ※英語による授業 | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 4 学期 | 1 コマ | 50 分×2(月曜 7・8 限) | |
| <p>【授業の目的】 In this course, we teach mathematics on trigonometry, vectors, sequences, calculus, and statistics. With these mathematics, you can pursue college-level learning on mathematics.</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 1. Further trigonometry 2. Vectors 3. Sequences 4. Differentiation 5. Integration 6. Statistical data 7. Probability 8. Final examination</p> <p>完全に英語による授業</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 N/A</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 Lecture powerpoint file and reference books in pdf will be uploaded to Moodle.</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 Exercises on Moodle are necessary after every class. Exercises and final test are combined for grading.</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 N/A</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|--------|--------------|------------------|--|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01015 | |
| 授業科目名: 中国語中級 | | | 担当教員氏名: 孫 路易 | | |
| Intermediate Chinese | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 1 学期 | 2 コマ | 50 分×2(火曜 3・4 限) | |
| 【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成 | | | | | |
| 【授業の内容】 第 1 学期 第 1 回:授業内容の概説等と第一課「旧友重逢」(前半) 第 2 回:第一課「旧友重逢」(後半) 第 3 回:第二課「作客」(前半) 第 4 回:第二課「作客」(後半) 第 5 回:第三課「中国菜」(前半) 第 6 回:第三課「中国菜」(後半) 第 7 回:第四課「大手饅頭」 第 8 回:まとめと試験 | | | | | |
| 【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6) | | | | | |
| 【参考図書】 授業中で紹介する。 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 60% | | | | | |
| 【受講要件】 中国語初級履修経験者 担当教員からの履修許可があれば 1 年生も履修可 | | | | | |

| | | | | | |
|---|------|--------|--------------|------------------|--|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01016 | |
| 授業科目名: 中国語中級 | | | 担当教員氏名: 孫 路易 | | |
| Intermediate Chinese | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 2 学期 | 2 コマ | 50 分×2(火曜 3・4 限) | |
| 【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成 | | | | | |
| 【授業の内容】 第 2 学期 第 1 回: 第五課「中国的名特産」(前半) 第 2 回: 第五課「中国的名特産」(後半) 第 3 回: 第六課「茶食」(前半) 第 4 回: 第六課「茶食」(後半) 第 5 回: 第七課「告辞」(前半) 第 6 回: 第七課「告辞」(後半) 第 7 回: 第八課「黄山」 第 8 回: まとめと試験 | | | | | |
| 【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6) | | | | | |
| 【参考図書】 授業中で紹介する。 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 60% | | | | | |
| 【受講要件】 中国語初級履修経験者 担当教員からの履修許可があれば 1 年生も履修可 | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|--------|--------------|------------------|--|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01017 | |
| 授業科目名: 中国語中級 | | | 担当教員氏名: 孫 路易 | | |
| Intermediate Chinese | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 3 学期 | 2 コマ | 50 分×2(火曜 3・4 限) | |
| 【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成 | | | | | |
| 【授業の内容】 第 3 学期 第 1 回:第九課「坐卧铺去」(前半) 第 2 回:第九課「坐卧铺去」(後半) 第 3 回:第十課「大観園」(前半) 第 4 回:第十課「大観園」(後半) 第 5 回:第十一課「中国園林」(前半) 第 6 回:第十一課「中国園林」(後半) 第 7 回:映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験 | | | | | |
| 【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6) | | | | | |
| 【参考図書】 授業中で紹介する。 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 60% | | | | | |
| 【受講要件】 中国語初級履修経験者 担当教員からの履修許可があれば 1 年生も履修可 | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|--------|--------------|------------------|--|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01018 | |
| 授業科目名: 中国語中級 | | | 担当教員氏名: 孫 路易 | | |
| Intermediate Chinese | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 4 学期 | 2 コマ | 50 分×2(火曜 3・4 限) | |
| 【授業の目的】 1,新たな外国語の習得 2,知的能力の涵養 3,異文化理解を通じた人間形成 | | | | | |
| 【授業の内容】 第 4 学期 第 1 回:第十二課「茶壺」(前半) 第 2 回:第十二課「茶壺」(後半) 第 3 回:第十三課「成語」(前半) 第 4 回:第十三課「成語」(後半) 第 5 回:第十四課「対聯」(前半) 第 6 回:第十四課「対聯」(後半) 第 7 回:映画鑑賞 第 8 回:まとめと試験 | | | | | |
| 【テキスト】 『システムティック中国語<中級>』(孫路易等、本体 2500 円+税、郁文堂、ISBN 978-4-261-01864-6) | | | | | |
| 【参考図書】 授業中で紹介する。 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 出席 20%、授業参加 20%、期末試験 60% | | | | | |
| 【受講要件】 中国語初級履修経験者 担当教員からの履修許可があれば 1 年生も履修可 | | | | | |

| | | | | |
|---|------|--------|---------------|------------------|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01019 |
| 授業科目名: 生命保険を考える | | | 担当教員氏名: 山本 一輝 | |
| Overview of the Life Insurance Business in Japan | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 1 学期 | 2 コマ | 50 分×2(月曜 5・6 限) |
| <p>【授業の目的】 生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習(下記) 1. 社会保障制度の概要,生活設計とリスク管理 2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の歴史・役割 3. 生命保険契約の基本, 消費者保護や利便性向上の取組 4. 生命保険会社の組織・業務・社会的役割 等</p> <p>○また実践的な作業も実施(下記) 1. 生命保険契約における保険料の算出根拠 2. 必要保障額の算出</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 ・授業レジュメを資料配布する。 ・字幕のない DVD を使用することがあります。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 書名: 図説生命保険ビジネス第 2 版 著者名: 山本祥司/川野眞一郎、他 出版社: 一般社団法人金融財政事情研究会 出版年度: 2022</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね 40 点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね 60 点程度)を総合的に評価する。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 特になし</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|--------|---------------|------------------|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01020 |
| 授業科目名: 生命保険を考える | | | 担当教員氏名: 山本 一輝 | |
| Overview of the Life Insurance Business in Japan | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 2 学期 | 2 コマ | 50 分×2(月曜 7・8 限) |
| <p>【授業の目的】 生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割、さらに、生命保険会社の基本的な業務等、これからの持続可能な社会生活を営んでいく上での役に立つ知識の習得や目標達成を通じた生活設計、生活上のリスク管理能力の習得・向上</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 ○社会保障問題を背景に、今後一層必要性が高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習。(下記参照) 1. 社会保障制度の概要 2. 生命保険の基礎的な知識,生命保険の果たす役割 3. 生命保険契約のしくみ 4. 生命保険会社の組織・業務 等</p> <p>○また実践的な作業も実施。(下記参照) 1. 生命保険契約における保険料の算出 2. 必要保障額の算出</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 ・授業レジュメを資料配布する。 ・字幕のない DVD を使用することがあります。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 書名: 図説生命保険ビジネス第 2 版 著者名: 山本祥司/川野真一郎、他 出版社: 一般社団法人金融財政事情研究会 出版年度: 2022</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業時の受講カード(アンケート、理解確認テスト、レポート等)提出による授業寄与度(概ね 40 点程度)、および期末試験(穴埋め問題、記述問題)(概ね 60 点程度)を総合的に評価する。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 特になし</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|------|-----------------------------|---|
| 対面授業(全学共通科目) | | | 01021 | |
| 授業科目名: ”アタリマエ”の科学 ～スマホに映る半導体と社会～ | | | 担当教員氏名: 宮崎 悟 | |
| Science in smartphones and society with semiconductors, none of which are taken for granted. | | | | |
| 履修年次 1～4 | 1 単位 | 夏季集中 | 1 時限:50 分 として 計 16 時限 | 第 1 回 9/8(火)8:40-15:15(6 時限) 第 2 回 9/9(水)8:40-15:15(6 時限) 第 3 回 9/10(木)8:40-12:35(4 時限) |
| <p>【授業の目的】 私たちが日常アタリマエ(当然)のように使っているスマートフォン。実はそのアタリマエは、半導体を含むたくさんの技術や知見といったエンジニアリング(工学)が社会的に長い年月をかけて蓄積されてきた成果です。しかし、もしかしたらそれがアタリマエではなくなるかも、あるいはアタリマエではないかもしれません。この授業では、アタリマエとしてのエンジニアリングをどのように理解し、理解した上でそれが正しいのか、正しくないのか、こうすれば正しくなるのか、どのように社会とつながっているのか、といった科学的論理思考の素養を学習することを目的に、講義と実践(社会見学やグループディスカッション・プレゼンテーション)を行います。</p> <p>私たちの日常は科学(サイエンス)に溢れています。身近なサイエンスというものを適切に理解し、尊敬(リスペクト)しつつも、時にそれを疑い(サスペクト)、よりよいサイエンスを創り出すことが重要です。そして、サイエンスを取り巻く社会環境までも把握し理解することも重要です。この授業では、サイエンスのリスペクト&サスペクト、そして社会実装を実践的に学び、これからの学生生活をより知的で有意義なものとするという存在意義があります。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 授業は 2026 年 9 月に行う予定です。 実習と工場見学の内容について、少し変更になる可能性もあるので、随時情報を update いたします。</p> <p>【第 1 回】 9/8 講義・実習 1 時限目(8:40-9:30)講義「アタリマエの科学」 はじめにみなさんと Ice Breaking を行います。その後、科学とイノベーションについてお話しします。 2 時限目(9:40-10:30)講義「半導体をざっくり知る」by ゲスト講師 半導体メーカーの方をゲスト講師にお招きし、半導体はどのような原理で動いていて、どのように構成され、どのように製品化され、どのように社会実装されているか、などをお話しいたします。 3・4 時限目(10:45-12:35) 実習「スマホを分解してみよう」 グループで実際にスマホを分解してみましょう。2 時限目で説明したことを身をもって体験していただきます。 5 時限目(13:25-14:15) 講義「半導体の作り方」by ゲスト講師 翌日工場見学に行きます半導体企業のゲスト講師をお招きし、半導体がどのようにして作られるのかを説明いただきます。工場見学に向けての準備運動です。 6 時限目(14:25-15:15) 実習「内省とテーマ設定」by ゲスト講師 半導体工場においてアタリマエだけアタリマエでない現場の課題を説明いただきます。その課題について、自分ならどのように捉えるかといった翌日の工場見学に向けてのテーマ設定をしていただきます。もちろん、これ以外にご自身でテーマを設定いただいても OK です。テーマ設定のお手伝いはしますので安心して臨んでください。</p> | | | | |

【第2回】9/9 工場見学・ワークショップ

1 時限目(8:40-9:30) 工場へ移動

工場見学先に移動します。

移動手段の費用は学生負担となる可能性もありますが、そんなに高くありません。改めてご連絡いたします。

2・3・4 時限目(9:40-12:35) 工場見学

半導体の製造現場をグループで見学します。昨日設定したテーマで、しっかりと色々なものを見て聞いて知ってください。

5・6 時限目(13:25-15:15) ワークショップ@工場

自分で設定したテーマについて、実際にどうだったか、自分はどう考えるかといったことを内省し、明日のプレゼンテーションと最終考課に向けての準備をします。グループ単位、もちろん個人単位でも OK です。色々な人と議論してください。工場の方々も同席されますので、色々なことを質問攻めにしてもらって結構です。

【第3回】9/10 プレゼンテーション・最終考課

1・2 時限目(8:40-10:30) プレゼンテーション

みなさんお一人ずつ、自分で設定したテーマに対する考えをプレゼンテーション(パワーポイント)していただきます。ゲスト講師の方々もオンラインで参加される予定ですので、色々な方々からの質問に答えてください。

設定したテーマの内容、プレゼン、質疑応答を評価します。

3・4 時限目(10:45-12:35) 最終考課

最終考課を行います。ノート PC をご用意ください。持っていない方は担当教員までご連絡ください。

【テキスト】

なし

【参考図書】

なし

【成績評価の方法】

概ね、以下の項目と配分で評価します。

出席率:10%

受講態度:10%

主体積極性:20%

レポート・プレゼンテーション:60%

【受講要件】

特になし

| | | | | |
|---|------|--------|--------------|------------------|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01022 |
| 授業科目名: 韓国語中級 | | | 担当教員氏名: 陳 南澤 | |
| Intermediate Korean | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 1 学期 | 2 コマ | 50 分×2(火曜 5・6 限) |
| <p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第 1~7回 :プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 第8回 : 最終試験</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 プリント</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 期末試験(60%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(40%)で、総合的に評価する。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 1 学期と 2 学期をセットで受講することが望ましい。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|--------|--------------|------------------|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01023 |
| 授業科目名: 韓国語中級 | | | 担当教員氏名: 陳 南澤 | |
| Intermediate Korean | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 2 学期 | 2 コマ | 50 分×2(火曜 5・6 限) |
| <p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第 1~7回 :プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 第8回 : 最終試験</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 プリント</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 期末試験(60%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(40%)で、総合的に評価する。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 1 学期と 2 学期をセットで受講することが望ましい。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|--------|--------------|------------------|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01024 |
| 授業科目名: 韓国語中級 | | | 担当教員氏名: 陳 南澤 | |
| Intermediate Korean | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 3 学期 | 2 コマ | 50 分×2(火曜 5・6 限) |
| <p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第 1~7回 :プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 第8回 : 最終試験</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 プリント</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 期末試験(60%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(40%)で、総合的に評価する。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 3 学期と 4 学期をセットで受講することが望ましい。</p> | | | | |

| | | | | | |
|---|------|--------|--------------|------------------|--|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01025 | |
| 授業科目名: 韓国語中級 | | | 担当教員氏名: 陳 南澤 | | |
| Intermediate Korean | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 4 学期 | 2 コマ | 50 分×2(火曜 5・6 限) | |
| <p>【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と、韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。 韓国語能力試験 2級合格を目指す。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 第 1~7回 :プリントによる韓国語の文型や単語の習得: 第8回 : 最終試験</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 プリント</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 期末試験(60%)、小テスト・授業への取り組み・出席状況(40%)で、総合的に評価する。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。 履修希望者は、「単位互換履修科目履修願」に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません。)を添えて提出してください。 3 学期と 4 学期をセットで受講することが望ましい。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|-----|------|--|---------------|--|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01026 | |
| 授業科目名: 安全衛生入門 | | | 担当教員氏名: 中西 真・寺東 宏明・岩崎 良章・ 崎田 真一・岡本 崇 | | |
| Introduction of Safety and Health | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1単位 | 第1学期 | 2コマ | 50分×2(月曜5・6限) | |
| <p>【授業の目的】 どのような職種においても仕事における安全衛生管理は必要なものである。その管理は産業医や衛生管理者など多くの専門家によって担われているが、個々の労働者の自覚と対応もまた必須である。本講義の目的は職場の安全衛生管理がどのように維持されているのかについて知ることであり、このことは仕事をする際の自分と周囲の安全と健康を守るために重要である。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 職場の安全衛生管理は労働者が健康で安全に仕事をする上で必要なものであり、法令でも規定されている。本講義では安全衛生に関する基本的な知識を、各トピックの専門家による講義・演習によって習得することを目的とする。 講師は学内の衛生管理者、放射線取扱主任者、産業医等を招聘し、安全衛生管理の仕組み、化学物質管理、健康管理、放射線安全管理、関連法令等をテーマにする。到達目標は、①安全衛生管理の仕組みについて理解する、②安全衛生管理に関連する法令・規制について理解する、③安全衛生管理に関連する資格について理解する、④日本の労働安全衛生の状況について理解する、⑤職場において安全衛生管理の知識を持って適切な行動が出来る、である。 授業は全8回で、内容は①ガイダンス、日本の労働安全衛生の状況、②作業環境要素、③作業環境管理、④放射線安全管理、⑤化学物質管理、⑥健康管理、⑦安全衛生関連法令、⑧期末試験、である。</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 指定しない。</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 講義中に紹介する。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 期末試験、講義中の小テスト、レポートの合算で評価する。100点満点で、講義中の小テストやレポートは各10点で回数は未定。期末試験の配点は小テストとレポートの実施回数で変動する。</p> | | | | | |
| <p>【受講要件】 特になし。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|--------|---|------------------|--|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01027 | |
| 授業科目名: 数理・データサイエンスの基礎 | | | 担当教員氏名: 羅 明振 | | |
| Basic Mathematical and Data Sciences | | | (定員 10名) | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 第 3 学期 | 2 コマ | 50 分×2(木曜 3・4 限) | |
| 【授業の目的】 データサイエンスの基盤となる統計および数理の基礎と、データサイエンスの応用事例を修得し、さらに機械学習の概念を学んで、データサイエンスの果たす役割を概観する | | | | | |
| 【授業内容】 滋賀大学開発教材(ds-mooc 教材)を活用し、以下の内容を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ● 現実の課題に対するデータサイエンスの役割を理解 ● データの基本的な分析方法を理解し、コンピュータを用いて実践 ● データサイエンスの応用事例を知り、機械学習の概要や基礎を理解 なお、PC を用いた確認テストや課題作成等を実施するので、用意して授業に臨むこと | | | 授業計画: <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会におけるデータサイエンス(1) 2. データ分析の基礎(1) 3. コンピュータを用いたデータ分析 4. データ分析の基礎(2), 現代社会におけるデータサイエンス(2) 5. 機械学習の基礎, 機械学習の事例紹介 6. 機械学習の発展(ニューラルネットワーク) 7. 政治学におけるデータ活用 (計画の順番が前後することがある) | | |
| 【テキスト】 “大学生のためのデータサイエンス(I)オフィシャルスタディノート改訂版”, “大学生のためのデータサイエンス(II)【機械学習】 オフィシャルスタディノート”, 日本統計協会(滋賀大学データサイエンス学部編) | | | | | |
| 【参考図書】 なし | | | | | |
| 【成績評価の方法】 滋賀大学開発教材による確認テスト、岡大 Moodle による小テスト、ならびに講義内容に関する演習課題の提出(評価)にて、総合的に評価する。 | | | | | |
| 【受講要件】 なし | | | | | |

| | | | | |
|--|------|----|---------------|----------------|
| 対面授業(全学共通科目) | | | | 01028 |
| 授業科目名: 健康・スポーツ科学 C | | | 担当教員氏名: 鈴木 久雄 | |
| Health and Sports Sciences | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 通年 | 1 コマ | 水曜 18:30~20:20 |
| <p>【授業の目的】 科学的な視点から運動やスポーツ、健康について学び、スポーツ実践や健康づくりに役立てる。 また、個々人が自ら設定した課題を探究し、理論と実践の融合をはかる。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 I. オリエンテーション 4 月 15 日(水)18:30~オリエンテーション(岡山大学一般教育棟 D 棟 1 階スポーツ支援室にて)</p> <p>II. 講義 場所は岡山大学一般教育棟 E 棟 E11 教室 1) 4 月 22 日(水)これであなたもエキスパート!? スポーツ外傷・傷害の ABC 2) 5 月 20 日(水)暑さ対策 3) 6 月 24 日(水)メディア&テクノロジーの発達とスポーツの変化 4) 7 月 22 日(水)スポーツと心臓 5) 10 月 21 日(水)スポーツと栄養~パフォーマンス向上のための食べ方~ 6) 11 月 11 日(水)スポーツ歯学 7) 12 月 16 日(水)スポーツと法</p> <p>III. まとめ(ディスカッション) 12 月 16 日(水)講座後にまとめを行う(岡山大学一般教育棟 D 棟 1 階スポーツ支援室にて)</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 テキストは使用しない。毎回、資料およびレポート用紙を配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 特になし</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 講義レポート 80%、ディスカッション 20%より評価する。</p> | | | | |
| <p>【受講要件】 特になし</p> | | | | |

令和8年度 **前期** **第1・2学期** **夏季集中** 開講科目用

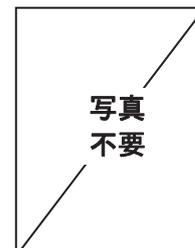
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------------|----|----------|-------------|---|--|
| 所属大学等 | 大学 | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | 学科 | 年 | |
| (所属大学) 学生番号 | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | | |
| | | | 昭和・平成 年 月 日 | | |
| 現住所 | 〒 | | Tel () - | | |
| メールアドレス | @ | | | | |

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

* 履修受付締切日：前期・第1～2学期・夏季集中：4月1日(水)15時まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|-----------------------|----|---------------|----|------|------|---|----------------|------|----|
| 遠隔授業科目 | | | | | | | | | | |
| 01101 | 人文学概説(美学a) | 専門 | 川野 恵子 | 1 | 第1学期 | 2~4 | オンライン | 火 10:45~12:35 | | |
| 01102 | 人文学概説(美学b) | 専門 | 川野 恵子 | 1 | 第2学期 | 2~4 | オンライン | 火 10:45~12:35 | | |
| 01104 | 人文学概説(西洋美術史a) | 専門 | 龍野 有子 | 1 | 第1学期 | 2~4 | オンデマンド | 木 13:25~15:15 | | |
| 01105 | 人文学概説(西洋美術史b) | 専門 | 龍野 有子 | 1 | 第2学期 | 2~4 | オンデマンド 「人文学概説(西洋美術史a)」を受講済みであること | 木 13:25~15:15 | | |
| 01109 | キャンパスライフ不 適応への対策講座 | 教養 | 原田 新 池谷 航介 | 1 | 第2学期 | 1~4 | オンデマンド ●特に大学1年生で、入学後に大学生活の様々な面で困り感を抱えている方や大学生活に上手く馴染めていないという方を歓迎 | 受講の曜日や時間は学生の任意 | | |

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|------------------------------|----|--------------------------|----|----------------|------|---|--|------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 01001 | 人文学概説(哲学1) | 専門 | 植村 玄輝 | 2 | 第1学期 | 2~4 | | 金 10:45~15:15 | | |
| 01002 | 中等社会科・公民科指導法IA | 専門 | 桑原 敏典 | 1 | 第2学期 | 2~4 | 「中等社会科・公民科指導法基礎A」を履修しておくことが望ましい | 火 15:30~17:20 | | |
| 01007 | 基礎生物学1a | 専門 | 齊藤 恭紀 | 1 | 第1学期 | 1~4 | | 火 8:40~10:30 | | |
| 01008 | 医用画像検査機器工学 | 専門 | 木田 勝博 | 1 | 第1学期 | 3 | 定員5名 | 金 10:45~12:35 | | |
| 01009 | 痛みの科学 | 専門 | 宮脇 卓也 他 | 1 | 第2学期 | 1~4 | | 月 8:40~10:30 | | |
| 01015 | 中国語中級 | 教養 | 孫 路易 | 1 | 第1学期 | 1~4 | | 火 10:45~12:35 | | |
| 01016 | 中国語中級 | 教養 | 孫 路易 | 1 | 第2学期 | 1~4 | | 火 10:45~12:35 | | |
| 01019 | 生命保険を考える | 教養 | 山本 一輝 | 1 | 第1学期 | 1~4 | | 月 13:25~15:15 | | |
| 01020 | 生命保険を考える | 教養 | 山本 一輝 | 1 | 第2学期 | 1~4 | | 月 15:30~17:20 | | |
| 01022 | 韓国語中級 | 教養 | 陳 南澤 | 1 | 第1学期 | 1~4 | 第1学期と第2学期を併せて受講することが望ましい | 火 13:25~15:15 | | |
| 01023 | 韓国語中級 | 教養 | 陳 南澤 | 1 | 第2学期 | 1~4 | | 火 13:25~15:15 | | |
| 01026 | 安全衛生入門 | 教養 | 中西 真 他 | 1 | 第1学期 | 1~4 | | 月 13:25~15:15 | | |
| 01028 | 健康・スポーツ科学C | 教養 | 鈴木 久雄 | 1 | 第1~4学期 またがり | 1~4 | | 水 18:30~20:20 | | |
| 01011 | 先端半導体テクノロジー入門 | 専門 | 高橋 和利彦 紀和 健二 鶴田 健二 | 1 | 夏季集中 | 1~4 | | 8/7(金) 8:40~17:20 8/10(月) 8:40~17:20 (計16時間) | | |
| 01012 | 農場体験実習 | 専門 | 福田 文夫 | 1 | 夏季集中 | 1~4 | 場所:岡山大学農学部山陽圏フィールド科学センター 定員:15名程度 ●学研災加入を履修の条件とする | 9/28(月)~9/30(水) (3日間) | | |
| 01021 | ”アタリマエ”の科学 ～スマホに映る半導体と社会～ | 教養 | 宮崎 悟 | 1 | 夏季集中 | 1~4 | 第2回は学外(工場見学) | 第1回 9/8 8:40~15:15 (計6時限) 第2回 9/9 8:40~15:15 (計6時限) 第3回 9/10 8:40~12:35 (計4時限) | | |

| | | | |
|--|--------|-------|----|
| 写真提出枚数 (カラー、4cm×3cm、裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 0枚 | 0枚 | 0枚 |

令和8年度 後期 第3・4学期 開講科目用

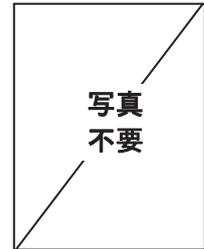
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

岡山大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏 名 | | | |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | |
|----------------|----------------------------------|-----------|-------------|--|
| 所属大学等 | 大学 | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | 学科 | 年 | |
| (所属大学) 学生番号 | 性別 | 生年 月 日 | 西暦 年 | |
| | 男・女・その他 | | 昭和・平成 年 月 日 | |
| 現住所 | 〒 — — — — — Tel () — — — — — | | | |
| メールアドレス | @ | | | |

※なるべく所属大学で付与されているメールアドレスをご記入ください。

* 履修受付締切日： 後期・第3～4学期：9月17日(木)15時まで

* 区分(教養/専門)： 開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|---------------|----|---|----|------------|------|---|---------------|------|----|
| 遠隔授業科目 | | | | | | | | | | |
| 01103 | 人文学概説(倫理学2b) | 専門 | 本村 昌文 | 1 | 第4学期 | 2～4 | 対面とのハイブリッド | 月 15:30～17:20 | | |
| 01106 | 人文学講義(西洋美術史a) | 専門 | 龍野 有子 | 1 | 第3学期 | 2～4 | オンデマンド 「人文学概説(西洋美術史a)」、「人文学概説(西洋美術史b)」を受講済みであること | 木 13:25～15:15 | | |
| 01107 | 人文学講義(西洋美術史b) | 専門 | 龍野 有子 | 1 | 第4学期 | 2～4 | オンデマンド 「人文学概説(西洋美術史a)」、「人文学概説(西洋美術史b)」、「人文学講義(西洋美術史a)」を受講済みであること | 木 13:25～15:15 | | |
| 01108 | セキュリティ概論 | 専門 | 野上 保之 福島 行信 五百旗頭 健吾 小寺 雄太 三浦 秀芳 | 2 | 第3 第4学期 | 3～4 | ハイブリッド授業 | 月 15:30～17:20 | | |

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|-----------------------------|----|--------------------|----|------|------|--------------------------------|---------------|------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 01003 | 中等社会科・公民科指導法ⅡA | 専門 | 桑原 敏典 | 1 | 第4学期 | 2～4 | 「中等社会科・公民科指導法ⅠA」を履修しておくことが望ましい | 火 15:30～17:20 | | |
| 01004 | GCED(グローバルシティズンシップ教育)Ⅰ | 専門 | 桑原 敏典 | 1 | 第3学期 | 2～4 | 教員免許取得を目指していることが望ましい | 月 8:40～10:30 | | |
| 01005 | 中等社会科・公民科指導法基礎A | 専門 | 桑原 敏典 | 1 | 第4学期 | 1～4 | 教員免許取得を目指していることが望ましい | 火 10:45～12:35 | | |
| 01006 | 法哲学 | 専門 | 大森 秀臣 | 1 | 第3学期 | 3～4 | | 金 10:45～12:35 | | |
| 01010 | 食と栄養の科学 | 専門 | 岡元 邦彰 他 | 1 | 第4学期 | 1～4 | | 月 10:45～12:35 | | |
| 01013 | Introductory Mathematics I | 専門 | UDDIN MD. AZHAR | 1 | 第3学期 | 1～4 | ※英語による授業 | 月 15:30～17:20 | | |
| 01014 | Introductory Mathematics II | 専門 | 唐 健 | 1 | 第4学期 | 1～4 | ※英語による授業 | 月 15:30～17:20 | | |
| 01017 | 中国語中級 | 教養 | 孫 路易 | 1 | 第3学期 | 1～4 | | 火 10:45～12:35 | | |
| 01018 | 中国語中級 | 教養 | 孫 路易 | 1 | 第4学期 | 1～4 | | 火 10:45～12:35 | | |
| 01024 | 韓国語中級 | 教養 | 陳 南澤 | 1 | 第3学期 | 1～4 | 第3学期と第4学期を併せて受講することが望ましい | 火 13:25～15:15 | | |
| 01025 | 韓国語中級 | 教養 | 陳 南澤 | 1 | 第4学期 | 1～4 | | 火 13:25～15:15 | | |
| 01027 | 数理・データサイエンスの基礎 | 教養 | 羅 明振 | 1 | 第3学期 | 1～4 | 定員 10名 | 木 10:45～12:35 | | |

| | | | |
|--|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm、裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 0 枚 | 0 枚 | 0 枚 |

(2) 岡山県立大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

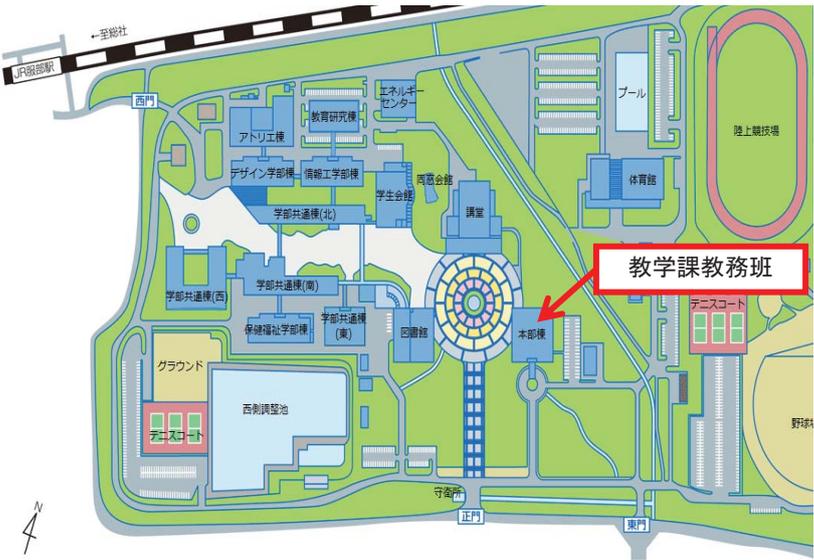
| | | | | | |
|------|--------|-----|-------------|---|-------------|
| 開講期間 | 前期 | 第1Q | 2026年4月9日 | ～ | 2026年6月10日 |
| | | 第2Q | 2026年6月11日 | ～ | 2026年8月7日 |
| | 後期 | 第3Q | 2026年9月24日 | ～ | 2026年11月26日 |
| | | 第4Q | 2026年11月27日 | ～ | 2027年2月9日 |
| 試験期間 | 第1Q | | 2026年6月4日 | ～ | 2026年6月10日 |
| | 前期・第2Q | | 2026年8月3日 | ～ | 2026年8月7日 |
| | 第3Q | | 2026年11月19日 | ～ | 2026年11月26日 |
| | 後期・第4Q | | 2027年2月3日 | ～ | 2027年2月9日 |
| 授業時間 | 1限 | | 8:40 | ～ | 10:10 |
| | 2限 | | 10:20 | ～ | 11:50 |
| | 3限 | | 12:40 | ～ | 14:10 |
| | 4限 | | 14:20 | ～ | 15:50 |
| | 5限 | | 16:00 | ～ | 17:30 |

② アクセス(案内図)

- JR 桃太郎線・服部駅(JR 岡山駅から 25 分)から徒歩 5 分。
- 岡山自動車道・岡山総社 IC から車で 5 分。



③ 担当窓口

| |
|--|
| 教学課教務班 |
| 所在地: |
|  |
| 電話: 0866-94-2111(代表) |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込受付期間どおり。

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

1. 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、本部棟教務班窓口へ初回授業時に必ず受け取りに来てください。また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- | | |
|-------------|-------------|
| ①履修案内(抜粋) | ⑤「はっとりん」説明書 |
| ②シラバス(該当科目) | ⑥キャンパスマップ |
| ③単位互換履修生証明書 | |
| ④OPU-ID等通知書 | |

2. 自動車通学を希望する場合は、許可が必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

・ 施設利用

岡山県立大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.oka-pu.ac.jp/syllabus/index.html>

(岡山県立大学HP→大学案内→教育情報の公表→授業科目、授業内容、授業計画に関すること)

・遠隔授業科目

| | | | | |
|--|-----|-----|-------|-------|
| 遠隔授業(教養教育科目) | | | | 02101 |
| 社会連携要論 | | | 岩満 賢次 | |
| The Elements of Social Cooperation | | | | |
| 1～4年次 | 1単位 | 第2Q | 1コマ | |
| <p>【授業概要】 人生の移行期にいる大学生が、そのキャリア形成においてより豊かに成長していくためには、サービスラーニングを実践していくことが重要である。社会や地域のなかにある諸課題を取り上げながら、社会や地域を創生していく体験が学生の成長には必要である。そのため、大学生がサービスラーニングに参画することが重要となる。本講義では、学生がキャリア形成を行う上で、社会連携活動を通じたサービスラーニングの実践を学ぶことにより、社会や地域の諸問題を発見し、どのように解決に向けたアプローチを形成していくかという方法論の基本的視点を習得していくことを目的としている。</p> <p>なお、本講義は岡山県立大学副専攻岡山創生学の基礎科目である。</p> | | | | |
| <p>【授業目的】 本講義は、社会連携要の基本的な概念とその意味、サービスラーニングの実践方法を理解することを目的としている。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.高等教育における社会連携教育の導入 2.学生の成長と社会連携教育 3.社会連携教育におけるサービスラーニングの意義の理解 4.社会連携教育におけるサービスラーニングの実践事例の理解 5.SDGs の概念と社会連携 6.SDGs 推進の取り組み①NPO・ボランティアの役割 7.SDGs 推進の取り組み②企業の役割 8.SDGs 推進の取り組み③行政の役割 | | | | |
| <p>【テキスト】 岩満賢次(2023)『社会連携要論:学生と社会をつなぐ新しい教育』DTP出版 その他資料を配付することがある。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 岡本榮一監修『ボランティアのすすめ』ミネルヴァ書房 赤澤清孝ら編『新・学生のためのボランティア論』社会福祉法人大阪ボランティア協会 岡山県社会福祉協議会監修『「無理しない」地域づくりの学校』ミネルヴァ書房 その他、受講生の興味関心に応じて紹介する。 外部講師より紹介する場合もある。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業への取り組み状況(授業時の課題)(40%)、期末レポート(60%) ※岡山県立大学以外の学生が授業を希望する場合は授業後の録画配信となります。 授業をそのまま録画しますので、クオリティは保証できませんのでご了承ください。</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|---|---|----|-------|-------|
| 対面授業(専門教育科目) | | | | 02001 |
| 国際家族政策論 | | | 近藤 理恵 | |
| International Family Policy | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 | | | | |
| <p>本科目では、各国の福祉レジームと家族政策の類型について示した後、日本を含めた各国の家族政策の全体像について講義する。その上で、①ワーク・ライフ・バランス、②ひとり親家族、③子ども虐待、④フォスター・ケア、⑤パートナー間のドメスティック・バイオレンス、⑥国際結婚家族に関する政策とファミリー・ソーシャルワークについて講義し、最終的には今後の日本の家族政策のあり方について検討する。本科目の目的は、各国の家族政策と日本の家族政策とを比較し、今後の日本の家族政策のあり方について理解することにある。</p> | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型 | 9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1) | | | |
| 2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1) | 10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2) | | | |
| 3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2) | 11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1) | | | |
| 4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1) | 12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2) | | | |
| 5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2) | 13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1) | | | |
| 6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3) | 14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2) | | | |
| 7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1) | 15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク | | | |
| 8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2) | | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| プリントを配布する。 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| <p>近藤理恵著『日本、韓国、フランスにおけるひとり親家族の不安定さのリスクと幸せ』学文社、2013年 中嶋和夫監修、ユン・ジョンズ、近藤理恵編『多様な家族時代における新しい福祉モデルの国際比較研究』学文社、2010年 中嶋和夫監修、ユン・ジョンズ、近藤理恵編『グローバル時代における結婚移住女性とその家族の国際比較研究』学術出版会、2013年 中嶋和夫監修、尹靖水、岡田節子、近藤理恵編『多文化家族における家庭内暴力と福祉的介入の国際比較研究』Bookway、2016年</p> | | | | |
| 【成績評価の方法】 | | | | |
| 中間レポート(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。 | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|-------|-------|
| 対面授業(専門教育科目) | | | | 02002 |
| サービスマーケティング論 | | | 喜村 仁詞 | |
| Service Marketing | | | | |
| 2~4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 サービスマーケティングに関する知識を事例等を用いることで理解を深める。初めにマーケティングの基礎知識を身につけ、その上でサービスについて学ぶことで、サービスが持つ特性に応じた顧客とのコミュニケーションを理解することを目的とする。 | | | | |
| 【授業内容】 1.ガイダンス・マーケティングとは？ 2.価値って誰が決めるのか？ 3.消費者の購買行動の法則 4. SWOT 分析(環境を理解する) 5. STP・4P(売れる秘訣) 6.ブランドとは？ 7.グループワーク(1) 8.グループワーク(2) 9.グループワーク(3) 10.伝えるべき内容とは？ 11.ロングセラーの秘訣 12.サービスとは？ 13.サービスの事例(1) 14.サービスの事例(2) 15.ふりかえり | | | | |
| 【テキスト】 特になし | | | | |
| 【参考図書】 特になし | | | | |
| 【成績評価の方法】 レポート(60%)、授業への取り組み状況(グループワーク)(40%) | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|-------|-------|
| 対面授業(専門教育科目) | | | | 02003 |
| 符号理論 | | | 榊原 勝己 | |
| Coding Theory | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 デジタル情報を伝達・通信あるいは記録するシステムでは、受信あるいは読み出された情報の信頼性を向上するために、誤り訂正符号の利用は不可欠な要素技術の一つとなっています。講義では、線形代数あるいは論理数学に基づいて構成された誤り訂正符号の基礎理論と、最も簡単な誤り訂正符号であるハミング符号の論理回路による実現について学びます。また、誤り検出符号を利用した様々な自動再送制御方式の概要とその違いや性能を学習します。 | | | | |
| 【授業内容】 1.通信路雑音の原因、ビット誤り率 2.誤り訂正符号の原理(繰返符号、ハミング距離、距離の三公理) 3.誤り訂正符号の原理(最小距離と誤り訂正能力) 4.誤り訂正符号の原理(生成行列、検査行列) 5.ハミング符号(生成行列と符号化法) 6.ハミング符号(検査行列と復号法、シンドローム) 7.線形符号(線形空間と誤り訂正符号、符号化法と復号法) 8.線形符号(拡張符号、短縮符号、パンクチャー符号) 9.巡回符号(ベクトル表現と多項式表現、巡回符号の性質) 10.巡回符号(線形符号との対比による符号化法と復号法) 11.巡回符号の符号化回路 12.巡回符号の復号回路 13.様々な誤り訂正符号 14.自動再送制御方式 15.ハイブリッド ARQ 16.定期試験 | | | | |
| 【テキスト】 使用しない | | | | |
| 【参考図書】 ★「[改訂新版]やり直しのための工業数学(情報通信編)」三谷政昭(著)、CQ 出版 ★「C 言語による情報理論入門」久保田一、大石邦夫、福本昌弘(著)、コロナ社 ★「情報・符号・暗号の理論入門」守屋悦朗(著)、サイエンス社 ★「情報伝送と符号の理論」岩垂好裕(編)、オーム社 上記全て、本学附属図書館に書籍が所蔵されています。 | | | | |
| 【成績評価の方法】 定期試験(70%)、小テスト(20%)、振返メモ(10%) | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|------|-------|
| 対面授業(学部教育科目) ※リアルタイムオンライン併用可(期末試験を除く) | | | | 02004 |
| 設計工学・生産システム | | | 妻屋 彰 | |
| Design Engineering and Manufacturing Systems | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 ものづくりにおいては、要素技術に加えてそれらを活用し組み合わせることによって、「なにを」「いつ」「どのように」つくるのか、ということが重要である。近年のものづくりを取り巻く状況の変化により、設計や生産などのものづくり技術についても、体系化が必要となってきた。本講義では、製品やサービスなどのシステムの設計開発および生産システムや生産管理に関する工学の基本的な理論・方法論・方法を修得することを目的とする。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1.人工物・ものづくりの歴史と進化 2.製品/システムの計画・価値・評価 3.プロジェクト・スケジューリング 4.設計の理論・方法論1(設計プロセスとドイツ流設計方法論1) 5.設計の理論・方法論1(設計プロセスとドイツ流設計方法論2) 6.設計の理論・方法論1(設計プロセスとドイツ流設計方法論3) 7.設計の理論・方法論2(公理的設計論) 8.問題解決プロセスとその方法 1 9.問題解決プロセスとその方法 2 10.生産システム 1 11.生産システム 2 12.生産管理 1 13.生産管理2 14.生産管理3 15.現代のものづくり 16.期末試験</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 特に指定しない。適宜資料を配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 参考文献は講義中に適宜紹介する。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 定期試験(70%)、演習及びレポート(30%)</p> | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|-------|-------|
| 対面授業(専門教育科目) | | | | 02005 |
| 環境生理学 | | | 大下 和茂 | |
| Environmental Physiology | | | | |
| 2~4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 人体の構造と機能ⅠおよびⅡにより得られた知識を応用し、様々な環境に対してヒト(人)の生理機能がどのような反応・適応変化するかについて理解する。また、何故そのような変化が存在するのかについて、時間軸・空間軸的な観点から理解を深める。 | | | | |
| 【授業内容】 1. オリエンテーション 2. 環境(物理的要因)への適応① 3. 環境(物理的要因)への適応② 4. 環境(物理的要因)への適応③ 5. 環境(物理的要因)への適応④ 6. 環境(物理的要因)への適応⑤ 7. 環境(物理的要因)への適応⑥ 8. 中間テスト 9. 日常行動と生理機能① 10. 日常行動と生理機能② 11. 日常行動と生理機能③ 12. 日常行動と生理機能④ 13. 日常行動と生理機能⑤ 14. 環境と生理機能の課題 15. 定期試験 16. 授業総括, 予備日 | | | | |
| 【テキスト】 使用しない | | | | |
| 【参考図書】 「生理人類学一人の理解と日常の課題発見のためにー」 安河内朗、岩永光一 理工図書 「人間科学の百科事典」 日本生理人類学会 丸善出版 「生体のしくみ標準テキスト(第3版)新しい解剖生理」 高松研、堀内ふき 医学映像教育センター 「標準生理学」 本郷利憲、廣重力、豊田順一 医学書院 | | | | |
| 【成績評価の方法】 期末試験(80%)、授業への参加・取り組み状況(20%) | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|-------|-------|
| 対面授業(専門) | | | | 02006 |
| 森林生態学・地盤工学 | | | 穂苅 耕介 | |
| Forest Ecology and Geotechnical Engineering | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 建築することは、人間と自然との関係を再構築する行為といえる。気候変動による多くの災害やパンデミックに直面している現代社会において、環境の正しい理解なしに建築を考えることは不可能で、森林や生態系に対する正しい理解が必須となっている。また、戦後の建設資材としての製材増産のための自然林から人工林への転換、および経済合理性優先の森林伐採や土地開発などによる生態系の改変、里地里山の管理放棄が、現在の気候変動による災害の甚大さをもたらすとともに、野生鳥獣による被害なども大きな要因のひとつになっている。本科目はキャンパス内に生育する主な樹木について、樹形や葉のスケッチを通して植物の特徴や役割を知るとともに、代表的な景観の見方を学ぶ体験も加えることにより、森林や生態系について基本的な知識を修得し、環境の正しい理解から導かれる建築デザインについて、環境を配慮して考えられようになる素地を養うことが目的である。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. キャンパス内散策 3. 森林と人類の歴史 4. 植物の基礎知識 5. 植物と環境 6. 世界のバイオーム 7. 日本の歴史と森林 8. 日本の原生林(自然植生) 9. 日本の里地里山(代償植生) 10. 日本の森林の現状 11. 身近な樹木の知識とスケッチ「どんぐり」・「くす」・「ばら」 12. 身近な樹木の知識とスケッチ「にれ」・「かえで」・「つばき」 13. 生態系の基礎知識 14. 生態系の保全と生物多様性 15. 生態系に配慮した地域環境の設計 | | | | |
| <p>【テキスト】 教科書は使用しない。 提供するテキストをダウンロードして、ノートパソコンなどで閲覧する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 林 将之「山溪ハンディ図鑑 14 増補改訂 樹木の葉」山と溪谷社 2020 本学附属図書館に電子ブックが所蔵されています。 林野庁「森林・林業白書」(林野庁ホームページで電子データが公開されています。) 岡山県「21おかやま森林・林業ビジョン(改訂版)」 (岡山県ホームページで電子データが公開されています。)</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業態度・意欲(10%)、スケッチ課題(45%)、総括レポート(45%)</p> | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|------|-------|
| 対面授業(副専攻科目) | | | | 02007 |
| 木構造学・木構造デザイン | | | 向山 徹 | |
| Structure and Design in Wooden Buildings | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 建築構造の中の、木構造についての基本的な考え方に習熟すると同時に、構造的観点からのデザインについて、実例を通じて学び、木造で建築を考える感覚を涵養する。 | | | | |
| 【授業内容】 1. ガイダンス 2. 古建築の木構法 1 3. 古建築の木構法 2 4. 古建築の木構法 3 5. 古建築の木構法 4 6. 古建築の木構法 5 7. 古建築の木構法 6 8. 中間のまとめ 9. 木構造デザイン 1 10. 木構造デザイン 2 11. 木構造デザイン 3 12. 木構造デザイン 4 13. 木構造デザイン 5 14. 木構造デザイン 6 15. これからの木構造デザインとは | | | | |
| 【テキスト】 教科書は使用しない | | | | |
| 【参考図書】 日本建築史図集(日本建築学会刊) | | | | |
| 【成績評価の方法】 授業態度(20%)、各回レポート(80%) | | | | |

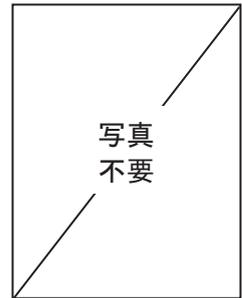
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

* 学生は太枠内のみ記入

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

岡山県立大学長 殿

| | | | | |
|------|----|---|---|---|
| 提出日 | 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | | |
| 氏名 | | | | |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | |
|----------|------------------------------|-------|---|-----|
| 所属大学等 | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | 学科 | 年 | |
| 学生番号 | 生年 月日 | 西暦 年 | | |
| | | 昭和・平成 | 年 | 月 日 |
| 現住所 | 〒 — Tel () — | | | |
| メールアドレス | @ (大学で付与されたメールアドレスを記入してください) | | | |

* 履修受付締切日：前期：4月3日(金)まで 後期：9月11日(金)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|--------------|----|-------|----|-----|------|-----------------------|---------------|--------------------------|----|
| 遠隔授業科目 | | | | | | | | | | |
| 02101 | 社会連携要論 | 教養 | 岩満 賢次 | 1 | 第2Q | 1~4 | オンデマンド配信 | 水 14:20~15:50 | <input type="checkbox"/> | |
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 02001 | 国際家族政策論 | 専門 | 近藤 理恵 | 2 | 前期 | 3~4 | | 木 10:20~11:50 | <input type="checkbox"/> | |
| 02002 | サービスマーケティング論 | 専門 | 喜村 仁詞 | 2 | 前期 | 2~4 | | 金 14:20~15:50 | <input type="checkbox"/> | |
| 02003 | 符号理論 | 専門 | 榑原 勝己 | 2 | 後期 | 3~4 | | 金 8:40~10:10 | <input type="checkbox"/> | |
| 02004 | 設計工学・生産システム | 専門 | 妻屋 彰 | 2 | 後期 | 3~4 | オンライン併用可 (期末試験を除く) | 火 10:20~11:50 | <input type="checkbox"/> | |
| 02005 | 環境生理学 | 専門 | 大下 和茂 | 2 | 前期 | 2~4 | | 火 10:20~11:50 | <input type="checkbox"/> | |
| 02006 | 森林生態学・地盤工学 | 専門 | 穂苅 耕介 | 2 | 前期 | 3~4 | | 木 10:20~11:50 | <input type="checkbox"/> | |
| 02007 | 木構造学・木構造デザイン | 専門 | 向山 徹 | 2 | 後期 | 3~4 | | 火 14:20~15:50 | <input type="checkbox"/> | |

| | | | |
|--|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 0 枚 | 0 枚 | 0 枚 |

(3) 岡山学院大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年4月1日 | ～ | 2026年9月10日 |
| | 後期 | 2026年9月11日 | ～ | 2027年3月31日 |
| 試験期間 | 前期 | 2026年7月下旬 | ～ | 2026年8月上旬 |
| | 後期 | 2027年1月下旬 | ～ | 2027年2月上旬 |
| 授業時間 | 1限 | 9:10 | ～ | 10:40 |
| | 2限 | 10:50 | ～ | 12:20 |
| | 3限 | 13:00 | ～ | 14:30 |
| | 4限 | 14:40 | ～ | 16:10 |
| | 5限 | 16:20 | ～ | 17:50 |

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

| | |
|--------|--------------|
| 学務課教務係 | |
| 所在地: | 岡山県倉敷市有城 787 |
| 電話: | 086-428-2651 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

前期:4月3日(金)まで 後期:9月14日(月)まで

・ 履修手続

対面授業科目の履修者には、以下の印刷物を配布します。
①シラバス(該当科目) (学務課)

・ 施設利用

岡山学院大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

・対面授業科目

| | | | | |
|---|-----|----|---------------|--------|
| 対面授業(専門基礎科目) | | | | 03001 |
| 授業科目名: 調理学 I | | | 担当教員氏名: 氏峰 菜里 | |
| 履修年次:1年生 | 2単位 | 前期 | 1コマ | 定員 10名 |
| <p>【授業の目的】 調理とは、食品素材をおいしく、すぐに食べられるように調整することであり、衛生面で安全な食べ物に調整し、食品素材の栄養効率を高め嗜好特性を高めることを目的とします。本講義では、食事計画に基づいた献立作成とそれに伴う食材の選択、調理・供食までの工程について学習する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調理学の基本,食事設計の基礎 2. 非加熱調理操作と非加熱調理器具① 3. 非加熱調理操作と非加熱調理器具② 4. 加熱調理操作と加熱調理器具① 5. 加熱調理操作と加熱調理器具② 6. 食品成分表の理解と活用 7. 食品の特徴に応じた調理の特性①穀類・イモ類 8. 食品の特徴に応じた調理の特性②豆類・種実類 9. 栄養価計算と献立作成の基礎 10. 食品の特徴に応じた調理の特性③野菜類・香辛料 11. 食品の特徴に応じた調理の特性④果実類・きのこ類・藻類 12. 調理による栄養学的・機能的利点 おいしさの評価 13. 味わいの要素 14. 食事を演出する要素 15. 食事設計の実際 16. 試験 | | | | |
| <p>【テキスト】 調理学の基本 第5版 (同文書院)</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 日本食品成分表 2025 八訂 (医歯薬出版)</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 学習態度(20%)、ノート提出(10%)、中間テスト(20%)、期末試験(50%)の全てを合計し、60%以上を取得した者に対して単位を認定します。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|---|-----|----|---------------|--------|
| 対面授業(専門基礎科目) | | | | 03002 |
| 授業科目名: 調理学Ⅱ | | | 担当教員氏名: 氏峰 菜里 | |
| 履修年次:1年生 | 2単位 | 後期 | 1コマ | 定員 10名 |
| <p>【授業の目的】 調理は、経験と習熟度が要求される技術であるが、近年においては調理を行うことによる食品の栄養成分の変化や食品の物性の変化についても考慮することが要求されている。食事により生活の質を高めることができることを考慮に入れ、健康あるいは疾病時の食生活を豊かなものにするための調理のあり方を習得することを目的とする。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 和食の文化 行事食・地域の食材と郷土料理① 2. 和食の文化 地域の食材と郷土料理② 3. 献立作成と料理様式① 4. 献立作成と料理様式② 5. 和食の文化 6. 行事食(正月料理) 7. 食品の特徴に応じた調理の特性①食肉類 8. 食品の特徴に応じた調理の特性②魚介類-1 9. 食品の特徴に応じた調理の特性②食肉類-2 10. 食品の特徴に応じた調理の特性③卵類 11. 食品の特徴に応じた調理の特性④牛乳・乳製品 12. 食品の特徴に応じた調理の特性⑤成分抽出素材 13. 調理操作による食品の組織・物性と栄養成分の変化 14. 食事におけるマナー 15. 摂食機能に対応した調理のポイント 16. 試験 | | | | |
| <p>【テキスト】 調理学の基本 第5版 (同文書院)</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 日本食品成分表 2025 八訂 (医歯薬出版)</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 学習態度(20%)、ノート提出(10%)、中間テスト(20%)、期末試験(50%)の全てを合計し、60%以上を取得した者に対して単位を認定します。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

岡山学院大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏 名 | | | 印 |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|-------------------------------|-----|-----------|-------|-------|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | 学科 | | 年 |
| 学生番号 | | 性別 | 生年 月 日 | 西暦 年 | |
| | | 男・女 | | 昭和・平成 | 年 月 日 |
| 現住所 | 〒 - - - - - Tel () - - - - - | | | | |
| メールアドレス | | | | | |

* 履修受付締切日：前期：4月3日(金)まで 後期：9月14日(月)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開講 期 | 配当 学年 | 備 考 | 曜 日・時 限 | 履 修 希 望 | 評 価 |
|--------|---------|-----|-------|-----|------|-------|------------------------|---------------|---------|-----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 03001 | 調理学 I | 専 門 | 氏峰 菜里 | 2 | 前期 | 1 | 定員 10 名 I・IIいずれか履修可 | 月 10:50~12:20 | | |
| 03002 | 調理学 II | 専 門 | 氏峰 菜里 | 2 | 後期 | 1 | 定員 10 名 I・IIいずれか履修可 | 月 10:50~12:20 | | |

| | | | |
|--|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 1 枚 | 1 枚 | 2 枚 |

(4) 岡山商科大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年4月8日 | ～ | 2026年7月28日 |
| | 後期 | 2026年9月14日 | ～ | 2027年1月14日 |
| 試験期間 | 前期 | 2026年7月31日 | ～ | 2026年8月6日 |
| | 後期 | 2027年1月19日 | ～ | 2027年1月25日 |
| 授業時間 | 1限 | 9:00 | ～ | 10:30 |
| | 2限 | 10:50 | ～ | 12:20 |
| | 3限 | 13:10 | ～ | 14:40 |
| | 4限 | 15:00 | ～ | 16:30 |
| | 5限 | 16:50 | ～ | 18:20 |

② アクセス(案内図)

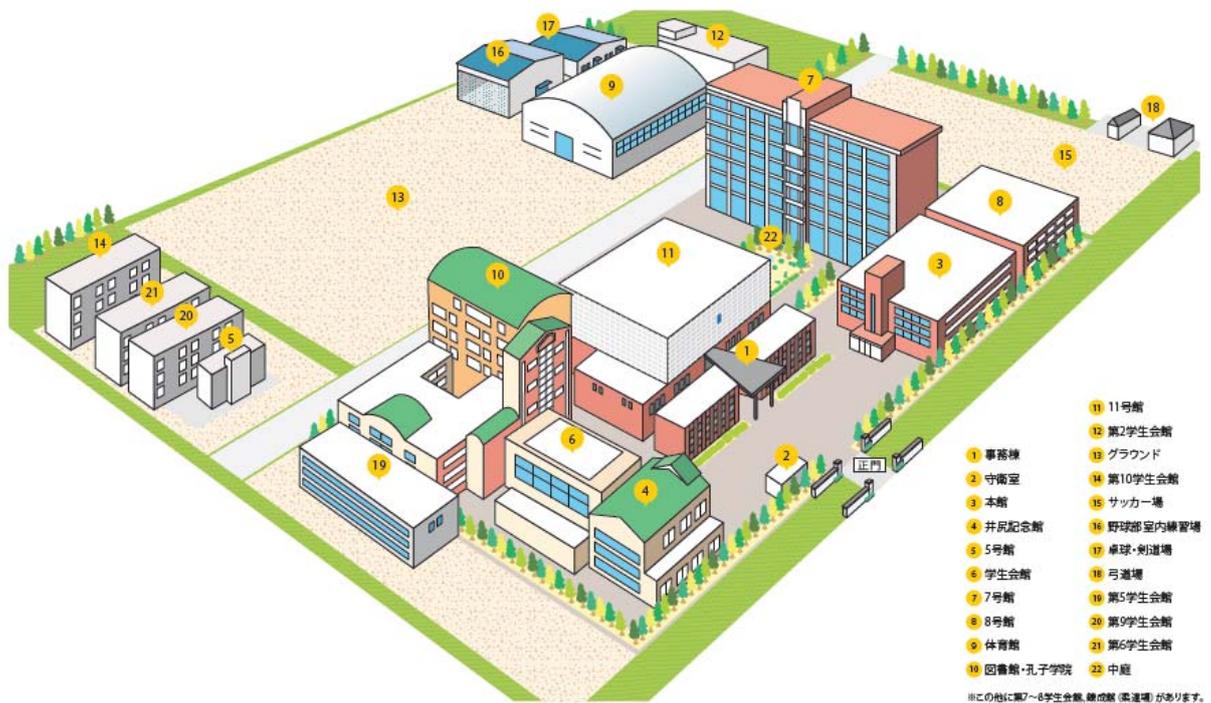


【交通アクセス】

◎JR岡山駅よりバス利用 所要時間 15分, バス便多数あり

対象路線: 国立病院線, 免許センター線, 辛香線, 半田山ハイツ・津高台団地線

◎山陽自動車道 岡山 I.C.より車で5分



③ 担当窓口

| | |
|------|------------------------|
| 教務課 | |
| 所在地: | 岡山市北区津島京町2-10-1 11号館1階 |
| 電話: | 086-256-6653 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

前期受付:3月31日(火)
夏季集中・後期集中講義受付:7月31日(金)
後期受付:9月8日(火)
ただし、所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

- 以下の印刷物を配付します。対面授業科目の履修者は、必ず受け取りに来てください。また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課に来てください。
 - ① 学生証(単位互換履修生証)
 - ② OSU-Port パスワード
 - ③ 学生手帳
- 自動車通学を希望する場合は、許可が必要ですので申し出てください。(駐車料金有料)

・ 施設利用

岡山商科大学在大学生と同じ扱いとします。
図書館・学食等が利用可能です。図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

振替講義日
前期:5月1日(金)は水曜日の授業を行います。
5月7日(木)は月曜日の授業を行います。
後期:10月15日(木)、10月28日(水)、1月14日(木)は月曜日の授業を行います。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

https://webclass.osu.ac.jp/webclass/ip_mods.php/plugin/syllabus/search

・対面授業科目

| | | | |
|---|-----|---------------|-----|
| 対面授業 | | 04001 | |
| 授業科目名: 行政法 I | | 担当教員氏名: 伊藤 治彦 | |
| Administrative Law 1 | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ |
| <p>【授業の目的】 行政法の基本原理(法律による行政の原理、行政法の法源、公法上の法律関係等)、行政組織法、公務員法について学んでいく。 1 行政法の体系、基本原理を理解する 2 国の行政組織のしくみや行政組織相互の関係について理解する 3 わが国の公務員制度について理解する。</p> | | | |
| <p>【授業内容】 行政法の基本原理 (1) 行政の概念 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 (2) 行政法の体系 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 (3) 法律による行政の原理 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 (4) 行政法の法源 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 (5) 行政上の法律関係 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。行政組織法 (6) 行政組織改革概説 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 (7) 行政主体・行政機関・行政庁 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 (8) 内閣・内閣官房・内閣府 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 (9) 内閣の統轄下にある行政組織 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>公務員法 (10) 概説 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 (11) 種類 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 (12) 公務員の権利とその制限 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> | | | |

(13)公務員の義務

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(14)不利益処分とその救済

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(15)まとめ

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

(予習・復習)授業計画で示した各回ごとの予習復習の指示に従って、それぞれ2時間以上行うこと

(注意事項)

授業中の私語、無断退出は厳禁、出席に関する不正行為は厳罰に処する。授業中に配ったプリントは、次回から全て持ってくること。六法も毎回持参すること

【テキスト】ISBN 978-4-7823-0573-7

事例で考える行政法(改訂新版) 横山信二・廣瀬肇 編著 嵯峨野書院 3000円＋税

【参考図書】

【成績評価の方法】

試験:15回目の講義日にまとめのテストを行う(70%)

小テスト:適宜1回以上行う(20%)

受講態度:(10%)

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|---|-----|----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 04002 |
| 授業科目名: 行政法Ⅱ | | | 担当教員氏名: 伊藤 治彦 | |
| Administrative Law 2 | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 本講義は、行政作用法の中でも行政計画、行政立法、行政行為、行政強制、行政罰について考察するものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 行政の一連の活動の形成過程を理解する。 2 行政作用の種類及び各行政作用の特色について理解する。 3 行政作用に関する公務員試験の基礎的な問題が解けるようになる。 | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <p>1 行政作用法概説 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>行政計画</p> <p>2 行政計画の種類 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>3 計画策定手続 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>行政立法</p> <p>4 法規命令 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>5 訓令・通達 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>行政行為</p> <p>6 概念、効力 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>7 行政行為の種類 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>8 行政裁量 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> <p>9 行政行為の付款 予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく 復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。</p> | | | | |

10 瑕疵ある行政行為

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

11 行政行為の取消と撤回

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。 行政強制

12 代執行・執行罰・直接強制

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

13 即時強制と行政調査

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

行政罰

14 行政刑罰・秩序罰・その他の制裁

予習 当該項目に該当する教科書の箇所をよく読み、不明な点をチェックしておく

復習 授業で配布されたプリントと教科書を読み返し、理解を深める。

15 まとめ

予習 授業で配布されたプリントを整理しておく

復習 教科書やプリント及びノートを見て全体を嬰解していく

(予習・復習)

授業計画で示した各回ごとの予習復習の指示に従ってそれぞれ2時間以上行うこと。

(注意事項)

私語、無断退出は厳禁。出席に関する不正行為は厳罰に処する。

【テキスト】ISBN 978-4-7823-0573-7

事例で考える行政法(改訂新版) 横山信二・廣瀬肇 編著 嵯峨野書院 3000円+税

【参考図書】

【成績評価の方法】

試験:15回目の「まとめ」で行う(70%)

小テスト:適宜最低1回は行う(20%)

受講態度:(10%)

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|--|-----|----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 04003 |
| 授業科目名: 民法概説 | | | 担当教員氏名: 倉持 弘 | |
| Introduction to Civil Law | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 この授業は、これまで法律学を学んだことのない学生を対象に、民法(財産法)をおおまかに解説するものである。内容的には、主に、不動産の売買や金銭の貸借などの契約について解説する。 受講生が受講後に次のようなことができるようになること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 契約の締結、履行の流れをおおまかに理解し、また契約が履行されなかった場合の法的処理についてもおおまかに理解できている。 2. 未成年者のような判断能力が不十分な者の契約締結についての法的規制について例をあげて説明できる。 3. 代理人による契約締結について例をあげて説明できる。 4. 不動産登記制度について例をあげて説明できる。 | | | | |
| <p>【授業内容】 原則として対面で授業を行うが、オンライン授業となった場合には講義動画をYouTubeに掲載する。対面授業・オンライン授業のどちらでも、授業前に講義スライドをWebClassに掲載するので、予習としてそれを読むとともに、自分のPCにダウンロードするなどして授業時間には手元に用意しておくこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 民法とは、どういうことを定めた法律か? 事前学習: 教科書第1講、講義スライドを読む。 事後学習: 民法について考える。 2. 民事と刑事、法規定の構造 事前学習: 教科書第2講、講義スライドを読む。 事後学習: 民事法と刑事法の違いについて考える。 3. 事故の場合の損害賠償(不法行為) 事前学習: 教科書第3講、講義スライドを読む。 事後学習: 損害賠償制度について考える。 4. 契約とはどのようなものか、売買とはどのようなものか 事前学習: 教科書第4講、講義スライドを読む。 事後学習: 契約について考える。 5. 財産権(売買される対象) 事前学習: 教科書第5講、講義スライドを読む。 事後学習: 物権と債権の違いについて考える。 6. 契約の締結 事前学習: 教科書第6講、講義スライドを読む。 事後学習: 意思と表示の不一致について考える。 補講. 六法の見方 法学科以外の学生は講義動画を視聴してレポートを提出すること。 7. 詐欺・強迫、消費者契約の規制 事前学習: 教科書第7講、講義スライドを読む。 事後学習: 消費者契約について考える。 8. 代理人による契約の締結 事前学習: 教科書第8講、講義スライドを読む。 | | | | |

| |
|--|
| <p>事後学習: 表見代理について考える。</p> <p>9. 未成年者の保護 事前学習: 教科書第9講、講義スライドを読む。 事後学習: 未成年者は具体的にどう保護されているのか考える。</p> <p>10. 所有権の移転、不動産登記 事前学習: 教科書第10講、講義スライドを読む。 事後学習: 不動産登記制度について考える。</p> <p>11. 契約が履行されないとき(強制履行、損害賠償、契約解除) 事前学習: 教科書第11講、講義スライドを読む。 事後学習: 契約が履行されないときに採ることができる法的手段について考える。</p> <p>12. 慣習・任意規定による契約内容の補充、同時履行の抗弁、買主の追完請求権 事前学習: 教科書第12講、講義スライドを読む。 事後学習: 任意規定・強行規定について考える。</p> <p>13. 貸し借りの契約(賃貸借・消費貸借) 事前学習: 教科書第13講、講義スライドを読む。 事後学習: 利息に関する法規制について考える。</p> <p>14. さまざまな弁済方法、保証 事前学習: 教科書第14講、講義スライドを読む。利息計算。 事後学習: 保証について考える。</p> <p>15. 担保(質、抵当) 事前学習: 教科書第15講、講義スライドを読む。 事後学習: 担保について考える。* 六法は指定のものでも構わないが、改正前の規定なども掲載されている書籍の六法が望ましい。</p> <p>(予習・復習) 予習1時間: 講義スライドを読み、意味・読みのわからない語句を調べる。復習3時間: 講義スライドを読み直して、各回の事後学習について、自分で考えること。WebClassの復習テストに取り組むこと</p> <p>(注意事項) ・出席登録は WebClass で行うのでPCまたはスマートフォンを持参すること。また、授業時間中にも WebClass で小テストを行うので、PCを持参するのが望ましい。 ・自習課題を WebClass で提出する。一問一答式なので、その場で正誤や解説が表示される。</p> |
| <p>【テキスト】 講義スライド、自習課題を WebClass に掲載する。教科書 http://kuramochi.o.oo7.jp</p> |
| <p>【参考図書】民法への招待 池田真朗／著 税務経理協会 2500 円 ISBN 9784641009264 ポケット六法 令和7年版 荒木尚志／編集 森田宏樹／編集 有斐閣 2300 円</p> |
| <p>【成績評価】 講義時間中に WebClass で小テストを行う。WebClass で宿題テストを課す。(90%) WebClass で予習課題を課す。(10%)</p> |
| <p>【備考】(受講要件なし)</p> |

| | | | | |
|--|-----|----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 04004 |
| 授業科目名: 民法総則 | | | 担当教員氏名: 倉持 弘 | |
| Civil Law | | | | |
| 履修年次 2～4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 公務員(行政職)試験などを受験しようという学生を想定して、民法の総則編について解説する。練習問題・小テストなどは公務員試験の過去問に類する問題を出題する。</p> <p>受講生が受講後に次のようなことができるようになること。 1. 法律行為とはどのようなものか、例をあげて説明できる。 2. 行為能力の制限の制度について例をあげて説明できる。 3. 代理について例をあげて説明できる。 4. 時効制度について例をあげて説明できる。</p> <p>【授業内容】 「民法概説」を受講するなど、法律学・民法についてある程度学習していることを前提に授業する。対面授業・オンライン授業のどちらでも、授業前に講義スライドをWebClassに掲載するので、予習としてそれを読むとともに、自分のPCにダウンロードするなどして授業時間には手元に用意しておくこと。また、ほぼ毎回WebClass上で予習課題、小テストを課す。オンライン授業の場合、講義動画をYouTubeに掲載する。この講義は5編構成の民法の第1編「総則」の部分解説するものであるが、総則編には民法全体に共通して適用される規定が置かれているので、民法全体をある程度理解した上で履修することが望ましい。なお、総則編中の法人については『会社法概説』の講義で、取得時効については『物権総論』の講義で扱われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、民法総則とは 事前学習: 教科書第1章を読む。「民法概説」の復習(小テストで出題する)。 事後学習: パンデクテンシステムとはどういうものか。 2. 人の出生と死亡、失踪宣告 事前学習: 教科書第3章第1節を読む。 事後学習: 失踪宣告の制度は何のためにあるか。 3. 法律行為と意思表示 事前学習: 教科書第6章第1節から第3節を読む。 事後学習: 法律行為・意思表示とは何か。 4. 意思と表示の不一致 事前学習: 教科書第6章第3節から第4節を読む。 事後学習: 意思と表示の不一致とはどういう問題か。 5. 錯誤、詐欺・強迫 事前学習: 教科書第6章第4節を読む。 事後学習: 民法の詐欺取消しと消費者契約法による取消しの違い。 6. 未成年者 事前学習: 教科書第3章第2節第3節を読む。 事後学習: 未成年者はどのように保護されているか。 7. 成年の制限行為能力者、制限行為能力者の相手方の保護 事前学習: 教科書第3章第3節を読む。 事後学習: 成年後見にからむ諸問題。 | | | | |

8. 中間試験、無効と取消し

事前学習:教科書第8章を読む。

事後学習:無効と取消しの異同。

9. 代理の概略

事前学習:教科書第10章第1節第2節を読む。

事後学習:民法の代理とはどういうものか。

10代理行為、代理権の濫用

事前学習:教科書第10章第3節を読む。

事後学習:代理行為の瑕疵、代理権の濫用とは何か。

12無権代理、表見代理

事前学習:教科書第10章第4節第5節を読む。

事後学習:表見代理制度はなぜ必要か。

12時効の概略

事前学習:教科書第12章第4節を読む。

事後学習:時効制度の意義。

13消滅時効

事前学習:教科書第12章第2節を読む。

事後学習:消滅時効の起算点について考える。

14取得時効・消滅時効に共通する原則

事前学習:教科書第12章第3節を読む。

事後学習:時効の完成猶予と更新について考える。

15信義誠実の原則、条件・期限、物

事前学習:教科書第2章第3節、第9章、第5章を読む。

事後学習:信義誠実の原則について考える。

16最終試験 最終試験は筆記式、持込不可で行う。

* 六法は指定のものでなくても構わないが、2017年改正前の規定が掲載されている書籍の六法が望ましい。

(予習・復習)

予習3時間:教科書該当ページを読み、予習課題に答えること。WebClassの練習問題に取り組むこと。復習1時間:教科書・講義スライドを読み直して、各回の事後学習について、自分で考えること。

(注意事項)

- ・対面授業の場合でもWebClassで出席登録をしてもらう。また、授業時間中にWebClassで小テストへの解答を求めるので、PCを持参することを推奨する。
- ・予習課題をWebClassで提出する。
- ・練習問題をWebClassで提出する。一問一答式なので、その場で正誤や解説が表示される。
- ・講義時間の最後に小テストをWebClassで実施する。終了後に得点が表示されるように設定を変更するので、それを見て復習すること。
- ・最終試験は、筆記式・持込不可で行う。

【テキスト】

民法入門・総則〔第5版補訂版〕 エッセンシャル民法 1

永田眞三郎／著・文・その他 松本恒雄／著・文・その他 松岡久和／著・文・その他 横山美夏
／著・文・その他 有斐閣 2000 円

【参考図書】ISBN 9784641009264

ポケット六法 令和8年版 森田宏樹／編集 小泉直樹／編集 石川健治／編集 有斐閣
2300 円

【成績評価の方法】

試験：最終試験。筆記式、持込不可。(30%)

小テスト：講義時間の最後にテストを実施する。授業計画第8回の中間試験も、成績評価では
小テストの1つとして扱う。

その他：WebClass で予習課題を提出する。(20%)

【備考】受講要件：「民法概説」を履修済であること

| | | | | | |
|---|-----|----|--------------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 04005 | |
| 授業科目名: 刑事政策 | | | 担当教員氏名: 白井 諭 | | |
| Criminal Policy | | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | | |
| <p>【授業の目的】 犯罪の原因やそれへの対応のあり方を学ぶことで、とかくセンセーショナルになりやすい犯罪と刑罰をめぐる議論を理性的に見直してもらおうとともに、「〇〇すべきだ」とか「××してはならない」といった形(規範)に終始しがちな法律の議論に新たな視点を吹き込んでいきたい。</p> <p>【到達目標】 (1) 社会や刑事司法に対する関心・問題意識を持ち、それに従い自主的に勉学を進めることができる。[CP/DP6 意欲・責任感] (2) 犯罪対応をめぐる現状とそれに関する理論の概要を他者に説明することができる[DP/CP1 専門知識] (3) 刑事司法をめぐる問題点を発見し、様々な利益を考量しながらそれを解決することができる[DP/CP3 思考力、DP/CP4 判断力] (4) 社会で起こっている刑事事件につき、意見を理性的に述べるすることができる[DP/CP3 思考力、DP/CP4 判断力、DP/CP6 意欲・責任感]</p> <p>【授業内容】 ≪授業方法≫ * 受講者にはあらかじめレジュメと講義ビデオに目を通してもらう。授業時間の前半部分で問題に取り組んでもらい、後半部分で問題に関する解説をする。対面での講義(問題の解説)を予定しているが、状況に応じて(例えば受講者が収容可能人数を超えた場合や構内への立入が制限された場合)、zoomを用いて(又はzoomと対面とで並行して)開講することがある。</p> <p>≪授業計画≫ 「刑事政策」は犯罪への対応のあり方を検討することを目的としている。社会で発生した犯罪に対しては、様々な学問分野の知見を参考にしながら犯罪の原因を突き止め、それに適した対応をとることが求められる。しかし他方で、犯罪に対応していくためには、「基本的人権の保障」をはじめとする法原理を尊重する必要があることも忘れてはならない。この講義では、さまざまな犯罪を取り巻く諸事情(犯罪の原因)を検討したうえで、犯罪への対応のあり方を議論していく。とかくセンセーショナルになりやすい犯罪と刑罰をめぐる議論を理性的に見直してもらおうとともに、「〇〇すべきだ」とか「××してはならない」といった形(規範)に終始しがちな法律の議論に新たな視点を吹き込んでいきたい。</p> <p>第1回 「刑事政策」とは何か <参考資料> 刑事政策学第1講第1節-第2節・第2講第1節-第2節 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること <事後学修> 「刑事政策」と刑法・刑事訴訟法などの違いについて、考えをまとめておくこと</p> <p>第2回 現在の犯罪情勢と治安 <参考資料> 刑事政策学第1講第3節・第2講第3節 <事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。現在の犯罪情勢について、情報を収集すること <事後学修> 現在の犯罪情勢について、考えをまとめておくこと</p> | | | | | |

| | |
|--|---------------|
| <p>第3回 犯罪の原因 —伝統的な犯罪学と犯罪防止に向けた社会の役割—</p> <p>＜参考資料＞ 刑事政策学第2講第4節-第5節</p> <p>＜事前学修＞ 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。犯罪が発生する原因について、情報を収集すること</p> <p>＜事後学修＞ 犯罪が発生する個人的な原因について、考えをまとめておくこと</p> | <p>＜参考資料＞</p> |
| <p>第4回 刑罰の種類と目的</p> <p>＜参考資料＞ 刑事政策学第3講第1節・第3節、刑法9条以下</p> <p>＜事前学修＞ 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。刑罰の種類について、情報を収集すること</p> <p>＜事後学修＞ 刑罰の目的について、考えをまとめておくこと</p> | |
| <p>第5回 刑事司法の流れと現状</p> <p>＜参考資料＞ 刑事政策学第1講第3節・第5講</p> <p>＜事前学修＞ 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。刑事司法の流れについて、情報を収集すること</p> <p>＜事後学修＞ 刑事司法全体の在り方について、考えをまとめておくこと</p> | |
| <p>第6回 刑罰の歴史と死刑制度</p> <p>＜参考資料＞ 刑事政策学第3講第2節・第4節</p> <p>＜事前学修＞ 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。死刑制度について、情報を収集すること</p> <p>＜事後学修＞ 死刑制度の問題点について、考えをまとめておくこと</p> | |
| <p>第7回 自由刑の問題点</p> <p>＜参考資料＞ 刑事政策学第3講第5節-第6節</p> <p>＜事前学修＞ 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。拘禁刑(懲役刑・禁錮刑)・拘留刑について、情報を収集すること</p> <p>＜事後学修＞ 自由刑の特徴と問題点について、考えをまとめておくこと</p> | |
| <p>第8回 犯罪者処遇の基本原則</p> <p>＜参考資料＞ 刑事政策学第6講第1節</p> <p>＜事前学修＞ 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。犯罪者の処遇について、情報を収集すること</p> <p>＜事後学修＞ 犯罪者の処遇の在り方について、考えをまとめておくこと</p> | |
| <p>第9回 施設内処遇</p> <p>＜参考資料＞ 刑事政策学第6講第2節</p> <p>＜事前学修＞ 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。刑務所のありようについて、情報を収集すること</p> <p>＜事後学修＞ 刑務所や施設内処遇の在り方について、考えをまとめておくこと</p> | |
| <p>第10回 財産刑と社会内処遇</p> <p>＜参考資料＞ 刑事政策学第3講第7節・第6講第3節</p> <p>＜事前学修＞ 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。財産刑や社会内処遇について、情報を収集すること</p> <p>＜事後学修＞ 社会における犯罪者の処遇のあり方について、考えをまとめておくこと</p> | |
| <p>第11回 猶予制度</p> <p>＜参考資料＞ 刑事政策学第2講第6節・第5講第4節-第5節</p> <p>＜事前学修＞ 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。猶予制度について、情報を収集すること</p> <p>＜事後学修＞ 刑罰・施設収容の目的やそれらの限界について、考えをまとめておくこと</p> | |

第12回 刑罰の付随的効果(資格制限と恩赦)

<参考資料> 刑事政策学第4講第4節-第5節

<事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。刑罰の付随的効果について、情報を収集すること

<事後学修> 資格制限や恩赦の在り方について、考えをまとめておくこと

第13回 保安処分と触法精神障がい者の処遇

<参考資料> 刑事政策学第4講第1節-第3節

<事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。措置入院制度や医療観察制度について、情報を収集すること

<事後学修> 触法精神障がい者の処遇の在り方について、考えをまとめておくこと

第14回 犯罪被害者等への対応

<参考資料> 刑事政策学第2講第8節

<事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。犯罪被害者等が置かれている状況について、情報を収集すること

<事後学修> 犯罪被害者等への支援策について、考えをまとめておくこと

第15回 刑事政策への市民参加

<参考資料>

<事前学修> 配布されたレジュメと講義ビデオ、参考文献に目を通して内容を確認すること。刑事司法における市民参加の制度について、情報を収集すること

<事後学修> 刑事司法における自己の役割について、考えをまとめておくこと

(第15回終了後、最終試験)

(予習・復習)

* 予習(1回につき2時間程度)

(1) WebClass を用いて事前にレジュメを配布するので、あらかじめダウンロードして内容に目を通しておくこと。また併せて、YouTube で講義ビデオを配信することがあるので、それを有効に活用すること(URL は逐次指示する: URL を知る者のみ視聴可)。

(2) 「刑法」「刑事訴訟法」の基本原則を確認するとともに、テキストの該当ページに目を通しておくこと

(3) 犯罪・非行とそれに対する処分にかかわる問題について、各自で情報を収集しておくこと(インターネットを使用しても構わないが、官公庁や新聞社などが作成している信頼性の高いサイトを参照すること)。

* 復習(1回につき2時間程度)

(1) 配布資料などを基に、講義で扱った基本原則の内容を確認すること。

(2) 返却されたワークシートの問題を解きなおすこと。

注意事項

* 基本的に最終試験の出来具合で成績を評価するが、「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。「授業の参加度」はワークシートの内容などを実質的に勘案して評価するものであり、出席回数があるまま評価の対象になることはない。 * この講義では、WebClass を用いてレジュメを事前に配布する(教室で配布するつもりはない)。また、WebClass の「アンケート」を用いて授業中に受講者に対するアンケートや問題演習を行うことがあり、その場合、問題やアンケートにはスマートフォン等で回答することになる(とくに、オンラインで開講する場合は、問題への回答を web 上に入力してもらうことになる)。そのほかにも、レジュメを閲覧・プリントアウトしたり web ページを閲覧したりできる PC 環境を受講者が各自で確保しておくことが望ましい。

* ワークシートの答えは担当教員がチェックして本人に返却する。ただし、オンラインで問題

に回答してもらった場合は、その内容を個別にチェックできないので、授業中の解説を手掛かりとして自己採点をする事。また、大幅に遅刻した者にワークシートを渡すつもりはない点も了承されたい。

【テキスト】

* OSU-Port(WebClass)を用いてレジユメを事前に配布する(教室で配布するつもりはない)。また、必要に応じて、自習用に教科書とYouTube 動画(URL はレジユメに記載あり:URL を知る者のみ参照可)を参照してほしい。* 授業中に条文の参照が必要となる場面が頻繁に出てくるため、六法を必ず持参すること(小型のものでかまわないが、「刑事訴訟法」・「刑事収容施設及び被収容者の処遇に関する法律」などを搭載した最新版を用意すること)。

【参考図書】ISBN 9784540000000

刑事政策学 武内謙治／著 本庄武／著 日本評論社 2800 円
・犯罪白書 令和 7 年版 法務省 法務総合研究所／編 日経印刷
https://www.moj.go.jp/housouken/houso_hakusho2.html

【成績評価の方法】

基本的に学期末試験の成績で評価する(60%)

「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。「授業の参加度」は授業内レポートの内容などを実質的に勘案して評価するものであり、出席回数があるまま評価の対象になることはない。

【備考】(受験要件なし)

| | | | | |
|--|-----|----|-------------|-------|
| 対面授業 | | | | 04006 |
| 授業科目名:現代刑事法 | | | 担当教員氏名:白井 諭 | |
| Modern Criminal Law | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 この講義では、公職選挙法や民法などの改正にあわせて、少年法の適用可能年齢を「20歳未満」から「18歳未満」に引き下げる動きが生じている昨今の動向に合わせて、若年者に対する刑事法制と「少年法」の在り方を参加者全員で考えていくことにしたい。</p> <p>【到達目標(身につける資質・能力)】 (1)社会や刑事法に対する関心・問題意識を持ち、それに従い自主的に勉学を進めることができる。 (2)少年法の基本原理の概要を他者に説明することができる。 (3)社会で起こっている刑事事件につき、意見を理性的に述べるすることができる。</p> <p>【授業内容】 * 受講者にはあらかじめレジュメに目を通してもらう。授業時間の前半部分で問題に取り組んでもらい、後半部分で問題に関する解説をする。対面での講義(問題の解説)を予定しているが、状況に応じて(例えば受講者が収容可能人数を超えた場合や構内への立入が制限された場合)、zoomを用いて(又はzoomと対面とで並行して)開講することがある。《テーマ》若年者に対する刑事法制と「少年法」最近、マスメディアなどで少年犯罪がクローズアップされ、そのたびに凶悪犯罪をおかした少年に厳正な制裁を下すことを求める世論が強まっている。また、公職選挙法や民法などの改正にあわせて、少年法の適用可能年齢を「20歳未満」から「18歳未満」に引き下げる動きが生じている(法制審議会における最近の議論では、ひとまず少年法の適用年齢を従来どおり「20歳未満」とすることになったが、それでもなお犯罪少年に対する厳罰化は推し進められようとしている)。しかし、非行少年に厳正な刑罰を科すことで本当に事態は改善するのだろうか?近代社会では、少年非行には成人とは異なる対応が必要だという認識から「少年法」(又はそれに代わる法律)の下、非行少年に対して特別な措置を講じてきた。そもそも子どもの成長発達には保護者など周りの大人が責任を負わなければならないものであり、非行少年に対していかなる処遇が必要・適切であるかを考えることは刑事法制や社会全体のあるべきかたちを見出していくことにつながるであろう。そこで、この講義では、若年者に対する刑事法制と「少年法」の在り方について参加者全員で考えていくことにしたい。</p> <p>《授業計画》 第1回「少年法」の目的と特徴 <事前学修>配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること 少年法の目的と特徴について情報を収集しておくこと <事後学修>少年法の目的について、自分の考えをまとめておくこと</p> 第2回「少年法」の対象 <事前学修>配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること 少年法の対象年齢引下げの議論について、情報を収集しておくこと <事後学修>少年法の対象年齢引下げの是非について、自分の考えをまとめておくこと 第3回「少年法」の歴史と基本原則 <事前学修>配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること 少年非行の現状について、情報を収集しておくこと <事後学修>少年非行の現状を改善する方策について、自分の考えをまとめておくこと | | | | |

第4回 少年非行の発見と調査・捜査活動

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

少年非行に対する警察等の役割について、情報を収集しておくこと

<事後学修> 少年非行に対する警察等の役割について、自分の考えをまとめておくこと

第5回 家庭裁判所の役割

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

家庭裁判所について、情報を収集しておくこと

<事後学修> 少年司法における家庭裁判所の役割について、自分の考えをまとめておくこと

第6回 少年審判の原理・原則

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

少年審判について、情報を収集しておくこと

<事後学修> 少年審判の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

第7回 非行事実と要保護性の認定

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

少年審判について、情報を収集しておくこと

<事後学修> 非行少年に対する処分決定の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

第8回 少年司法における付添人の役割

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

少年司法における弁護士の役割について、情報を収集しておくこと

<事後学修> 少年司法における弁護士の役割について、自分の考えをまとめておくこと

第9回 少年司法における検察官の役割

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

少年司法における検察官の役割について、情報を収集しておくこと

<事後学修> 少年司法における検察官の役割について、自分の考えをまとめておくこと

第10回 少年司法における被害者等の役割

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

少年司法における被害者等の役割について、情報を収集しておくこと

<事後学修> 少年司法における被害者等の役割について、自分の考えをまとめておくこと

第11回 少年審判の終局決定

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

非行少年に対する処分について、情報を収集しておくこと

<事後学修> 非行少年に対する処分について、自分の考えをまとめておくこと

第12回 非行少年の保護処分

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

少年院や保護観察などについて、情報を収集しておくこと

<事後学修> 非行少年に望ましい処分の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

第13回 非行少年の刑事手続

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

刑事手続の流れと基本原則について、情報を収集しておくこと

第14回 少年に対する刑事処分

<事前学修> 配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること

刑事手続の流れと基本原則について、情報を収集しておくこと

第 15 回 少年司法と国際準則

＜事前学修＞配布されたレジュメと参考文献に目を通して内容を確認すること <事後学修＞非行少年に望ましい処分の在り方について、自分の考えをまとめておくこと

(第 15 回終了後に最終試験を実施する予定)

- * 予習(1回につき2時間程度) (1)「刑法」「刑事訴訟法」「少年法」の基本原則を確認しておくこと。(2)事前に OSU-Port(WebClass)を用いてレジュメを配布するので、目を通しておくこと。(3)題材とする具体的な問題について、各自で情報を収集しておくこと(インターネットを使用しても構わないが、官公庁や新聞社などが作成している信頼性の高いサイトを参照すること)。
- * 復習(1回につき2時間程度) 配布資料などを基に、講義で扱った基本原則の内容を確認すること。

注意事項

- * 基本的に最終試験の出来具合で成績を評価するが、「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。「授業の参加度」はワークシートの内容などを実質的に勘案して評価するものであり、出席回数がそのまま評価の対象になることはない。
- * この講義では、WebClass を用いてレジュメを事前に配布する(教室で配布するつもりはない)。また、OSU-Port(WebClass)を用いて授業中に受講者に対するアンケートや問題演習を行うことがある。その場合、問題やアンケートにはスマートフォン等で回答することになる(とくに、オンラインで開講する場合は、問題への回答を web 上に入力してもらうことになる)。そのほかにも、レジュメを閲覧・プリントアウトしたり web ページを閲覧したりできる PC 環境を受講者が各自で確保しておくことが望ましい。
- * ワークシートは担当教員がチェックして本人に返却する(ただし、大幅に遅刻した者にワークシートは渡さない)。オンラインで回答してもらった問題は授業中に講評する。

【テキスト】

事前に配布するレジュメに基づいて講義を進める。ただし、頻繁に条文を確認する場面があるため、必ず紙媒体の六法を持参すること。

【参考図書】

- ・犯罪白書 令和 7 年版 法務省 法務総合研究所／編
(https://www.moj.go.jp/housouken/houso_hakusho2.html)
- ・ビギナーズ少年法 第3版補訂第2版 守山正／著・編集 後藤弘子／著・編集 成文堂 2900 円
- ・少年法判例百選(第2版) 川出 敏裕／編集 有斐閣 2900 円

【成績評価の方法】

試験:基本的に学期末試験の成績で評価する。(60%)
レポート:「平常点」として、ワークシートの内容などを付加的に勘案することがある。(25%)
受講態度:「平常点」として、授業への参加度などを付加的に勘案することがある。(15%)

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|---|-----|----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 04007 |
| 授業科目名:ミクロ経済学 B | | | 担当教員氏名:熊代 和樹 | |
| Microeconomics B | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 経済主体の行動に関わる理論およびその現実社会への応用について講義する。経済学部経済学科に係る専門科目として、本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献することを授業目標とする。</p> <p>受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。1. ミクロ経済学の基礎理論を理解し、説明できるようになる。 2. ミクロ経済学のツールを使って、社会が直面する経済問題を分析し、対応策を考えることができる。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 この授業は原則として対面授業を実施する。オンライン授業が必要となった場合には Zoom によるリアルタイム授業と Youtube による録画配信を併用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の配布, 課題提出, 出欠確認等で WebClass を使用する。 原則毎回レポート課題を課す。 <p>【この授業で学ぶこと】 この授業では経済学の応用分野の基礎となるミクロ経済学の基本的な考え方や近年の発展について講義する。ミクロ経済学とは、経済や社会に登場する個々の主体(消費者, 企業など)の行動に焦点を当て、どのような意思決定が行われるのか、どのような意思決定を行うべきなのか、そして個々の行動が社会でどのような結果をもたらすのかを考えるための理論である。</p> <p>【スケジュール】 概ね以下のスケジュールで授業を行うが、進捗状況に応じてスケジュールを変更する可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の原理と実践、方法 事前学習:教科書の1章と2章を熟読する 事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く 2. 最適化 事前学習:教科書の3章を熟読する 事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く 3. 需要, 供給と均衡 事前学習:教科書の4章を熟読する 事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く 4. 消費者とインセンティブ:需要曲線 事前学習:教科書の5章1?3を熟読する 事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く 5. 消費者とインセンティブ:消費者余剰 事前学習:教科書の5章4?5を熟読する 事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く 6. 生産者とインセンティブ:売り手の選択 事前学習:教科書の6章1?2を熟読する 事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く 7. 生産者とインセンティブ:供給曲線, 生産者余剰 事前学習:教科書の6章3?5を熟読する 事後学習:講義資料を見直し、関連する問題を解く | | | | |

8. 完全競争と見えざる手 事前学習:教科書の7章を熟読する 事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く
10. 外部性 事前学習:教科書の9章1?3を熟読する 事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く
11. 公共財 事前学習:教科書の9章4?5を熟読する 事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く
12. ゲーム理論と戦略的行動 事前学習:教科書の13章を熟読する 事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く
13. 時間とリスクのトレードオフ 事前学習:教科書の15章を熟読する 事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く
14. 情報の経済学 事前学習:教科書の16章を熟読する 事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く
15. オークションと交渉 事前学習:教科書の17章を熟読する 事後学習:講義資料を見直し, 関連する問題を解く
16. 最終試験

(予習・復習)

復習に重点を置いて授業外学習をすることを推奨する。予習(1時間):教科書の該当箇所を読む。復習(3時間):配布資料や教科書, ノートを見直し, 練習問題を解く。

(注意事項)

- ◎ スライドを使用して授業を行うが, 必要に応じて板書を併用するのでノートやルーズリーフなどを持参すること。
- ◎ 経済学は積み重ねが重要な学問なので毎回授業に出席すること。やむを得ず欠席した場合は WebClass から資料を入手し, 教科書を見ながら内容を確認しておくこと。
- ◎ 中間レポート・小レポートについては実施後に解説する。
- ◎ 出席は WebClass を使用して確認するのでスマートフォンを持参すること。

【テキスト】

アセモグル/レイブソン/リスト ミクロ経済学 = Acemoglu Laibson List Microeconomics/
Acemoglu, Daron, 1967- Laibson, David I List, John A., 1968- ほか / 著 東洋経済新報社 3800 円

【参考図書】

- ・ミクロ経済学 芦谷政浩 / 著 有斐閣 3100 円
- ・ミクロ経済学のカ 神取道宏 / 著 日本評論社 3200 円
- ・[改訂版]経済学で出る数学 尾山大輔 / 著・編集 安田洋祐 / 著・編集 日本評論社 2100 円

【成績評価の方法】

最終試験: 50%

レポート: 中間レポート 20% (学期中 1 回) 確認レポート 15% (15 回)

中間レポート・確認レポートについては実施後に解説する。

受講態度: 練習問題 (15%)

出版社提供の練習問題への取り組みを評価する。練習問題へのアクセス方法は初回授業で説明する。

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|---|-----|----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 04008 |
| 授業科目名:国際経済学 I | | | 担当教員氏名:山下 賢二 | |
| International Economics 1 | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 国際貿易の基礎理論を中心に展開する。貿易の発生理由、そのメリットを講義する。また、貿易理論のもつミクロ経済学の応用としての側面も講義する。</p> <p>受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.貿易の持つ経済的意味を理解できる 2.基本的な貿易理論の基本的な部分を習得できる 3.自由貿易、グローバル化のメリットを理解できる 4.ミクロ経済学をより深く理解できる | | | | |
| <p>【授業内容】 「講義方法」本講義は原則として対面方式で行う。ただし、学校閉鎖時や受講生に未入国の学生がいる場合は WebClass と Zoom を介してのオンライン方式あるいはハイブリッド方式とする。また、対面方式であれ、オンライン方式であれ、毎回、課題を提出すること。定められた期限までに WebClass から返信すること。課題提出をもって出席とみなす。</p> <p>01.国際経済学とは何か？(chap.1) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>02.国際貿易の基本 貿易の発生理由と仕組み(chap.2) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>03.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(1)比較優位と絶対優位(chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>04.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(2)部分均衡分析(1)(chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>05.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(3)部分均衡分析(2)(chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>06.伝統的貿易の理論 リカード・モデル(4)一般均衡分析(chap.3) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>07.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(1)リカード・モデルとの比較(chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>08.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(2)ヘクシャー・オリーの定理(chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>09.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(3)要素価格均等化定理(chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>10.伝統的貿易の理論 ヘクシャー・オリーモデル(4)レオンチェフの逆説(chap.5) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>11.貿易政策の理論 自由貿易と保護貿易(1)自由貿易下の経済と関税のある経済との厚生比較(chap.6) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと</p> | | | | |

12.貿易政策の理論 自由貿易と保護貿易(2)関税・輸出税・輸入補助金・輸出補助金の効果 (chap.6) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

13.新しい貿易理論(1)クルーグマン・モデル(新貿易理論) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

14.新しい貿易理論(2)メリッツ・モデル(新々貿易理論) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

15.まとめ 総復習 事前学修:当講義のノートを全部を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

16.定期試験

予習(1.5時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと

復習(2.5時間):講義ノートを読み返すこと

(注意事項)

毎回の課題提出と出席に対する評価(50%)、試験あるいは試験回の課題(試験相当)(50%) ※課題へのフィードバック回を設ける。 ※9回以下の出席しかない者、試験未受験者は成績評価対象外

【テキスト】

・教科書に加え、毎回 WebClass から配信する課題
・クルーグマン国際経済学 理論と政策 [原書第10版]上:貿易編/
山形浩生/翻訳 守岡桜/翻訳/丸善出版/4000円

【参考図書】

新版経済学辞典/辻正次/著・編集 竹内信仁/著・編集 柳原光芳/著・編集/中央経済社
/3600円/※経済学用語の説明が詳しい。

【成績評価の方法】

試験:対面にて筆記試験にて行う。(50%)
レポート:WebClassにて記述式で提出する。(30%)
受講態度:主に出席回数で判断する。(20%)
その他:上記の基準をもとに60点以上を合格とする。

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|---|-----|----|---------------|--|
| 対面授業 | | | 04009 | |
| 授業科目名: 国際経済学Ⅱ | | | 担当教員氏名: 山下 賢二 | |
| International Economics 2 | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 開放経済下でのマクロ経済について講義する。その中で、国際収支の概念、為替レートの決定理論、開放経済下での経済政策の効果を講義する。</p> <p>受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開放経済下でのマクロ経済学(国際マクロ経済学)の基礎を理解できる 2. 新旧(BPM5 と BPM6)を理解できる 3. 為替レートの決定理論を理解できる 4. 開放経済下でのマクロ経済政策の効果を理解できる | | | | |
| <p>【授業内容】 「講義方法」本講義は原則として対面方式で行う。ただし、学校閉鎖時や受講生に未入国の学生がいる場合はWebClassとZoomを介してのオンライン方式あるいはハイブリッド方式とする。また、対面方式であれ、オンライン方式であれ、毎回、課題を提出すること。定められた期限までにWebClassから返信すること。課題提出をもって出席とみなす。</p> <ol style="list-style-type: none"> 01. 国際マクロ経済学とは何か?(chap.1) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 02. 国際収支統計表(1)国際収支表の概要、BPM5(旧版)の理解(chap.1) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 03. 国際収支統計表(2)BPM6(新版)の理解、BPM5とBPM6の比較(chap.1とプリント) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 04. 為替レートと国民所得(chap.1) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 05. 為替レートの決定理論(1)為替レートとは何か、長期の為替レート決定理論(chap.2,4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 06. 為替レートの決定理論(2)短期の為替レート決定理論(1)アブソープションアプローチ(1)(chap.6) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 07. 為替レートの決定理論(3)短期の為替レート決定理論(2)アブソープションアプローチ(2)(chap.6) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 08. 為替レートの決定理論(4)短期の為替レート決定理論(3)弾力性アプローチ(chap.4) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 09. 為替レートの決定理論(5)短期の為替レート決定理論(4)ポートフォリオ・バランスアプローチ(chap.5) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと 10. 為替レートの決定理論(6)短期の為替レート決定理論(5)マンデル・フレミングアプローチ(chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと | | | | |

くこと

11. 国際マクロ経済政策(1)IS-LM-BP分析(各曲線の導出(chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

12. 国際マクロ経済政策(2)IS-LM-BP分析(変動相場制での小国のケースの財政・金融政策)(chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

13. 国際マクロ経済政策(3)IS-LM-BP分析(固定相場制での小国のケースの財政・金融政策)(chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

14. 国際マクロ経済政策(4)IS-LM-BP分析(資本移動が不完全なときの財政・金融政策)(chap.7) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

15. 総復習 事前学修:当講義のノートを全部を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

16.定期試験

予習(1.5時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと

復習(2.5時間):講義ノートを読み返すこと

(注意事項)

毎回の課題提出(50%)、試験あるいは試験回の課題(試験相当)(50%) ※課題へのフィードバック回を設ける。 ※9回以下の出席しかない者、試験未受験者は成績評価対象外

【テキスト】

- ・毎回 WebClass から講義前に送付する講義資料
- ・国際経済学 = International Finance 岩本武和 / 著 ミネルヴァ書房

【参考図書】

新版経済学辞典 辻正次 / 著・編集 竹内信仁 / 著・編集 柳原光芳 / 著・編集 中央経済社 / 3600 円 / ※経済学用語の説明が詳しい。

【成績評価の方法】

- 試験:対面にて筆記試験にて行う。(50%)
- レポート:WebClass にて記述式で提出する。(30%)
- 受講態度:主に出席回数で判断する。(20%)
- その他:上記の基準をもとに60点以上を合格とする。

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|--|-----|----|--------------|--|
| 対面授業 | | | 04010 | |
| 授業科目名: マクロ経済学 B | | | 担当教員氏名: 劉 政達 | |
| Macroeconomics B | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 本講義では、マクロ経済学の基本概念と理論を学び、経済データの理解を深める。長期および短期のマクロ経済モデルを体系的に学習し、政策の効果を分析する力を養う。 受講生が受講終了までに次のようなことができるようになることが到達目標である。1, マクロ経済学の基礎を理解し、理論を適用できる。 2, 思考・判断: 経済指標を分析し、論理的に考察できる。 3, マクロ経済モデルを活用し、政策の影響を検討できる。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 「講義方法」 本講義は原則として対面方式で行う。</p> <p>「講義計画」</p> <p>第 1 回: マクロ経済学とは何か? (マンキューchap.1) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 2 回: マクロ経済学のデータ(1) GDP(1)全体像(マンキューchap. 1、2; 福田(2023) 第一章) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 3 回: マクロ経済学のデータ(2) GDP(2)計算(マンキューchap.1、2; 福田(2023) 第一章) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 4 回: マクロ経済学のデータ(3) 物価水準、失業率(マンキューchap.1、2; 福田(2023) 第九章) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 5 回: 経済循環図(1)三面等価の法則(1)全体図・生産面(供給面)・支出面(需要面)(マンキューchap.3; 福田(2023) 第一章) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 6 回: 経済循環図(2)三面等価の法則(2)分配面(マンキューchap.3; 福田(2023) 第一章) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 7 回: マクロ経済学の理論の概要 マクロ経済学における長期と短期(マンキューchap.3) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 8 回: 貨幣システム(1)(マンキューchap.4) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 9 回: 貨幣システム(2)(マンキューchap.4) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 10 回: 開放経済(1)(マンキューchap.6) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> <p>第 11 回: 開放経済(2)(マンキューchap.6) 事前学修: 教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修: 講義ノートを読み直しておくこと</p> | | | | |

第 12 回:景気変動(1)AD-AS 分析(マンキューchap. 8; 福田(2023) 第六章) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

第 13 回:景気変動(2) AD-AS 分析(マンキューchap. 8; 福田(2023) 第六章、第七章) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

第 14 回:短期の理論(3)IS-LM 分析、LM 曲線の導出、短期の金融市場(マンキューchap. 9; 福田(2023) 第六章、第七章) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

第 15 回:短期の理論(4)IS-LM 分析(政策分析)(マンキューchap. 9; 福田(2023) 第六章、第七章) 事前学修:教科書の当該箇所を読んでおくこと 事後学修:講義ノートを読み直しておくこと

16. 定期試験

予習(2 時間):テキストの当該箇所を読んでおくこと

復習(2 時間):講義ノートを読み返すこと

単位認定(合格)

条件:総合点 60 点以上であること。ただし、以下を満たさない場合は総合点が 60 点以上でも不可とする:

1. 期末試験を受験していること(未受験は 0 点扱い)
2. 出席回数が 10 回以上であること
3. 課題の未提出が 2 回以内であること

【テキスト】

ISBN:9784492315583

書名:マンキュー マクロ経済学 I 入門篇(第4版)

著者:N・グレゴリー・マンキュー/著 足立英之/翻訳 地主敏樹/翻訳 中谷武/翻訳 柳川隆/翻訳

出版社:東洋経済新報社

価格:3960

備考:電子版あり マンキューマクロ経済学<1> 第 5 版 入門篇(電子版/PDF)

【参考図書】

ISBN:9784641222243

書名:マクロ経済学・入門[第 6 版]

著者:福田慎一/著・文・その他 照山博司/著・文・その他

出版社:有斐閣

価格:2500

【成績評価の方法】

試験:対面にて筆記試験にて行う。(50%)、レポート:授業内課題(30%)、受講態度:授業への参加・積極的性(20%)

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|---|-----|----|-------------|--|
| 対面授業 | | | 04011 | |
| 岡山経営者論 I | | | 担当教員氏名:陳 惠貞 | |
| Management in Okayama 1 | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。 経営理論と経営手法の習得 (1)企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。 (2)顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。 (3)地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。 (4)問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p> <p>【授業内容】 本講義は、対面講義で行います。講義内容の関係上、対面もしくはオンラインの際は「日本国内」のみとします。また、本学が閉鎖された場合、オンライン講義(Zoom)になります。講義の連絡事項は、講義前日までに「WebClass-タイムライン」を用いてお知らせします。なお、新型コロナウイルスの影響により、アクティブラーニングが行えないこともあります。講義方式:講義内容をまとめて、レポートを作成して提出すること。対面・オンライン授業とも、毎回レポート提出があります。</p> <p>1. 4月13日(月) 岡山商科大学 担当教員(西) 事前学修:シラバスを読む 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>2. 4月20日(月) 岡山商科大学 担当教員(日笠) 事前学修:講義内容を確認する 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>3. 4月27日(月) 小倉産業株式会社 代表取締役社長 富山 明寿 様 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>4. 5月7日(木) 小倉産業株式会社 代表取締役社長 富山 明寿 様 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>5. 5月11日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>6. 5月18日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>7. 5月25日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>8. 6月1日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> | | | | |

| |
|---|
| <p>9. 6月8日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>10. 6月15日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>11. 6月22日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>12. 6月29日(月)外部講師 事前学修:講義内容を確認する 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>13. 7月6日(月)丸正製粉株式会社 代表取締役社長 榎本 健太郎 様 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>14. 7月13日(月)丸正製粉株式会社 代表取締役社長 榎本 健太郎 様 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する</p> <p>15. 7月27日(月)岡山商科大学 担当教員(陳) 事前学修:講義内容を確認する 事後学修:講義内容を整理する。</p> <p>(予習・復習) 講義を受講するに際して、予習2時間・復習2時間を取ること 予習内容:上記のスケジュールに従って、企業のホームページ検索や関連書籍を読むこと 復習内容:配布資料を見直し、参考書を読むことで理解を深めること</p> <p>(注意事項) 毎回の講義内容について、レポートを作成して提出します。提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点100点です。なお、評価(方法)手段の評価(%)も含まれますので留意のこと。提出したレポート・課題のフィードバックは講義やWebclassを通じて適宜行う。※毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。</p> <p>【テキスト】 プリントを配布します(講師によって配布しない場合もあります)</p> <p>【参考図書】</p> <p>【成績評価の方法】 全15回講義課題-記述式レポート 極端に字数が少ない場合、評価は著しく低くなります 評価基準を公開します。 1.「講義内容」と関係ないレポートをまとめた場合、評価0点。 2. インターネット上の文章をコピーすること、評価0点。 3.レポートの最後に、聴講内容の「感想」を書くこと、加点します。 4. 講師が指示する課題を提出すること、加点します。(70%) 授業妨害(私語・遅刻・早退・居眠り)すること、減点します。(20%) 講義に積極的に参加すること(講師の質問に答えるなど)(10%)</p> <p>【備考】(受験要件なし)</p> |
|---|

| | | | | |
|---|-----|----|-------------|--|
| 対面授業 | | | 04012 | |
| 岡山経営者論Ⅱ | | | 担当教員氏名:陳 恵貞 | |
| Management in Okayama 2 | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 経営分野で活躍されている経営者の講義を受講することにより、経営理論、経営手法について、アクティブラーニングを含めて習得し、概要が説明できるようにすることを到達目標とする。 経営理論と経営手法の習得 (1) 企業経営の方針、戦略、戦術について、概要が説明できるようにする。 (2) 顧客指向の経営について、概要が説明できるようにする。 (3) 地域社会への貢献について、概要が説明できるようにする。 (4) 問題に対して、グループで提案し、まとめをして発表できるようにする。</p> <p>【授業内容】 1. 本講義は、対面講義で行います。講義内容の関係上、対面もしくはオンラインの際は「日本国内」のみとします。また、本学が閉鎖された場合、オンライン講義(Zoom)になります。講義の絡事項は、講義前日までに「WebClass-タイムライン」を用いてお知らせします。なお、新型コロナウイルスの影響により、アクティブラーニングが行えないこともあります。講義方式:講義内容:まとめ、レポートを作成して提出すること。 対面・オンライン授業とも、毎回レポート出があります。</p> 2. 9月14日(月) 岡山商科大学 担当教員(西) 事前学修:シラバスを読む 事後学修:講義内容を整理する 3. 9月28日(月)岡山商科大学 担当教員(日笠) 事前学修:講義内容を確認する 事後学修:講義内容を整理する 4. 10月5日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する 5. 10月15日(木)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する 6. 10月19日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する 7. 10月26日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する 8. 10月28日(水)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる 事後学修:講義内容を整理する 9. 11月2日(月)外部講師 事前学修:ホームページや会社概要を調べる | | | | |

事後学修: 講義内容を整理する

9. 11月9日(月)外部講師

事前学修: ホームページや会社概要を調べる

事後学修: 講義内容を整理する

10. 11月16日(月)外部講師

事前学修: ホームページや会社概要を調べる

事後学修: 講義内容を整理する

11. 11月30日(月)外部講師

事前学修: ホームページや会社概要を調べる

事後学修: 講義内容を整理する

12. 12月7日(月)外部講師

事前学修: ホームページや会社概要を調べる

事後学修: 講義内容を整理する

13. 12月14日(月) 外部講師

事前学修: ホームページや会社概要を調べる

事後学修: 講義内容を整理する

14. 12月21日(月)外部講師

事前学修: ホームページや会社概要を調べる

事後学修: 講義内容を整理する

15. 1月14日(木)岡山商科大学 担当教員(陳)

事前学修: 講義内容を確認する

事後学修: 講義内容を整理する

(予習・復習)

講義を受講するに際して、予習 2 時間・復習 2 時間を取ること 予習内容: 上記のスケジュールに従って、企業のホームページ検索や関連書籍を読むこと 復習内容: 配布資料を見直し、参考書を読むことで理解を深めること

(注意事項)

毎回の講義内容について、レポートを作成して提出します。提出内容を講義担当教員がチェック・評価し、15 回の提出内容の評価から、成績評価を行います。合計点 100 点です。なお、評価(方法)段の評価(%)も含まれますので留意のこと。提出したレポート・課題のフィードバックは講義や Webclass を通じて適宜行う。※毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。

【テキスト】 プリントを配布します(講師によって配布しない場合もあります)

【参考図書】

【成績評価の方法】

全 15 回講義課題-記述式レポート 極端に字数が少ない場合、評価は著しく低くなります 評価基準を公開します。

1. 「講義内容」と関係ないレポートをまとめた場合、評価 0 点。

2. インターネット上の文章をコピーすること、評価 0 点。

3. レポートの最後に、聴講内容の「感想」を書くこと、加点します。

4. 講師が指示する課題を提出すること、加点します。※毎回、講義の始めに各自のスマートフォンを用いて出席登録を行うので、スマホを持参すること。

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|---|-----|----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 04013 |
| 授業科目名:簿記論 I | | | 担当教員氏名:手嶋 竜二 | |
| Bookkeeping 1 | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 簿記論 I は、簿記の基本概念と仕組みを体系的に学ぶ授業である。本講義では、企業の経済活動を記録・整理し、財務情報として報告する簿記の役割を理解することを目的とする。仕訳や勘定記入、試算表作成といった基礎的な技術に加え、簿記の原則や財務諸表の構造についても学ぶ。簿記の知識を実務や経営判断に活用できるよう、理論的な背景とともに理解を深める。</p> <p>受講生が授業修了までに次のようなことができることが到達目標である。 (1) 簿記の基本概念と役割の理解 簿記が企業の経済活動を記録・整理し、財務情報として提供する仕組みを説明できる。(2) 基本的な記帳技術の習得 仕訳、勘定記入、試算表作成などの基礎的な簿記処理を適切に行うことができる。(3) 財務情報の活用力の向上 簿記の原則や財務諸表の構造を理解し、実務や経営判断に役立てることができる。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 本講義は教室にて対面講義を行う。対面授業の場合、毎回、課題提出がある。新型コロナウイルス感染症拡大等により学校閉鎖になった場合はオンライン講義になる。オンライン講義になる場合は講義日前日までに大学の Webclass を通して講義資料を配布し、当日 ZOOM 等を使って講義を行う予定である。</p> <p>第 1 回 ガイダンス(講義の進め方、評価方法について)、簿記概論 事前学修:日商簿記初級について調べる 事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施</p> <p>第 2 回 簿記の基礎(冒頭、Case1-2) 事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理 事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施</p> <p>第 3 回 商品売買(Case3-6) 事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理 事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施</p> <p>第 4 回 商品売買(Case7-10) 事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理 事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施</p> <p>第 5 回 現金・預金(Case11-14) 事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理 事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施</p> <p>第 6 回 手形と電子記録債権(Case15-19) 事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理 事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施</p> <p>第 7 回 貸付金・借入金(Case20-23) 事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理 事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施</p> <p>第 8 回 その他の取引①(Case24-29) 事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理 事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施</p> <p>第 9 回 その他の取引②(Case30-34) 事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理 事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施</p> | | | | |

第 10 回 その他の取引③(Case35-40)

事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理

事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施

第 11 回 固定資産(Case41-43)

事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理

事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施

第 12 回 租税公課と消費税・資本金①(Case44-47)

事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理

事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施

第 13 回 租税公課と消費税・資本金②と帳簿への記入(Case48-51)

事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理

事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施

第 14 回 試算表(Case52-53)

事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理

事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施

第 15 回 伝票と仕訳日計表(Case54-59)とまとめ

事前学修:教科書の該当箇所の精読と要点整理

事後学修:教科書の該当箇所の振り返りと演習問題の実施 進展状況により, 授業計画を変更する可能性がある。

予習(2 時間程度):テキストの該当箇所を読んで、問題点(疑問点)を整理しておくこと。復習

(2 時間程度):講義の内容を整理し、自分の理解度と課題を明らかにすること。

(注意事項)1. 本講義は「日商簿記検定」の対策講義ではない。2. 第1回目の授業から教科書を持参すること。3. 座席指定とし、指定された座席に着席すること。4. 講義資料の配布および課題の提示・提出は Web-Class を通じて行うため、毎回スマートフォンを持参すること。5. 授業中に確認テストや簡単な課題を行うことがある。6. 課題には、予習課題および復習課題が含まれる。7. 課題および確認テストについては、授業内での説明や Web-Class を通じて、適宜フィードバックを行う。8. 授業の理解を深めるため、質問や意見は適宜受け付ける。9. 受講上の注意事項および成績評価の具体的な方法については、第1回目の授業時に配布資料を用いて説明する。10. 12 桁表示の電卓を持参すること。11. オフィス・アワーは、木曜日 2 限とする。

【テキスト】スッキリわかる日商簿記初級、滝澤 ななみ、TAC 出版、最新版を購入すること

【参考図書】

【成績評価の方法】

授業への主体性、協調性、規律性(34%)

予習課題および復習課題への取り組み(66%)

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|---|-----|----|----------------|-------|
| 対面授業 | | | | 04014 |
| 授業科目名: 地方財政論 | | | 担当教員氏名: 多田 憲一郎 | |
| Local Public Finance | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 経済学部経済学科に関わる専門科目として、本学の教育目標である「専門学術の振興」に貢献すること。他学科の学生にとっては、「幅広い学習機会の提供」にもなる。</p> <p>【到達目標】 (1) 日本の地方財政の特徴や制度について、基本的な内容を説明できる。 (2) 日本の地方財政の現状と課題について説明できる。 (3) 日本の地方財政改革の方向性について自分の言葉で表現できる。</p> <p>【授業内容】 通常の授業は対面式で行います。ただし、大学閉鎖時には Zoom 授業で行います。いずれにしても、担当教員の指示に従ってください。</p> <p>第1回 イン트로ダクション(地方財政を学ぶ意義) 事前学習: 地方財政の現時点での関心事を整理すること 事後学習: 地方財政を学ぶ意義を理解すること</p> <p>第2回 社会経済システムにおける地方財政の意義 事前学習: 地方財政の意義を考えること 事後学習: 地方財政の意義を理解すること</p> <p>第3回 「日本型」地方財政の特徴 事前学習: 地方財政の大まかな仕組みを調べること 事後学習: 「日本型」地方財政の特徴を理解すること</p> <p>第4回 地方財源の構造と特徴 事前学習: 地方財源の大まかな構造を調べること 事後学習: 地方財政の4大財源について理解すること</p> <p>第5回 地方税の現状と課題 事前学習: 地方税の現状と課題を調べること 事後学習: 地方税の現状と課題を理解すること</p> <p>第6回 地方交付税の現状と課題 事前学習: 地方交付税の現状と課題を調べること 事後学習: 地方交付税の現状と課題を理解すること</p> <p>第7回 国庫支出金の現状と課題 事前学習: 国庫支出金の現状と課題を調べること 事後学習: 国庫支出金の現状と課題を理解すること</p> <p>第8回 地方債の現状と課題 事前学習: 地方債の現状と課題を調べること 事後学習: 地方債の現状と課題を理解すること</p> <p>第9回 地方経費の構造 事前学習: 地方経費の構造を調べること 事後学習: 目的別経費と性質別経費を理解すること</p> | | | | |

第 10 回 地方経費の現状と課題

事前学習: 地方経費の現状と課題を調べること

事後学習: 地方経費の現状と課題を理解すること

第 11 回 地方財政の収支構造

事前学習: 地方財政の収支構造を調べること

事後学習: 地方財政の収支構造を理解すること

第 12 回 地方都市の地方財政分析

事前学習: 地方都市の財政分析を試みること

事後学習: 地方都市の財政分析の内容を理解すること

第 13 回 中山間地域の地方財政分析

事前学習: 中山間地域の財政分析を試みること

事後学習: 中山間地域の財政分析の内容を理解すること

第 14 回 地方財政改革と NPM 理論

事前学習: NPM 理論について調べること

事後学習: 地方財政改革と NPM 理論を理解すること

第 15 回 地方財政改革と「新しい公共性」

事前学習: 「新しい公共性」について調べること

事後学習: 地方財政改革と「新しい公共性」を理解すること

第 16 回 最終試験

予習(2 時間程度): 参考書等を読んで、疑問点や問題点を整理しておくこと。

復習(2 時間程度): 講義の内容を復習して理解を深めること。

(注意事項)

出席: 毎回の講義の後のレポート提出により、出席を確認する。レポート: 優れたレポートについては、授業時間中に公表して、コメントする。

【テキスト】プリントを配布する。

【参考図書】

五訂版 習うより慣れろの市町村財政分析 基礎からステップアップまで
大和田一紘／著 石山雄貴／著 菊池稔／著 自治体研究社

【成績評価の方法】

試験: 本講義の目標に到達しているかについて、確認する最終試験を実施する。(70%)

レポート: 毎回の講義の後、講義の内容に関するレポートを提出させる。(30%)

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|--|-----|----|-------------|--|
| 対面授業 | | | 04015 | |
| 授業科目名:生命倫理と法 | | | 担当教員氏名:粟屋 剛 | |
| Bioethics and Law | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 医療や生命科学(及びそれらの周辺領域)は患者ひいては社会に恩恵をもたらすものであると同時に、さまざまな倫理的、法的、社会的問題 Ethical, Legal and Social issues(=ELSI)をも、抱えている。本講義のねらいは、受講生がそれらの問題のうちのとくに基本的なものを理解できるようになることである。</p> <p>【到達目標】 受講生は、生命倫理と法に関する基礎知識を身につけることができる。そして、それと同時に、一般的な「ものの考え方」を身につけることができる。本講義を通して受講生の目から数枚の鱗(うろこ)が落ちることを期待する。</p> <p>【授業内容】 ●原則、対面講義。コロナ禍等次第で、文部科学省及び岡山商科大学の方針に従ってオンライン(動画配信またはライブ)講義へ移行します。受講者の個別事情によるオンライン講義は行いません。 ●翌週の講義でフィードバックを行います。 ●適宜、ディスカッションないしディベートを行います。そのつもりで受講してください。 ●やむを得ず休講になる場合があります。その補講は火曜5限(つまり通常の火曜4限の本講義の続き)に行います。そのつもりで受講してください。</p> <p>第1回【テーマ】臓器売買を通して生命倫理(Bioethics:バイオエシックス)を考える【内容】インド、フィリピン、日本などでの臓器売買の実態を紹介し、その上で、臓器売買に関する法的、倫理的問題を概説する。さらには、それらを前提に生命倫理の「深み」を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第2回【テーマ】臓器移植をめぐる法と倫理—常識が覆る?:生命倫理問題の本質を知る—【内容】改正臓器移植法による自己決定権空洞化の問題を含めて、臓器移植一般に関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第3回【テーマ】脳死論【内容】脳死は本当に人間の死か、という根本問題も含めて、脳死に関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第4回【テーマ】安楽死をめぐる法と倫理【内容】安楽死に関する実例を紹介した上で、それらに関する法的、倫理的問題を概説する。日本の判例や外国の立法等も概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第5回【テーマ】生殖医療をめぐる法と倫理【内容】人工授精・体外受精、配偶子(精子・卵子)提供、出生前診断・着床前診断、代理出産、死後生殖・死後認知等における法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> <p>第6回【テーマ】患者の自己決定権とインフォームド・コンセント【内容】医療倫理、生命倫理の基本概念である患者の自己決定権について概説する。また、インフォームド・コンセント及び医療者の説明義務についても概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。</p> | | | | |

第7回【テーマ】医療事故をめぐる法と倫理 【内容】診断・検査ミス、投薬・注射・手術事故、及び輸血・麻酔事故等に関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

第8回【テーマ】人体実験—医学研究をめぐる法と倫理— 【内容】人体実験や臨床試験も含めて、医学研究一般に関する法的、倫理的問題を概説する。また、近時の医学研究不正問題についても概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

第9回【テーマ】人体論—人体・臓器・組織・細胞・遺伝子をめぐる法と倫理— 【内容】生体・死体、臓器・組織・細胞に関する所有権問題を含めて、それらをめぐる法的、倫理的問題を概説する(死者と死体の法の概説を含む)。遺伝子に関する法的、倫理的問題も概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行う。

第10回【テーマ】人体商品化論—医療テクノロジーと市場経済システムによる人体資源化・商品化をめぐる法と倫理— 【内容】アメリカ人体部品産業の紹介を含めて、人体資源化・商品化の現実を紹介する。その上で、それらに関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

第11回【テーマ】優生学—それは人類の避けられない病(やまい)なのか— 【内容】ナチス・レーベンスポルン(生命の泉)計画や我が国のハンセン病問題などを素材にして優生学(ないし優生思想)について概説する。そして、それらをめぐる法的、倫理的問題について概説する。我が国の国民優生法・優生保護法・母体保護法などにも触れる。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

第12回【テーマ】人間改造論—人類の見果てぬ夢か:テクノロジーによる近未来的優生学的人間改造— 【内容】エンハンスメント(能力増強)論について概説し、それに連動する近未来的かつ優生学的な人間改造の問題を、テクノロジーは人類をどう変えるか、という視点から概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

第13回【テーマ】動物論—「人間というペテン師」(粟屋)— 【内容】家畜やペットを含めて動物一般に関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

第14回【テーマ】AI とヒューマノイドをめぐる法と倫理—間違いやすい人類の決断— 【内容】シンギュラリティ(技術的特異点)の問題を含めて、ロボットとりわけAI(人工知能)搭載型ヒューマノイドロボットに関する法的、倫理的問題を概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

第15回【テーマ】文明論的生命倫理 —「文明は欲望充足システムであり、その手段はテクノロジーという怪物である」(粟屋)— 【内容】究極の生命倫理学である「文明論的生命倫理(学) Civilizational Bioethics」について概説する。○タイトルに関連する事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

予習・復習

当日の講義テーマに関係する事項につき、事前学修(2時間)及び事後学修(2時間)を行うことがとても望ましい。

注意事項

(1) 講義にきちんと出席(三分の二以上)することが単位取得の前提です(毎回出席をとります)。

(2) 遅刻、早退、私語、スマホ、居眠り、着帽、内職等、お止め下さい。

(3) 人間とは何か、とか、人間はいかに生きるべきか、とかについて学びたい方は是非、受講して下さい。しかし、単位が欲しいのみ、という方は受講をお控えください。

【テキスト】(教材)

担当者(粟屋)のホームページ <https://bioethicsawaya.wixsite.com/website-1> から適宜、論文、エッセイ、新聞記事等、ダウンロード可能。

【参考図書】

シリーズ生命倫理学(全20巻)/粟屋剛・編集総代表(総執筆者約250名)/丸善/約20万円

【成績評価の方法】

講義最終回(第15回目)に試験を行います(○×式、1問5点×20問=100点満点)。なお、毎回の講義中に、試験に出す問題を(全部ではないですが)言います。講義中に居眠りやスマホいじりなどで注意を受けた場合、一回につき、3点を減点します。また、講義中に適宜、口頭で全員に対して問題を出しますが、それに(最初に)正しく答えた場合、3点を加算します。間違えた場合でも1点を加算します。

【備考】(受講要件なし)

| | | | | |
|---|-----|----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 04016 |
| 授業科目名:岡山産業概論 | | | 担当教員氏名:渡邊 信治 | |
| Introduction to Okayama Industry | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 岡山県の産業の概略(歴史、特徴、強み、社会的基盤、地元企業、産業人など)を理解して地元企業や当地域のビジネスに対する関心を一層高めるとともに、今後の地域づくりや学生自身の将来ビジョン形成に向けての示唆を得ることを目的とする。</p> <p>【到達目標】 下記の点について説明できるようにする。 (1)岡山県の産業発展の歴史 (2)現在の岡山県の産業構造や特徴、強み、地場産業、ポテンシャル的な産業分野 (3)岡山県の産業近代化を支えた社会的基盤 (4)特色ある岡山県内の地元企業 (5)岡山県の産業発展に寄与・貢献した人たち</p> <p>■講義方法 =通常時= ・通常時は、教室において対面講義とする。・講義資料は、WebClass などを通じて事前に配布する。=オンライン授業時= ・オンライン授業となった場合は、オンデマンドの録画ビデオにて講義を行う予定。・講義資料の配布のほか、小テスト、レポート、及び確認課題の配布、回収は WebClass などを使用する予定。</p> <p>■小テスト・レポート(第 2 回目講義?第 14 回目講義)・毎回の講義時(第 2 回目?第 14 回目)に、小テストもしくはレポートを課す。・小テストとレポートのどちらにするかは、当日の講義の内容による。・教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。・小テストは、穴埋め式、選択式などによる設問の予定。レポートは、少文字数の論述式の予定。・欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。</p> <p>■確認課題(第 15 回目の講義最終回)・第 15 回目の講義最終回に、確認課題(論述)を実施する予定。・教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。・欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。</p> <p>■講義スケジュール 第1回 オリエンテーション&シラバス説明 <事前学習:予習>2時間 事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。 <事後学習:復習>2時間 事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。</p> <p>第2回 岡山県の産業発展の歴史 <事前学習:予習>2時間 事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。 <事後学習:復習>2時間 事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。 ◆小テスト or レポート</p> <p>第3回 現在の岡山県の産業構造及び、主要産業の特徴と動向 <事前学習:予習>2時間 事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。 <事後学習:復習>2時間 事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。 ◆小テスト or レポート</p> | | | | |

第4回 産業面から見た岡山県の強み

＜事前学習：予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習：復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第5回 地域別に見た岡山県の地場産業

＜事前学習：予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習：復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第6回 岡山県のポテンシャル的な産業分野

＜事前学習：予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習：復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第7回 岡山県の産業近代化を支えた地域鉄道

＜事前学習：予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習：復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第8回 岡山県の産業近代化を支えた地域金融

＜事前学習：予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習：復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第9回 岡山県の産業近代化を支えた学問教育

＜事前学習：予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習：復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第10回 岡山県の産業近代化を支えた産業遺産

＜事前学習：予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習：復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第11回 岡山県内の街づくり&生活関連カンパニー①

＜事前学習：予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習:復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第12回 岡山県内の街づくり&生活関連カンパニー②

＜事前学習:予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習:復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第13回 産業近代化の黎明期において、道を切り拓いた岡山の行政人、経済人

＜事前学習:予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習:復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第14回 地域社会における企業の在り方を模索した岡山の経営者たち

＜事前学習:予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習:復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆小テスト or レポート

第15回 全体のまとめと確認課題

＜事前学習:予習＞2時間

事前配布資料に目を通しておくほか、関連書籍などを読んで講義の流れをつかんでおくこと。

＜事後学習:復習＞2時間

事前配布資料を読み返して整理するとともに、関連書籍などを読んで理解を深めておくこと。

◆確認課題

受講するに際しては、予習と復習をそれぞれ2時間行う。＜予習の内容＞ 事前に配布する資料に目を通しておくほか、関連する書籍や資料を読んで講義の流れをつかんでおくこと。＜復習の内容＞ 事前に配布する資料を読み返して整理するとともに、関連する書籍や資料を読んで理解を深めておくこと。

注意事項

出席確認:出席確認はスマートフォンを使用するので、必ず毎回持参すること。

出席日数:大学の規定の出席回数を満たしていることが、最終成績評価の前提。病気、忌引き(身内の葬儀)、就職活動(面接)、部活(公式試合)などの理由でやむを得ず出席できないとき(公欠)は、所定の手続きで速やかに大学事務室と教官の両方に届け出ること。(届出方法は大学の規定による)

フィードバック:小テストとレポートについては、実施した次の回の授業時に、良い例や全体的な傾向などをフィードバックする。

禁止行為:この講義では、下記の行為を禁止する。

- ・カメラ等(スマートフォンを含む)で教室内を撮影すること
- ・許可なくスマートフォン、携帯電話等を操作、使用すること
- ・パソコン、スマートフォン等から音を発生、漏出させること(特に厳禁)
- ・私語をすること(特に厳禁)
- ・喫煙、飲食(必要な水分補給は可)
- ・その他講義の妨げとみなされる行為

こうした行為をやめないなど教官の指示に従わない受講生については、退室させた上で最終成績評価を減点する。

| |
|--|
| <p>各種通知:全員に対する重要事項は、講義時に教室で説明するので、毎回出席しないと、情報を入手出来ないリスクがある。欠席者に対する別途の通知、説明は行わない。個別の受講生に向けた個別の通知は WebClass で行い、受講生から教官への回答も WebClass で行う。受講生は、常に WebClass を確認し、自分あてに教官からメッセージが来ていないかどうか確認すること。無回答者(無返信者)に対する再度の通知などの対処は行わない。</p> |
| <p>【テキスト】毎回事前に、WebClass 等を通じて資料を配布する。特定の教科書、テキスト、参考書は使用しない。</p> |
| <p>【参考図書】</p> |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の講義時(第 2 回目～第 14 回目)に、小テストもしくはレポートを課す。小テストとレポートのどちらにするかは、当日の講義の内容による。教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。小テストは、穴埋め式、選択式などによる設問の予定。欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。1 回あたり 5 点×6 回=30 点。</p> <p>毎回の講義時(第 2 回目～第 14 回目)に、小テストもしくはレポートを課す。小テストとレポートのどちらにするかは、当日の講義の内容による。教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。レポートは、少文字数の論述式の予定。欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。1 回あたり 5 点×7 回=35 点。</p> <p>教官の指示、指導に従わない場合は、教官の判断により最終成績評価を減点する。</p> <p>第 15 回目の講義最終回に、確認課題(論述)を実施する予定。教室で紙の問題用紙(解答用紙)を配布して実施し、その場で回収する予定。欠席者には、公欠の場合を除き別途の実施をしない。</p> |
| <p>【備考】(受講要件なし)</p> |

| | | | | |
|--|-----|-----------|--------------|--|
| 対面授業 | | | 04017 | |
| 授業科目名: 観光・地域開発論特殊講義 | | | 担当教員氏名: 三好 宏 | |
| Topics in the Tourism and Regional Development | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2単位 | 前期集中・後期集中 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 商学科の専門科目として、本学の教育目標である「専門学術の振興」と「社会的人材の育成」に貢献すること。他学科の学生にとっては、「幅広い学習機会の提供」にもなる。</p> <p>【到達目標】 受講生が、受講後に次のようなことができるようになることが到達目標である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国人観光客に対して、岡山県内の観光地に関する簡単なガイドができる 2. 外国人観光客、留学生などとの国際交流を通じて、異文化を理解する力を向上できる 3. ガイドだけでなく、日常生活の中で必要なコミュニケーションスキルも高めることができる <p>【授業内容】 「講義方法」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 本講義は岡山県の「インバウンド向け学生ガイド育成事業」に基づく、岡山商科大学(経営学部・商学科)が大学コンソーシアム岡山へ提供する夏季集中講義(4日間)の専門科目である。 2) 授業自体は、専門の外部講師をお呼びし、講義、グループワーク、フィールドスタディ(ワーク)を行うこととし、うち2日目と3日目は岡山県内の観光地(今のところ美観地区を予定)に出向き、専門家の指導のもとガイド体験を行う。なお、県内の多くの学生が履修しやすいように、夏季休業期間中での集中講義、講義など座学の場所は岡山国際交流センター(岡山駅西口周辺)を利用して実施する。 3) 授業終了後は、できるだけ観光ガイドボランティアとして実践(授業ではないが、岡山県による観光ガイド実習を用意)を積み重ねていくことを強く要望する。 4) 科目運営全体統括は、事業受託者である(株)JTB 岡山支店の協力のもと、岡山商科大学の三好が担い、同大学杉本とともに履修者の成績評価を行う(受託者は変更となる場合もある)。 5) 学校閉鎖となった場合は、オンライン対応も検討するが、場合によっては中止もありうる。 6) 受講募集については、通常の履修登録ではなく、コンソーシアム岡山の決定に基づいて教務課から連絡が届くので、注意しておくこと。なお、下記授業内容はあくまでも予定であり、詳細が決定すれば各大学の教務課などを通じ、それを伝達する。またその場合も都合により、講義内容、担当者、講義順が変更になることがあるので、注意されたい。また、県のこの事業が中止となった場合は、授業内容の大幅変更、ないしは不開講となる可能性も了承していただきたい。 <p>1. 講義:オリエンテーションと総論 授業の進め方、インバウンドの現状、ガイドの必要性・役割など 事前学修:岡山県の観光の状況、インバウンドについて、調べられることを調べてくる 事後学修:授業内容を整理する</p> <p>2. 講義:ガイド研修① ガイドの基礎知識、求められるスキル、心構えなど 事前学修:事前に与えた課題について考えてくる 事後学修:授業内容を整理する</p> | | | | |

3. 講義:ガイド研修② 日本の習慣に対する素朴な疑問に関する学習など 事前学修:事前に与えた課題について考えてくる
事後学修:事業内容を整理する
4. 講義:語学研修① 通訳ガイドに必要な語学のコミュニケーションを学ぶ 事前学修:事前に与えた課題について考えてくる
事後学修:授業内容を整理する
5. 講義:語学研修② 通訳ガイドに必要な語学の学習方法
事前学修:事前に与えた課題について考えてくる
事後学修:授業内容を整理する
6. 講義:語学研修③ 倉敷美観地区のガイドに必要な語学と歴史
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる
事後学修:授業内容を整理する
7. 講義:ガイド研修③ ガイドに求められる顧客視点、コミュニケーションスキルを学ぶ
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる
事後課題:授業内容を整理する
8. 9. フィールドワーク:ガイド体験① 倉敷美観地区でのガイド体験 その1回目 事前学修:事前に与えた課題について考えてくる
事後学修:授業内容を整理する
10. 11. フィールドワーク:ガイド体験② 倉敷美観地区でのガイド体験 その2回目
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる
事後課題:授業内容を整理する
12. 講義:観光産業① インバウンド市場で求められるスキル、人材
事前学修:事前に与えた課題について考えてくる
事後学修:授業内容を整理する
13. 講義:観光産業② 岡山県の観光産業の現状と未来
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる
事後課題:授業内容を整理する
14. グループワーク:まとめと発表
事前課題:事前に与えた課題について考えてくる
事後課題:授業内容を整理する
15. 総まとめ
事前学修:これまでの内容をレポートにまとめてくる
事後学修:授業内容を整理する
- 予習(1時間程度):次回講義で取りあげる内容などの下調べ、考察他。
復習(3時間程度):講義についてのまとめノート作成などによる内容の整理。

注意事項

出席:名簿、各授業回の課題提出により、出席を確認する

成績評価方法:最終レポート 60%、毎回授業に対する意見・感想レポート 10%、フィールドワーク 15%×2 回、計 30%(以上は、現段階での目安) 授業回によっては、ノートパソコン、タブレット、スマホなどで情報収集を行う可能性があるため、各自準備しておくこと。各授業回のレポートについてはそれ以降の回の授業で全体講評を行う。最終レポートについては、原則コメントをつけて返却するが、場合により全体講評に切り替わる可能性もあるので、ご承知おきいただきたい。

【テキスト】(教材)配布資料(基本、紙媒体を配布)を用いる。

【参考図書】

【成績評価の方法】

全体をまとめた最終レポート(60%)

毎回の授業に関する意見・感想レポート(10%)

フィールドワーク(30%)

【備考】

受講要件なし。ただし、募集時に人数制限(2025年度は30名程度)等行う。成績評価は後期に行う。

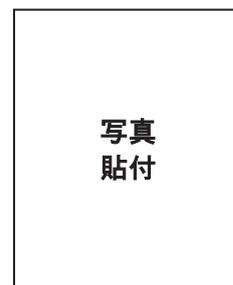
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

* 学生は太枠内のみ記入

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

岡山商科大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | 印 |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|--------------|-----|----------|-------|---|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | | 学科 | |
| 学生番号 | | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | |
| | | 男・女 | | 昭和・平成 | 年 |
| 現住所 | 〒 - TEL: - - | | | | |
| メールアドレス | @ | | | | |

* 履修受付締切日：前期：3月31日(火)まで 夏季、前期、後期集中：7月31日(金)まで
後期：9月8日(火)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|-------|----|-------|----|-----|------|-----------------------|---------------|------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 04001 | 行政法Ⅰ | 専門 | 伊藤 治彦 | 2 | 前期 | 2~4 | 定員 20 名 1・Ⅱ 受講要件なし | 木 13:10~14:40 | | |
| 04002 | 行政法Ⅱ | 専門 | 伊藤 治彦 | 2 | 後期 | 2~4 | | 木 13:10~14:40 | | |
| 04003 | 民法概説 | 専門 | 倉持 弘 | 2 | 前期 | 1~4 | 定員 20 名 | 月 9:00~10:30 | | |
| 04004 | 民法総則 | 専門 | 倉持 弘 | 2 | 前期 | 2~4 | 定員 20 名、民法概説を履修済であること | 月 15:00~16:30 | | |
| 04005 | 刑事政策 | 専門 | 白井 諭 | 2 | 前期 | 2~4 | 定員 20 名 | 月 13:10~14:40 | | |
| 04006 | 現代刑事法 | 専門 | 白井 諭 | 2 | 後期 | 2~4 | 定員 20 名 | 火 15:00~16:30 | | |

| No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開講 期 | 配当 学年 | 備 考 | 曜 日・時 限 | 履 修 希 望 | 評 価 |
|---------------|--------------|-----|--------|-----|----------------------|-------|----------------------------------|---------------|---------|-----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 04007 | ミクロ経済学 B | 専 門 | 熊代 和樹 | 2 | 後 期 | 2~4 | 定員 15 名 | 水 10:50~12:20 | | |
| 04008 | 国際経済学 I | 専 門 | 山下 賢二 | 2 | 前 期 | 2~4 | 定員 15 名 1・II 受講要件なし | 木 10:50~12:20 | | |
| 04009 | 国際経済学 II | 専 門 | 山下 賢二 | 2 | 後 期 | 2~4 | | 木 10:50~12:20 | | |
| 04010 | マクロ経済学 B | 専 門 | 劉 政達 | 2 | 後 期 | 2~4 | 定員 15 名 | 木 13:10~14:40 | | |
| 04011 | 岡山経営者論 I | 専 門 | 陳 惠貞 | 2 | 前 期 | 1~4 | 定員 15 名 1・II 受講要件なし | 月 15:00~16:30 | | |
| 04012 | 岡山経営者論 II | 専 門 | 陳 惠貞 | 2 | 後 期 | 1~4 | | 月 15:00~16:30 | | |
| 04013 | 簿記論 I | 専 門 | 手嶋 竜二 | 2 | 後 期 | 1~4 | 定員 15 名 | 木 10:50~12:20 | | |
| 04014 | 地方財政論 | 専 門 | 多田 憲一郎 | 2 | 前 期 | 2~4 | 定員 15 名 | 火 15:00~16:30 | | |
| 04015 | 生命倫理と法 | 専 門 | 粟屋 剛 | 2 | 後 期 | 2~4 | 定員 20 名 | 火 15:00~16:30 | | |
| 04016 | 岡山産業概論 | 教 養 | 渡邊 信治 | 2 | 前 期 | 1~4 | 定員 20 名 | 月 13:10~14:40 | | |
| 04017 | 観光・地域開発論特殊講義 | 専 門 | 三好 宏 | 2 | 前期 集中 後期 集中 | 1~4 | 定員 30 名程度の予定 ※成績評価は後期に 行う。 | 日程調整中 | | |

| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
|--|--------|-------|---------------------------|
| | 1 枚 | 0 枚 | 1 枚 (貼付分を身分証明書用に使用します) |

(5)岡山理科大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|-----|--------------|---|--------------|
| 開講期間 | 春学期 | 2026年 4月 10日 | ～ | 2026年 8月 6日 |
| | 秋学期 | 2026年 9月 14日 | ～ | 2027年 1月 25日 |
| 授業時間 | 1時限 | 9:10 | ～ | 10:40 |
| | 2時限 | 10:55 | ～ | 12:25 |
| | 3時限 | 13:15 | ～ | 14:45 |
| | 4時限 | 15:00 | ～ | 16:30 |
| | 5時限 | 16:45 | ～ | 18:15 |

※春学期前半科目は 2026年 4月 10日～2026年 6月 11日

後半科目は 2026年 6月 12日～2026年 8月 6日

※秋学期前半科目は 2026年 9月 14日～2026年 11月 11日

後半科目は 2026年 11月 12日～2027年 1月 25日

岡山理科大学へのアクセス・周辺マップ

| 交通手段 | 出発場所 | 路線 | 下車場所 | 所要時間 |
|------|---------------------|---------|-----------------|-----------------------|
| 岡電バス | JR岡山駅西口 (22番乗り場) | 岡山理科大学行 | 岡山理科大学 バス停 | バス20分、 徒歩0分、片道230円 |
| 岡電バス | JR岡山駅東口 (13番乗り場) | 理大東門行 | 岡山理科大学東門 バス停 | バス30分、 徒歩0分、片道230円 |
| JR | JR岡山駅 | JR津山線 | JR法界院駅 | JR4分、徒歩25分 |
| タクシー | JR岡山駅西口 | | 岡山理科大学 | タクシー15分、徒歩0分 |

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

| | |
|-----------|--------------|
| 教学支援部 教務課 | |
| 所在地: | 岡山市北区理大町 1-1 |
| 電話: | 086-256-8447 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

・春学期受付:2026年3月23日(月)～4月3日(金)
・秋学期受付:2026年8月24日(月)～9月4日(金)

・ 履修手続

以下の印刷物を配付します。

- ① OUS-ID(時間割等お知らせ用ポータルサイトログインID)
- ② 学生証

・ 施設利用

岡山理科大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

| |
|--|
| |
|--|

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mylog.pub.ous.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006>

・対面授業科目

| | | | | |
|--|---|-------|-----|--|
| 対面授業 | | 05001 | | |
| データの数理Ⅱ | | 大江 貴司 | | |
| Mathematics of Data Processing II | | | | |
| 履修年次:3~4 年次 | 2 単位 | 秋 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 現代の情報システムで重要な要素を占めるビッグデータ解析や機械学習など人工知能技術開発に用いられる代表的な統計的手法である多変量解析について講義する。特にデータ解析の代表的手法である回帰分析、主成分分析、クラスタ分析等について説明する。また、それらをコンピュータ上で実行するための情報システムについても言及する。 | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. 多変量解析が利用される様々な場面について説明する。 | 9. 重回帰分析における寄与率および重相関係数について説明する。 | | | |
| 2. 統計的推定および検定について、復習する。 | 10. 主成分分析のアイデアと第1主成分の導出について説明する。 | | | |
| 3. 単回帰分析の回帰係数の推定に現れる正規方程式について説明する。 | 11. 主成分分析における第2以下の主成分の導出と寄与率・因子負荷量について説明する。 | | | |
| 4. 単回帰分析における正規方程式の解の構成について説明する。 | 12. 因子分析について説明する。 | | | |
| 5. 単回帰分析における不偏性定理について説明する。 | 13. クラスタ分析の基本的アイデアと、集合間の距離の取り方について説明する。 | | | |
| 6. 単回帰分析における寄与率および回帰の仮説検定について説明する。 | 14. クラスタ分析のアルゴリズムについて説明する。 | | | |
| 7. 重回帰分析の回帰係数の推定に現れる正規方程式について説明する。 | 15. 判別分析について説明する。 | | | |
| 8. 重回帰分析における正規方程式の解の構成と不偏性定理について説明する。 | 16. 15回の講義全般に関するまとめ試験を実施する。 | | | |
| 【テキスト】 多変量解析入門／永田靖・棟近雅彦／サイエンス社／ISBN4-7819-0980-9 | | | | |
| 【参考図書】 Rで学ぶ確率統計学(多変量統計編)／神永正博・木下勉／内田老鶴圃／ISBN978-4-7536-0124-0 | | | | |
| 【成績評価の方法】 ・講義毎に実施する練習問題: 評価割合 75%(各回 5%) ・学期末に実施するまとめテスト: 評価割合 25% により評価し、総計で 60%以上を合格とする。 | | | | |
| 【備考】 とくになし。 | | | | |

| | | | | |
|--|------|--------------------------------------|------|--|
| 対面授業 | | 05002 | | |
| 鉱物科学 | | 新原 隆史 | | |
| Mineral Science | | | | |
| 履修年次:2~4 年次 | 2 単位 | 春 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 | | | | |
| 地球などの太陽系固体天体を構成する物質の基本単位である鉱物を理解することは、太陽系について知る上で最も基礎的なことである。そこで、まず鉱物の物理的性質・化学的性質・産状・成因など鉱物学の基礎を習得する。そして、身近な鉱物の例をあげ、鉱物生成のメカニズムの解明がどのような手法で行われるか理解する。隕石に含まれる鉱物の特徴とその形成環境について理解する。 | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. イントロダクション。講義の進め方について説明する。続いて、身近な鉱物を例に私たちの生活と鉱物との繋がりについて理解する。 | | 9. 隕石の種類と分類について理解する。 | | |
| 2. 鉱物の定義について説明する。 | | 10. コンドライト隕石の成因と種類を理解する。 | | |
| 3. 鉱物の定義について説明する。続いて私たちの繋がりをより理解するために、どんな分野と関係しているかについて説明する。 | | 11. 分化天体起源隕石(月・HED 隕石など)の成因と種類を理解する。 | | |
| 4. 鉱物の結晶化学的性質、特に結晶系、晶族について理解する。 | | 12. 分化天体起源隕石(火星隕石など)の成因と種類を理解する。 | | |
| 5. 鉱物の結晶化学的性質、ケイ酸塩鉱物の構造について理解する。 | | 13. 惑星探査で持ち帰られた試料の特徴と隕石との関係を理解する。 | | |
| 6. 鉱物の結晶化学的性質、特に固溶体について理解する。 | | 14. 鉱物の風化変質について理解する。鉱物資源について理解する。 | | |
| 7. 鉱物の結晶化学的性質、特に面指数、単位包について理解する。X線回折法とこれによって何がわかるかを理解する。 | | 15. 9回以降に解説した内容の理解度を確認するため小テストを行う。 | | |
| 8. 1~7回目までの内容について理解度を確認するための小テストを行う。 | | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| 結晶学・鉱物学/藤野清志/共立出版/ISBN978-4-320-04719-8 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| 二訂版 ニューステージ地学図表/浜島書店/ISBN978-4-8343-4018-1 | | | | |
| 鉱物の科学/赤井純治ほか/東海大学出版部/ISBN978-4-486-01303-7 | | | | |
| 【成績評価の方法】 | | | | |
| 授業中に実施する2回の小テスト(40%)、各授業の際に提出する感想および質問(20%)、レポート(40%)により成績を評価する(達成目標の1~5を確認する)。レポート・課題はすべて提出すること。総計で60%以上を合格とする。 | | | | |
| 【備考】 | | | | |
| 講義中の録音、録画、撮影は原則認めないが、合理的配慮が必要な学生に関しては許可するので事前に申し出ること。そこで取得したデジタルデータや配布資料等の他者への再配布(ネットへのアップロードやSNSへの掲載を含む)や転用は厳禁とする。 | | | | |

| | | | | | |
|--|------|---|-------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 05003 | |
| 量子力学の基礎 | | | 今井 剛樹 | | |
| Elementary Quantum Mechanics | | | | | |
| 履修年次:2~4 年次 | 2 単位 | 秋 | 1 コマ | | |
| 【授業の目的】 量子力学は電子や光子のようなミクロな世界を支配する枠組みであり、現代科学の基礎として様々な分野に応用されている。この講義では、古典力学から量子力学への橋渡しをすることを目指し、主として1次元系の現象に注目して量子力学の枠組みを解説する。 | | | | | |
| 【授業内容】 | | | | | |
| 1. 量子力学のはじまりについて解説する。(その1、黒体輻射) | | 9. ここまでの内容について理解度チェック(1回目)を実施し、フィードバックを行う。 | | | |
| 2. 量子力学のはじまりについて解説する。(その2、光の粒子性) | | 10. 演算子と固有関数について解説する。(その1) | | | |
| 3. 量子条件とド・ブロイ波について解説する。(その1、ボーアの量子条件) | | 11. 演算子と固有関数について解説する。(その2) | | | |
| 4. 量子条件とド・ブロイ波について解説する。(その2、不確定性原理) | | 12. 1次元系の粒子(井戸型ポテンシャル)について解説する(その1) | | | |
| 5. シュレディンガー方程式と波動関数について解説する。(その1) | | 13. 1次元系の粒子(井戸型ポテンシャル)について解説する(その2) | | | |
| 6. シュレディンガー方程式と波動関数について解説する。(その2) | | 14. 1次元系の粒子(反射と透過)について解説する。 | | | |
| 7. 運動量空間と不確定原理について解説する。(その1) | | 15. ここまでの内容について理解度チェック(2回目)を実施し、フィードバックを行う。 | | | |
| 8. 運動量空間と不確定原理について解説する。(その2) | | | | | |
| 【テキスト】 「量子力学 I」原田勲・杉山忠男著(講談社) | | | | | |
| 【参考図書】 適宜、参考書を紹介する。 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 講義の課題が 20%(達成目標1、2を確認)、理解度チェック(1回目)が 40%(達成目標1を確認)、理解度チェック(2回目)が 40%(達成目標1、2を確認)の割合で成績を評価し、総計が 60%以上を合格とする。 | | | | | |
| 【備考】 特になし | | | | | |

| | | | | |
|---|---|-------|------|--|
| 対面授業 | | 05004 | | |
| 安全化学 | | 岩永 哲夫 | | |
| Chemical Safety | | | | |
| 履修年次:3~4 年次 | 2 単位 | 春 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 | | | | |
| <p>本講義では、「危険物取扱者」や「毒物・劇物取扱責任者」の資格試験に出題される法令や各種危険物の取り扱い方法などを中心に取り扱い、資格取得を目指す。また研究室において専門的な実験を安全に行うために、化学物質の取り扱い方や実験操作の基本を理解する。化学物質に関連したいくつかの法律を理解し、環境との関わりを社会的な面から考えていく。</p> | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. 講義および危険物取扱者などの資格の概要を理解する。化学実験の安全の総論、研究の進め方、研究倫理について学習し、理解する。 | 9. 「危険物取扱者」と「毒物劇物取扱責任者」に係る模擬試験に解答し、その解説を理解する。 | | | |
| 2. 危険な化学物質 毒物劇物(1):毒物・劇物に関する法令および各物質の性質について学習し、理解する。 | 10. 危険な化学物質 環境汚染物質等(1) 発がん性物質、環境基本法、水質・大気汚染について学習し、理解する。 | | | |
| 3. 危険な化学物質 毒物劇物(2):薬物類の法規制と性質および応急処置について学習し、理解する。 | 11. 危険な化学物質 環境汚染物質等(2) オゾン層破壊物質、化審法、労安法について学習し、理解する。 | | | |
| 4. 危険な化学物質 法令:危険物に関する法令、危険物の分類、資格について学習し、理解する。 | 12. 危険な化学物質 環境汚染物質等(3) PRTR 法、MSDS、ダイオキシン類、地球温暖化について学習し、理解する。 | | | |
| 5. 危険な化学物質 危険物(1) 危険物各類(第1、3、5、6類)の性質について学習し、理解する。 | 13. 実験装置と実験操作(1) ガラス器具の扱い方、真空、脱水・乾燥、加熱、蒸留などの操作について学習し、理解する。 | | | |
| 6. 危険な化学物質 危険物(2) 危険物各類(第2、4類)の性質について学習し、理解する。 | 14. 実験装置と実験操作(2) 冷却、かくはん、再結晶などの操作、不安定化合物の取り扱いについて学習し、理解する。また事故の実例と対策について理解する。 | | | |
| 7. 危険な化学物質 危険物(3) 危険性に関する表示、燃焼と消火の理論、高圧ガスおよび緊急対処法について学習し、理解する。 | 15. 危険物取扱者試験に係る総合演習に解答し、その解説を理解する。講義内容の総括を行う。 | | | |
| 8. 「危険物取扱者」と「毒物劇物取扱責任者」の法令に係る演習問題を行い、その解説を理解する。 | | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| 学生のための化学実験安全ガイド／徂徠 道夫他著／東京化学同人／978-4-807905716 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・基礎化学実験安全オリエンテーション／山口 和也・山本 仁著／東京化学同人 ・失敗から安全を学ぶ化学実験の心得／西脇 永敏著／化学同人 その他は講義において指示する | | | | |
| 【成績評価の方法】 | | | | |
| 毎回実施する危険物(消防法などの法令)に関わる演習への取り組み 40%、(達成目標 1・3を評価)、危険物(化学物質)に関わる演習への取り組み 40%(達成目標2・3を評価)と課題レポート 20%(達成目標3・4を評価)から評価し、総計で得点率 60%以上を合格とする。 | | | | |
| 【備考】 | | | | |
| なし | | | | |

| | | | | |
|--|--|-------|------|--|
| 対面授業 | | 05005 | | |
| 微生物学 | | 水野 信哉 | | |
| Microbiology | | | | |
| 履修年次:2~4 年次 | 2 単位 | 春 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 | | | | |
| 微生物学領域での基盤知識を得るとともに、微生物と宿主の相互関係を理解する。とりわけ、近年全世界的に問題となっている動物由来感染症では、生態系を取り巻く環境レベルで感染様式と感染経路を包括的に理解する。さらに微生物側から見た増幅戦略を分子生物学的に理解し、分子標的に基づく近代化学療法の合理性を理解する。 | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. イントロダクションと微生物の分類について全体スケジュールや教育方針(学習目標達成に向けてのプロセス)を説明する。シラバス登録と講義の順番や内容に変更がある場合は事前説明を行う。ついで、微生物の分類と定義、我が国における感染症の発生状況を年代別に概説する。 | 9. 消毒と滅菌/消毒と滅菌の原理を概説し、具体的な手法とその用途、長短所を解説する。 | | | |
| 2. 細菌学1(総論)/地球誕生後の細菌、古細菌進化の重要性を概説する。細菌の構造、形態、発育について概説する。微生物の有効利用について発酵や遺伝子組み換え技術を解説する。 | 10. ワクチン/免疫学に基づくワクチンの原理を解説するとともに、ポリオや天然痘の制圧におけるワクチンの貢献を解説する。その上で我国におけるワクチンの現状(問題点)と今後の展望についても解説を加える。 | | | |
| 3. 細菌学2(各論)/食中毒の原因菌(カンピロバクター、サルモネラ、病原性大腸菌 O157 など)や胃がんの原因菌(ピロリ)の特徴や感染様式を概説し、その予防法を解説する。 | 11. 化学療法 1/抗生物質発見の歴史と細菌性感染症制圧における抗生剤の重要性を解説する。 | | | |
| 4. ウイルス学1(総論)/ウイルスの分類のもとに構造や増幅様式を概説するとともに、ウイルス発見の歴史を振り返る(タバコモザイクウイルス、黄熱病ウイルス、細胞変性効果による間接的可視化など)。 | 12. 化学療法 2/インフルエンザやC型肝炎を中心に抗ウイルス薬の開発状況と今後の展望を解説する。抗真菌剤、抗寄生虫剤についても病原体分子標的に基づく作用起点を解説する。 | | | |
| 5. ウイルス学2(各論)/巨大ウイルス(ミミウイルス等)、バクテリオファージ、ポリオウイルス、ノロウイルスの特徴とウイルス感染の様式や経路を解説する。 | 13. 動物由来感染症1/重度熱性血小板減少症候群(SFTS)をもたらすブニヤウイルスとその感染様式について解説する。野生動物の感染状況や媒介するダニの種類についても解説を加える。 | | | |
| 6. 原虫/病原性原虫(アメーバ、トリコモナス、トリパノソーマなど)の感染様式や生活環を解説する。次いで、マリアの現状と今後の展望を解説する。 | 14. 動物由来感染症2/鳥や豚をはじめとする動物由来インフルエンザの感染様式と問題点(異種間遺伝子組み換えなど)を解説する。 | | | |
| 7. 真菌/真菌の分類法と特性について解説する。アスペルギルス症、アフラトキシン中毒(発がん性)、カンジダ症、クリプトコッカス症の原因や感染経路なども解説を加える。 | 15. 動物由来感染症3(30分)/コウモリやハクビシンが持ち込む重症呼吸器症候群(SARS)、ラクダから伝搬される中東呼吸器症候群(MERS)についてウイルスの特徴や感染様式を解説する。 理解度確認テスト(後半) 後半の理解度確認テストを行う(45分間を予定)。その後、模範解答などのフィードバックのプリントについて解説を行う(15分間を予定)。 | | | |
| 8. リケッチア、クラミジア(30分)/リケッチアやマイコプラズマ、クラミジアなどの細胞内寄生病原体が持つ生物学的性状を解説する。日本紅斑熱やツツガムシ病、Q熱、オウム病の特徴とその感染様式を解説する。 理解度確認テスト(前半) 前半の理解度確認テストを行う(45分間を予定)。その後、模範解答などのフィードバックのプリントについて解説を行う(15分間を予定)。 | 16. (コロナ予備枠) | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| 教科書は特に指定しない。参考書はその都度紹介する。 参考書をまとめたパワーポイント資料は毎回プリントとして配布する。 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| 参考書はその都度紹介する。参考書をまとめたパワーポイントスライド資料は毎回プリントとして配布する予定である。 | | | | |
| 【成績評価の方法】 | | | | |
| おおむね3、4回に1回の割合で小テストを行う(具体的な運用はその都度指示する)。成績評価は小テスト獲得点(30%)、2回の理解度確認テスト(70%)による総合評価によって行う予定である。このほか、必要に応じて再試験、課題レポート提出を求める場合がある。以上を通じて、到達目標(1)、(2)、(3)のすべての項目について、目標到達度を評価する。なお、総合得点が100点満点中60点以上を合格とする。 | | | | |
| 【備考】 | | | | |
| 講義ノートを用意すること。レポートを課す場合には、要望に応じてコメント等を付けて返却するほか評点も個別に開示。 | | | | |

| | | | | |
|---|--|-------|------|--|
| 対面授業 | | 05006 | | |
| 航空宇宙材料の力学 | | 中井 賢治 | | |
| Mechanics of Aerospace Materials | | | | |
| 履修年次: 3~4 年次 | 2 単位 | 秋 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 複合材料は、金属材料と比較して比強度、比剛性が高く、疲労寿命や耐食性にも優れているため、近年航空機、自動車、スポーツ用具などの分野で広範に使用されている。本講義では、複合材料に代表される異方性材料の力学的特性について理解することを目的とする。 | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. 講義計画および複合材料の基礎知識について説明する。 | 9. 達成度確認試験(1回目)を行ない、その後、等方性材料の熱応力と線膨張係数について解説する。 | | | |
| 2. 航空・宇宙機用構造材料について解説する。 | 10. 複合材料の熱応力について説明する。 | | | |
| 3. 複合材料の種類について解説する。 | 11. 複合材料の線膨張係数について解説する。 | | | |
| 4. 複合材料の成形方法と、実際に工業材料として使用する際の利点と欠点について説明する。 | 12. 等方性板のフックの法則について解説する。 | | | |
| 5. 比強度、比剛性の物理的意味および計算方法について解説する。 | 13. 等方性板の組み合わせ応力とひずみについて解説する。 | | | |
| 6. 複合材料の繊維方向におけるヤング率について解説する。 | 14. 直交異方性板の組み合わせ応力とひずみについて解説する。 | | | |
| 7. 一方向強化複合材の材料の主軸方向(繊維方向、面内横方向)におけるヤング率の違いについて解説する。 | 15. 達成度確認試験(2回目)を行ない、その後、その内容について解説する。 | | | |
| 8. 一方向強化複合材の強度の複合則について解説する。 | 16. 1~15 回までの講義内容の理解度を確認するため、期末試験を実施する。 | | | |
| 【テキスト】 教科書は使用せず、ノート講義と配布するプリントを併用する。 | | | | |
| 【参考図書】 <ul style="list-style-type: none"> ・ Engineering Mechanics of Composite Materials (2nd Edition)/ I.M. Daniel and O. Ishai/ Oxford University Press/ 9780195150971 ・ 複合材料の力学序説/福田 博、邊 吾一 著/古今書院/9784772213738 | | | | |
| 【成績評価の方法】 2 回の達成度確認試験(各 30%)と期末試験(全範囲で 40%)を行ない、それらの採点結果により評価する。具体的には以下の通りで、各項目に関する計算または説明ができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 達成度確認試験 1(30%):複合材料のヤング率 15%(達成目標 1)を確認)、複合材料の強度 15%(達成目標 2)を確認) ・ 達成度確認試験 2(30%):複合材料の熱応力と線膨張係数 10%(達成目標 3)を確認)、等方性板のフックの法則 10%(達成目標 4)を確認)、直交異方性板のフックの法則 10%(達成目標 5)を確認) ・ 期末試験(40%):上記 5 項目各 8% 以上の項目について評価し、合計得点が 60 点以上を合格とする。 | | | | |
| 【備考】 講義内容に関する質問や相談事がある時は、授業担当者(中井)の研究室(下記連絡先参照)を訪ねてください。 | | | | |

| | | | | | |
|--|------|-----|--------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 05007 | |
| 電波法規 | | | 荒井 伸太郎 | | |
| Radio Law | | | | | |
| 履修年次: 3~4 年次 | 1 単位 | 春前半 | 1 コマ | | |
| 【授業の目的】 | | | | | |
| 本講義では第 1 級陸上特殊無線技士、第 2 級、第 3 級海上特殊無線技士資格を含む様々な無線従事者資格及び電気通信主任技術者資格取得のための電波法令及び電気通信事業法について解説し、受講生が資格取得のための学力を付けることを目標とする。 | | | | | |
| 【授業内容】 | | | | | |
| 1. 電波法体系及び法の総則について学習する。 | | | | | |
| 2. 無線局の免許 I について学習する。 | | | | | |
| 3. 無線局の免許 II について学習する。 | | | | | |
| 4. 無線設備、無線機器形式検定、技術基準適合証明について学習する。 | | | | | |
| 5. 無線従事者について学習する。 | | | | | |
| 6. 無線局の運用について学習する。 | | | | | |
| 7. 無線局の監督について学習する。 | | | | | |
| 8. 最終評価試験を実施し、フィードバックとして解答と解説を行う。 | | | | | |
| 【テキスト】 | | | | | |
| よくわかる教科書 電波法大綱(第 24 版)／一般財団法人情報通信振興会／978-4-8076-0978-9 | | | | | |
| 【参考図書】 | | | | | |
| 学習用 電波法令集(抄)／一般財団法人情報通信振興会／978-4-8076-0955-0 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 | | | | | |
| 課題と小テスト 40%と最終評価試験 60%(それぞれ達成目標の 1)~2)を確認)として成績を評価し、総計で 60%以上を合格とする。 | | | | | |
| 【備考】 | | | | | |
| 可能な範囲で家庭や下宿先でオンライン受講できる環境(PC やインターネット等)を整えておくことを勧める。 | | | | | |

| | | | | | |
|---|------|--|------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 05008 | |
| 暗号とセキュリティ | | | 麻谷 淳 | | |
| Cryptography and Security | | | | | |
| 履修年次: 3~4 年次 | 2 単位 | 秋 | 1 コマ | | |
| 【授業の目的】 高度情報化社会、ネットワーク社会におけるセキュリティ技術の基盤である暗号技術の基礎的概念について学習する。暗号の基本原則、対称鍵暗号および公開鍵暗号の基礎知識、暗号化・復号化法、公開鍵暗号技術を応用する秘匿機能と対をなす機能の認証技術、デジタル署名など広く暗号技術の全体像を習得する。これによって、情報通信分野の専門知識と応用能力を養う。 | | | | | |
| 【授業内容】 | | | | | |
| 1. 暗号技術について説明する。 | | 9. 中間者攻撃、公開鍵暗号、RSA 暗号について説明する。 | | | |
| 2. 歴史上の暗号(シーザー暗号、単一換字暗号)について説明する。 | | 10. RSA 暗号の安全性、素因数分解、フェルマーの小定理、オイラーの定理について説明する。 | | | |
| 3. エニグマ、使い捨てパッドについて説明する。 | | 11. ハイブリッド暗号について説明する。ハッシュ関数について説明する。 | | | |
| 4. DES について説明する。 | | 12. 代表的なハッシュ関数(MD5、SHA-1、SHA-3)について説明する。誕生日攻撃について説明する。 | | | |
| 5. AES について説明する。 | | 13. メッセージ認証コード(MAC)について説明する。 | | | |
| 6. ブロック暗号の利用モードについて説明する。 | | 14. デジタル署名(デジタル署名の利用例、RSA 署名)、証明書について説明する。 | | | |
| 7. 鍵配送問題、鍵サーバ、Diffie-Hellman 鍵共有方式について説明する。 | | 15. 到達度確認テストおよび解説をする。 | | | |
| 8. 中間テストおよび授業内容の総括、演習問題の解説をする。 | | | | | |
| 【テキスト】 暗号技術入門 第3版/結城浩/SoftBank Creative/978-4797382228 | | | | | |
| 【参考図書】 暗号理論入門 原書第3版/J.A.ブーフマン/丸善出版/978-4621061862: 現代暗号のしくみ/中西透/共立出版/978-4320009127: 現代暗号への招待/黒澤馨/サイエンス社/978-4781912622 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 本授業の成績は、以下の各項目の総合点によって評価する。 ・ 中間テスト:20%(主に達成目標 1,2 を評価) ・ 達成度確認テスト:30%(主に達成目標 2,3 を評価) ・ 確認クイズ(自動採点):20% ※毎回の授業内容の理解度を継続的に確認するために実施する。 ・ リアクションペーパー(1~2行):15%※授業内容に対する簡単な感想・質問を記述し、提出状況を中心に評価する。 ・ 演習課題:15% ※最終的な答えを提出する形式とし、正答を基準に評価する。 総合得点率が60%以上を合格とする。 | | | | | |
| 【備考】 講義資料の配布は、mylog を用いて行う。 | | | | | |

| | | | | |
|---|--------------------------------------|-------|------|--|
| 対面授業 | | 05009 | | |
| ナノサイエンス | | 竹崎 誠 | | |
| Nanoscience | | | | |
| 履修年次: 3~4 年次 | 2 単位 | 秋 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 | | | | |
| ナノメートルスケールの超微粒子は、肉眼や一般の光学顕微鏡で見えるサイズの物質とは異なるユニークな性質を示す。有機物、無機物、無機・有機複合体から成るナノ粒子/ナノ組織体について、原子や単独分子にない新しい機能が発現されることを理解し、近年発展の著しいこの分野の内容について理解することを目的とする。 | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. 全体の授業内容を説明した後、両親媒性物質(界面活性剤)の化学構造による分類と性質について学ぶ。 | 9. 金属ナノ粒子の配列による性質の変化とセンサーへの応用について学ぶ。 | | | |
| 2. ミセル、ベシクル、平面二分子層等の分子集合体と、それらを構成する分子の性質について学ぶ。 | 10. 金属ナノ粒子のバイオ分野への応用について学ぶ。 | | | |
| 3. 逆ミセル、マイクロエマルション等の分子集合体と、それらを構成する分子の性質について学ぶ。 | 11. フラーレンの発見前後の状況について学ぶ。 | | | |
| 4. 自己組織化単分子膜について学ぶ。 | 12. フラーレンの性質について学ぶ。 | | | |
| 5. 周期表 12-16 族の性質を復習し、半導体の性質について学ぶ。 | 13. カーボンナノチューブの発見前後の状況について学ぶ。 | | | |
| 6. 半導体ナノ粒子の性質について学ぶ。 | 14. カーボンナノチューブの性質について学ぶ。 | | | |
| 7. 金属ナノ粒子の合成法について学ぶ。 | 15. ナノプロービングについて学ぶ。 | | | |
| 8. 金属ナノ粒子のサイズ・形と光学的性質について学ぶ。 | 16. 最終確認試験を実施する。 | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| プリントを配布する。 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| コロイド科学Ⅱ 会合コロイドと薄膜/日本化学会編/東京化学同人/ISBN 9784807904365 ;化学の要点シリーズ7 ナノ粒子/春田著/共立出版/ISBN 9784320044128 ;ナノテクノロジー入門シリーズ ナノテクのための化学・材料入門/日本表面科学会編/共立出版/ISBN 9784320071711 ;分子間力と表面力/J.N.Israelachvili 著,近藤・大島訳/マグロウヒル/ISBN 9784254140514 ;ナノ粒子科学/G.Schmio 編,岩村・廣瀬訳/NTS/ISBN 9784860431754 ;化学マスター講座 ナノテクノロジー/今堀ら著/丸善/ISBN 9784621082607 ;シリーズ:未来を創るナノ・サイエンス&テクノロジー 第2巻ナノ粒子/ナノ学会編/近代科学社/ISBN 9784764950269;シリーズ:未来を創るナノ・サイエンス&テクノロジー 第3巻ナノコロイド/ナノ学会編/近代科学社/ISBN 9784764950276; ナノカーボンの科学/篠原久典/講談社ブルーバックス/ISBN 9784062575669; 基本分析化学-イオン平衡から機器分析法まで- / 北條正司・一色健司 編著 / 三共出版 / ISBN 978-4-7827-0787-6; 無機化学 その現代的アプローチ 第2版 / 平尾一之・田中勝久・中平敦 著 / 東京化学同人 / ISBN 978-4-8079-0824-0 自己組織化とは何か 第2版/都甲潔他/講談社ブルーバックス/ISBN 9784062576352 ここが知りたい半導体/志村著/講談社ブルーバックス/ISBN 9784062570145 | | | | |
| 【成績評価の方法】 | | | | |
| 毎回レポート30%(到達目標1)~5)を確認)、課題・レポート30%(到達目標1)~5)を確認)、最終確認試験40%(到達目標1)~5)を確認)により成績を評価し、総計で得点率 60%以上を合格とする。 | | | | |
| 【備考】 | | | | |
| 講義・演習時に関数電卓を持参すること。/web やメールを利用して添付ファイルで課題の提出をおこなう。/毎回レポートの場合によってはオンラインで提出する。/講義資料は講義開始時に配布する。なお、特別な事情がない限り後日の配布には応じない。/講義中の録音/録画/撮影は原則認めない。当別の理由がある場合事前に相談すること。 | | | | |

| | | | | | |
|---|--|--|---------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 05010 | |
| エコロジカルデザイン | | | 増田 俊哉 他 | | |
| Ecological Design | | | | | |
| 履修年次：3～4年次 | | 2単位 | 秋 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 持続的発展が可能な都市づくりを目指して、地球温暖化及び都市や地域の環境破壊を防止する環境共生のまちづくり、建築、家づくりの方法論、省エネルギー、資源循環、ヒートアイランド対策など地球環境や都市環境保全に関する社会的、技術的課題について理解し、ストックの活用再生修復の視点から、団地再生、スケルトンインフィル、さらには文化財保護を軸としたまちづくりや歴史地区の保存再生計画等について身につける。 | | | | | |
| 【授業内容】 | | | | | |
| 1. ガイダンスおよび ECO デザインの概要：持続的発展が可能な都市づくりを目指して、地球温暖化や都市や地域の環境破壊を防止する環境共生建築、環境共生都市の必要性を解説する。【増田 俊哉-1】 | | 9. ヨーロッパの ECO デザインを概括的に解説する。【新任教員 A】 | | | |
| 2. ECO デザイン_テクニカル・アプローチ：持続的発展が可能な環境共生都市、まちづくりの概念についてテクニカル・アプローチを具体的事例を挙げて解説する。【増田 俊哉-2】 | | 10. カーボンニュートラルに向けての木材利用促進の取り組みを取り上げる。木造・木質化の解説を中心に、川上から川下への流通を踏まえての説明を行う。【小林 正実】 | | | |
| 3. 持続性可能な環境共生都市・まちづくりにおける「環境人間学的視座」について解説する。【増田 俊哉-3】 | | 11. 環境建築における環境技術の応用について解説する。【中山 哲士】 | | | |
| 4. 「環境-人間-建築」的志向_周辺環境・自然のうつろい：持続的発展が可能な環境共生建築の実践について「環境人間学的」観点から＜周辺環境・自然のうつろい＞に関する事例を解説する。【増田 俊哉-4】 | | 12. 建築・都市の環境を制御する手法と効果について解説する。【中山 哲士】 | | | |
| 5. 「環境-人間-建築」的志向_中間領域：持続的発展が可能な環境共生建築の実践について「環境人間学的」観点から＜中間領域＞に関する事例を解説する。【増田 俊哉-5】 | | 13. 地地球環境と環境共生建築、ZEB 建築等について解説する。【新任教員 B】 | | | |
| 6. 持続的発展が可能な都市づくりを目指した長寿命化住宅、住宅の長期耐用化技術について解説する。【納村 信之】 | | 14. 持続可能な住宅と環境性能について解説する。【新任教員 B】 | | | |
| 7. エコロジカルな都市・まちづくりの実例を通じた計画手法・要件を解説する。【八百板 季穂】 | | 15. 建築における再生可能エネルギー利用など建築への適用事例について解説する。【新任教員 B】 | | | |
| 8. エコロジカル建築の実例を通じた計画手法・要件を解説する。【馬淵 大宇】 | | | | | |
| 【テキスト】 講義で資料を配布する。 | | | | | |
| 【参考図書】 『成長の限界 ローマクラブ人類の危機レポート』/ドネラ・メドウズ、デニス・メドウズ、ジャーガン・ラングズ、ウィリアム・ベアランズ三世/ダイヤモンド社、『フライブルクのまちづくり』/村上 敦/学芸出版社、『風土の日本』/オギュスタン・ベルク/筑摩書房、『三つのエコロジー』/フェリックス・ガタリ/平凡社、『レンゾ・ピアノ・ビルディング・ワークショップ 全作品集』/ファイドン、『グレン・マーカットの建築』/TOTO出版 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 達成目標に関する担当教員ごとの複数回の課題を総合的に評価し、総計で 100 点満点、60 点以上を合格とする。 | | | | | |
| 【備考】 対面授業原則で状況によってはオンライン ZOOM もしくは VOD を併用する。 | | | | | |

| | | | | |
|---|-----|-----|-------|--|
| 対面授業 | | | 05011 | |
| ロボット工学概論 | | | 藤本 真作 | |
| Outline of Robot System Engineering | | | | |
| 履修年次:1~4年次 | 1単位 | 春後半 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 ロボット工学や機械工学系の入門として、ロボットシステム、センサ、ロボットと五感、アクチュエータ、人工知能などの基礎事項を学ぶとともにそれらの簡単な内容と問題点を説明する。そして、人類が如何にしてロボットという概念に到達したか？そもそもロボットとは何か？について考える。人工物であるロボットを題材に、自然物である人の類まれな能力などについて学ぶことができる。最後にセンサから得られた信号の基本的な信号処理についても学ぶ。 | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. 講義概要(ロボット工学の歴史と如何にしてロボット工学の概念に到達したか?)について説明する。 | | | | |
| 2. 人工物であるロボットのセンサと自然物である人の五感について説明する。 | | | | |
| 3. 機械的なセンサの基本的な原理とその信号処理の方法について説明する。 | | | | |
| 4. ロボットのアクチュエータ(電気・油圧・空気式)について説明する。 | | | | |
| 5. アクチュエータの動作原理とヒューマノイドロボットについて説明する。 | | | | |
| 6. ロボット制御と知能化について説明する。 | | | | |
| 7. 未来のロボットと我々の生活について説明する。 | | | | |
| 8. 総合演習を行う。 | | | | |
| 【テキスト】 適宜、資料を配付するものとし、教科書は使用しない。 | | | | |
| 【参考図書】 有本卓編著／「ロボティクス概論」／コロナ社、井上猛雄著／「キカイはどこまで人の代わりができるか？職人ロボットから医療ロボットまで～人の暮らしを変えたキカイたち」／ソフトバンククリエイティブ、中川栄一・伊藤雅則共著／「ロボット工学概論」／成山堂書店、熊本水頼編著／「ヒューマノイド工学」／東京電機大学出版局 | | | | |
| 【成績評価の方法】 総合演習50%と提出課題30%および演習課題20%により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。 総合演習50%:到達目標①～⑤を確認、提出課題30%(宿題を含む):到達目標①～③を確認、演習課題20%(達成目標⑥を確認)により成績を評価し、総計で60%以上を合格とする。 | | | | |
| 【備考】 講義資料の配布は、mylog を用いて行う。 | | | | |

| | | | | | |
|---|------|----------------------------------|-------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 05012 | |
| 食薬学 | | | 松浦 信康 | | |
| Pharmacositology | | | | | |
| 履修年次:3~4 年次 | 2 単位 | 秋 | 1 コマ | | |
| 【授業の目的】 野菜や果物等食として摂取している、主として植物二次代謝産物を栄養学的見地から理解し、食の持つ潜在的な三次機能の意味を把握し身につける。「食」と「薬」の共通性と相違点を理解し、各々が本来持っている特性について説明できるようになると共に、適正な利用法についての基礎的な知識と考え方を説明できるようになるようにする。 | | | | | |
| 【授業内容】 | | | | | |
| 1. 食薬学序論を学習する。 | | 9. 天然色素と生物活性を学習する。 | | | |
| 2. 生態科学と「食」、「薬」との関わりを学習する。 | | 10. 匂いとその化学を学習する。 | | | |
| 3. 植物一次代謝産物と食の一次機能を学習する。 | | 11. 抗酸化活性成分を学習する。 | | | |
| 4. 香辛料と食の二次機能を学習する。 | | 12. 食と腸内フローラを学習する。 | | | |
| 5. ハーブと食の二次機能を学習する。 | | 13. 薬膳、食養膳を学習する。 | | | |
| 6. 食の三次機能を学習する。 | | 14. 食薬区分と健康食品を学習する。 | | | |
| 7. 医食同源と疾病予防を学習する。 | | 15. これまでの内容の総復習と学習をする。 | | | |
| 8. 天然味呈成分とその化学を学習する。 | | 16. 期末試験(60分)および試験問題の解説(30分)をする。 | | | |
| 【テキスト】 プリントを配布する | | | | | |
| 【参考図書】 特に無し | | | | | |
| 【成績評価の方法】 最終評価試験試験結果を40%、レポートを20%、確認試験を40%として、達成目標を評価し、60%以上の得点率を合格とする。 | | | | | |
| 【備考】 教員の指示に従うこと | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|-----|-------|--|--|
| 対面授業 | | | 05013 | | |
| 再生医療移植学 | | | 片岡 健 | | |
| Regenerataive Medicine | | | | | |
| 履修年次:2~4 年次 | 1 単位 | 秋後半 | 1 コマ | | |
| 【授業の目的】 臨床検査の知識を先端医療に生かすプロセスについて、再生医療と移植医療を通じて理解する。さらに再生医療や移植医療の現状と問題点について理解し、これからの発展についてこれまでの学修を生かしてディスカッションする。 | | | | | |
| 【授業内容】 | | | | | |
| 1. 再生医療と移植医療の違いを理解する。 | | | | | |
| 2. 移植免疫について理解する。 | | | | | |
| 3. 輸血とその検査について理解する。 | | | | | |
| 4. 造血幹細胞移植とその検査について理解する。 | | | | | |
| 5. 移植医療の現状・脳死について理解する。 | | | | | |
| 6. 各種幹細胞とその培養について理解する。 | | | | | |
| 7. 再生医療の現状について理解する。 | | | | | |
| 8. これまでの授業を総括し、期末試験およびフィードバックとして模範解答と解説を行う。 | | | | | |
| 【テキスト】 資料をプリントにより配布する。 | | | | | |
| 【参考図書】 最新臨床検査学講座 免疫検査学 第2版／医歯薬出版／ISBN978-4-263-22400-7 最新臨床検査学講座 血液検査学 第3版／医歯薬出版／ISBN978-4-263-22402-1 病気がみえる vol.5 血液／第3版／メディックメディア／ISBN978-4-89632-922-3 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 小テスト評価:60%(達成目標 1 から 3 を確認) 期末試験:40%(達成目標 1 から 3 を確認) 以上により成績を評価し、総計で得点 60%以上を合格とする。 | | | | | |
| 【備考】 講義の詳細については、初回講義で説明する。授業時間外での学修を重視しているので、課題レポートと復習小テストを行う。わからない部分は放置せずに積極的に質問すること。 | | | | | |

| | | | | |
|--|---|-------|-------|--|
| 対面授業 | | | 05014 | |
| 地質学 | | 能美 洋介 | | |
| Geology | | | | |
| 履修年次:2~4 年次 | 2 単位 | 春 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 | | | | |
| <p>本講義では、非常に長い時間を軸とした地質学の基本的な考え方と、生物の進化に立脚した地層年代区分の方法や、各地質時代の地球環境の特徴をおさえながら、地球環境が長い年月の間にさまざまに変動してきたことを理解することを目指す。また、各種の岩石や地層などの種類や産状や形成メカニズムを科学的に理解し、これらの基礎知識をもとにして、地球表層の変動の歴史、日本列島や身近な地域の地質の成り立ちについて理解することを目的とする。</p> | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. オリエンテーション/"地質学"という学問は何を理解し、何を解決し、何を指しているのかについて解説する。講義の進め方、参考書、成績評価方法等について説明する。「日本の地質」のグループ学習を行うためのアンケートを実施する。 | 9. 付加体/付加体のでき方と付加体堆積物、および産状について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような付加体が分布しているかを指定された書式で報告する。 | | | |
| 2. 地質学の原理と法則/斉一説、地質学 3 法則について講義する。「日本の地質」のグループ学習のグループを公表し、グループごとの学習対象地域を決める。 | 10. 断層/断層の分類、でき方、特徴について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような断層が分布しているかを指定された書式で報告する。 | | | |
| 3. 地層の形成/岩石の風化・侵食・移動・堆積の各過程について講義する。 | 11. 褶曲/褶曲の分類、でき方、特徴について講義する。褶曲を分類するため、ステレオネットについて講義する。「日本の地質」で発表するタイトルをグループごとに決めて発表する。 | | | |
| 4. 年代尺度/化石による地層の対比と地質年代区分について講義する。 | 12. 地質図/地質図の種類と作成目的、作り方、利用、読図の方法について講義する。 | | | |
| 5. 絶対年代/放射壊変を利用した絶対年代測定法について講義する。 | 13. 日本の地質 1/グループごとに対象地域の地形や地質について調べた結果を、PowerPoint を使って口頭発表形式で紹介する。 | | | |
| 6. 火山と火山岩/マグマの発生と発達過程、火山岩の種類と組織、産状について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような火山岩が分布しているかを指定された書式で報告する。 | 14. 日本の地質 2/グループごとに対象地域の地形や地質について調べた結果を、PowerPoint を使って口頭発表形式で紹介する。 | | | |
| 7. 深成岩/深成岩の種類と組織、成り立ち、産状について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような深成岩が分布しているかを指定された書式で報告する。 | 15. 全講義範囲を対象に期末の筆記試験を行う。 | | | |
| 8. 変成岩と変成帯/変成岩の種類と組織、成り立ち、産状、変成帯、プレートテクトニクスとの関係について講義する。「日本の地質」のグループごとに対象とした地域にどのような変成岩が分布しているかを指定された書式で報告する。 | | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| 特に指定しない。 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ニューステージ地学図表/浜島書店 ・Laboratory Manual for Introductory Geology/Allaan Ludman, Stephen Markhak/W.Norton その他適宜指示する。 | | | | |
| 【成績評価の方法】 | | | | |
| <p>毎回の小問題の成績の合計を 24%(2×12 回:達成目標(1)・(2)を評価)、グループによる学習成果は第 13 回と 14 回の発表会で受講生アンケートなどで評価しその割合を 36%とし(達成目標(3)を評価)、期末の筆記試験 40%(達成目標(1)・(2)を評価)の割合で評価し、これらの総計が 60%の得点者を合格とする。</p> | | | | |
| 【備考】 | | | | |
| <p>mylog にアップした資料や配布物、試験内容等は、他者への再配布(ネットへのアップロードを含む)や転用を禁止する。録音・撮影の必要があるときは教員に相談すること。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|--|------|-------|--|
| 対面授業 | | | 05015 | |
| 恐竜学基礎論 | | 林 昭次 | | |
| Introduction to Dinosaur Studies | | | | |
| 履修年次:2~4 年次 | 2 単位 | 春 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 | | | | |
| <p>恐竜類を題材として、古脊椎動物学・古生物学の基礎(恐竜の定義、主要な分類群、骨格の見方、化石から何が分かるか、研究の進め方の概略)を学ぶ。あわせて、恐竜研究で用いられる「仮説」という考え方(例:機能や生態に関する複数仮説の立て方)を、入門レベルで理解する。本講義は次年度以降の「恐竜学Ⅰ・Ⅱ」および関連科目の基礎となる知識・用語・考え方を身につけることを目的とする。</p> | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. ガイダンス:指導方針と目的を説明する。講義の進め方と基本的ルールを確認する。また、成績評価方法について具体的に説明する。 | 9. 装盾類の基礎:鎧竜類・剣竜類の多様性について(概説)。 | | | |
| 2. 恐竜研究とは何か:恐竜学の意義/研究史の概略/何が「証拠」になるか。 | 10. 鳥盤類の多様性(概説):特に周飾頭類(角竜類・堅頭竜類)および鳥脚類・ハドロサウルス類の概説。 | | | |
| 3. 発掘と標本:野外調査、標本の登録、研究の流れ(概説)。 | 11. 日本の恐竜:日本の恐竜化石産地と代表例、研究の特徴を解説(概説)。 | | | |
| 4. 分類と系統の入門:分類の考え方、系統樹の読み方(入門)、用語についての解説。 | 12. 恐竜の生態を考える:足跡・巣・群れなどの証拠と解釈(概説)。 | | | |
| 5. 恐竜の定義と主要系統:恐竜の特徴、主要グループの概観(鳥盤類・竜盤類など)。 | 13. 骨組織学(ヒストロジー)入門:成長線(LAGs 等)の考え方、年齢推定の基本、骨組織から分かること/分からないこと(概説)。 | | | |
| 6. 恐竜骨格の基礎:主要部位の名称、標本(写真・資料を含む)の基本的な観察の仕方などを解説。 | 14. 恐竜の絶滅と復元の変遷:K-Pg 境界の概略/復元史から学ぶ「科学の更新」。 | | | |
| 7. 獣脚類の基礎:特徴と多様性、鳥類との関係(概説)。 | 15. 総括・復習 | | | |
| 8. 竜脚形類の基礎:特徴と巨大化をめぐる基本的な考え方(概説)。 | | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| なし | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・『恐竜の教科書:最新研究で読み解く進化の謎』創元社 ・『恐竜学入門 第4版:かたち・生態・絶滅』東京化学同人 ・『家畜比較解剖学図説 上巻』養賢堂 ・『Dinosaur Paleobiology』Wiley-Blackwell | | | | |
| 【成績評価の方法】 | | | | |
| <p>レポートにより評価する(達成目標 1・2・3・4 を評価)(100 点)。 授業回数 1/3 以上の欠席が認められた場合には成績は無効とみなし、E 評価とする。 講義中の質疑に対する発言および講義への積極的姿勢が認められた場合は別途加点評価する(達成目標 4 を評価)。詳細は第 1 回講義にて説明する。 評価の基準は 100 点満点のうち 60 点以上を合格とする。</p> | | | | |
| 【備考】 | | | | |
| 講義中の録音、録画、撮影は認めない。特に事情のある学生はガイダンス時に申し出ること。 | | | | |

| | | | | | |
|---|------|-----|---------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 05016 | |
| 現代日本語の多様性と運用 | | | ダツタ シヤミ | | |
| Diversity and Performance of Modern Japanese Language | | | | | |
| 履修年次:2~4 年次 | 1 単位 | 春前半 | 1 コマ | | |
| <p>【授業の目的】</p> <p>日本文化や日本事情に照らし合わせて、現代の日本語の多様性と運用を様々な探究活動通じて紹介と分析していく。現代の日本語がなぜこれほど多様か？この問いも追究する。日本語の多様性と日本教育や Japan Studies(日本学)、つまり日本の伝統文化や現代文化、各地域の特徴の関連をリサーチプレゼンテーションする。</p> <p>* 原則対面実施する。</p> <p>* Student Co-ownership of Inquiry Based Learning による interactive learning 授業のため、欠席が多い場合は後から資料のみ見てカバーするのが難しい授業である。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <p>1. 「ネット日本語・新語・造語」Ice-Breaking activity をし、その後オリエンテーションとして授業の進め方、授業内容、目的、成績評価の方針について説明する。授業受講者全員の言語背景をシェアする。</p> <p>2. 「やさしい日本語」について知る。</p> <p>3. 「やさしい日本語」について理解を深める。</p> <p>4. 「若者ことば、敬語、仕事ことば」をキーワードに現代日本語の多様性と運用を探究する方法を紹介する。その際指定地域からグループごとにリサーチプレゼンテーション対象地域や対象の日本語の運用を決める。</p> <p>5. 現代日本語の多様性と運用を探究と研究する方法を用いて、リサーチプレゼンテーションを行う準備をする。</p> <p>6. 現代日本語の多様性と運用を探究と研究する方法を用いて、リサーチプレゼンテーションを実施し、質疑応答をファシリテーションする。</p> <p>7. 現代日本語の多様性と運用を探究と研究する方法を用いて、リサーチプレゼンテーションを実施し、質疑応答をファシリテーションする。Constructive criticism を受ける。</p> <p>8. Constructive criticism を踏まえて、リサーチプレゼンテーションを振り返り、プレゼンテーション資料を提出する。これ 8 回授業につきこれが最終回である。</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p>担当者開発のオンラインリソースやその他のオンラインリソースをその都度紹介する。</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】</p> <p>授業で紹介する。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>リサーチプレゼンテーション 40%(達成目標 1), 2), 3)を確認)、課題30%(達成目標 1), 2), 3)を確認)、他人のプレゼンテーションへの建設的批評や授業への参加 30%(達成目標 1), 2), 3)を確認)により評価し、総計 60%以上を合格とする。</p> | | | | | |
| <p>【備考】</p> <p>積極的に発言や探究心が求められる active learning を取り入れた授業である。</p> | | | | | |

| | | | | | |
|---|-----|---|-------|--|--|
| 対面授業 | | | 05017 | | |
| 商学基礎 | | | 新任 | | |
| Fundamentals of Distribution and Commerce | | | | | |
| 履修年次:1~4年次 | 2単位 | 春 | 1コマ | | |
| 【授業の目的】 商学といえば、流通を中心に議論されることが多いが、本科目は、商いについて学ぶ機会を提供するものである。具体的には、商いを営む主体(今日では会社と呼ばれる)がどのように生まれるのか、また商いがどのような制度によって支えられているのか、さらに商いの舞台としての市場がどのように発展してきたのかについて学ぶ。 | | | | | |
| 【授業内容】 | | | | | |
| 1. 授業の進め方等について確認する。さらに、本科目が商いについて学ぶ機会を提供するという意味を理會してもらおう。 | | 9. テーマは、取引の信頼性の確保。品質の保証と価値の向上について学ぶ。 | | | |
| 2. テーマは、会社という制度。会社とは何かについて学ぶ。 | | 10. テーマは、市場の拡大。市場の成立とその役割について学ぶ。 | | | |
| 3. テーマは、競争と経営。市場競争にさらされる中での経営者の役割について学ぶ。 | | 11. テーマは、ロジスティクスの展開。物流の役割とその変化について学ぶ。 | | | |
| 4. テーマは、資金と債権の管理。お金を管理することについて学ぶ。 | | 12. テーマは、国際取引の広がり。国際取引の仕組みについて学ぶ。 | | | |
| 5. テーマは、貨幣という制度。お金とは何かについて学ぶ。 | | 13. テーマは、eコマース。電子商取引が拡大する先にある世界について学ぶ。 | | | |
| 6. テーマは、金融という制度。金融の役割について学ぶ。 | | 14. テーマは、商いについて学ぶ意義。前回まで学んだことのおさらいから、商学とは何かについてあらためて考える機会とする。 | | | |
| 7. テーマは、証券市場という制度。証券市場の役割について学ぶ。 | | 15. 確認テストと出題解説を行う。 | | | |
| 8. テーマは、取引制度の意味。取引制度の役割について学ぶ。 | | | | | |
| 【テキスト】 商学への招待／石原武政、忽那憲治編／有斐閣ブックス、ISBN 9784641184176。 | | | | | |
| 【参考図書】 必要に応じて指示する。 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 授業時間内の試験(最終回に実施する確認テスト(達成目標 1)および 2)を確認)および授業参加姿勢により評価し、合計 60%以上を合格とする。評価の拠りどころについては、実際の履修者数および授業形式に応じて最適なかたちを判断する。 | | | | | |
| 【備考】 シラバスに記されている内容については、変更あるいは追加の可能性はある。その場合は、授業時間内に、あるいは mylog 等を通じて告知する。 | | | | | |

| | | | | |
|---|------|--|------|--|
| 対面授業 | | 05018 | | |
| 課題・問題発見演習 | | 重松 利信 他 | | |
| Beginner Course in Manner Meister | | | | |
| 履修年次:2~4 年次 | 2 単位 | 春 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 この授業では、産業界等をリードしている卓越した方々に、自身の経験を基にした社会あるいは社会活動・地域貢献などについての問題意識、解決のためにとった手法、その成功談や失敗体験等に関する講義を受講する。これにより社会に貢献するために持つべき素養を身に付けると共に、実践につながる課題・問題を発見する演習を行う。 | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. オリエンテーション・ガイダンス、チームビルディング（講義内容と進め方の説明）本講義の進め方や講義課目の概要を説明する。さらに、講義に対する姿勢、ノートの取り方、議論の仕方、レポート作成方法・提出方法について説明する。また、第1回ゲスト講義の事前学習会を実施する。 | | 9. 第4回ゲスト講義 事後学習会(ふりかえり) 第5回ゲスト講義 事前学習会 講演を振り返りながら、講演者の問題意識、その解決方法などを読みとき、自分事として捉えた場合の問題点・解決方法、時間的スパンをグループディスカッション手法を通じて議論する。 さらに、出された課題に対して取り組む。 | | |
| 2. 第1回ゲスト講義 | | 10. 第5回ゲスト講義 | | |
| 3. 第1回ゲスト講義 事後学習会(ふりかえり) 第2回ゲスト講義 事前学習会 講演を振り返りながら、講演者の問題意識、その解決方法などを読みとき、自分事として捉えた場合の問題点・解決方法、時間的スパンをグループディスカッション手法を通じて議論する。さらに、出された課題に対して取り組む。 | | 11. 第5回ゲスト講義 事後学習会(ふりかえり) 第6回ゲスト講義 事前学習会 講演を振り返りながら、講演者の問題意識、その解決方法などを読みとき、自分事として捉えた場合の問題点・解決方法、時間的スパンをグループディスカッション手法を通じて議論する。 さらに、出された課題に対して取り組む。 | | |
| 4. 第2回ゲスト講演 | | 12. 第6回ゲスト講義 | | |
| 5. 第2回ゲスト講義 事後学習会(ふりかえり) 第3回ゲスト講義 事前学習会 講演を振り返りながら、講演者の問題意識、その解決方法などを読みとき、自分事として捉えた場合の問題点・解決方法、時間的スパンをグループディスカッション手法を通じて議論する。さらに、出された課題に対して取り組む。 | | 13. 第6回ゲスト講義 事後学習会(ふりかえり) 第7回ゲスト講義 事前学習会 講演を振り返りながら、講演者の問題意識、その解決方法などを読みとき、自分事として捉えた場合の問題点・解決方法、時間的スパンをグループディスカッション手法を通じて議論する。 さらに、出された課題に対して取り組む。 | | |
| 6. 第3回ゲスト講義 | | 14. 第7回ゲスト講義 | | |
| 7. 第3回ゲスト講義 事後学習会(ふりかえり) 第4回ゲスト講義 事前学習会 講演を振り返りながら、講演者の問題意識、その解決方法などを読みとき、自分事として捉えた場合の問題点・解決方法、時間的スパンをグループディスカッション手法を通じて議論する。さらに、出された課題に対して取り組む。 | | 15. 第7回ゲスト講義事後学習会(ふりかえり) 総まとめ/担当教員からのフィードバック | | |
| 8. 第4回ゲスト講義 | | | | |
| 【テキスト】 資料を配布する。 | | | | |
| 【参考図書】 中澤務・森貴史・本村康哲編『知のナビゲーター』(くろしお出版) | | | | |
| 【成績評価の方法】 講演毎のレポート(ガイドノート)で達成目標1を確認する(45%) 第15回目の最終レポート25%(達成目標の1,4を確認)、1回~14回は積極性や参加具合などをルーブリックによって評価する30%(達成目標の2,3を確認)。 総計で60%以上を合格とする。 | | | | |
| 【備考】 主体的な態度、協調性を持って、授業に臨んでほしい | | | | |

| | | | | |
|---|--|---|-------|--|
| 対面授業 | | | 05019 | |
| 人間を読みとくA (ジェンダー論) | | | 林 美帆 | |
| Exploring Human Nature A | | | | |
| 履修年次:1~4 年次 | 2 単位 | 秋 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 本科目は、初年次の導入科目として位置付けられており、「人間」そのものに対する知的的好奇心と知的探究心を高め、学ぶ意義を実感することを目的とする。また、広い意味で「人間」を学ぶことを通じて、人として生きていく上で大切な幅広い教養と問題発見・解決力などの汎用的能力を身につけることを目指す。 15 回の講義を行う。ジェンダーと社会との関係について理解すること。 具体的には、現代社会における女性と男性の差(ジェンダー)が、人間関係にどのような影響を与えているのかを理解する。 | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. ガイダンス おすすめの文学作品やエッセーなどの紹介 | 9. 非モテに潜む、ミソジニーについて考える。モテてなんでしようか。 | | | |
| 2. ジェンダーとは何か? ジェンダーの概念が作られて変化したこと。「男らしさ」と「女らしさ」 | 10. ドメスティックバイオレンスの現状と課題-デートDV や性被害について | | | |
| 3. LGBTQ とは? 性的マイノリティと法整備 | 11. 同性愛嫌悪の背景 | | | |
| 4. 近代家族が作った社会規範 | 12. フェミニズムとバックラッシュ 男女共同参画社会の実現の裏側 | | | |
| 5. 女性の権利に関わる歴史 | 13. ケアの倫理と成熟の関係について | | | |
| 6. 選択制夫婦別姓について | 14. 身体性とケアの関係について | | | |
| 7. ルッキズムとは何か? 身近にある容姿とジェンダーの関係 | 15. 振り返りとまとめのテストを行う | | | |
| 8. アンコンシャス・バイアスを知る、気づく。マイクロアグレッションと差別について考える。 | | | | |
| 【テキスト】 適宜指示する | | | | |
| 【参考図書】 適宜指示する。 | | | | |
| 【成績評価の方法】 ・授業中に作成するワークシートおよび課題のワークシートの提出(40%) ・期末テスト(60%) により、成績を評価し、総計で得点率 60%以上を合格とする。 | | | | |
| 【備考】 ・受講生の既習知識や進度によって、一部シラバスの変更の場合がある。 ・夜間や休日、授業直前等のメールの問い合わせには、すぐに返信ができないため、余裕をもって問い合わせをすること。 | | | | |

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

* 学生は太枠内のみ記入

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

岡山理科大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | 印 |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | | | |
|----------|------------------|-----|----------|-------|---|---|---|
| 所属大学等 | | | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | | 学科 | | | 年 |
| 学生番号 | | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | | | |
| | | 男・女 | | 昭和・平成 | 年 | 月 | 日 |
| 現住所 | 〒 - Tel () - | | | | | | |
| メールアドレス | | | | | | | |

* 履修受付締切日：春学期：4月3日(金)まで 秋学期：9月4日(金)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当 学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修 希望 | 評価 |
|---------------|------------|----|---------|----|-----|----------|--------|---------------|----------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 05001 | データの数理Ⅱ | 専門 | 大江 貴司 | 2 | 秋 | 3~4 | 定員 10名 | 金 13:15~14:45 | | |
| 05002 | 鉱物科学 | 専門 | 新原 隆史 | 2 | 春 | 2~4 | 定員 10名 | 金 9:10~10:40 | | |
| 05003 | 量子力学の基礎 | 専門 | 今井 剛樹 | 2 | 秋 | 2~4 | 定員 10名 | 水 13:15~14:45 | | |
| 05004 | 安全化学 | 専門 | 岩永 哲夫 | 2 | 春 | 3~4 | 定員 10名 | 水 9:10~10:40 | | |
| 05005 | 微生物学 | 専門 | 水野 信哉 | 2 | 春 | 2~4 | 定員 10名 | 水 9:10~10:40 | | |
| 05006 | 航空宇宙材料の力学 | 専門 | 中井 賢治 | 2 | 秋 | 3~4 | 定員 10名 | 金 10:55~12:25 | | |
| 05007 | 電波法規 | 専門 | 荒井 伸太郎 | 1 | 春前半 | 3~4 | 定員 10名 | 水 13:15~14:45 | | |
| 05008 | 暗号とセキュリティ | 専門 | 麻谷 淳 | 2 | 秋 | 3~4 | 定員 10名 | 水 13:15~14:45 | | |
| 05009 | ナノサイエンス | 専門 | 竹崎 誠 | 2 | 秋 | 3~4 | 定員 10名 | 木 13:15~14:45 | | |
| 05010 | エコロジカルデザイン | 専門 | 増田 俊哉 他 | 2 | 秋 | 3~4 | 定員 10名 | 木 10:55~12:25 | | |

| No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開講期 | 配当 学年 | 備 考 | 曜日・時限 | 履修 希望 | 評価 |
|---------------|-------------------|--------|---------|-----|-----|----------|---------|---------------|----------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 05011 | ロボット工学概論 | 専 門 | 藤本 真作 | 1 | 春後半 | 1~4 | 定員 10 名 | 木 9:10~10:40 | | |
| 05012 | 食薬学 | 専 門 | 松浦 信康 | 2 | 秋 | 3~4 | 定員 10 名 | 水 10:55~12:25 | | |
| 05013 | 再生医療移植学 | 専 門 | 片岡 健 | 1 | 秋後半 | 2~4 | 定員 10 名 | 火 10:55~12:25 | | |
| 05014 | 地質学 | 専 門 | 能美 洋介 | 2 | 春 | 2~4 | 定員 10 名 | 木 16:45~18:15 | | |
| 05015 | 恐竜学基礎論 | 専 門 | 林 明次 | 2 | 春 | 2~4 | 定員 10 名 | 月 16:45~18:15 | | |
| 05016 | 現代日本語の多様性と運用 | 専 門 | ダッタ シャミ | 1 | 春前半 | 2~4 | 定員 10 名 | 水 9:10~10:40 | | |
| 05017 | 商学基礎 | 専 門 | 新任 | 2 | 春 | 1~4 | 定員 10 名 | 水 13:15~14:45 | | |
| 05018 | 課題・問題発見演習 | 専 門 | 重松 利信 他 | 2 | 春 | 2~4 | 定員 10 名 | 木 15:00~16:30 | | |
| 05019 | 人間を読みとく A(ジェンダー論) | 教 養 | 林 美帆 | 2 | 秋 | 1~4 | 定員 10 名 | 木 15:00~16:30 | | |

| | | | |
|--|--------|------------------------------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 (単位互換履修科目 履修願貼付) | 計 |
| | 1 枚 | 1 枚 | 2 枚 |

(7) 川崎医療福祉大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年4月7日 | ～ | 2026年7月28日 |
| | 後期 | 2026年9月28日 | ～ | 2027年1月29日 |
| 試験期間 | 前期 | 2026年7月29日 | ～ | 2026年8月12日 |
| | 後期 | 2027年2月3日 | ～ | 2027年2月17日 |
| 授業時間 | 1限 | 8:45 | ～ | 10:15 |
| | 2限 | 10:25 | ～ | 11:55 |
| | 3限 | 12:45 | ～ | 14:15 |
| | 4限 | 14:25 | ～ | 15:55 |
| | 5限 | 16:05 | ～ | 17:35 |

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

| |
|-------------------------------------|
| 事務部 教務課 |
| 所在地: 〒701-0193 倉敷市松島 288 番地 本館棟 2 階 |
| 電話: 086-464-1021(直通) |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

本学では、以下の期限まで申し込みを受け付けます。
ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

前期:2026年3月16日(月)まで

後期:2026年9月1日(火)まで

・履修手続

所属大学にて履修手続を行った後、初回授業の当日に、名札・学生証等を配付しますので、教務課窓口までお越しください。

・施設利用

- ・本学の在学生と同じ扱いとします。図書館・学食の利用が可能です。
- ・駐車場の利用はできませんが、大学所定の駐輪場の利用は可能です。
- ・図書館の利用方法については下記 HP をご覧ください。

<https://w.kawasaki-m.ac.jp/center/library/>

・特記事項

初回のみ、授業開始の30分前までに本学へお越しください。
1階防災センターで受付を行い、防災センター係員に教務課へ電話をつなぐようにお伝えください(内線54226)。

教務課にて説明を行った後に授業をする教室までの案内を行います。

校舎建物内は土足厳禁となっておりますので、受講の際は上履きをご用意ください。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mwweb.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/s10>

・ 対面授業科目

| | | | | |
|--|------|-----|-------|---------|
| 対面授業 | | | 07001 | |
| 健康科学論 | | | 矢野 博己 | |
| Health Sciences | | | | |
| 1～4 年次 | 2 単位 | 春学期 | 1 コマ | 定員 15 名 |
| 【授業の目的】 基礎的な教養としての健康づくりの三要素(運動・栄養・休養)について理解を深める。生涯にわたって健康づくりを考えられるようになることを目指す。 | | | | |
| 【授業内容】 1. 健康づくりの三要素 2. 生活習慣と寿命 3. 健康観と日本文化 4. 誰のための健康か？ 5. 健康づくりのための運動とは？ 6. 健康づくりと食生活観 7. 供給と消費のエネルギーバランス 8. 疲労と疲労感 9. 積極的休養法 10. ストレス解消としての休養(リフレッシュメント、リラックス) 11. 生体防御(防衛体力)と健康 12. ヘルスプロモーションとは？ 13. 科学技術と健康 14. Aさんの健康づくりプロジェクト(基礎編) 15. Aさんの健康づくりプロジェクト(応用編) | | | | |
| 【テキスト】 上田伸男・矢野博己編『健康づくりの新・運動生理学』(アイ・ケイコーポレーション)(2021) | | | | |
| 【参考図書】 なし | | | | |
| 【成績評価の方法】 [レポート] 50%(健康づくりプログラムを具体的に作成できているかを評価する。) [受講態度・その他] 50%(授業中の質問に対する、積極的な反応を評価する。) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。小テスト・中間テストは採点、講義内で解説をする。 [備考] 受講態度とレポートで評価する。受講態度で 50 点、レポートをその内容によって 50 点満点で評価する。レポート課題についてはあらかじめ授業の中で説明する。 | | | | |

| | | | | | |
|--|------|-----|----------|---------|--|
| 対面授業 | | | | 07002 | |
| 自閉症の理解と支援 | | | 小田桐 早苗 他 | | |
| Understanding and Supporting Autism | | | | | |
| 1～4 年次 | 2 単位 | 春学期 | 1 コマ | 定員 15 名 | |
| <p>【授業の目的】 授業では、自閉症の理解について、自閉症の人たちがどのような体験をしているか、自閉症の視点に立って学ぶことができることを目指します。そのために、通常の講義に加えて、自らが自閉症支援のために実施される内容を経験することによって、より深く自閉症支援について学ぶ機会も用意しました。こうした体験を通して、自閉症の人たちがどのようなところでつまづきやすいのか、そのための具体的な支援としてはどのようなものを準備すればいいのか、イメージできるようになることを目指します。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自閉症をめぐる Q&A 2. 自閉症の特性と学習スタイル 3. 自閉症の学習スタイルに基づく支援①—スケジュールとワークシステム 4. 自閉症の学習スタイルに基づく支援②—マテリアルストラクチャーと物理的整理統合 5. 自閉症の人たちの世界を学ぶ 6. 自閉症を知ろう—AQ テスト 7. 高機能自閉症の人たちの世界 8. 適切な目標を立てて行動するには—T-STEP プログラム 9. 適切なソーシャルスキルと感情調整の仕方を学ぼう 10. 幼児期の支援—療育とは何か 11. 学齢期の支援—仲間を見つける 12. 就労支援を考える 13. 成人期の支援—充実した人生にするためには 14. 家族を支援する—専門家との協働者としての家族 15. ライフステージに応じた自閉症支援 | | | | | |
| <p>【テキスト】 授業ごとに配布資料を作成します。</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 なし</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 [定期試験] 60%(マークシートによる試験を実施する) [受講態度・その他] 40%(毎回の出席カードおよび感想が 20%、そして振り返りシート等を用いた自らの学びについてのリアクションペーパーが 20%) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。</p> | | | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|-------|---------|
| 対面授業 | | | 07003 | |
| 生命科学 | | | 竹内 雅貴 | |
| Life Science | | | | |
| 1～4 年次 | 2 単位 | 秋学期 | 1 コマ | 定員 15 名 |
| <p>【授業の目的】 医療・福祉に携わる職種を志す学生にとって、医療の根幹を成す生物学的な知識は必要不可欠である。その一方で、基礎的な生物学は応用的／実用的な医学・薬学・工学などと学問としてのスタンスが異なる。本講義では、あえて純粋な基礎生物学の視点から、生命についての客観的な知識を習得する事を目標とする。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス～生物とは、ヒトとは～ 2. 生物の特徴と多様性 3. 遺伝情報の複製 4. 遺伝子の発現 5. 遺伝子発現の調節 6. [1]～[5]の授業の振り返り 7. 細胞の膜構造と細胞小器官 8. 細胞骨格 9. 代謝・生体エネルギー 10. 細胞周期 11. シグナル伝達 12. 生殖と減数分裂 13. 個体発生と細胞分化 14. 系統発生と生物進化 15. 生物としてのヒトとは | | | | |
| <p>【テキスト】 東京大学生命科学教科書編集委員会編『生命科学』(羊土社)(2009) 適宜、資料を配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳『細胞の分子生物学』(ニュートンプレス)(2017) Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 訳『Essential 細胞生物学』(南江堂)(2016)</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 [レポート] 40%(講義の中から各自が興味を持った内容について、自らの疑問を調べ、解き明かす形式でのレポートを課す。) [小テスト・中間テスト] 30%(遺伝子発現の調節までについて、記述式のテストを行う。) [受講態度・その他] 30%(毎回の講義において、理解できた事／疑問点をセットで提出。出欠確認も兼ねる。) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。小テスト・中間テストは採点、講義内で解説をする。 [備考] 授業中の積極的な質問や発言を歓迎し、評価する。(チャットなど)</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|------|-----|---------|---------|--|
| 対面授業 | | | | 07004 | |
| ヒューマンセクシャリティー論 | | | 谷野 宏美 他 | | |
| Human Sexuality | | | | | |
| 1～4 年次 | 2 単位 | 秋学期 | 1 コマ | 定員 15 名 | |
| <p>【授業の目的】 性と生殖について医学的/科学的観点から捉えるとともに、「性」を通して見える世界に多方面からアプローチし、実社会の動向を踏まえてジェンダー、セクシュアリティに関わる課題の解決方法について考察する。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツとセクシュアル・ライツ 2. ジェンダー・セクシュアリティ 3. 女性の身体・性 4. 男性の身体・性 5. 妊娠・出産・育児 6. 性感染症の現状と予防対策 7. 日本における性教育の現状と課題 8. 性の多様性と性別違和、その対応と現状 9. 性的同意と性暴力、性犯罪の現状と対応 10. 現代の HIV 感染症を考える 11. 生命倫理について考える 12. 不妊と生殖補助医療 13. 更年期・老年期に起こりやすい健康問題—排尿機能障害(尿失禁)と骨盤底— 14. 月経と関連する疾患について 15. ワーク・ライフバランス、まとめ | | | | | |
| <p>【テキスト】 なし</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 なし</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 [レポート] 50%(レポートの内容) [プレゼンテーション] 10%(質疑応答、態度など) [受講態度・その他] 40%(リアクションペーパーの記述内容) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。</p> | | | | | |

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

川崎医療福祉大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | 印 |

| |
|----------|
| 写真 貼付 |
|----------|

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|------------------|-----|----------|-------|---|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | 学科 | | 年 |
| 学生番号 | | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | |
| | | 男・女 | | 昭和・平成 | 年 |
| 現住所 | 〒 ー Tel () ー | | | | |
| メールアドレス | | | | | |

* 履修受付締切日：前期：3月16日(月)まで 後期：9月1日(火)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|--------|----------------|----|-------------|----|-----|------|---------|---------------|------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 07001 | 健康科学論 | 教養 | 矢野 博己 | 2 | 春学期 | 1~4 | 定員 15 名 | 水 12:45~14:15 | | |
| 07002 | 自閉症の理解と支援 | 教養 | 小田桐 早苗 他 | 2 | 春学期 | 1~4 | 定員 15 名 | 水 12:45~14:15 | | |
| 07003 | 生命科学 | 教養 | 竹内 雅貴 | 2 | 秋学期 | 1~4 | 定員 15 名 | 火 8:45~10:15 | | |
| 07004 | ヒューマンセクシャリティー論 | 教養 | 谷野 宏美 他 | 2 | 秋学期 | 1~4 | 定員 15 名 | 水 12:45~14:15 | | |

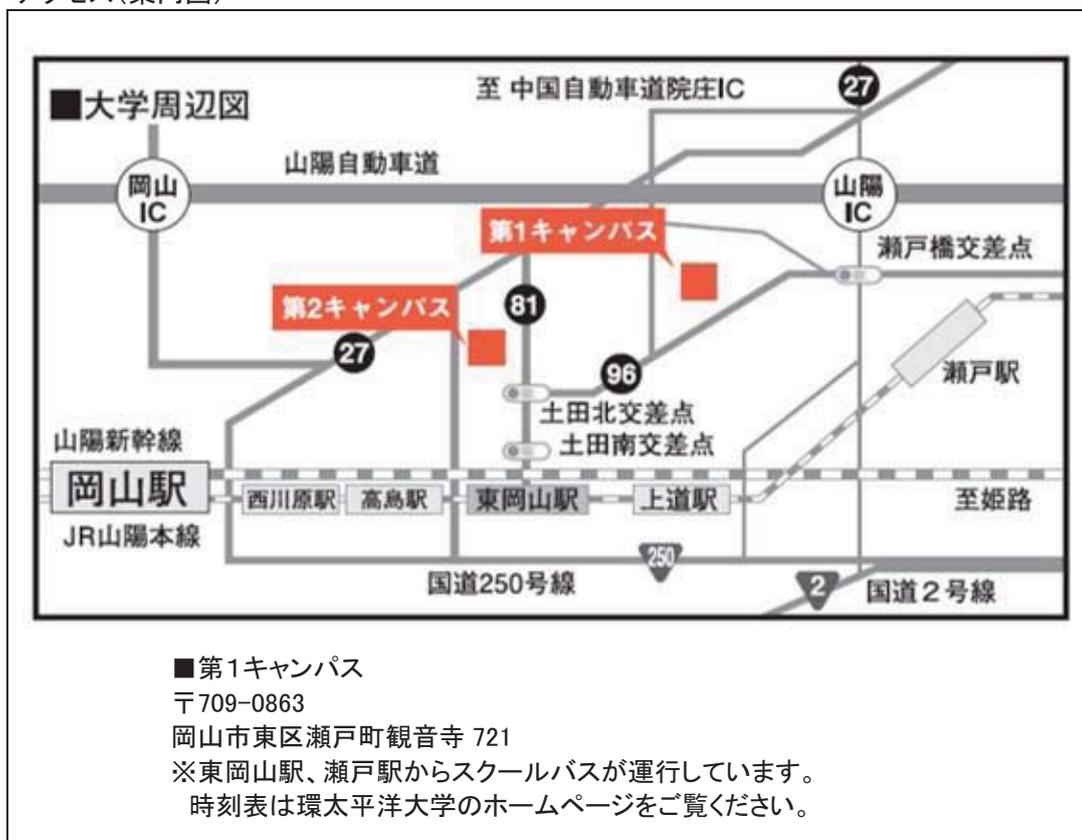
| | | | |
|---|--------|------------------------------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 (単位互換履修科目 履修願貼付) | 計 |
| | 1 枚 | 1 枚 | 2 枚 |

(8)環太平洋大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年4月8日 | ～ | 2026年7月17日 |
| | 後期 | 2026年9月24日 | ～ | 2027年1月25日 |
| 試験期間 | 前期 | 2026年7月22日 | ～ | 2026年7月24日 |
| | 後期 | 2027年1月27日 | ～ | 2027年1月29日 |
| 授業時間 | 1限 | 8:50 | ～ | 10:30 |
| | 2限 | 10:45 | ～ | 12:25 |
| | 3限 | 13:05 | ～ | 14:45 |
| | 4限 | 15:00 | ～ | 16:40 |
| | 5限 | 16:55 | ～ | 18:35 |

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

| |
|--------------------------------|
| 教務課 |
| 所在地: 岡山市東区瀬戸町観音寺 721 ディスカバリー1階 |
| 電話: 086-201-3151 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

本学では、以下のとおり受け付けます。
後期:9月16日(水)まで

・ 履修手続

履修を許可された学生は、受入大学の担当窓口で履修手続き等の指示を受けてください。

・ 施設利用

1. 環太平洋大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下を配付します。
 - ①学生証(単位互換履修生) (学生支援センター)
3. 図書館・学食等の利用が可能です。図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

- ⑤ 各科目のシラバス
大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://unipa-rx.ipu-japan.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>

| | | | | |
|--|--|----------------|-------|--------|
| オンデマンド授業 | | | | 08101 |
| スポーツバイオメカニクス | | | 佐藤 伸之 | |
| SPORTS BIOMECHANICS | | | | |
| 履修年次:2~4年 | 2単位 | 後期 | 1コマ | 定員:若干名 |
| 【授業の目的】 身体の動く仕組みを物理学的にアプローチする学問をバイオメカニクスという。本授業では、スポーツ現場でのバイオメカニクスについて学び、スポーツバイオメカニクスの基礎を理解し、身体運動の背景を力学的に捉えることができるようにする。さらに自身が指導者になるうえでのコーチング現場でのバイオメカニクスの応用について学び、自身の考えをまとめる。 | | | | |
| 【授業内容】 | | | | |
| 1. ガイダンス、スポーツバイオメカニクスについて | 授業の流れの説明、バイオメカニクスの基礎、スポーツバイオメカニクスの視点について | | | |
| 2. 人体の動く仕組み | ヒトの骨格系、関節、関節運動の可動域について | | | |
| 3. 運動と力 | 運動の法則、力の性質について | | | |
| 4. 並進運動 | 身体運動の運動学的記述、変位・速度・加速度について | | | |
| 5. 回転運動 | 角変位・角速度・角加速度について、並進運動と回転運動の関係について | | | |
| 6. 流体力学 | 流体の抗力と揚力について、浮力、マグヌス効果について | | | |
| 7. スポーツバイオメカニクスのコーチングへの応用① | さまざまなコーチング現場への応用について① | | | |
| 8. 走る動作のバイオメカニクス① | 歩行と走行の違いについて、ストライド・ピッチの関係、その他歩行・走行動作について | | | |
| 9. 走る動作のバイオメカニクス② | 歩行と走行の違いについて、ストライド・ピッチの関係、その他歩行・走行動作について | | | |
| 10. 跳ぶ動作のバイオメカニクス① | 跳躍の基礎、垂直跳について、走り幅跳び・走り高跳びのバイオメカニクス | | | |
| 11. 投げる動作のバイオメカニクス | 投動作のバイオメカニクス、野球の投動作ややり投げの投動作について | | | |
| 12. 打つ動作のバイオメカニクス | 野球の打撃動作やテニスの打撃動作について | | | |
| 13. スポーツバイオメカニクスのコーチングへの応用② | さまざまなコーチング現場への応用について② | | | |
| 14. まとめ、振り返り、課題レポート提示 | これまでの授業の振り返りやまとめ、最終課題レポート提示 | | | |
| 【テキスト】 なし | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| 著者: 深代千之ほか編著 | 書名: スポーツバイオメカニクス | 出版社: 朝倉書店 | | |
| 著者: 深代千之ほか | 書名: スポーツ動作の科学-バイオメカニクスで読み解く | 出版社: 東京大学出版会 | | |
| 著者: 山本澄子ほか | 書名: 基礎バイオメカニクス | 出版社: 医歯薬出版株式会社 | | |
| 著者: 宮西智久ほか | 書名: はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学 シリーズ スポーツバイオメカニクス | 出版社: 化学同人 | | |
| 【講義会場等】 オンデマンド授業 | | | | |
| 【成績評価の方法】 毎回の課題 60%、期末レポート課題 40% | | | | |

| | | | | | | |
|--|---|----|-------|---------|--|---|
| 対面授業 | | | | 08001 | | |
| 社会学概論 | | | 濱嶋 幸司 | | | |
| INTRODUCTION TO SOCIOLOGY | | | | | | |
| 履修年次: 2~4年 | 2単位 | 後期 | 1コマ | 定員: 若干名 | | |
| 【授業の目的】 社会学概論では、社会学の基礎的な考え方、理論、用語を学ぶ。社会学という学問に触れるのではなく、現代社会をフィールドに、人々の生活(ライフ)と人生(キャリア)の送り方を社会学の視点を使って読みとく。社会学には独特の思考、手法があり、当たり前の日常に対して距離を取ることで、これまでの見え方とは異なる(複眼的、鳥瞰的)姿を確認することができる。履修者とは社会学の面白さと人生の多様さ、多彩さ、自ら築き上げることのできる楽しさを共有する。各回の進め方は、前半 50 分に社会学の概念や理論を時事問題に絡めて諸学説の説明・小課題①実施とし、後半 50 分は人生の各主要局面に主眼を置いた説明・小課題②実施とする。 | | | | | | |
| 【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 【第 01 回】イントロダクション : 今という時代をどう生きるか? 【第 02 回】社会学のキーワード紹介 現代社会での人生①: 働く 【第 03 回】社会学の理論紹介 現代社会での人生①: 福祉社会で生きる 【第 04 回】時事ニュースから 現代社会での人生①: 階層社会 【第 05 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 就活 【第 06 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 異動と昇進 【第 07 回】前半の振り返り 中間試験(60分) 【第 08 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: アルバイト 【第 09 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 貧困 【第 10 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 地域密着 【第 11 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③: 未婚・結婚 【第 12 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③: 親になる 【第 13 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③: 介護 【第 14 回】人生 100 年時代をどう生きるか 最終試験(60分) </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> ・科目のねらい、到達目標、授業の進め方、成績評価基準を説明 ・社会学とは? ・主要概念説明(行為・権力・文化・機能的統合・社会構造) ・日本の資本主義社会で働くということ、雇用慣行、雇用システム ・主要理論説明(機能理論・闘争理論・象徴的相互作用理論) ・誰と助け合うか、日本の社会保障・社会福祉の形成 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ウェーバー学説) ・格差社会とライフコース、社会階層論の基本的な考え方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(デュルケム学説) ・新卒一括定期採用、日本型雇用システムと大衆教育社会 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マルクス学説) ・昇進・異動をめぐる企業と人、長期雇用、キャリア選択 ・第 1 回～第 6 回までの復習 ・テスト実施 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ミード学説) ・雇用形態、正規雇用、非正規雇用、キャリアの違い ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マートン学説) ・日本の貧困、戦後→バブル→失われた 30 年、立ち向かい方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(シカゴ都市社会学) ・地方移住、コミュニティ、都市化、郊外化、過疎化、限界集落 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ギデンズ学説) ・親子のライフコース、近代家族と婚姻制度、これからの結婚 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ゴフマン学説) ・「母親らしさ」「父親らしさ」、出産育児、ジェンダー、多様な性 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ガーフィンケル学説) 親の介護は誰が担う、多様化する介護問題、仕事との両立 ・少子高齢社会のライフ&キャリア、年、社会を生き抜く技法 ・主に第 7～13 回でテスト実施 </td> </tr> </table> | | | | | 【第 01 回】イントロダクション : 今という時代をどう生きるか? 【第 02 回】社会学のキーワード紹介 現代社会での人生①: 働く 【第 03 回】社会学の理論紹介 現代社会での人生①: 福祉社会で生きる 【第 04 回】時事ニュースから 現代社会での人生①: 階層社会 【第 05 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 就活 【第 06 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 異動と昇進 【第 07 回】前半の振り返り 中間試験(60分) 【第 08 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: アルバイト 【第 09 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 貧困 【第 10 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 地域密着 【第 11 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③: 未婚・結婚 【第 12 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③: 親になる 【第 13 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③: 介護 【第 14 回】人生 100 年時代をどう生きるか 最終試験(60分) | ・科目のねらい、到達目標、授業の進め方、成績評価基準を説明 ・社会学とは? ・主要概念説明(行為・権力・文化・機能的統合・社会構造) ・日本の資本主義社会で働くということ、雇用慣行、雇用システム ・主要理論説明(機能理論・闘争理論・象徴的相互作用理論) ・誰と助け合うか、日本の社会保障・社会福祉の形成 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ウェーバー学説) ・格差社会とライフコース、社会階層論の基本的な考え方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(デュルケム学説) ・新卒一括定期採用、日本型雇用システムと大衆教育社会 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マルクス学説) ・昇進・異動をめぐる企業と人、長期雇用、キャリア選択 ・第 1 回～第 6 回までの復習 ・テスト実施 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ミード学説) ・雇用形態、正規雇用、非正規雇用、キャリアの違い ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マートン学説) ・日本の貧困、戦後→バブル→失われた 30 年、立ち向かい方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(シカゴ都市社会学) ・地方移住、コミュニティ、都市化、郊外化、過疎化、限界集落 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ギデンズ学説) ・親子のライフコース、近代家族と婚姻制度、これからの結婚 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ゴフマン学説) ・「母親らしさ」「父親らしさ」、出産育児、ジェンダー、多様な性 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ガーフィンケル学説) 親の介護は誰が担う、多様化する介護問題、仕事との両立 ・少子高齢社会のライフ&キャリア、年、社会を生き抜く技法 ・主に第 7～13 回でテスト実施 |
| 【第 01 回】イントロダクション : 今という時代をどう生きるか? 【第 02 回】社会学のキーワード紹介 現代社会での人生①: 働く 【第 03 回】社会学の理論紹介 現代社会での人生①: 福祉社会で生きる 【第 04 回】時事ニュースから 現代社会での人生①: 階層社会 【第 05 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 就活 【第 06 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 異動と昇進 【第 07 回】前半の振り返り 中間試験(60分) 【第 08 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: アルバイト 【第 09 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 貧困 【第 10 回】時事ニュースから 就職して「社会人」になる②: 地域密着 【第 11 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③: 未婚・結婚 【第 12 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③: 親になる 【第 13 回】時事ニュースから 「普通の人生」はあるのか③: 介護 【第 14 回】人生 100 年時代をどう生きるか 最終試験(60分) | ・科目のねらい、到達目標、授業の進め方、成績評価基準を説明 ・社会学とは? ・主要概念説明(行為・権力・文化・機能的統合・社会構造) ・日本の資本主義社会で働くということ、雇用慣行、雇用システム ・主要理論説明(機能理論・闘争理論・象徴的相互作用理論) ・誰と助け合うか、日本の社会保障・社会福祉の形成 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ウェーバー学説) ・格差社会とライフコース、社会階層論の基本的な考え方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(デュルケム学説) ・新卒一括定期採用、日本型雇用システムと大衆教育社会 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マルクス学説) ・昇進・異動をめぐる企業と人、長期雇用、キャリア選択 ・第 1 回～第 6 回までの復習 ・テスト実施 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ミード学説) ・雇用形態、正規雇用、非正規雇用、キャリアの違い ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(マートン学説) ・日本の貧困、戦後→バブル→失われた 30 年、立ち向かい方 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(シカゴ都市社会学) ・地方移住、コミュニティ、都市化、郊外化、過疎化、限界集落 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ギデンズ学説) ・親子のライフコース、近代家族と婚姻制度、これからの結婚 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ゴフマン学説) ・「母親らしさ」「父親らしさ」、出産育児、ジェンダー、多様な性 ・直近のニュースを社会的に分析し、説明(ガーフィンケル学説) 親の介護は誰が担う、多様化する介護問題、仕事との両立 ・少子高齢社会のライフ&キャリア、年、社会を生き抜く技法 ・主に第 7～13 回でテスト実施 | | | | | |
| 【テキスト】 なし | | | | | | |
| 【参考図書】 著者: 西村純子・池田心豪 書名:『社会学で考えるライフ&キャリア』 出版社: 中央経済社 (2023) | | | | | | |
| 【講義会場等】 環太平洋大学 第 1 キャンパス 講義室 | | | | | | |
| 【成績評価の方法】 各回で実施する小課題①と②(40%)、中間試験(30%)、最終試験(30%) | | | | | | |

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

環太平洋大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | 印 |

| |
|----------|
| 写真 貼付 |
|----------|

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|------------------|----------|-------|---|-----|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | 学科 | 年 | |
| 学生番号 | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | | |
| | | | 昭和・平成 | 年 | 月 日 |
| 現住所 | 〒 — Tel () — | | | | |
| メールアドレス | | | | | |

* 履修受付締切日：【先着順】後期：9月16日(水)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|--------------|----|-------|----|-----|------|------------------|---------------|--------------------------|----|
| 遠隔授業科目 | | | | | | | | | | |
| 08101 | スポーツバイオメカニクス | 専門 | 佐藤 伸之 | 2 | 後期 | 2~4 | オンデマンド 定員：若干名 | 水 10:45~12:25 | <input type="checkbox"/> | |
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 08001 | 社会学概論 | 専門 | 濱嶋幸司 | 2 | 後期 | 2~4 | 定員：若干名 | 金 13:05~14:45 | <input type="checkbox"/> | |

| | | | | |
|--|--------------------|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 単位互換科目 履修願用(本紙) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 1 枚 | 0 枚 | 0 枚 | 1 枚 |

(9) 吉備国際大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年4月6日 | ～ | 2026年7月24日 |
| | 後期 | 2026年10月2日 | ～ | 2027年1月29日 |
| 試験期間 | 前期 | 2026年7月27日 | ～ | 2026年7月31日 |
| | 後期 | 2027年2月1日 | ～ | 2027年2月5日 |
| 授業時間 | 1限 | 9:30 | ～ | 11:00 |
| | 2限 | 11:10 | ～ | 12:40 |
| | 3限 | 13:30 | ～ | 15:00 |
| | 4限 | 15:10 | ～ | 16:40 |
| | 5限 | 16:50 | ～ | 18:20 |

② アクセス(案内図)

● 吉備国際大学 高梁キャンパス

JR伯備線 備中高梁駅 下車
徒歩 20分 または バス 6分



● 吉備国際大学 岡山キャンパス

JR瀬戸大橋線 大元駅 下車
徒歩 15分



③ 担当窓口

| | |
|-------------------------|--------------------|
| スチューデントサポートセンター 教務部 教務課 | |
| 所在地: | 岡山県高梁市伊賀町 8 3号館 1階 |
| 電話: | 0866-22-7779 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込受付期間どおり。
所属大学によって提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

初回授業で来学の際には、印刷物等の配付、講義室の場所等の説明を行いますので、時間の余裕を持って教務課(3号館)窓口まで来てください。

・ 施設利用

図書館を利用される場合は、受講生所属大学の学生証を本学図書館のカウンターに提示し、登録手続きを行ってください。登録後から利用することができます。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://unipa.office.kiui.ac.jp/uprx/>

・対面授業科目

| | | | | |
|--|------|-----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 09001 |
| 授業科目名：社会学 | | | 担当教員氏名：赤坂 真人 | |
| Sociology | | | | |
| 履修年次 1～4 | 2 単位 | 秋学期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせる。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会学とは何か 2. 他の社会科学・人間科学との違い 3. 社会科学は何の役に立つか 4. 世界の人口動向 5. 日本の人口問題：少子高齢化 6. 現代家族：家族とは何か？・家族の種類・家族・世帯・親族 7. 現代家族：結婚・家族の変容 8. 現代家族の諸問題：ひきこもり・ニート・虐待 9. 教育が個人と社会に果たす役割 10. 教育の諸問題：いじめ・校内暴力・不登校・ひきこもり 11. 教育の諸問題：教員の多忙化と燃え尽き 12. 産業と労働：伝統的な分類と産業形態 13. 知識・情報産業社会からIT社会へ 14. AIの進化と産業・労働の変容 15. 日本経済の長期的衰退と将来設計 16. 定期試験 | | | | |
| <p>【テキスト】 毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会学(有斐閣) ISBN:978-4641-053892 ・基礎社会学(ふくろう出版) ISBN:978-4861864278 | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業中の小テスト(40%)・定期試験(60%)によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|---|------|-----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 09002 |
| 授業科目名：生涯スポーツ論 | | | 担当教員氏名：羽野 真哉 | |
| CAREER SPORTS TRAINING 1 | | | | |
| 履修年次 1～4 | 2 単位 | 秋学期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 学生が年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、グループワークやディスカッションすることによって自らの言葉で伝えられるようになる。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 生涯スポーツ 3. 発育・発達 4. 発育・発達とスポーツ 5. 健康寿命・フレイル 6. 健康とは 7. 休養とは 8. 睡眠とは 9. 体力とは 10. 体内時計 11. ストレスとスポーツ 12. 健康と飲酒 13. トレーニングとは 14. 教育とスポーツ 15. 競技スポーツと生涯スポーツ 16. 試験 | | | | |
| <p>【テキスト】 ・生涯スポーツの理論と実際(大修館書店) ISBN:978-4469266986</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 ・生涯スポーツ実践論(市村出版) ISBN:978-4902109290</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 定期試験とレポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を 50%とし、レポートの記述内容 30%、授業での積極的発言など授業態度を 20%とする。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】 毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|---|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 09003 |
| 授業科目名:健康支援と社会保障制度 | | | 担当教員氏名:磯濱 亜矢子 | |
| Theory of Administration for Health and Social Welfare | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 春学期 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 看護職として、知っておかなければならない保健医療福祉施策の基本的な知識を理解し、行政の仕組みと変遷・地域保健医療福祉関連の法制度までを把握する | | | | |
| 【授業内容】 1. ガイダンス、保健師・助産師・看護師法 2. 保健師・助産師・看護師法 3. 社会保障制度:趣旨・概要① 4. 社会保障制度:趣旨・概要② 5. 社会保障制度:医療保障制度① 6. 社会保障制度:医療保障制度② 7. 社会保障制度:医療保障制度③ 8. 社会保障制度:医療制度・医療提供体制 9. 社会保障制度:介護保障① 10. 社会保障制度:介護保障② 11. 社会保障制度:年金・生活保護制度 12. 社会保障制度:雇用保険 13. 社会保障制度:社会福祉 14. 社会保障制度:演習 15. 社会保障制度:雇用保険と労災保険、授業の振り 16. 筆記試験 | | | | |
| 【テキスト】 ・健康支援と社会保障制度 3 社会保障・社会福祉(医学書院) ・公衆衛生が見える(メディックメディア) | | | | |
| 【参考図書】 ・国民衛生の動向(厚生統計協会) ・国民福祉と介護の動向(厚生統計協会) | | | | |
| 【成績評価の方法】 最終試験 60%, 課題 20%, 小テスト 20%で評価を行う。 | | | | |
| 【備考欄】 社会情勢や健康課題への関心を持ち、自分の考えを議論する習慣を身につける。講義内容に関する関係法の予習・復習を行い、法令の用語や言い回し等の理解をすること。指定した教科書は必ず持参すること。 | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|--|------|-----|---------------|--|
| 対面授業 | | | 09004 | |
| 授業科目名: リハビリテーション概論 | | | 担当教員氏名: 河村 顕治 | |
| Introduction to Rehabilitation | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 春学期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 リハビリテーションの理念と社会的、地域的リハビリテーションを含めた包括的なリハビリテーションの考え方を教授する。平成 12 年度より始まった公的介護保険制度についても、社会的背景より講義を行う。障害者スポーツの意義についても講義を行う。 リハビリテーションを単なる後療法と位置づけるのではなく、人間らしく生きるための技術、学問として考えていきたい。また、リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を強調したい。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションとは 2. 障害のとらえかた 3. リハビリテーション医学の歴史 4. リハビリテーション医学の実際 5. 機能障害の評価(ROM) 6. 機能障害の評価(MMT) 7. 活動の評価(ADL) 8. QOL の評価 9. 理学療法 10. 作業療法 11. 言語聴覚療法 12. 補装具、自助具 13. 社会保障体制 14. 公的介護保険制度と地域リハ 15. スポーツとリハビリテーション 16. 単位認定試験 | | | | |
| <p>【テキスト】 リハビリテーション医学 第 1 版 羊土社 安保雅博／監, 渡邊 修, 松田雅弘／編 ISBN: 978-4-7581-0231-5</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 定期試験(80%)を中心に、学期末に提出するポートフォリオの内容(20%)にて総合的に判定を行う。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】 評価のために実施した課題やレポート等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|---|------|-----|----------------|--|
| 対面授業 | | | 09005 | |
| 授業科目名: 作業療法概論 | | | 担当教員氏名: 京極 真 他 | |
| Introduction to Occupational Therapy | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 春学期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション, 作業とは何か 2. 作業療法の対象, Enabling occupation 3. 身体障害領域の作業療法 4. 精神障害領域の作業療法 5. 高齢者・認知症の作業療法 6. 地域社会と作業療法 7. 作業療法の歴史 8. 作業療法の実践理論 1 9. 作業療法の実践理論 2 10. 高次脳機能障害領域の作業療法 11. 生活行為向上マネジメント 12. 発達障害領域の作業療法 13. 作業療法における研究の重要性 14. 文化の理解と作業療法 15. 作業療法を取り巻く状況、まとめ 16. 試験 | | | | |
| <p>【テキスト】 ・作業療法学概論 第4版(医学書院) ISBN:978-4260047852</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業への参加度(50%)、単位認定レポート試験(50%)の結果で総合評価する。なお、単位認定レポート試験は採点結果を返却し、模範解答を掲示する。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】 グループワークや発表時に欠席した場合は成績評価に大きく影響するため、必ず担当教員に連絡すること。日常生活の中で人(自分自身も含む)と作業の関係について洞察を深めること。</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|--|------|-----|-------------|-------|
| 対面授業 | | | | 09006 |
| 授業科目名：神経・生理心理学Ⅱ | | | 担当教員氏名：橋本 翠 | |
| Neuro-and Physiological Psychology II | | | | |
| 履修年次：3～4 | 2 単位 | 秋学期 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 神経系の働きや生理的反応の測定・記録法を学ぶとともに、さまざまな認知活動とそれに伴う生理反応との関連性についての理解を深める。 | | | | |
| 【授業内容】 1. OR/生理心理学のあゆみ 2. 脳と神経-1-中枢神経- 3. 脳と神経-2-末梢神経- 4. 脳電位の測定-1-原理- 5. 認知活動と脳波-1-脳波の測定- 6. 認知活動と脳波-2-分析- 7. 認知活動と脳波-3-脳波のスペクトル分析- 8. 認知活動と事象関連脳電位-1-脳内情報処理過程の解析- 9. 認知活動と事象関連脳電位-2-脳内情報処理過程の応用- 10. 確認テスト 11. 確認テストのフィードバック 12. 脳波測定実習 1 (グループ A) 13. 脳波測定実習 1 (グループ B) 14. 脳波測定実習 1 (グループ C) 15. 脳波測定実習 1 (グループ D) 16. 定期試験 | | | | |
| 【テキスト】 ・生理心理学 -人間の行動を生理指標で測る-(培風館) ISBN:978-4-563-05878-4 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| 【成績評価の方法】 学修態度(減点法), 理解度確認テスト(20%), 実験(ディスカッション含)(20%)・実験レポート, 試験の得点(60%)の合計点により総合的に評価する。 | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|--|------|-----|--------------------|-------|
| 対面授業 | | | | 09007 |
| 授業科目名: ディスカッション英語 | | | 担当教員氏名: ジョン フォーセット | |
| Discussion English | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 秋学期 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 社会問題等の物事について意見交換と説明ができる英語表現力を身につける。 | | | | |
| 【授業内容】 1. コース紹介など 2. ウィンストン・チャーチル 3. ミハエル・ゴルバチョフ 4. ロバート・キャパ 5. アンネ・フランク 6. ジークムント・フロイト 7. アルベルト・アインシュタイン 8. フランツ・カフカ 9. パブロ・ピカソ 10. ココ・シャネル 11. ジョン・レノン 12. チャールズ・チャプリン 13. J・K・ローリング 14. オードリー・ヘップバーン 15. プレゼン「私のアイコン」 16. 定期試験 プレゼンテーション | | | | |
| 【テキスト】 ・European Icons(山口書店) ISBN:978-4-8411-1464-5 C7082 | | | | |
| 【参考図書】 ・授業中に適宜資料を配付する | | | | |
| 【成績評価の方法】 定期試験の成績(40%)、予習・レポート・プレゼン・授業姿勢(60%) | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|---|------|-----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 09008 |
| 授業科目名：美術史 B | | | 担当教員氏名：前嶋 英輝 | |
| Art History B | | | | |
| 履修年次 3～4 | 2 単位 | 秋学期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 世界の伝統的な美術を学ぶことは、同時に日本の歴史文化及び地域の歴史文化を学ぶことである。世界の芸術作品や文化を比較しながら、広く芸術の意味について学習する。アニメーションと美術史の関係についても考察する。 美術史上の具体的な例を挙げながら、芸術作品に対する考えをまとめることを到達目標とする。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アニメーションと美術 2. 北斎漫画 3. 浮世絵 4. 水墨画 5. 中国と韓国の絵画 6. シルクロード美術 7. オリент美術 8. ギリシャ・ローマ美術 9. ヨーロッパの中世 10. ルネッサンス 11. バロック・古典主義 12. 印象派 13. 西洋と日本の近代 14. 現代美術 15. 芸術とアニメーション 16. 単位認定試験 | | | | |
| <p>【テキスト】 ・適宜プリントなどを配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 ・概説日本美術史(吉川弘文館) ISBN:978-4642072229</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート(60点)、到達目標達成度を見る期末試験(40点)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】 学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。</p> | | | | |

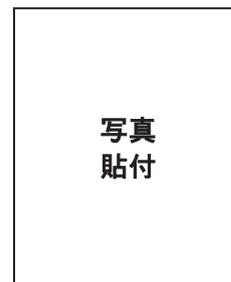
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

吉備国際大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏 名 | | | 印 |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | |
|----------|------------------|-----|-------------|
| 所属大学等 | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | 学科 | 年 |
| 学生番号 | 性別 | 生年 | 西暦 年 |
| | 男・女 | 月 日 | 昭和・平成 年 月 日 |
| 現住所 | 〒 — Tel () — | | |
| メールアドレス | | | |

* 履修受付締切日：前期：4月11日(土)まで 後期：10月8日(木)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開講 期 | 配当 学年 | 備 考 | 曜日・時限 | 履修 希望 | 評 価 |
|---------------|-------------|-----|------------|-----|------|-------|-----------|---------------|-------|-----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 09001 | 社会学 | 教養 | 赤坂 真人 | 2 | 秋 学期 | 1~4 | 高梁キャンパス開講 | 火 11:10~12:40 | | |
| 09002 | 生涯スポーツ論 | 教養 | 羽野 真哉 | 2 | 秋 学期 | 1~4 | 高梁キャンパス開講 | 火 9:30~11:00 | | |
| 09003 | 健康支援と社会保障制度 | 専門 | 磯濱 亜矢子 | 2 | 春 学期 | 2~4 | 高梁キャンパス開講 | 火 9:30~11:00 | | |
| 09004 | リハビリテーション概論 | 専門 | 河村 顕治 | 1 | 春 学期 | 1~4 | 高梁キャンパス開講 | 水 15:10~16:40 | | |
| 09005 | 作業療法概論 | 専門 | 京極 真 他 | 1 | 春 学期 | 1~4 | 高梁キャンパス開講 | 火 11:10~12:40 | | |
| 09006 | 神経・生理心理学Ⅱ | 専門 | 橋本 翠 | 2 | 秋 学期 | 3~4 | 高梁キャンパス開講 | 火 11:10~12:40 | | |
| 09007 | ディスカッション英語 | 専門 | ジョン フォーセット | 2 | 秋 学期 | 2~4 | 岡山キャンパス開講 | 水 15:10~16:40 | | |
| 09008 | 美術史 B | 専門 | 前嶋 英輝 | 2 | 秋 学期 | 3~4 | 高梁キャンパス開講 | 金 11:10~12:40 | | |

| | | | |
|--|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 0 枚 | 0 枚 | 0 枚 |

(10) 倉敷芸術科学大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|-----------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年4月10日 | ～ | 2026年8月6日 |
| | 後期 | 2026年9月25日 | ～ | 2027年2月2日 |
| 授業時間 | 1限 | 09:10 | ～ | 10:40 |
| | 2限 | 10:50 | ～ | 12:20 |
| | 3限 | 13:10 | ～ | 14:40 |
| | 4限 | 14:55 | ～ | 16:25 |
| | 5限 | 16:40 | ～ | 18:10 |

② アクセス(案内図)

倉敷芸術科学大学へ

【JR(新幹線・山陽本線 新倉敷駅)】

大学の最寄り駅はJR新倉敷駅です。

JR岡山駅からは山陽本線で新倉敷駅まで約25分です。

【バス・タクシー(新倉敷駅～大学)】

新倉敷駅から大学までは定期バスが運行されています。

倉敷駅からもバスは運行されています。なお、タクシー利用の場合、新倉敷駅から約12分です。



倉敷芸術科学大学公式HP「大学へのアクセス」

(<https://www.kusa.ac.jp/about-university/access/>)

③ 担当窓口

| | |
|--------|--------------|
| 学務部教務課 | |
| 所在地: | 本館(3号)2階 |
| 電話: | 086-440-1117 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込を以下の期限まで受け付けます。ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。
前期:3月27日(金)まで 後期:9月11日(金)まで

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

講義室等をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課(3号館2階)へ来てください。

・ 施設利用

倉敷芸術科学大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。

・ 特記事項

| |
|--|
| |
|--|

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.kusa.ac.jp/student/websyllabus-info/>

・対面授業科目

| | | | |
|--|-----|----|-------|
| 対面授業(教養科目) | | | 10001 |
| 地域デザイン | | | 橋元 純也 |
| Regional Design | | | |
| 履修年次 1～4 | 2単位 | 後期 | 1コマ |
| <p>【授業の目的】 本科目は、卒業後もみずからの資質を向上させて社会的・職業的自立を図るために必要な能力や態度を育成するキャリアデザイン科目群のひとつである。倉敷地域に根ざす大学で学ぶ自覚を持ちながら、地域社会の自立した構成員として生活・活動するための地域デザインの視点を身につけることを目的とする。</p> <p>倉敷市および他地域の歴史・文化・特徴、まちづくりの理念・施策・取りくみ事例などについて、地域講師から直接聴いて理解するとともに、それを題材に、他地域へも活用できる一般的な地域デザインの視点について、自分なりの考えを深めていく。さらに、美観地区およびその周辺を対象にまちあるきをおこなった成果について報告資料を作成し、まちの来訪者・ユーザー・消費者としての視点も身につける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.倉敷市その他におけるまちづくりの取りくみ事例について、理解し説明できる。 2.まちづくりの取りくみ事例をふまえ、一般的な地域デザインについて考えを表現できる。 3.まちの来訪者・ユーザー・消費者としての視点を身につけるために、まちあるきを実践できる。 4.明快な内容のまちあるき報告資料を作成するとともに、他者の報告資料を適切に評価できる。 <p>【授業外学習】 学習時間の目安:合計 60 時間 美観地区およびその周辺におけるまちあるきを実践し、報告資料を作成・提出する。提出は第1次期限(10月末)、第2次期限(12月末)のいずれかまでに、指定する方法でおこなう。作成中および提出後においても随時の指導を受けること。</p> <p>【注意事項】 なし</p> | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 01. 科目概要ガイダンス / まちあるき報告について 02. 倉敷に宿る大原精神 03. 倉敷の歴史と文化 04. 倉敷のまちづくり 05. 災害への対処 06. SDGs をジブンゴト化 07. 中間まとめ① / まちあるき報告① 08. 倉敷の歴史と歴史資料整備室の活動 09. 倉敷の歴史的都市環境と地域デザイン 10. まちづくりはまちで遊ぶことから 11. ゲストハウスによるまちづくり 12. 中間まとめ② / まちあるき報告② 13. 江戸宿場町を復活させる矢掛屋の取り組み 14. 高松丸亀町商店街の再開発 15. 期末まとめ / まちあるき報告③ | | | |
| <p>【テキスト】 教科書を使用しない。</p> | | | |
| <p>【参考図書】 なし。</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】 取りくみと提出物の状況・内容を以下のように評価し、総合計 60 点以上を合格とする。 第 01～07 回の取りくみと提出物の状況・内容(35%) :到達目標 1・2 を評価 第 08～15 回の取りくみと提出物の状況・内容(45%) :到達目標 1・2 を評価 まちあるき報告の状況・内容(20%) :到達目標 3・4 を評価</p> | | | |

| | | | |
|---|-----|----|-------|
| 対面授業(芸術学部) | | | 10002 |
| メディア・アート論 | | | 大森 隆 |
| Media Art Theory | | | |
| 履修年次1~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ |
| <p>【授業の目的】 新しいメディア環境に対応した芸術表現として様々なメディア・アート作品を紹介し、テクノロジーとアートの関係を理解し、メディア・アートの本質を考察する。 メディア・アートとは、工学などの先端技術を取り入れたアートで、近年はコンピュータをはじめとするデジタルメディアの発展に伴い、インタラクティブアートが注目されている。</p> <p>【アクティブラーニング】 各分野のメディア・アートについて調べ、プレゼンテーションによる発表を行う。</p> <p>【フィードバック】 課題に対する講評等のフィードバックを含めた指導を行う。</p> <p>【到達目標】 1 多様なメディア・アートを理解し説明できる。 2 テクノロジーとアートの関係を理解し説明できる。</p> <p>【授業外学習】学習時間の目安: 合計 60 時間 ・各分野のメディア・アートについて調べ理解を深める。 ・授業内で発表を行うために調査と準備を行う。</p> | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. メディア・アートとは? 2. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2022 年度) 3. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2021 年度) 4. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2020 年度) 5. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2019 年度) 6. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2018 年度) 7. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 昨年) 8. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 2 年前) 9. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 3 年前) 10. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 最新) 11. 受講者 発表準備(1) 12. 受講者 発表準備(2) 13. 受講者 発表(1) 14. 受講者 発表(2) 15. 受講者 発表(3) | | | |
| <p>【テキスト】 なし。</p> | | | |
| <p>【参考図書】 なし。</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業に取り組む態度・姿勢(40%)、発表内容(60%)に基づいて総合的に評価する。 到達目標1は授業に取り組む態度・姿勢から、到達目標2は発表内容により評価する。 総合計 60 点以上を合格とする。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|----|--------|
| 対面授業(芸術学部) | | | 10003 |
| 絵画基礎 I (A) | | | 原田 よもぎ |
| Basic Painting I | | | |
| 履修年次1～4 | 2単位 | 前期 | 2コマ |
| <p>【授業の目的】 絵画の基礎となるデッサンやスケッチを行う。 実際に絵画を描くための道具や素材に触れ、自然観察やデッサンやスケッチをすることの意味を体験、理解する。 デッサンやスケッチを行うことで絵画や造形を見る能力を高め今後の創造活動へのセンスを磨き、さまざまな分野への足がかりとすることを目標とする。 【アクティブラーニング】グループディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーションを取り入れている。 【フィードバック】演習課題の講評や省察などのフィードバックを含めた指導を行う。</p> <p>【到達目標】 1.画材の成り立ちや性質を説明でき、その使用方法を関係づけることができる。(知識) 2.形、素材の違いを類別し、それらの基本的な表現ができる。(技術力) 3.質感表現、空間表現、構図など画面全体を意識した表現ができる。(表現力)</p> <p>【授業外学習】 ・授業外学習のための課題を出し、その課題について講評する。 ・学習時間の目安:合計 60 時間</p> <p>【注意事項】 ・描画材料で汚れる場合があるため、作業にふさわしい服装、準備を行うこと。 ・鉛筆、練り消し、消しゴム、スケッチブック、色鉛筆、水彩絵の具は各自準備すること。</p> | | | |
| <p>【授業内容】 第1回 オリエンテーション／スケッチ1:葉を描く 第2回 スケッチ2:植物を描く 第3回 スケッチ3:ガラスを描く 第4回 スケッチ4:風景(1点透視図法) 第5回 スケッチ5:風景(2点透視図法) 第6回 作品制作:「風景と何か」1 第7回 作品制作:「風景と何か」2 第8回 作品制作:「風景と何か」3 第9回 講評会 第10回 講評会／人体クロッキー 第11回 人体クロッキー 第12回 デッサン1:紙コップ、植物 第13回 デッサン2: ガラス、布 第14回 デッサン3: 金属、野菜 第15回 デッサン4: 組み合わせ</p> | | | |
| <p>【テキスト】 使用しない。</p> | | | |
| <p>【参考図書】 授業の中で適宜紹介する。</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】 以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。 ・提出作品 70%(到達目標2・3を評価) ・授業内でのプレゼンテーション、質疑応答 30%の割合で評価。(到達目標1を評価) この授業では課題の提出が必須条件です。提出していない場合は評価の対象となりません。</p> | | | |

| | | | |
|--|-----|----|--------|
| 対面授業(芸術学部) | | | 10004 |
| 絵画基礎 I (B) | | | 原田 よもぎ |
| Basic Painting I | | | |
| 履修年次1~4 | 2単位 | 前期 | 2コマ |
| <p>【授業の目的】 絵画の基礎となるデッサンやスケッチを行う。 実際に絵画を描くための道具や素材に触れ、自然観察やデッサンやスケッチをすることの意味を体験、理解する。 デッサンやスケッチを行うことで絵画や造形を見る能力を高め今後の創造活動へのセンスを磨き、さまざまな分野への足がかりとすることを目標とする。</p> <p>【アクティブラーニング】 グループディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーションを取り入れている。</p> <p>【フィードバック】 演習課題の講評や省察などのフィードバックを含めた指導を行う。</p> <p>【到達目標】 1. 画材の成り立ちや性質を説明でき、その使用方法を関係づけることができる。(知識) 2. 形、素材の違いを類別し、それらの基本的な表現ができる。(技術力) 3. 質感表現、空間表現、構図など画面全体を意識した表現ができる。(表現力) (一年次自己評価用ルーブリックより)</p> <p>【授業外学習】 ・授業外学習のための課題を出し、その課題について講評する。 ・学習時間の目安: 合計 60 時間</p> <p>【注意事項】 ・描画材料で汚れる場合があるため、作業にふさわしい服装、準備を行うこと。 ・鉛筆、練り消し、消しゴム、スケッチブック、色鉛筆、水彩絵の具は各自準備すること。</p> | | | |
| 【授業内容】 | | | |
| 第1回 オリエンテーション／スケッチ1: 葉を描く 第2回 スケッチ2: 植物を描く 第3回 スケッチ3: ガラスを描く 第4回 スケッチ4: 風景(1点透視図法) 第5回 スケッチ5: 風景(2点透視図法) 第6回 作品制作: 「風景と何か」1 第7回 作品制作: 「風景と何か」2 第8回 作品制作: 「風景と何か」3 第9回 講評会 第10回 講評会／人体クロッキー 第11回 人体クロッキー 第12回 デッサン1: 紙コップ、植物 第13回 デッサン2: ガラス、布 第14回 デッサン3: 金属、野菜 第15回 デッサン4: 組み合わせ | | | |
| 【テキスト】 | | | |
| 使用しない。 | | | |
| 【参考図書】 | | | |
| 授業の中で適宜紹介する。 | | | |
| 【成績評価の方法】 | | | |
| 以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。 ・提出作品 70%(到達目標2・3を評価) ・授業内でのプレゼンテーション、質疑応答 30%の割合で評価。(到達目標1を評価) この授業では課題の提出が必須条件です。提出していない場合は評価の対象となりません。 | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|--------|--|
| 対面授業(生命科学部) | | | 10005 | |
| 水族育成学 | | | 山野 ひとみ | |
| Aquatic Animal Husbandry | | | | |
| 履修年次3~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 本授業では、水産養殖・増殖分野および水族館における展示・保全・教育を目的とした水族育成の理論と実践を学ぶ。</p> <p>【到達目標】 1 水生生物(魚類・無脊椎動物など)の生理・生態に基づいた育成原理を理解する 2 養殖・増殖と水族館飼育の共通点と相違点を説明できる 3 飼育環境、水質管理、給餌、繁殖、疾病管理の基礎を理解する</p> <p>【授業外学習】 学習時間の目安:合計 60 時間 予習:LMS に提示する資料を読む(各回 2 時間)。 復習:授業内容を整理し、課題レポートに取り組む(各回 2 時間)。</p> <p>【連絡事項】 特になし</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第 1 回 水族の育成とは 第 2 回 水族の収集と輸送 第 3 回 飼育設備 第 4 回 飼育水の浄化 第 5 回 飼育環境 第 6 回 魚病 第 7 回 水族の餌料 第 8 回 水族の繁殖 第 9 回 水族の発生 第 10 回 水族の保護 第 11 回 水族の保存 第 12 回 水産養殖 第 13 回 水産育種 第 14 回 増殖と栽培漁業 第 15 回 試験</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 教科書を使用しない。適宜資料を配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 「改訂 魚類の栄養と餌料」・渡邊 武編・恒星社厚生閣・ISBN 978-4-7699-1082-4 「改訂版 新・飼育ハンドブック 水族館編 1~4 巻」・日本動物園水族館協会 「水族育成学入門」・間野伸宏・鈴木伸洋編著・成山堂・ISBN 978-4-425-83121-0 「魚病学」・児玉 洋監修・緑書房・ISBN 978-4-89531-026-0</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。 レポート 40%:到達目標 3 を評価 試験 60%:到達目標 1~4 を評価</p> | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|-------|--|
| 対面授業(生命科学部) | | | 10006 | |
| 生活習慣病予防 | | | 市川 勉 | |
| Prevention of Lifestyle-related Diseases | | | | |
| 履修年次3~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症等)の成因と予防を、生命科学・健康科学の視点から学ぶ。食事、運動、喫煙、睡眠、ストレスなどの生活習慣が病態形成に及ぼす影響を理解し、一次・二次予防や特定検診、行動変容理論の重要性を解説していくことで、将来の医療・保健・福祉・スポーツ分野で実践できる科学的根拠による生活習慣病予防の考え方を内科学的な視点を交えながら解説し身に付けていくことを目的とする。</p> <p>【到達目標】 1 各疾患の基本メカニズムについて理解し説明できる。 2 各疾患を予防する上で生活習慣病として共通する部分と疾病別に分けて考えるべき部分を、運動と食事の知識に基づき系統立てて理解し説明できる。 3 上記を踏まえたうえで、生活習慣病予防について自らの方針を立てることができる。</p> <p>【授業外学習】 学習時間の目安:合計60時間 授業の理解度についてLMSで理解度確認チェック(小テスト)を行うので、授業で学んだ内容について復習すること(各4時間)。また予習については、各回講義終了時に指示する。</p> <p>【連絡事項】15回目に期末試験を実施する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回 メタボリックシンドロームの概念と実際 第2回 肥満症の成り立ち 第3回 肥満症によるデメリットとその対策 第4回 脂質異常症、高尿酸血症の成り立ち 第5回 脂質異常症、高尿酸血症への対処法 第6回 糖尿病の原因と仕組み 第7回 糖尿病への対処法 第8回 高血圧症の原因と成り立ち 第9回 高血圧症への対処法 第10回 虚血性心疾患の原因、成因について理解し身体的なりハビリテーション 第11回 呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患を中心に)生活習慣病について 第12回 ロコモティブシンドローム(ロコモ)運動器、(骨・関節・筋肉・神経)の障害によるリスク・予防 第13回 がん(悪性新生物)の成り立ち、身体に及ぼす影響 第14回 運動器退行性疾患の原因・病態・症状 第15回 軽度認知障害、認知症、その予防や理解</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 使用しない(スライドおよび配布資料をもとに授業を行う)</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 「はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学シリーズ6 健康づくりのための運動の科学」・鶴木 秀夫 編集・化学同人・ISBN:978-4759817102</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業に取り組む姿勢 10%(到達目標1、2)、小テスト 20%(到達目標1、2)、期末試験 70%(到達目標1、2)で評価する。総合点60点以上を合格とする。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|-----|-------|
| 対面授業(生命科学部) | | | | 10007 |
| 動物行動学 | | | | 唐川 千秋 |
| Animal behavior and psychology | | | | |
| 履修年次3~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】</p> <p>動物のところが知りたい、動物が何を考えているかわかれば、それに合った対応ができると考えるのは当然であるが、それには動物の行動本来にさかのぼって、その意味・成立メカニズムを知る必要がある。擬人的にはなく、客観的に動物の行動が理解できるようになることを目的とする。</p> <p>【到達目標】</p> <p>(1)動物の行動を生態学的・行動学的知識にもとづいて説明できる。 (2)動物の学習原理を理解する。 (3)さまざまな問題行動の原因と、それらへの対処法を理解する。</p> <p>【授業外学習】</p> <p>学習時間の目安:各回4時間</p> <p>予習:教科書の指定ページを読み、概略をつかんでおく。教科書に挙げてあるキーワードを調べておく。 復習:各回の復習欄に記載した目標達成に向けて、内容を整理・理解する。 各章末の問題を解く。 指定したキーワードを用いて説明する形式の課題レポートを作成する。</p> <p>【授業内容】</p> <p>第1回 オリエンテーションー動物行動学、比較心理学とは 予習:P.3-8 復習:進化に関する諸概念、エソロジーについて理解する。</p> <p>第2回 行動の進化と適応 予習:P.8-14 復習:家畜化の過程で起こる形態的・行動的变化について理解する。</p> <p>第3回 維持行動 予習:P.17-26 復習:イヌ・ネコの摂食・排泄行動などについて理解する。</p> <p>第4回 社会行動(1)社会構造、生殖行動、母性行動 予習:P.29-39 復習:群れの構造、生殖戦略、性行動について理解する。</p> <p>第5回 社会行動(2)イヌのコミュニケーション行動 予習:P.40-45 復習:イヌのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第6回 社会行動(3)ネコのコミュニケーション行動 予習:P.46-54 復習:ネコのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第7回 行動発現のしくみ 予習:P.57-70 復習:動機づけ、情動、行動の周期性について理解する。</p> <p>第8回 行動の発達(1)イヌの行動発達 予習:P.73-78 復習:イヌの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p>第9回 行動の発達(2)ネコの行動発達 予習:P.79-82 復習:ネコの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p>【課題1】2-9回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。</p> | | | | |

第 10 回 動物の学習原理(1)条件づけ

予習:P83-87

復習:動物心理学史を通して学習心理学成立の背景、条件づけ理論について理解する。

第 11 回 動物の学習原理(2)学習理論の展開

予習:P.88-93

復習:条件づけ理論の展開について理解する。

【課題 2】10-11 回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。

第 12 回 問題行動(1)問題行動と行動診療

予習:P.101-108

復習:問題行動の原因と、行動修正に有効な技法を理解する。

第 13 回 問題行動(2)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.109-130

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

第 14 回 問題行動(3)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.131-154

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

【課題 3】12-14 回の内容についてグループで、指定したキーワードを用いて問題行動についてまとめて発表する。

第 15 回 問題行動の予防

予習:P.154-176

復習:問題行動の予防に有効な技法を理解する。

【テキスト】

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻

ISBN:978-4-86671-160-7

【参考図書】

日本動物心理学会(監)藤田和生(編著) 2015 動物たちは何を考えている? 技術評論社 ISBN: 9784774172583

藤田和生 2015 誤解だらけの”イヌの気持ち 財界展望新社 ISBN: 978-4-87934-025-2

高木佐保 2021 知りたい! ネコごころ 岩波書店 ISBN:978-4-00-029692-2

【成績評価の方法】

小テスト 3 回、40 点(1 回目は到達目標 1、2 回目は到達目標 2、3 回目は到達目標 3 に対応する)、期末試験 60 点(到達目標 1・2・3)の重みで評価する。総合計 60 点以上を合格とする。

| | | | | |
|---|-----|----|-----|---------|
| 対面授業(生命科学部) | | | | 10008 |
| 医学概論 | | | | 渡部 俊幸 他 |
| Introduction to Medicine | | | | |
| 履修年次1～4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 医学・医療・臨床検査・臨床検査技師の入門科目として、歴史から最新情報を講義する。本講義で医学の大切さ、医療の仕組み、臨床検査の重要性、臨床検査技師の業務内容の基礎知識を学ぶことを目的とする。</p> <p>【到達目標】 1.医療における臨床検査技師の役割、業務内容、職場を説明できる。 2.人体の構造および癌について説明できる。 3.DNA、RNA、遺伝子について説明できる。 4.免疫および感染症について説明できる。 5.血球・免疫・凝固について説明できる。</p> <p>【授業外学習】 学習時間の目安:復習を中心に合計 60 時間程度 ・講義内容は最新情報や時事問題についても取り上げるため、講義内容をよく聞き、復習を心掛ける。 ・講義内容の関連事項について自ら調べて、知識や理解を広げておく。 ・医療に関する新聞記事、ニュースに関心をもち、現代の医療状況、方向性、問題点を知る。</p> <p>【授業内容】 1. 臨床検査技師とは(三宅) 2. 医学検査・臨床検査のあゆみ(三宅) 3. 病院と病気(三宅) 4. 人体臓器の位置と大きさについて(野島) 5. 人体臓器の働きと機能について(野島) 6. 癌とは(野島) 7. DNAとは、RNAとは(高木) 8. 人類の進化と遺伝子(高木) 9. ゲノム編集と治療(高木) 10. 免疫学概論(山崎) 11. 感染症学総論①(山崎) 12. 感染症学総論②(山崎) 13. 血液細胞の一生と生体防御について(渡部) 14. 血栓止血の不思議について(渡部) 15. 期末試験、授業総括(渡部) 16. 予備日(渡部)</p> <p>【テキスト】配布プリント</p> <p>【参考図書】 特になし</p> <p>【成績評価の方法】 到達目標 1～5 に関して、期末試験(100%)で評価する。総合点 60 点以上を合格とする。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|-------|--|
| 対面授業(生命科学部) | | | 10009 | |
| 解剖学 | | | 野島 望 | |
| Anatomy | | | | |
| 履修年次1~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 人体の構造と機能を系統的に学び、生命現象を総合的に理解し、関連科目を習得するための基礎能力を養う。 基礎解剖学を基に人体の構造と機能について解説を行う。病気を理解する上で、からだの構造を知ることには不可欠である。臨床検査に必要な基礎的な解剖学の知識を理解し器官の構造と機能を理解する。</p> <p>備考 本学 倉敷芸術科学大学障がい学生支援規定に基づき合理的配慮を提供していますので、配慮が必要な場合は事前に相談してください。</p> <p>【到達目標】 1. 人体の構造と機能を理解し、病態と関連づけて説明することが出来る。 2. 各臓器の位置関係を立体的に理解し、画像診断につながる知識を習得し説明することが出来る。 3. 疑問に思うことを、自ら調べ自ら学ぶことができる。</p> <p>【授業外学習】 学習時間の目安: 合計60時間 ・次回の授業内容を確認し、概略を掴んでおくこと ・前回の講義の内容についてよく復習しておくこと</p> <p>【注意事項】 ・私語、遅刻は厳禁。講義は up-to-date なものとするため、講義日程を変更する場合もある。 ・授業内容を予め提示するので予習 復習に活用する。 ・都度、必要な資料、確認しておくべき Web サイトなどを提示する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 序論: マクロ解剖学、細胞と組織 2. 循環器系: 心臓の構造と機能、血管、リンパ管、血液 3. 呼吸器系: 気道と肺の構造と機能 4. 消化器系1: 食道と胃の構造と機能 5. 消化器系2: 小腸と大腸、虫垂の構造と機能 6. 消化器系3: 肝臓・胆道・膵臓の構造と機能 7. 1~6 回のまとめ 8. 泌尿器系: 腎臓と膀胱の構造と機能について 9. 内分泌系: 下垂体・甲状腺・副腎の構造と機能 10. 生殖器系: 精巣・前立腺・卵巣・子宮の構造と機能 11. 造血・免疫系: 血液・骨髄・脾臓・胸腺とリンパ節の構造と機能 12. 脳神経系: 中枢神経(脳)、末梢神経の構造と機能 13. 感覚器系: 目・耳・鼻・皮膚・舌の構造と機能 14. 発生学: 人体の発生 15. 期末試験、総括 | | | | |
| <p>【テキスト】 人体の構造と機能 第6版、上田晃、医歯薬出版 「臨床検査学講座 解剖学」、佐藤健次著、医歯薬出版</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 ぜんぶわかる人体解剖図」、坂井建雄、橋本尚詩著、成美堂出版 「人体解剖カラーリングブック」、天野 修、丸善出版”</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業時間終了後のリアクションペーパーの提出 10%(到達目標3を評価)と中間試験 40%、期末試験 50%(到達目標1、2を評価)により成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。</p> | | | | |

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

* 学生は太枠内のみ記入

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

倉敷芸術科学大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|------------------|-----|----------|-------|---|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | 学科 | | 年 |
| 学生番号 | | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | |
| | | 男・女 | | 昭和・平成 | 年 |
| 現住所 | 〒 - Tel () - | | | | |
| メールアドレス | | | | | |

* 履修受付締切日：前期：3月27日(金)まで 後期：9月11日(金)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|-------------|----|---------|----|-----|------|-------------------------------------|---------------|------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 10001 | 地域デザイン | 教養 | 橋元 純也 | 2 | 後期 | 1~4 | 定員 10 名 | 木 13:10~14:40 | | |
| 10002 | メディア・アート論 | 専門 | 大森 隆 | 2 | 後期 | 1~4 | 定員 10 名 | 火 13:10~14:40 | | |
| 10003 | 絵画基礎 I (A)※ | 専門 | 原田 よもぎ | 2 | 前期 | 1~4 | 定員 10 名 ※「絵画基礎 I (B)」を履修の場合、履修不可 | 火 13:10~14:40 | | |
| 10004 | 絵画基礎 I (B)※ | 専門 | 原田 よもぎ | 2 | 前期 | 1~4 | 定員 10 名 ※「絵画基礎 I (A)」を履修の場合、履修不可 | 木 14:55~16:25 | | |
| 10005 | 水族育成学 | 専門 | 山野 ひとみ | 2 | 後期 | 3~4 | 定員 10 名 | 火 10:50~12:20 | | |
| 10006 | 生活習慣病予防 | 専門 | 市川 勉 | 2 | 前期 | 3~4 | 定員 5 名 | 水 13:10~14:40 | | |
| 10007 | 動物行動学 | 専門 | 唐川 千秋 | 2 | 前期 | 3~4 | 定員 10 名 | 木 9:10~10:40 | | |
| 10008 | 医学概論 | 専門 | 渡部 俊幸 他 | 2 | 前期 | 1~4 | 定員 10 名 | 火 9:10~10:40 | | |
| 10009 | 解剖学 | 専門 | 野島 望 | 2 | 後期 | 1~4 | 定員 10 名 | 火 9:10~10:40 | | |

※どちらかの科目のみ履修可能

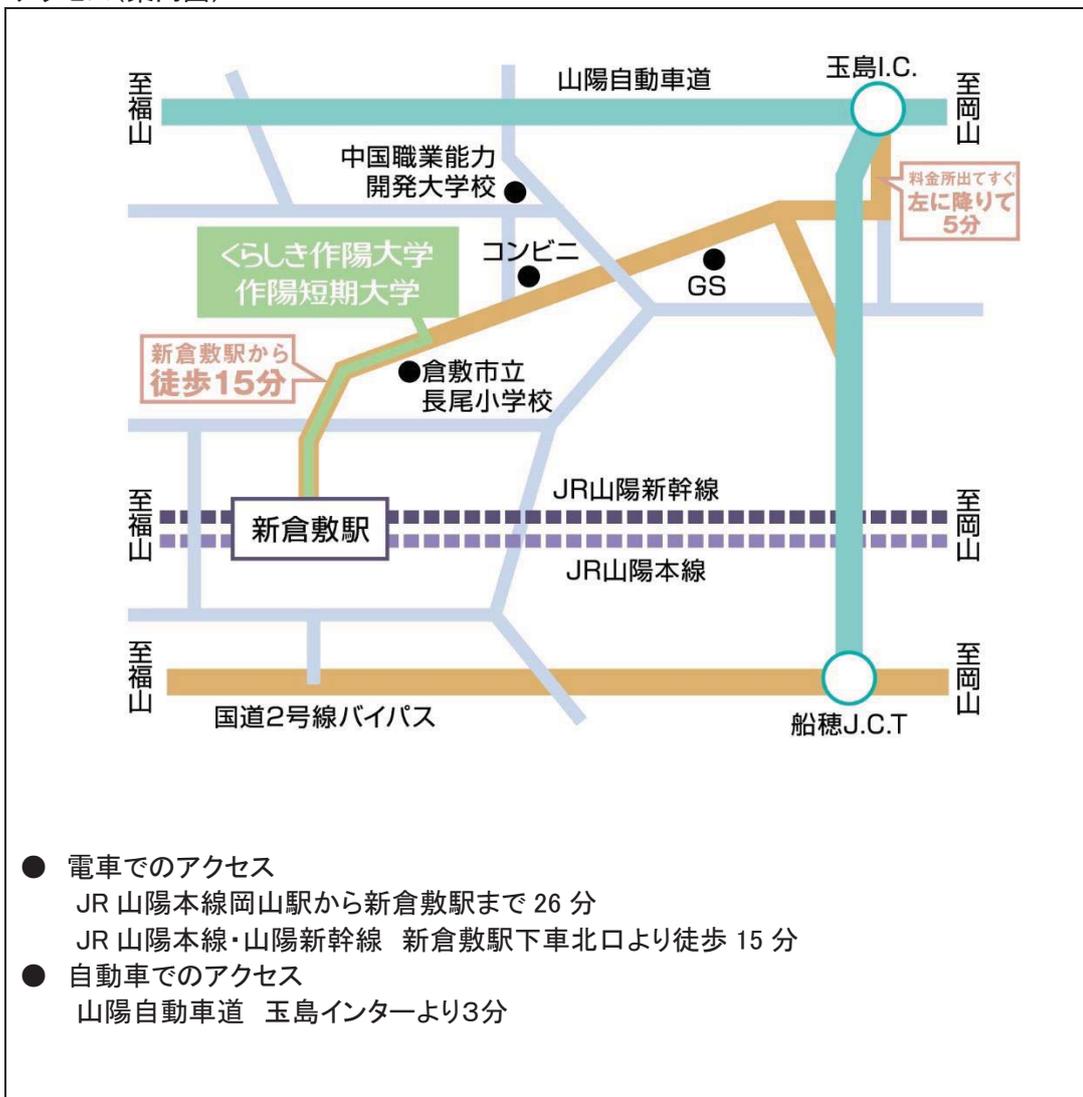
| | | | |
|--|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm、裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 0 枚 | 0 枚 | 0 枚 |

(11)くらしき作陽大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年4月8日 | ～ | 2026年7月29日 |
| | 後期 | 2026年9月14日 | ～ | 2027年1月12日 |
| 試験期間 | 前期 | 2026年7月30日 | ～ | 2026年8月3日 |
| | 後期 | 2027年1月13日 | ～ | 2027年1月19日 |
| 授業時間 | 1限 | 9:30 | ～ | 11:00 |
| | 2限 | 11:10 | ～ | 12:40 |
| | 3限 | 13:25 | ～ | 14:55 |
| | 4限 | 15:05 | ～ | 16:35 |
| | 5限 | 16:45 | ～ | 18:15 |

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

| | |
|------------|--------------|
| 教育企画部教育支援室 | |
| 所在地: | 倉敷市玉島長尾 3515 |
| 電話: | 086-523-0827 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限は前期:3月26日(木)まで、後期:9月9日(水)までとします。

・ 履修手続

所属大学の窓口に所定の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください。
対面授業履修者は初回授業受講時に、1号館1階事務局教育支援室窓口を訪ねてください。

・ 施設利用

本学学生と同様に図書館・食堂等の施設が利用できます。

・ 特記事項

各科目の曜日・時間は変更の場合があるため、事前に開講大学までお問合せください。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://www.ksu.ac.jp/>
<https://unipa.ksuniv.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml>

・対面授業科目

| | | | | |
|---|-----|----|-----------|-------|
| 対面授業 | | | | 11001 |
| ロシア語 I | | | A. オランスカヤ | |
| Russian Language I | | | | |
| 履修年次1～4 | 1単位 | 前期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 語彙、長文、翻訳、新しい単語についての勉強をします。各授業のテーマは、年度が上がるごとに文章構成の難易度を上げていくことになります。キリル文字の書き方(ブロック体、筆記体)から簡易な作文までを課します。 | | | | |
| 【授業内容】 1 挨拶、自己紹介の仕方 2 あなたは誰？これは何？返答の仕方 3 公式な場での挨拶 4 職業、専門、名刺交換 5 物語作文 6 構文:持っている(テーマ:私のもの) 7 アドレス交換の仕方 8 動詞:する、見る、読む、聞く 9 テーマ:趣味 10 テーマ:家、部屋、家具 11 テーマ:私の楽器 12 テーマ:民族料理、飲み物 13 テーマ:スタイル、流行、ドレスコード 14 テーマ:交通、動詞:定動詞/不定動詞 15 テーマ:祝日 | | | | |
| 【テキスト】 適宜紹介する | | | | |
| 【参考図書】 授業時に指示 | | | | |
| 【成績評価の方法】 期末試験 70%中間レポート 20%授業への取り組み 10% | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|-----------|-------|
| 対面授業 | | | | 11002 |
| ロシア語Ⅱ | | | A. オランスカヤ | |
| Russian Language Ⅱ | | | | |
| 履修年次1～4 | 1単位 | 後期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 語彙、長文、翻訳、新しい単語についての勉強をします。各授業のテーマは、年度が上がるごとに文章構成の難易度を上げていくこととなります。多様な長文(基礎)から文法読解までを課します。 | | | | |
| 【授業内容】 1 多様な長文対策 2 長文教材読解 3 長文編集(文章の省略化) 4 長文編集(文章の長文化) 5 内容に合わせた手紙の書き方 6 ニュース(リスニング) 7 申請書、手記、報告書の書き方 8 電話での会話 9 荷物の送付の仕方 10 計画の立て方 11 電話での会話(公式の見本) 12 テレビ放送のスピーチ翻訳 13 スターのインタビュー翻訳 14 公式な組織とのアポイントの取り方 15 テーマ: 記念日、式典 | | | | |
| 【テキスト】 適宜紹介する | | | | |
| 【参考図書】 授業時に指示 | | | | |
| 【成績評価の方法】 期末試験 70% 中間レポート 20% 授業への取り組み 10% | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|-------|-------|
| 対面授業 | | | | 11003 |
| 食統計学 | | | 松本 隆行 | |
| Statistics for Food Science | | | | |
| 履修年次2~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 社会現象や自然現象を数学的にどのように表現されるのか、そこから真の姿や隠れた要因をどのように探るのか、統計処理の基本を講義する。 数学的根拠を示しながら、適宜課題に取り組み、また、パソコンを利用するなどして、より深く理解できるように進める。 | | | | |
| 【授業内容】 1. ガイダンス 全体の授業計画および受講の心構えと授業の進め方などを説明する。 2. 統計学の目的 具体的事例を通して、統計学の目的、重要性、汎用性について学ぶ。 3. データの取り扱い データの種類とその特徴、取り扱いの違いについて理解する。 4. データを記述する(1): データの特性量 データの特性を知る上で重要となる数値、基本統計量について理解する。 5. データを記述する(2): データの視覚表現 データは、その特徴により、どのような種類に分類されるのかを理解し、適切なグラフ表現、あるいは、グラフの読み取りについて学ぶ。 6. 分布の読み取りと比較 データの特性を知る上で重要となる分布の図式表現とその読み取りについて学ぶ。 7. 頻度と確率 統計の基礎となる、確率について理解し、様々な確率分布を学ぶ。 8. 母集団と標本 統計学の基礎となる母集団と標本の関係、および、標本抽出における注意について学ぶ。 9. 標本から全体像を推測する(1) 標本から母数を推定するための基本的考え方について学ぶ。 10. 標本から全体像を推測する(2) 確率分布を通して、事象の起こりやすさと、真偽の判定に関わる統計的仮設検定の基本的な考えか方を理解する。 11. 統計学的仮設検定(1) 標本から平均を検討する方法(t検定)について学ぶ。 12. 統計学的仮設検定(2) 分散分析(一元配置について学ぶ。 13. 統計学的仮設検定(3) χ (カイ)二乗検定等について学ぶ。 14. 関係性の分析(1) 複数のデータ間の関係を調べる方法(相関分析)について学ぶ。 15. 関係性の分析(2) データ間に潜む関係について探る方法(回帰分析)について学ぶ。 | | | | |
| 【テキスト】 緒方裕光 編著。2024年8月31日、『統計情報処理入門』、建帛社 | | | | |
| 【参考図書】 特に必要なし | | | | |
| 【成績評価の方法】 課題・レポート(60%)小テスト(30%)授業の取り組み 姿勢(10%) | | | | |
| 【備考】 パソコン(Microsoft Excel 2016以上インストール済み)を使用しますので持参して下さい。 | | | | |

| | | | | | |
|--|------|----|--------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 11004 | |
| 発達障害児教育総論 | | | 檜皮 修、他 | | |
| Introduction of Education for Children with Developmental Disabilities | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2 単位 | 後期 | 1 コマ | | |
| 【授業の目的】 発達障害の要因とする脳機能に関わる病的、生理的および心理的な特徴と二次障害について概説する。加えて、実践的な授業場面を想定し、発達障害の幼児児童生徒の行動特性を理解し、教育的指導のあり方、配慮事項の重要性についても取り扱う。 | | | | | |
| 【授業内容】 1 発達障害とは 2 自閉スペクトラム症の心理・生理・病的理解と行動特性 3 注意欠如多動症の心理・病理・生理的理解と行動特性 4 限局性学習症の心理・生理・病的理解と行動特性 5 コミュニケーション症群の心理・生理・病的理解と行動特性 6 その他の発達障害の心理・生理・病的理解と行動特性 7 情緒障害の心理・生理・病的理解と行動特性 8 発達障害のアセスメント方法と関係機関との連携 9 発達障害のある幼児児童生徒への指導・支援 1【自閉スペクトラム症】 10 発達障害のある幼児児童生徒への指導・支援 2【注意欠如多動症・限局性学習障害】 11 発達障害のある幼児児童生徒への指導・支援 3【コミュニケーション症群・情緒障害】 12 特別支援学校のセンター的機能と多職種連携 13 通級による指導や特別支援学級における自立活動の指導・教育課程編成 14 発達障害のある幼児児童生徒への基礎的環境整備と合理的配慮 15 発達障害のある幼児児童生徒の指導方法 | | | | | |
| 【テキスト】 授業ごとに資料を配布 | | | | | |
| 【参考図書】 ・American Psychiatric Association (監訳) 高橋三郎 他: DSM-5-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル. 医学書院, 2023, ISBN 978-4-260-05218-4, 23,100 円 ・加藤正仁 他: 発達支援学その理論と実践 育ちが気になるこの子育て支援体系. 協同医書出版社, 2011, ISBN 978-4-763921-31-4, 5,280 円 ・文部科学省: 『障害のある子供の教育支援の手引-子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて-』, 2022, 文部科学省 HP よりダウンロード可能 ・文部科学省: 『特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領<平成 29 年 4 月告示>』. 文部科学省 HP よりダウンロード可能 ・文部科学省: 『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)<平成 30 年 3 月>』. 文部科学省 HP よりダウンロード可能 文部科学省: 『小学校学習指導要領<平成 29 年 3 月告示>』. 文部科学省 HP よりダウンロード可能 | | | | | |
| 【成績評価の方法】 以下、2つの観点で評価する。 ①1-8 回授業終了時課題(50%) ②9-15 回授業終了時課題(50%) | | | | | |

| | | | | |
|--|------|----|-------------|-------|
| 対面授業 | | | | 11005 |
| 吹奏楽の歴史と魅力 | | | 長瀬 敏和、菅付 章宏 | |
| The history and charm of brass bands | | | | |
| 履修年次 2～4 | 2 単位 | 前期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 吹奏楽活動の実際を、視聴覚機器等を通して紹介し、芸術的価値及び教育的価値を学ぶ。また、吹奏楽の編成楽器を個別に聴いたり演奏したりするなど体験的に学ぶ。さらに、吹奏楽の歴史にも触れ、吹奏楽の基礎を多角的に学ぶ。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 私と吹奏楽(または音楽)個人の吹奏楽(音楽)との出会いを発表 2 吹奏楽の歴史と現在 3 マーチの魅力 4 吹奏楽の魅力 5 楽器の知識(木管) 6 楽器の知識(金管) 7 楽器の知識(打楽器) 8 移調楽器の取り扱い—基礎 9 移調楽器の取り扱い—応用 10 吹奏楽、アンサンブル編曲法—基礎編 11 吹奏楽、アンサンブル編曲法—応用編 12 演奏会企画の立て方、選曲について 13 合奏教本の選び方と使用方法 14 指揮法の基礎 15 総括</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 プリント(授業で提供する)</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 なし</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 (1)レポート(30%)(2)小テスト(30%)(3)授業への参加度・発言の積極性(40%)</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|------|----|---------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 11006 | |
| 吹奏楽I | | | 長瀬 敏和、他 | | |
| Brass bands I | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2 単位 | 前期 | 2 コマ | | |
| <p>【授業の目的】 吹奏楽マスターピースや編曲作品、最新作品などを取り上げる。それぞれの作品の時代背景などを考察し、より深く作品を理解できるよう配慮する。マーチング・バンド「ムジカ」と合同で研究の成果を発表し、演奏会実施においての総合マネジメント力が学べるようにする。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業実施のための環境整備 2 世界のマーチ(基礎)楽曲分析、演奏スタイルを理解 3 世界のマーチ(応用)楽曲分析に基づく表現を研究 4 世界のマーチ(発展)表現の可能性を探求 5 世界のマーチ(まとめ)、研究発表会の企画・立案 6 マスターピース～ヨーロッパ楽曲の全体像を把握 7 マスターピース～ヨーロッパ(基礎)楽曲分析、演奏スタイルを理解 8 マスターピース～ヨーロッパ(応用)楽曲分析に基づく表現を研究 9 マスターピース～ヨーロッパ(発展)表現の可能性を探求 10 マスターピース～ヨーロッパ(まとめ)研究発表会の演奏曲決定 11 マスターピース～アメリカ楽曲の全体像を把握 12 マスターピース～アメリカ(基礎)楽曲分析、演奏スタイルを理解 13 マスターピース～アメリカ(応用)楽曲分析に基づく表現を研究 14 マスターピース～アメリカ(発展)表現の可能性を探求 15 マスターピース～アメリカ(まとめ)研究発表会へ向けてのスケジュール決定 | | | | | |
| <p>【テキスト】 必要な時に担当者より指示、配布する。</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 なし</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 研究発表会の演奏成果、積極性、協調性(40%)授業への取り組み、向上のための努力(30%)全体運営への貢献度(30%)</p> | | | | | |

| | | | | |
|--|------|----|---------|-------|
| 対面授業 | | | | 11007 |
| 吹奏楽Ⅱ | | | 長瀬 敏和、他 | |
| Brass bands Ⅱ | | | | |
| 履修年次 1～4 | 2 単位 | 後期 | 2 コマ | |
| <p>【授業の目的】 吹奏楽マスターピースや編曲作品、最新作品などを取り上げる。それぞれの作品の時代背景などを考察し、より深く作品を理解できるよう配慮する。マーチング・バンド「ムジカ」と合同で研究の成果を発表し、演奏会実施においての総合マネジメント力が学べるようにする。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 ガイダンス、研究発表会マネジメントの確認、研究発表会プログラムの練習楽曲の全体像を把握 2 研究発表会プログラムの練習(基礎)楽曲分析、演奏スタイルの理解 3 研究発表会プログラムの練習(基礎)木管、金管打楽器、分奏 4 研究発表会プログラムの練習(応用)楽曲分析に基づく表現の研究 5 研究発表会プログラムの練習(応用)木管、金管打楽器、分奏 6 研究発表会プログラムの練習(発展)表現の可能性を探求 7 研究発表会プログラムの練習(発展)木管、金管打楽器、分奏 8 研究発表会プログラムの強化練習(定着)前半プログラム、合奏 9 研究発表会プログラムの強化練習(定着)後半プログラム、合奏 10 研究発表会プログラムの強化練習(定着)後半プログラム、合奏 11 研究発表会プログラムの強化練習(定着)後半プログラム、分奏 12 研究発表会プログラムの強化練習(定着)全体プログラム、合奏および分奏 13 研究発表会プログラムの強化練習(定着)ランスルー、確認・修正 14 研究発表会(実践) 15 1年間の振り返り(まとめ)</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 必要な時に担当者より指示、配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 なし</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 研究発表会の演奏成果、積極性、協調性(40%)授業への取り組み、向上のための努力(30%)全体運営への貢献度(30%)</p> | | | | |

| | | | | |
|--|------|----|-------|-------|
| 対面授業 | | | | 11008 |
| 和声学I | | | 米倉 由起 | |
| Harmony I | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 前期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 「和声」は西洋音楽を理解する上で欠くことができない基礎知識です。演奏する上でも、作品を分析する上でも、曲を書く上でも、まずはじめに学習する領域とっていいでしょう。「和声学 I」では基本となる主和音、下属和音、属和音、II の和音、VI の和音の配置や連結に際しての様々な約束事を四声体の実習を通じて学習します。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 授業内容のガイダンスと和声学の予備知識の解説 2 密集配分 3 開離配分 4 基本形連結 5 共通音のない場合の連結 6 II~V 7 V~VI 8 禁則① 9 禁則② 10 Cdur 以外の課題 11 Cdur 以外の課題 12 第1転回形 13 第1転回形 14 既習範囲のまとめ 15 既習範囲のまとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 和声 理論と実習 I 音楽の友社</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 特になし</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 提出課題(20%)試験(80%)</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|----|-------|-------|
| 対面授業 | | | | 11009 |
| 和声学Ⅱ | | | 米倉 由起 | |
| Harmony Ⅱ | | | | |
| 履修年次 1～4 | 1 単位 | 後期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 和声学Ⅰで習得した基本位置での実習に続き、第一転回形、第二転回形を使うことによって、ソプラノの旋律としての動きに対し対旋律的要素も含んでいるバスの働きを理解する。またその実践的演習を経て楽曲構成の理解に繋ぐ。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第一転回形三和音の性質と配置 2 第一転回形と基本形の三和音の連結① 3 第一転回形と基本形の三和音の連結② 4 Ⅱ第一転回形の配置と連結 5 先行和音からⅡ第一転回形の連結 6 第一転回形三和音を含むバス課題の実施方法 7 第一転回形三和音を含むバス課題① 8 第一転回形三和音を含むバス課題② 9 第二転回形三和音のバスの定型 10 先行和音からⅠ第二転回形～Ⅴの連結 11 第二転回形三和音を含むバス課題① 12 第二転回形三和音を含むバス課題② 13 属七の和音の配置と限定進行音 14 属七の和音のバス定型と連結 15 属九の和音の配置と連結 | | | | |
| <p>【テキスト】 島岡譲 他 著『和声 理論と実習Ⅰ』音楽之友社, 1964年, ISBN9784276102057</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 特になし</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業内で実施する課題(30%) 試験(70%)</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|------|----|---------|--------|--|
| 対面授業 | | | | 110010 | |
| マリンスポーツ | | | 杉山 貴義、他 | | |
| Marine Sports | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 後期 | 1 コマ | | |
| <p>【授業の目的】 (1) 野外活動を理解する。 (2) コミュニケーション能力の獲得とともに新たな人間関係の構築を目指す。 (3) マリンスポーツを経験する。 授業は学外の施設を利用し、倉敷市の沙美海岸と浅口市の青佐鼻海岸において集中講義で行う予定。実施期日は未定で3日間を予定している。 自らの余暇を豊かにする生涯スポーツの基礎的体験をするとともに、新しい人間関係形成の場となることと協調性を養うことを目的としている。 ※WEB シラバスに記載の「履修上の注意」を必ず確認すること。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 1 オリエンテーション 2 海水浴場でのオリエンテーリング(安全面の注意事項・準備運動・水分補給等) 3 シーカヤック基礎編 4 シーカヤック発展編 5 シーカヤック応用編 6 SUP(Stand Up Paddleboard)基礎編 7 SUP(Stand Up Paddleboard)発展編 8 SUP(Stand Up Paddleboard)応用編 9 メガ SUP 基礎編 10 メガ SUP 発展編 11 メガ SUP 応用編 12 野外調理活動(火おこし) 13 野外調理活動(BBQ) 14 海水浴 15 授業のまとめ</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 特になし</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 特になし</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 1) 授業への参加度(70%) 2) 各種活動への取り組む姿勢(30%)</p> | | | | | |

| | | | | |
|--|------|----|---------|-------|
| 対面授業 | | | | 11011 |
| ウィンタースポーツ | | | 杉山 貴義、他 | |
| Winter Sports | | | | |
| 履修年次 1~4 | 1 単位 | 後期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 (1)雪山という通常とは異なる環境下で、代表的なスノースポーツであるスキーまたはスノーボードを集中的に経験し、スキルの向上を目指す。 (2)コミュニケーション能力の獲得、新たな人間関係の構築、社会性の涵養を目指す。 授業は学生自身が、スキーまたはスノーボードのいずれかを選択する。 長野県・志賀高原スキー場を利用し、宿泊を伴った集中講義で行う。 実施期日は、2026年2月16日(月)から2月18日(水)を予定している。 移動交通手段によっては、上記期日に加えて前泊、後泊が必要になる場合もある。 ※WEB シラバスに記載の「履修上の注意」を必ず確認すること。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 事前講習(ゲレンデやスキー・スノーボードのマナー他) 2 用具の脱着 3 基本姿勢, 平地技術, 安全な転倒方法 4 方向転換, 登行 5 緩斜面直滑降と停止 6 リフトの乗降 7 サイドスリップ(横滑り)とペンジュラム(木の葉落とし) 8 斜滑降から山まわりターン 9 直滑降から山まわりターン 10 斜滑降から1ターン 11 連続ターン(ミドルターン) 12 連続ターン(ロングターン) 13 連続ターン(ショートターン) 14 総合滑走 15 授業のまとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 特になし</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 特になし</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 1)授業への参加度(60%) 2)各種活動への取り組む姿勢(20%) 3)運動技能(20%)</p> | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

くらしき作陽大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | 印 |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|------------------|----------|-------|---|-----|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | 学科 | 年 | | |
| 学生番号 | 性別 男・女 | 生年 月日 | 西暦 年 | | |
| | | | 昭和・平成 | 年 | 月 日 |
| 現住所 | 〒 — Tel () — | | | | |
| メールアドレス | | | | | |

* 履修受付締切日：前期は3月26日(木)まで 後期は9月9日(水)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|-----------|----|--------|----|-----|------|---|---------------|--------------------------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 11001 | ロシア語Ⅰ | 教養 | オランスカヤ | 1 | 前期 | 1~4 | 各科目の曜日・時間は変更の場合あり。開講大学へ事前に問合せ下さい。 「ロシア語」Ⅰ・Ⅱは受講要件なし。 「吹奏楽」はⅠ・Ⅱは受講要件なし。 「和声学Ⅱ」は「和声学Ⅰ」を履修していることが望ましい。 | 木 13:25~14:55 | <input type="checkbox"/> | |
| 11002 | ロシア語Ⅱ | 教養 | オランスカヤ | 1 | 後期 | 1~4 | | 火 11:10~12:40 | <input type="checkbox"/> | |
| 11003 | 食統計学 | 専門 | 松本 隆行 | 2 | 前期 | 2~4 | | 金 16:45~18:15 | <input type="checkbox"/> | |
| 11004 | 発達障害児教育総論 | 専門 | 檜皮 修、他 | 2 | 後期 | 1~4 | | 木 15:05~16:35 | <input type="checkbox"/> | |
| 11005 | 吹奏楽の歴史と魅力 | 専門 | 長瀬敏和、他 | 2 | 前期 | 2~4 | | 月 11:10~12:40 | <input type="checkbox"/> | |
| 11006 | 吹奏楽Ⅰ | 専門 | 長瀬敏和、他 | 2 | 前期 | 1~4 | | 木 15:05~18:15 | <input type="checkbox"/> | |
| 11007 | 吹奏楽Ⅱ | 専門 | 長瀬敏和、他 | 2 | 後期 | 1~4 | | 木 15:05~18:15 | <input type="checkbox"/> | |
| 11008 | 和声学Ⅰ | 専門 | 米倉 由起 | 1 | 前期 | 1~4 | | 木 9:30~11:00 | <input type="checkbox"/> | |
| 11009 | 和声学Ⅱ | 専門 | 米倉 由起 | 1 | 後期 | 1~4 | | 金 9:30~11:00 | <input type="checkbox"/> | |
| 11010 | マリンスポーツ | 教養 | 杉山貴義、他 | 1 | 前期 | 1~4 | | 集中(未定) | <input type="checkbox"/> | |
| 11011 | ウィンタースポーツ | 教養 | 杉山貴義、他 | 1 | 後期 | 1~4 | | 集中(未定) | <input type="checkbox"/> | |

| | | | |
|--|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 1 枚 | 1 枚 | 2 枚 |

(12) 山陽学園大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|--------------|---|--------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年 4月 8日 | ～ | 2026年 7月 29日 |
| | 後期 | 2026年 9月 24日 | ～ | 2027年 1月 26日 |
| 試験期間 | 前期 | 2026年 7月 30日 | ～ | 2026年 8月 5日 |
| | 後期 | 2027年 1月 27日 | ～ | 2027年 2月 2日 |
| 授業時間 | 1限 | 9:00 | ～ | 10:30 |
| | 2限 | 10:45 | ～ | 12:15 |
| | 3限 | 13:05 | ～ | 14:35 |
| | 4限 | 14:50 | ～ | 16:20 |
| | 5限 | 16:30 | ～ | 18:00 |

② アクセス(案内図)

【所在地】〒703-8501 岡山市中区平井1丁目14-1



直行バス

JR岡山駅前
①番のりば

約20分

大学構内

始業時と終業時に
直行バスを運行しています

路線バス

JR岡山駅前
①番のりば

約10分

天満屋
バスステーション
①番のりば

約15分

山陽学園大学
短大前下車

路線バスは、日中15～20分おきに運行しています。

岡電バス「山陽学園大学経由」の下記の便に乗車ください。

■新岡山港行き ■岡山ふれあいセンター行き ■三幡南行き

※路線が異なる便もあります。必ず「山陽学園大学経由」の便にご乗車ください。

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・履修申込期限

「出願方法について」の申込受付期間に記載のとおり

・履修手続

【対面授業科目を履修する方】

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。教務部窓口まで受け取りに来てください。書類の受け渡し、講義室の場所等の説明を行うため、初回は時間に余裕を持ってきてください。

- ①履修ガイド(抜粋)
- ②授業時間割表
- ③単位互換履修生証
- ④図書館利用案内
- ⑤駐車許可証(必要な方のみ)
- ⑥学年暦

・施設利用

【対面授業科目を履修する方】

山陽学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。利用方法については窓口・受付等でお尋ねください。

・特記事項

9月集中講義の「12002 日本作家作品研究」は、履修者数により7月中旬に追加募集とすることがあります。

追加募集の有無は、各大学の担当窓口を通して本学までお問い合わせください。
(履修追加の可否については、各大学の指示に従ってください)

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.sguc.ac.jp/student/syllabus/>

| | | | | |
|--|-----|----|---------------|--|
| 対面授業 | | | 12001 | |
| 授業科目名: 日本文学特講 | | | 担当教員氏名: 佐藤 雅代 | |
| Special Topics in Japanese Literature | | | | |
| 履修年次 3~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 『源氏物語』の中から様々な情景を選び出し、絵画化した「源氏絵」は、物語の成立からほとんど時を経ずして生み出された。中でも、平安時代後期に成立したと推定される国宝「源氏物語絵巻」は、『源氏物語』の絵画化例として現存最古のものである。「源氏絵」によって、『源氏物語』の作品世界がどのように創造され、享受されたのか考察する。 | | | | |
| 【授業内容】 第1回: 授業のガイダンス 第2回: 源氏物語と絵画 第3回: 桐壺巻における絵画化の場面を読み解く 第4回: 夕顔巻における絵画化の場面を読み解く 第5回: 若紫巻における絵画化の場面を読み解く 第6回: 末摘花巻における絵画化の場面を読み解く 第7回: 葵巻における絵画化の場面を読み解く 第8回: 花散里巻における絵画化の場面を読み解く 第9回: 須磨巻における絵画化の場面を読み解く 第10回: 明石巻における絵画化の場面を読み解く 第11回: 蓬生巻における絵画化の場面を読み解く 第12回: 柏木巻における絵画化の場面を読み解く 第13回: 鈴虫巻における絵画化の場面を読み解く 第14回: 夕霧巻における絵画化の場面を読み解く 第15回: 御法巻における絵画化の場面を読み解く | | | | |
| 【テキスト】 テキストは使用せず、印刷教材を使用する。 | | | | |
| 【参考図書】 『6すぐわかる源氏物語の絵画』東京美術(田口栄一監修)ISBN 978-480870827 推薦図書『世界一わかりすぎる源氏物語』角川ソフィア文庫ISBN 978-4044064181 | | | | |
| 【成績評価の方法】 原則として、以下の基準で評価する。授業に取り組む姿勢30%、提出された課題70% | | | | |

| | | | | |
|--|-----|------|---------------|------------------|
| 対面授業 | | | | 12002 |
| 授業科目名: 日本作家作品研究 | | | 担当教員氏名: 高嶋 哲夫 | |
| Study of Japanese Literary Writer and Work | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 9月集中 | — | 9/7(月)~10(木) 4日間 |
| <p>【授業の目的】</p> <p>◎現代における表現方法は様々です。小説、エッセイ、映像、SNS、マンガなど。また、音楽、映像、スポーツなども自己表現と考えることができます。まずは、自己紹介文。自分をアピールしてください。最高のアピールを考えましょう。</p> <p>◎作家さんは各自、自分流の書き方を持っていると思います。僕の小説の書き方、テーマ、技法などについて話します。</p> <p>◎小説が映像、マンガなどに变身していく過程と問題などについて。どこがどう変わるか。それはなぜか。実際に小説を読んだり、映画、ドラマを見て考えましょう。</p> <p>◎「吉備路文学館」を見学します。岡山にゆかりのある作家さんたちを知っていますか。学芸員の仕事などについて話してくれます。これは勉強になりますよ。</p> <p>◎一冊の本ができるまでの過程について話します。本は作家だけでなく、編集者を含めて多くの人たちの手を経て、読者に届きます。それを知ると、本をおろそかには扱えません。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <p>第1回: 自己紹介・小説家の仕事について</p> <p>第2回: 小説家の仕事</p> <p>第3回: 映画と小説 ~その関係性とできあがるまで~</p> <p>第4回: 映画と小説 ~実際に映画化された小説~</p> <p>第5回: マンガと小説の関係</p> <p>第6回: 小説の書き方</p> <p>第7回: 「三部作」ができるまで</p> <p>第8回: 吉備路文学館について ~岡山の作家たち~</p> <p>第9回: 吉備路文学館について ~岡山の文学について~</p> <p>第10回: 15枚の小説</p> <p>第11回: テレビドラマと小説 ~映画との違い~</p> <p>第12回: テレビドラマと小説 ~小説との関係性~</p> <p>第13回: 好きな小説</p> <p>第14回: 何か書いてみよう</p> <p>第15回: まとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p>なし。</p> <p>でも、僕の本を読んでください。どの本にも、テーマがあります。頑張ってみつけてください。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> <p>僕の書いた本、すべてです。50冊以上あります。ネットで調べてください。どれでも、一冊くらいは読んできてくれると、嬉しいです。講義終了の四日後には、もっと読んでみたいと思ってください。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>4日間、15回の集中授業です。毎回、短いレポートを書いてもらいます。</p> <p>講義最終日に、数冊の小説をテーマとしてあげますので、それについてのレポートを書いて、提出日までに提出してもらいます。それを採点します。難しいモノじゃないですよ。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|---------------|--|
| 対面授業 | | | 12003 | |
| 授業科目名: 経営学概論 | | | 担当教員氏名: 西川 英臣 | |
| Fundamentals of Management | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 経済は生産と消費から成り立っており、その中心に位置するのが企業です。経済学が経済現象について学ぶのだとすれば、経営学は経済のメインプレイヤーの一人である企業の経済活動(経営)について学びます。 たとえば、トヨタ自動車はグループで従業員数約38万人、営業収益約45兆円です(2024年3月期)。トヨタの従業者数は岡山市北区の人口(約29万人:2024年3月末)を上回り、営業収益は一国のGDPに匹敵しており、国別GDPランキングのおよそ30位程度に相当します。また、日常生活を取り巻く製品・サービスのほとんどは企業が生み出したものです。ニュースを見ると、企業やその経営に関わる報道が溢れています。企業は社会全体そして個々人の生活にまで多大な影響を及ぼす存在なのです。 本講義では、企業経営に関する基礎的な知識と現代の企業経営における課題について、幅広く学んでいきます。 授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回: 経営と企業 第2回: 業界・組織の形態 第3回: 株式会社の仕組み 第4回: 企業組織の構造 第5回: 労働とマネジメント: モチベーション、終身雇用、労働三権、労使関係 第6回: 企業の経営戦略 第7回: 企業の成長: 合併買収(M&A)、経営の多角化 第8回: ものが売れる仕組み 第9回: ものを作る仕組み 第10回: 経済社会と企業経営 第11回: グローバル化と企業経営 第12回: 企業倫理 第13回: キャリアデザイン 第14回: 競争戦略の事例: サザコーヒー 第15回: まとめと現代の企業</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 『はじめの一步 経営学』守屋貴司・近藤宏一、ミネルヴァ書房、2012年。 『はじめての経営学』東洋経済新報社、2013年。 『1からの経営学 第3版』加護野忠男・吉村典久、碩学舎、2021年。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 期末試験60%、復習課題40%を基本とします。 詳細については授業時に説明します。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|--------------|--|
| 対面授業 | | | 12004 | |
| 授業科目名：地域経営入門 | | | 担当教員氏名：中村 聡志 | |
| Introduction to Regional Management | | | | |
| 履修年次 1～4 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 これから地域経営を学ぶ学生に対し、地域に関わる基本的な諸概念を改めて検討し直し、地域住民の生活の質の維持・向上を目指して地域の諸側面の活動を活発化させること、すなわち地域活性化とは何か、それを実現するためにどのような地域の経営が必要か、その全体像を示す。特に、具体的な事例検討を通じた学習(ケーススタディ)に力点を置く。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回：オリエンテーション：この講義が目指すもの、講義の進め方 第2回：地域とは何か：地域の概念 第3回：地域とは何か：地域を構成する主体 第4回：地域がかかえる問題：人口 第5回：地域活性化とは何か：地域活性化の概念 第6回：地域資源の利活用：地域資源とは何か 第7回：地域資源の利活用：事例検討1-1 岡山県備前市日生 作業 第8回：地域資源の利活用：事例検討1-2 岡山県備前市日生 解説 第9回：地域資源の利活用：事例検討2-1 岡山県真庭市 作業 第10回：地域資源の利活用：事例検討2-2 岡山県真庭市 解説 第11回：地域活性化の主体：事例検討3-1 岡山県真庭市 作業 第12回：地域活性化の主体：事例検討3-2 岡山県真庭市 解説 第13回：真庭現地調査 第13回・第14回を合わせて7月中の週末に実施予定 第14回：真庭現地調査 第13回・第14回を合わせて7月中の週末に実施予定 第15回：講義全体の振り返り：地域経営とは何か</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 使用しない。 適宜コピー等を配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 『地域マネジメント草書：岡山の地域づくりに学ぶ』、白井信雄・中村聡志・松尾純廣編著、大学教育出版 『事例に学ぶ地域づくり』、澤俊晴・西村武司編著、大学教育出版 『実践! 地方創生の経営戦略：全国32のケースに学ぶボトムアップ型地域づくり』大西達也、城戸宏史編著、金融財政事情研究会 その他、講義の中で指示する。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 通常課題60%、期末レポート20%、講義に臨む態度20%で評価する。</p> | | | | |

・対面授業科

| | | | | |
|--|-----|----|------------|--|
| 対面授業 | | | 12005 | |
| 授業科目名:日中関係史 | | | 担当教員氏名:班 偉 | |
| History of Japan—China Relations | | | | |
| 履修年次 2～4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】</p> <p>日中関係は近年、尖閣諸島領有権などの問題を巡って悪化と好転を繰り返してきた。この講義では、様々な日中外交問題を取り上げて解説し、それぞれの背景・経緯・双方の言い分・交渉の過程などを解説しながら、日本国家の対中戦略並びに安全保障政策などについて分析する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <p>第1回:日中外交の現状と問題点 第2回:国交正常化への道程 第3回:平和友好条約の締結 第4回:冷戦終結と両国関係の悪化 第5回:歴史認識を巡る三つ巴の闘い 第6回:靖国神社参拝を巡る対立 第7回:歴史教科書検定の問題 第8回:尖閣諸島の領有権を巡る衝突 第9回:東シナ海ガス田開発の問題 第10回:「有終の美」を飾る円借款 第11回:国連安保理常任理事国入りの問題 第12回:日米中の新三国志 第13回:ロシアとの三角関係 第14回:朝鮮半島を巡る駆け引き 第15回:アジア外交で綱引き</p> | | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> <p>高原明生 等編『日中関係史 1972－2012 政治』東京大学出版会 2012 年</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験60%、授業参加40%。</p> | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 12006 |
| 授業科目名:感情・人格心理学 | | | 担当教員氏名:松浦 美晴 | |
| Psychology of Emotion and Personality | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 感情の中には、欲求、気分、情動など、様々なものが含まれ、機能を果たしている。また、人格は、私たち一人ひとりの認知・感情・行動を特徴づけるものであり、そのとらえ方、考え方には様々なものがある。本講義では、感情・人格の古典的な理論から、最近の研究までを取り上げ、解説してゆく。 | | | | |
| 【授業内容】 第1回:感情の基礎 第2回:感情の生物学的基礎 第3回:感情の理論(1)古典的理論 第4回:感情の理論(2)基本的感情説と次元説 第5回:感情と行動 第6回:感情の測定 第7回:援助行動・共感性 第8回:感情の制御 第9回:エンターテイメントと感情 第10回:人格の概念 第11回:知的機能の個人差 第12回:人格の形成と変容 第13回:人格の理論 第14回:性格5因子論 第15回:人格の障害 | | | | |
| 【テキスト】 プリントを配布する。ほかに必要があれば指示する。 | | | | |
| 【参考図書】 濱 治世・鈴木直人・濱 保久 (2001)感情心理学への招待 サイエンス社 | | | | |
| 【成績評価の方法】 学期末レポート(90%)に、受講態度(10%)を加えて評価を行う。 | | | | |

| | | | | | |
|---|-----|----|---------------|-------|--|
| 対面授業 | | | | 12007 | |
| 授業科目名: 中小企業論 | | | 担当教員氏名: 西川 英臣 | | |
| Small and Medium Enterprises | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | | |
| <p>【授業の目的】 中小企業は、大企業と比較して知名度がないため、一見すると見劣りのする、さして重要な存在ではない様に思われがちです。しかしながら、日本の企業数の99.7%は中小企業であり、日本の従業者数の約7割が中小企業によって雇われています。このことからわかるように、日本経済において中小企業は大きな役割を担っています。 本講義では、中小企業とは何か、どのような特徴を持っているか、日本経済の中でどのような役割を果たして来たのかを学びます。加えて、地域経済や特定の業種における中小企業の現状といったトピックについても具体的な事例を使いながら、解説します。 授業は講義を中心としますが、授業内容に関するディスカッションも行ってもらいます。また、授業後には復習課題を出します。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回: 中小企業とは何か？ 第2回: 日本の中小企業の歴史 第3回: 中小企業政策①: 政策の実施主体と1990年代以前の政策 第4回: 中小企業政策②: 1990年代以降の政策と小規模企業振興 第5回: 中小企業経営の特徴 第6回: 中小企業の労働 第7回: 中小企業金融 第8回: 下請中小企業 第9回: 中小製造企業 第10回: 中小商業 第11回: 中小企業と地域①: 地域における中小企業、中小企業と産業集積 第12回: 中小企業と地域②: 外来型開発の失敗と地方創生、地場産業と伝統的工芸品 第13回: 中小企業の事例①: 企業城下町と下請企業 第14回: 中小企業の事例②: 脱下請 第15回: まとめと現代の中小企業</p> | | | | | |
| <p>【テキスト】 特に指定しません。プリントを配布し、それに沿って講義を進めます。</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 『よくわかる中小企業』関智宏編著、ミネルヴァ書房、2020年 『中小企業白書』中小企業庁編、各年版</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 期末レポート60%、復習課題40%を基本とします。 詳細については授業時に説明します。</p> | | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 12008 |
| 授業科目名: 宇宙科学論 | | | 担当教員氏名: 米田 瑞生 | |
| Space Science | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 地球を含む宇宙のなりたち・構造の物理学的側面を理解するだけでなく、天文学と岡山の関わり、宇宙と我々の生活の関係、天文現象を観望する手法を学ぶ。情報処理技術により、天体の温度・軌道を計算する、宇宙の年齢を推測するなど、宇宙の姿・歴史を探る。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回: 天体の種類・距離感 第2回: 宇宙探査の手法 第3回: 太陽, その過去・現在・未来 第4回: 太陽・地球・オーロラ・宇宙天気 第5回: 生活と宇宙(人工衛星) 第6回: 地球・その歴史と構造 第7回: 太陽系の惑星たち1:(水星, 金星, 地球, 火星) 第8回: 太陽系の惑星たち2:(木星, 土星, 天王星, 海王星) 第9回: その他の太陽系の天体 第10回: ハビタブルゾーン: 系外惑星と地球外生命 第11回: 太陽以外の恒星(超新星爆発・ブラックホールなど) 第12回: 大規模宇宙(銀河・ビッグバン) 第13回: 星座・星空の目印・星空の眺め方 第14回: 身近な天文現象とその観望方法 第15回: 岡山と宇宙</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 天文宇宙検定公式テキスト 2級 銀河博士 2025~2026年版 恒星社厚生閣 ISBN:9784769917205</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 なし</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 成績: 課題(50%)・期末試験(50%)により評価する。課題には、グループワークでの評価も含む。</p> | | | | |

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

山陽学園大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | 印 |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|---------------|-----|----------|-------|---|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | 学科 | | 年 |
| 学生番号 | | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | |
| | | 男・女 | | 昭和・平成 | 年 |
| 現住所 | 〒 - Tel () - | | | | |
| メールアドレス | | | | | |

* 履修受付締切日：前期：4月3日(金)まで 後期：9月18日(金)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|----------|----|-------|----|-----|------|----|----------------------|------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 12001 | 日本文学特講 | 専門 | 佐藤 雅代 | 2 | 前期 | 3~4 | | 火 13:05~14:35 | | |
| 12002 | 日本作家作品研究 | 専門 | 高嶋 哲夫 | 2 | 前期 | 2~4 | | 9月集中 9/7(月)~10(木) | | |
| 12003 | 経営学概論 | 専門 | 西川 英臣 | 2 | 前期 | 1~4 | | 月 9:00~10:30 | | |
| 12004 | 地域経営入門 | 専門 | 中村 聡志 | 2 | 前期 | 1~4 | | 火 13:05~14:35 | | |
| 12005 | 日中関係史 | 専門 | 班 偉 | 2 | 後期 | 2~4 | | 木 9:00~10:30 | | |
| 12006 | 感情・人格心理学 | 専門 | 松浦 美晴 | 2 | 後期 | 2~4 | | 火 13:05~14:35 | | |
| 12007 | 中小企業論 | 専門 | 西川 英臣 | 2 | 後期 | 1~4 | | 月 9:00~10:30 | | |
| 12008 | 宇宙科学論 | 教養 | 米田 瑞生 | 2 | 後期 | 1~4 | | 水 9:00~10:30 | | |

| | | | | |
|--|--------------------|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー、4cm×3cm、裏面に大学名・氏名を記入する) | 単位互換科目 履修願用(本紙) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 1 枚 | 1 枚 | 0 枚 | 2 枚 |

(13) 就実大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|-----------------|---|-----------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年 4月 8日(水) | ～ | 2026年 7月 29日(水) |
| | 後期 | 2026年 9月 24日(木) | ～ | 2027年 1月 22日(金) |
| 試験期間 | 前期 | 2026年 7月 30日(木) | ～ | 2026年 8月 5日(水) |
| | 後期 | 2027年 1月 25日(月) | ～ | 2027年 1月 29日(金) |
| 授業時間 | 1限 | 9:10 | ～ | 10:40 |
| | 2限 | 10:50 | ～ | 12:20 |
| | 3限 | 13:10 | ～ | 14:40 |
| | 4限 | 14:50 | ～ | 16:20 |
| | 5限 | 16:30 | ～ | 18:00 |

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

| | |
|-----|----------------------|
| 教務課 | |
| 所在地 | 岡山市中区西川原 1-6-1 R 館1階 |
| 電話 | 086-271-8120 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

- ・ 履修申込期限（**申込受付期間が異なりますので留意してください**）

前期受付:2026年3月3日(火)～3月31日(火)
後期受付:2026年7月1日(水)～9月7日(月)

- ・ 履修手続

募集要項を確認し、各自の各所属大学に上記の履修申込期限内に申し込んでください。

- ・ 施設利用

1. 就実大学在学の学生と同じ扱いとします。
2. 以下の印刷物を配付します。(受入大学訪問時)
 - 学年暦
 - 就実キャンパスガイド
 - 単位互換履修生証（最終講義終了後、**教務課へ返却が必要です**）
 - アカウント通知書

- ・ 特記事項

休講・補講等の連絡は本学 WebClass を利用し確認してください。出席管理は単位互換履修生証にて IC カードリーダーを使用し管理します。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

https://www1.shujitsu.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------------------|----|-------|--|----------------------|------------------|----------------|------------------|----------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|-------------------|-------------|-------------------|--|
| 対面授業 | | | 13001 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 古典文学研究 1 | | | 瓦井 裕子 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Study on Classic-literature 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業の目的】 文学史は散文作品に偏りがちだが、文学の王道であり続けたのは韻文である。韻文の変遷を辿ることは、文学史を理解するために必須である。本科目では、平安時代の和歌と詠作の場を取り上げ、和歌を詠むということが平安時代においてどのような意味を持っていたのかを考えたい。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業内容】 歌合と百首歌という二つの形態に焦点を絞り、それぞれの変遷を辿ることによって、平安時代における和歌の在り様を明らかにしていく。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業ガイダンスと和歌についての概要</td> <td>9. 歌合(1) 一天徳内裏歌合</td> </tr> <tr> <td>2. 和歌を詠む場と決まり事</td> <td>10. 歌合(2) 一小規模歌合</td> </tr> <tr> <td>3. 和歌の技法</td> <td>11. 歌合(3) 一撰関期歌合</td> </tr> <tr> <td>4. 百首歌(1) 一初期百首</td> <td>12. 歌合(4) 一高陽院歌合</td> </tr> <tr> <td>5. 百首歌(2) 一女流百首</td> <td>13. 歌合(5) 一院政期歌合</td> </tr> <tr> <td>6. 百首歌(3) 一堀河百首</td> <td>14. 歌合(6) 一六百番歌合</td> </tr> <tr> <td>7. 百首歌(4) 一院政期百首①</td> <td>15. まとめとテスト</td> </tr> <tr> <td>8. 百首歌(5) 一院政期百首②</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1. 授業ガイダンスと和歌についての概要 | 9. 歌合(1) 一天徳内裏歌合 | 2. 和歌を詠む場と決まり事 | 10. 歌合(2) 一小規模歌合 | 3. 和歌の技法 | 11. 歌合(3) 一撰関期歌合 | 4. 百首歌(1) 一初期百首 | 12. 歌合(4) 一高陽院歌合 | 5. 百首歌(2) 一女流百首 | 13. 歌合(5) 一院政期歌合 | 6. 百首歌(3) 一堀河百首 | 14. 歌合(6) 一六百番歌合 | 7. 百首歌(4) 一院政期百首① | 15. まとめとテスト | 8. 百首歌(5) 一院政期百首② | |
| 1. 授業ガイダンスと和歌についての概要 | 9. 歌合(1) 一天徳内裏歌合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 和歌を詠む場と決まり事 | 10. 歌合(2) 一小規模歌合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 和歌の技法 | 11. 歌合(3) 一撰関期歌合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 百首歌(1) 一初期百首 | 12. 歌合(4) 一高陽院歌合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 百首歌(2) 一女流百首 | 13. 歌合(5) 一院政期歌合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 百首歌(3) 一堀河百首 | 14. 歌合(6) 一六百番歌合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 百首歌(4) 一院政期百首① | 15. まとめとテスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. 百首歌(5) 一院政期百首② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【テキスト】 適宜、配布する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【参考図書】 適宜、指示する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 テスト 70%／授業態度 30% テストは、「授業内容を理解しているか」「周辺事項や興味を持った事柄について掘り下げようとしているか」「古典文学や文学史に関する基本的な知識を持っているか」「上記のことを自分の言葉で論理的に記述できるか」を評価する。 授業態度については、「授業準備をして授業に臨んでいるか」「授業を聞いて生じた疑問を掘り下げようとしているか」「授業内容を既に持っている知識と有機的に結びつけようとしているか」を評価する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------|----|-------|--|----------|---------|-----------------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|-----------|---------|----------|---------|---------|---------|--|
| 対面授業 | | | 13002 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 古典文学講義 2 | | | 川崎 剛志 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Japanese Classical Literature 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業の目的】 文学のテキストは多様な読みが可能である。そして、誤読や曲解を含めて、多様な読みに堪えてきた作品が古典となったともいえる。作品の読解と分析を通して、古典とは何かを考える。表現文化学科3年次の選択必修科目「講義」群の一であり、専門科目のなかでも最高水準が求められる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業内容】 鎌倉時代に藤原定家の撰した『百人一首』を取り上げる。『百人一首』の成立と享受を概観し、名著である[テキスト]の解説にそって一首ずつ読み解くことにより、古典と呼ばれるものの正体を覗く。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="0"> <tr> <td>1. 和歌とは？</td> <td>9. 喜撰法師</td> </tr> <tr> <td>2. 『百人一首』の成立と受容</td> <td>10. 在原業平</td> </tr> <tr> <td>3. 天智天皇</td> <td>11. 素性法師</td> </tr> <tr> <td>4. 持統天皇</td> <td>12. 大江千里</td> </tr> <tr> <td>5. 柿本人麻呂</td> <td>13. 中納言兼輔</td> </tr> <tr> <td>6. 山辺赤人</td> <td>14. 坂上是則</td> </tr> <tr> <td>7. 猿丸大夫</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 安倍仲麿</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1. 和歌とは？ | 9. 喜撰法師 | 2. 『百人一首』の成立と受容 | 10. 在原業平 | 3. 天智天皇 | 11. 素性法師 | 4. 持統天皇 | 12. 大江千里 | 5. 柿本人麻呂 | 13. 中納言兼輔 | 6. 山辺赤人 | 14. 坂上是則 | 7. 猿丸大夫 | 15. まとめ | 8. 安倍仲麿 | |
| 1. 和歌とは？ | 9. 喜撰法師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 『百人一首』の成立と受容 | 10. 在原業平 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 天智天皇 | 11. 素性法師 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 持統天皇 | 12. 大江千里 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 柿本人麻呂 | 13. 中納言兼輔 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 山辺赤人 | 14. 坂上是則 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 猿丸大夫 | 15. まとめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. 安倍仲麿 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【テキスト】 島津忠夫、新版 百人一首(角川ソフィア文庫)、角川書店、978-4044040017、704 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【参考図書】 井上宗雄ほか編、百人一首(新潮古典文学アルバム) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価の方法】 授業に参加する姿勢 20%、予習の小テスト 60%(語句の下調べだけでなく、テキストの記述の内容理解の程度を厳密に評価する)、復習の小テスト 20%(重要な点を理解できているかどうかを中心に評価する)。毎回、1時間以上の事前・事後学習を求める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【備考欄】 「古典文学講義」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「古典文学講義1」を履修しておく必要はない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|-------|--|
| 対面授業 | | | 13003 | |
| 古典文学研究 3 | | | 竹内 洪介 | |
| Japanese Classical Literature 3 | | | | |
| 2～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 近世はサムライの時代である。徳川家康が戦国時代に終止符を打って江戸に幕府をひらいてから徳川慶喜が幕末の動乱のなかで大政を奉還するまでの 260 年間、サムライは日本を支配していた。当初は中世以前の軍記類の文化を継承し、新たな近世軍記を創出したが、のちに出版文化が興隆するにおよんで、幕府は軍記・軍書の類に統制をくわえた。 そうした中であっても、江戸の文化は幕末期に至るまでサムライの文学を生産し続けた。ならば、軍記・軍書は近世の文芸史上にあってどのように発展していったのか。書物問屋と地本問屋の違い、出版統制などの法的側面にも注目し、また国学などの学問的世界・幕閣の情勢にも目配りすることで、既存の学問的枠組みにとらわれない新たな文学的視野を獲得することを目指す。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 近世期における軍記・軍書の展開をたどる。仮名草子・浮世草子・俳諧・読本・草双紙・浄瑠璃など多ジャンル文芸の特徴を、軍記の側面から見つめる。時代的背景、浮世絵などからの影響、文体・内容・題材などの諸要素から軍記の諸特徴を把握するとともに、近世期における軍記・軍書がいかなるものであったか、その諸要素はどのように推移し、変容したかという問題を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス: 中世以前の軍記・軍書について 2. 近世における出版技術の発展(1) 3. 近世における出版技術の発展(2) 4. 『天正記』と大村由己 5. 太田牛一と小瀬甫庵: 信長の事績 6. 豊臣家のスキャンダル: 『恨の介』と『太閤記』 7. 読み物的刊行軍書の成立: 寛文・延宝という時代 8. 西鶴の武家物: 『武道伝来記』と『武家義理物語』 9. 軍書の発禁: 『元禄版太閤記』とは何か 10. 欧州での秀吉・家康軍記の展開 11. 舌耕文芸の時代: 『太閤真蹟記』と『真書太閤記』 12. 国学の成立と皇国史観: 朝鮮征伐への視点 13. 『絵本太閤記』の成立と絶版 14. 『絵本太閤記』の再版と幕末の軍記ブーム 15. まとめとテスト | | | | |
| <p>【テキスト】 プリントを配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 講義中盤に行う小テスト 40 点／まとめのテスト 60 点</p> <p>リアクションペーパー(Webclass を用い、その内容は成績評価には影響しない)を毎回義務付ける。リアクションペーパーを提出しなかった場合、第 15 回に実施するまとめのテストから提出がなかった回数分減点する。(なお、講義を欠席した場合は担当教員に連絡の上、その時に行った講義内容について自主学習を行い、その学習に基づいてリアクションペーパーを作成・提出すること。その場合、減点は行なわない)。 講義中盤に行う小テストは授業内容の理解度について評価するものである。採点ののちコメントを付してフィードバックする。</p> <p>まとめのテスト(60 点)は、授業内容の理解度を問う(配点 40 点)だけでなく、授業内容と自主学習で得た知識を利用して論じられるかを問う小論文問題(配点 20 点)により出題する。試験結果のフィードバックは、授業内および小論文の返却時に行う。毎回、1 時間以上の事前・事後学習を求めるが、本講義の予習・復習には大河ドラマ「豊臣兄弟！」の視聴が望ましいことを強調しておきたい。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】 「古典文学研究」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「古典文学研究 1」や「古典文学研究 2」を履修しておく必要はない。</p> | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----|-------|--|----------------------------|-----------------------------------|---------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------|--|---------------------------------|--|------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|--------|-------------------------------|--|
| 対面授業 | | | 13004 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 近現代文学講義 3 | | | 坂 堅太 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Study of Modern Japanese Literature 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業の目的】 「敗戦」と「占領」を題材とする短篇小説を読みながら、「戦後」という問題系についての理解を深めていく。この作業を通じ、現代日本を批判的に観察する視座を構築することを目的とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 インタロダクション①(「戦後」という語について)</td> <td>9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの</td> </tr> <tr> <td>2 インタロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続)</td> <td>10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗</td> </tr> <tr> <td>3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々</td> <td>11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する</td> </tr> <tr> <td>4 志賀直哉「灰色の月」を読む②: 見捨てられた者たち</td> <td>12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」</td> </tr> <tr> <td>5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ</td> <td>13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ</td> </tr> <tr> <td>6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは</td> <td>14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー</td> </tr> <tr> <td>7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い</td> <td>15 まとめ</td> </tr> <tr> <td>8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1 インタロダクション①(「戦後」という語について) | 9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの | 2 インタロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続) | 10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗 | 3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々 | 11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する | 4 志賀直哉「灰色の月」を読む②: 見捨てられた者たち | 12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」 | 5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ | 13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ | 6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは | 14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー | 7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い | 15 まとめ | 8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは | |
| 1 インタロダクション①(「戦後」という語について) | 9 野間宏「顔の中の赤い月」を読む①: 復員者たちが抱え込んだもの | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 インタロダクション②(戦時／戦後の断絶と連続) | 10 野間宏「顔の中の赤い月」を読む②: 忘却への抵抗 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 志賀直哉「灰色の月」を読む①: 「焦土」に立つ人々 | 11 野間宏「顔の中の赤い月」を読む③: 〈復興＝忘却〉に抗する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 志賀直哉「灰色の月」を読む②: 見捨てられた者たち | 12 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む①: 「オキュパイド・ジャパン」 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 志賀直哉「灰色の月」を読む③: 焦土の中を生きるということ | 13 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む②: 勝者の言語を話すということ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 太宰治「トカトントン」を読む①: 「新日本建設」とは | 14 小島信夫「アメリカン・スクール」を読む③: 占領とジェンダー | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 太宰治「トカトントン」を読む②: 「戦後」への戸惑い | 15 まとめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 太宰治「トカトントン」を読む③: 「トカトントン」とは | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【テキスト】 講義内で扱うテキストはこちらで準備する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【参考図書】 講義中に適宜指示する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 小レポート(25%×3回)、定期的に課す小課題(25%)により総合的に判断する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【備考欄】 「近現代文学講義」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「近現代文学講義 1」や「近現代文学講義 2」を履修しておく必要はない。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|---|------|-----------|-------|
| 対面授業 | | | 13005 |
| 異文化理解と交流 1A | | ローレンス ダンテ | |
| Understanding and Interacting with Other Cultures 1A | | | |
| 3～4年次 | 2 単位 | 前期 | 1コマ |
| 【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of minority cultures in the United States, and to improve their overall understanding of intercultural issues. | | | |
| 【授業内容】 Introduction/American Cultural Issues Introduction to Latinos and US History African Americans Mexican Americans African Americans Mexican Americans African Americans Mexican Americans Quiz and Review Mexican Americans African Americans Mexican Americans African Americans Quiz and Review Quiz and Review Overall Review/Essay Due | | | |
| 【テキスト】 有賀夏紀、油井三郎(編)アメリカの歴史、テーマで読む多文化社会の夢と現実 ISBN 4-641-12162-1 | | | |
| 【参考図書】 | | | |
| 【成績評価の方法】 Class participation 20%, quizzes 60%, essay 20% | | | |
| 【備考欄】 「異文化理解と交流 1A」・「異文化理解と交流 1B」・「異文化理解と交流 1C」は同時履修可。 | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|-------------|-------|
| 対面授業 | | | | 13006 |
| 異文化理解と交流1B | | | テレサ ストックウェル | |
| Understanding Other Cultures 1B | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of the United States and to improve their overall understanding of intercultural issues. The focus of this class is Native American history and culture. This class partially fulfills the guidelines established in the Department of Practical English diploma and curriculum policies regarding the development of communication skills, globalization and knowledge of global issues, problem discovery, critical thinking, and the acquisition of knowledge about other cultures.</p> <p>By the end of this course, students will be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Understand key historical events that shaped Native American history. - Identify and analyze contributions of groundbreaking Native Americans. - Compare Native American cultural practices with other cultures. - Examine contemporary challenges and revitalization efforts. - Develop critical thinking and intercultural communication skills. | | | | |
| <p>【授業内容】 Part 1: Cultural, Place & Community 1 What is culture? 2 Early Native American Cultures & Cultural Regions 3 Regional Research Workshop 4 Group Presentations 1: Land Life & Place 5 Contact with Europeans 6 Forced Displacement & Trail of Tears</p> <p>Part 2: Survival & Representation 7 Reservation Life & Assimilation Policies / Movie: Rez Ball Part 1 8 Native Resistance & Land Rights / Movie: Rez Ball Part 2 9 Native Americans in Media / Movie: Rez Ball Part 3 10 Language, Oral Tradition & Cultural Identity / Movie: Rez Ball Part 4</p> <p>Part 3: Native Voices Today 11 Native Art and Artists 12 Native Music & Musicians / Final Project Preparation 13 Final Project Preparation and consultation 14 Final Group Presentations: Native Voices Today 15 Final Group Presentations / Reflection</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 No required textbook. Readings and materials will be provided.</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 Dunbar-Ortiz, Roxanne. <i>An Indigenous Peoples' History of the United States</i>. Beacon Press 2014. Online resources from Native American organizations, cultural institutions, and archives</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 Participation and Discussion: 25% Reflections and Quizzes: 40% Presentation 1: 15% Final Presentation: 20%</p> <p>Students will write short reflections on the topics covered in the lesson as well as take quizzes to check their understanding of the main issues.</p> <p>Students will receive written and verbal feedback on presentations, reflections, quizzes, and class participation.</p> | | | | |
| <p>【備考欄】「異文化理解と交流1A」・「異文化理解と交流 1B」・「異文化理解と交流 1C」は同時履修可。</p> | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----|-------|--|--------------------------|--|---------------------------------------|------------------------------|--------------------------|---------------------------|--|--|--|------------------------|------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|------------------------|--------------------------------------|--|
| 対面授業 | | | 13007 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 異文化理解と交流1C | | | 福田 耕佑 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Understanding Other Cultures 1C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業の目的】 本授業では、実践英語学科のカリキュラム・ポリシー「実践的な英語の運用能力と幅広い教養を身につけ、グローバル化の進む社会に貢献できる専門知識を涵養する」に基づき、西洋世界と一神教世界を中心にした世界での国際共通語の歴史の変遷について論じ、現代の英語を含むそれぞれの国際共通語がその時代の文化と宗教に与えた影響と周辺世界との交流について講義する。西洋並びに一神文化圏の代表的な国際語の変遷と代表的な宗教の関係について、通時的に、そして歴史の展開にそって順に講義する。とりわけ、多宗教・多民族・多言語・多文化共生について見識を得て考察を深めていくため、それぞれの文化圏と宗教圏の、時に友好的であり時に戦争に彩られることになった交流において、その時代の国際共通語がどのような役割を果たしたのかに焦点をあてて論じていく。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 オリエンテーション:そもそも国際共通語とは？</td> <td>9 オスマン朝(トルコ)とカージャー朝(イラン):スナ派とシーア派、ペルシア語の果たした役割</td> </tr> <tr> <td>2 ヘブライ語とユダヤ教:オリエン特世界と『旧約聖書』に描かれる国際共通語</td> <td>10 近世西欧における宗教戦争:国際語としてのフランス語</td> </tr> <tr> <td>3 古代ギリシア世界:ギリシア語と西洋文化の源泉</td> <td>11 啓蒙主義と革命の時代:英仏独米の革命を中心に</td> </tr> <tr> <td>4 アレクサンドロス大王の東征:ヘレニズム世界の拡張と旧約聖書のギリシア語訳</td> <td>12 オスマン朝とロマノフ朝(ロシア)の中でのギリシア語:西洋文化と東西交易の懸け橋</td> </tr> <tr> <td>5 キリスト教の誕生と新約聖書の成立:ギリシア語とギリシア文化が果たした役割</td> <td>13 国際語としての英語:帝国主義と世界大戦</td> </tr> <tr> <td>6 ローマ帝国とラテン語:カトリック及び西欧文化圏の成立</td> <td>14 英語とインターネット、そして授業全体の中テスト</td> </tr> <tr> <td>7 イスラーム世界の成立とクルアーン:国際共通語としてのアラビア語</td> <td>15 全体のフィードバックと人工言語について</td> </tr> <tr> <td>8 イタリア・ルネサンスとプロテスタントの成立:西欧の口語による聖書翻訳</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1 オリエンテーション:そもそも国際共通語とは？ | 9 オスマン朝(トルコ)とカージャー朝(イラン):スナ派とシーア派、ペルシア語の果たした役割 | 2 ヘブライ語とユダヤ教:オリエン特世界と『旧約聖書』に描かれる国際共通語 | 10 近世西欧における宗教戦争:国際語としてのフランス語 | 3 古代ギリシア世界:ギリシア語と西洋文化の源泉 | 11 啓蒙主義と革命の時代:英仏独米の革命を中心に | 4 アレクサンドロス大王の東征:ヘレニズム世界の拡張と旧約聖書のギリシア語訳 | 12 オスマン朝とロマノフ朝(ロシア)の中でのギリシア語:西洋文化と東西交易の懸け橋 | 5 キリスト教の誕生と新約聖書の成立:ギリシア語とギリシア文化が果たした役割 | 13 国際語としての英語:帝国主義と世界大戦 | 6 ローマ帝国とラテン語:カトリック及び西欧文化圏の成立 | 14 英語とインターネット、そして授業全体の中テスト | 7 イスラーム世界の成立とクルアーン:国際共通語としてのアラビア語 | 15 全体のフィードバックと人工言語について | 8 イタリア・ルネサンスとプロテスタントの成立:西欧の口語による聖書翻訳 | |
| 1 オリエンテーション:そもそも国際共通語とは？ | 9 オスマン朝(トルコ)とカージャー朝(イラン):スナ派とシーア派、ペルシア語の果たした役割 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 ヘブライ語とユダヤ教:オリエン特世界と『旧約聖書』に描かれる国際共通語 | 10 近世西欧における宗教戦争:国際語としてのフランス語 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 古代ギリシア世界:ギリシア語と西洋文化の源泉 | 11 啓蒙主義と革命の時代:英仏独米の革命を中心に | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 アレクサンドロス大王の東征:ヘレニズム世界の拡張と旧約聖書のギリシア語訳 | 12 オスマン朝とロマノフ朝(ロシア)の中でのギリシア語:西洋文化と東西交易の懸け橋 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 キリスト教の誕生と新約聖書の成立:ギリシア語とギリシア文化が果たした役割 | 13 国際語としての英語:帝国主義と世界大戦 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 ローマ帝国とラテン語:カトリック及び西欧文化圏の成立 | 14 英語とインターネット、そして授業全体の中テスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 イスラーム世界の成立とクルアーン:国際共通語としてのアラビア語 | 15 全体のフィードバックと人工言語について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 イタリア・ルネサンスとプロテスタントの成立:西欧の口語による聖書翻訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【テキスト】 『山川 詳説世界史図録 第5版(世探 704 準拠)』(東京:山川出版、2023年) なお、授業では板書はせず、講師が用意したPPTで授業をし、授業後に皆さんに共有するものとします。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【参考図書】 金澤周作監修『論点・西洋史学』(京都:ミネルヴァ書房、2020年)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 (1) 毎授業の初めに行われる前回の授業内容の小テスト(40%)、 (2) 毎授業後に提出するリフレクションシート(20%)、 (3) 第14回の授業で実施される中テスト(40%)で評価します。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【備考欄】 「異文化理解と交流1A」・「異文化理解と交流1B」・「異文化理解と交流1C」は同時履修可。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|------------|-------|
| 対面授業 | | | | 13008 |
| 異文化理解と交流2A | | | D.J.マカントニー | |
| Canadian Studies 2A | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of Canada. We will study both the historical and modern country and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding. | | | | |
| 【授業内容】 1. Introduction 2. Geography 1 3. Geography 2 4. The People 5. History 6. Climate and weather 7. Culture 8. Industry 9. Canadian Life 10. Symbolism 11. Mid-Term Review 12. Travel 1 13. Travel 2 (Presentation Practice) 14. Presentations 15. Review | | | | |
| 【テキスト】 No Textbook. All materials will be provided by teacher. | | | | |
| 【参考図書】 None | | | | |
| 【成績評価の方法】 Class Participation 30%, Homework 25%, Presentation 20%, Review 25% | | | | |
| 【備考欄】 「異文化理解と交流」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「異文化理解と交流1A」・「異文化理解と交流 1B」・「異文化理解と交流 1C」を履修しておく必要はない。 「異文化理解と交流2A」・「異文化理解と交流2B」は同時履修可。 | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|------------|-------|
| 対面授業 | | | | 13009 |
| 異文化理解と交流2B | | | D.J.マカントニー | |
| UK and Ireland Studies 2B | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 Students will have the opportunity to increase their understanding of the five countries that make up the British Isles. We will study both the historical and modern countries and compare them with Japan to improve inter-cultural understanding. Lessons will contain some conversational practice. Homework and regular attendance are very important. | | | | |
| 【授業内容】 1. Introduction 2. Wales 1 3. Wales 2 4. Wales 3 5. England1 6. England 2 7. England 3 8. Mid-Term Review 9. Scotland 1 10. Scotland 2 11. Scotland 3 12. Ireland 1 13. Ireland 2 14. Northern Ireland 15. Final Review | | | | |
| 【テキスト】 Scott Berlin, Chisako Nakayama, Discover Great Britain and Ireland, Kinseido, 978-47647-3864-5 | | | | |
| 【参考図書】 English Dictionary and Japanese-English Dictionary | | | | |
| 【成績評価の方法】 Class Participation 30% Homework 20% Review and Assignments 50% | | | | |
| 【備考欄】 「異文化理解と交流」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「異文化理解と交流1A」・「異文化理解と交流1B」・「異文化理解と交流1C」を履修しておく必要はない。 「異文化理解と交流2A」・「異文化理解と交流2B」は同時履修可。 | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|-------|--|
| 対面授業 | | | 13010 | |
| 英語文化文学研究1 | | | 雨森 未来 | |
| English Culture and Literature Studies 1 | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 本科目は「専門教育科目」に属し、カリキュラム・ポリシーの「英語関連領域の専門教育科目」に位置付けられる。本科目では、ディプロマ・ポリシーに準じ、英米文化及び英米文学を扱うことを通して、「各言語圏の社会・文化・思想・価値観の差異」を学ぶとともに、「英語の諸分野についての専門的・学際的研究を遂行する」ためへの土台を構築する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】受講生はテキストや文献を通して、イギリスの文化及び文学の専門的な知識に触れる。具体的には、エリザベス朝を中心とするルネサンス期の英国の歴史や文化について、作品ではウィリアム・シェイクスピアの劇作品や近代及び現代の韻文作品について解説する。後半では、批評理論の基礎的な知識と体系を紹介し、論理的観点に基づく文学作品の批評について理解する機会を作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス: イングランドとセント・ジョージ 2. ルネサンス① 芸術と表象 3. ルネサンス② 視覚の理論と美術の様式 4. 英国ルネサンス イングランドの演劇世界 シェイクスピアのグローブ座 5. イングランドの劇場文化 シンボル(象徴)とアレゴリー(寓意) 6. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界① 劇場文化と出版の歴史 7. ウィリアム・シェイクスピアの劇世界② シェイクスピア劇のジャンル 8. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界① 悲劇の伝統と『オイディプス王』 9. ウィリアム・シェイクスピアの悲劇の世界② 『ハムレット』と「メント・モリ」 10. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界① 少年俳優と異性装 11. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界② 『ヴェニス商人』と批評の変遷 12. ウィリアム・シェイクスピアの喜劇の世界③ 『夏の夜の夢』とフェミニズム批評 13. ウィリアム・シェイクスピアの歴史劇 『リチャード三世』と悪役の系譜 14. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇① 文学理論とオリエンタリズム 15. ウィリアム・シェイクスピアのロマンス劇② 『テンペスト』とポストコロニアリズム批評 | | | | |
| <p>【テキスト】 なし。適宜、プリントや資料を配布する</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 適宜、指示する</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 提出課題(指定したテンプレートを使用)を毎講義の内容に合わせて課す(75%) 課題の記述内容の出来栄に対する加点(25%) 以上から総合的に評価する WebClassを使って、評価材料の個別の得点を一覧できるようにする</p> | | | | |
| <p>【備考欄】 本科目の特性を考慮して、履修要覧に記載にかかわらず、欠席回数が4回以下であることを単位取得の要件とする</p> | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|----|------|-------|-------------------|-----------|---------|---------------|---------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|---------------------|--------|-------------|-----------|--|
| 対面授業 | | | | 13011 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 英語文化文学研究2 | | | 原田 昂 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Cultural and Literary Studies of the English-speaking World 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業の目的】 主に19世紀英国で書かれた文学作品を一部抜粋して鑑賞し、産業革命が英国の社会や文化に与えた影響を理解することを目的とする。特に、現代英語の語彙や、現代社会が抱える問題との関係性に注目する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション:産業革命</td> <td>9. 科学と産業②</td> </tr> <tr> <td>2. 都市化①</td> <td>10. ナショナルトラスト</td> </tr> <tr> <td>3. 都市化②</td> <td>11. 植民地①</td> </tr> <tr> <td>4. 階級①</td> <td>12. 植民地②</td> </tr> <tr> <td>5. 階級②</td> <td>13. お茶文化</td> </tr> <tr> <td>6. 教育①</td> <td>14. 意見交換、最終課題と発表の準備</td> </tr> <tr> <td>7. 教育②</td> <td>15. 最終課題の発表</td> </tr> <tr> <td>8. 科学と産業①</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1. イントロダクション:産業革命 | 9. 科学と産業② | 2. 都市化① | 10. ナショナルトラスト | 3. 都市化② | 11. 植民地① | 4. 階級① | 12. 植民地② | 5. 階級② | 13. お茶文化 | 6. 教育① | 14. 意見交換、最終課題と発表の準備 | 7. 教育② | 15. 最終課題の発表 | 8. 科学と産業① | |
| 1. イントロダクション:産業革命 | 9. 科学と産業② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 都市化① | 10. ナショナルトラスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 都市化② | 11. 植民地① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 階級① | 12. 植民地② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 階級② | 13. お茶文化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 教育① | 14. 意見交換、最終課題と発表の準備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 教育② | 15. 最終課題の発表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. 科学と産業① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【テキスト】 必要に応じて適宜プリントを配布する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【参考図書】 授業中に指示する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 事前課題(24%)、事後課題(36%)、ディスカッションでの発言(15%)、最終課題と発表(25%)。 事前課題は、適切に取り組み提出しているかを中心に評価する。 事後課題は、授業の内容を理解し問題に適切に答えているかを中心に評価する。 ディスカッションでの発言は、授業中に設けるディスカッションで自分の意見を発表しディスカッションを有意義な時間するよう貢献できているかを中心に評価する。 最終課題と発表は、与えられた課題を理解し適切に答えられているかを中心に評価する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【備考欄】 「英語文化文学研究」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「英語文化文学研究1」を履修しておく必要はない。 毎回事前課題として英語で書かれた文学作品の一部抜粋を読む。辞書を活用しながら英文学作品を読むことができる英語力が求められる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----|--------|-------|-----------------|--|------------------|---|--|---|---|--|-------------------------------------|--------------------|--|------------------------------------|---|----------------|--|--|
| 対面授業 | | | | 13012 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 英語文化文学研究 3 | | | 苫米地 夏緒 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| English Culture and Literature Studies 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業の目的】 この講義では人種の研究の基盤として race とは何か、racism とが具体的にどのようなものを指すのかを学び、白人(性)や白人特権を始め、人種の社会的構築、構造的な人種差別、人種的マイノリティのステレオタイプについての知識を身に着ける。また、大衆文化はそれを創り出した社会を反映しているという考えに基づいて、映像から文学に渡る様々な形態の作品を検証し、そこに描かれているものを授業やテキストを通して学んだ内容と比較し、分析する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>9. The Latinos, Latinas, and the Latinx of America</td> </tr> <tr> <td>2. What is Race?</td> <td>10. Not a Terrorist: Muslims and the U.S.</td> </tr> <tr> <td>3. The History of Race in the U.S.: Part I</td> <td>11. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians I</td> </tr> <tr> <td>4. The History of Race in the U.S.: Part II</td> <td>12. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians II</td> </tr> <tr> <td>5. Whiteness, or: The Raceless Race</td> <td>13. Colorblindness</td> </tr> <tr> <td>6. Blackness in U.S. Popular Culture I</td> <td>14. Antiracism in the Current U.S.</td> </tr> <tr> <td>7. Blackness in U.S. Popular Culture II</td> <td>15. Conclusion</td> </tr> <tr> <td>8. The Ongoing Struggles of Native Americans</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1. Introduction | 9. The Latinos, Latinas, and the Latinx of America | 2. What is Race? | 10. Not a Terrorist: Muslims and the U.S. | 3. The History of Race in the U.S.: Part I | 11. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians I | 4. The History of Race in the U.S.: Part II | 12. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians II | 5. Whiteness, or: The Raceless Race | 13. Colorblindness | 6. Blackness in U.S. Popular Culture I | 14. Antiracism in the Current U.S. | 7. Blackness in U.S. Popular Culture II | 15. Conclusion | 8. The Ongoing Struggles of Native Americans | |
| 1. Introduction | 9. The Latinos, Latinas, and the Latinx of America | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. What is Race? | 10. Not a Terrorist: Muslims and the U.S. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. The History of Race in the U.S.: Part I | 11. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. The History of Race in the U.S.: Part II | 12. The "Yellow," Exotic, and Model Minority Asians II | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. Whiteness, or: The Raceless Race | 13. Colorblindness | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. Blackness in U.S. Popular Culture I | 14. Antiracism in the Current U.S. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. Blackness in U.S. Popular Culture II | 15. Conclusion | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. The Ongoing Struggles of Native Americans | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【テキスト】 WebClass にて各回に応じた資料を配布する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【参考図書】 Delgado, Richard and Jean Stefancic Eds. Critical Race Theory: An Introduction (Third Edition). NYU Press, 2017. ISBN: 978-1479802760 Sellnow, Deanna D. The Rhetorical Power of Popular Culture: Considering Mediated Texts. SAGE Publications, 2017. ISBN: 978-1506315218</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業内課題: 10%、リアクションペーパー: 20%、小レポート: 30%、期末テスト: 40% Race/Racism とは何か、それらがアメリカの文化や社会のさまざまな側面にどのような影響を及ぼしているか、そしてその結果生じる問題は何かを理解しているかどうかを、上記課題を通して評価する</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【備考欄】 「英語文化文学研究」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「英語文化文学研究1」や「英語文化文学研究2」を履修しておく必要はない。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------------|----|-------|-------|-----------|--------------------|-----------------|-----------------------|-----------------|-----------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|--------------|-----------------|-----------|------------|--|
| 対面授業 | | | | 13013 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本史講義 1A | | | 鈴木 琢郎 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| History of Japan 1A (Medieval Japan) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業の目的】 平安時代の摂関制成立史について学ぶ。摂関制研究の研究史上の問題点を明確にし、特に摂政の成立を如何に考えるかについて検討していく。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 授業の概要説明</td> <td>9 他氏排斥事件の再評価(承和の変)</td> </tr> <tr> <td>2 摂関制の研究史(戦前期)①</td> <td>10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)①</td> </tr> <tr> <td>3 摂関制の研究史(戦前期)②</td> <td>11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)②</td> </tr> <tr> <td>4 政所政治論批判(政所下文)①</td> <td>12 藤原良房による天皇権代行</td> </tr> <tr> <td>5 政所政治論批判(政所下文)②</td> <td>13 摂政の成立を如何に考えるか</td> </tr> <tr> <td>6 政所政治論批判(里内裏)①</td> <td>14 幼帝陽成と藤原基経</td> </tr> <tr> <td>7 政所政治論批判(里内裏)②</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 試験答案の書き方</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1 授業の概要説明 | 9 他氏排斥事件の再評価(承和の変) | 2 摂関制の研究史(戦前期)① | 10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)① | 3 摂関制の研究史(戦前期)② | 11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)② | 4 政所政治論批判(政所下文)① | 12 藤原良房による天皇権代行 | 5 政所政治論批判(政所下文)② | 13 摂政の成立を如何に考えるか | 6 政所政治論批判(里内裏)① | 14 幼帝陽成と藤原基経 | 7 政所政治論批判(里内裏)② | 15 授業のまとめ | 8 試験答案の書き方 | |
| 1 授業の概要説明 | 9 他氏排斥事件の再評価(承和の変) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 摂関制の研究史(戦前期)① | 10 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 摂関制の研究史(戦前期)② | 11 他氏排斥事件の再評価(応天門の変)② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 政所政治論批判(政所下文)① | 12 藤原良房による天皇権代行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 政所政治論批判(政所下文)② | 13 摂政の成立を如何に考えるか | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 政所政治論批判(里内裏)① | 14 幼帝陽成と藤原基経 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 政所政治論批判(里内裏)② | 15 授業のまとめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 試験答案の書き方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【テキスト】 特に定めず、毎回プリントを配布する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【参考図書】 米田雄介『歴史文化ライブラリー 藤原摂関家の誕生』(吉川弘文館、2002年) 神谷正昌『人物叢書 清和天皇』(吉川弘文館、2020年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価の方法】 学期末の論述試験で評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【備考欄】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------------------|----|-------|-------|-------------|---------------|-------------|------------------|------------|-------------|--------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-----------|---------------|--|
| 対面授業 | | | | 13014 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本史講義 2C | | | 苅米 一志 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| History of Japan 2C (Medieval Japan) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業の目的】 日本中世の政治・社会の移り変わりについて、研究の基本的な用語・知識・概念を身につけることを目的とする。近年の主要な研究テーマや専門用語を解説する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【授業内容】 <table border="0"> <tr> <td>1 日本中世という時代</td> <td>9 鎌倉・室町の民衆生活②</td> </tr> <tr> <td>2 東アジア世界の中で</td> <td>10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱</td> </tr> <tr> <td>3 治承・寿永の内乱</td> <td>11 室町幕府と足利氏</td> </tr> <tr> <td>4 武家政権の本格的展開</td> <td>12 守護大名の台頭</td> </tr> <tr> <td>5 権門体制論について</td> <td>13 室町時代の文化</td> </tr> <tr> <td>6 荘園制の形成と展開</td> <td>14 戦国大名の登場</td> </tr> <tr> <td>7 顕密体制論について</td> <td>15 授業のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8 鎌倉・室町の民衆生活①</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1 日本中世という時代 | 9 鎌倉・室町の民衆生活② | 2 東アジア世界の中で | 10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱 | 3 治承・寿永の内乱 | 11 室町幕府と足利氏 | 4 武家政権の本格的展開 | 12 守護大名の台頭 | 5 権門体制論について | 13 室町時代の文化 | 6 荘園制の形成と展開 | 14 戦国大名の登場 | 7 顕密体制論について | 15 授業のまとめ | 8 鎌倉・室町の民衆生活① | |
| 1 日本中世という時代 | 9 鎌倉・室町の民衆生活② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 東アジア世界の中で | 10 鎌倉幕府の滅亡と南北朝内乱 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 治承・寿永の内乱 | 11 室町幕府と足利氏 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 武家政権の本格的展開 | 12 守護大名の台頭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 権門体制論について | 13 室町時代の文化 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 荘園制の形成と展開 | 14 戦国大名の登場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 顕密体制論について | 15 授業のまとめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 鎌倉・室町の民衆生活① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【テキスト】 特に定めず、毎回プリントを配布する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【参考図書】 朝尾直弘・他編 『岩波講座 日本通史』7～10(1994年) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【成績評価の方法】 主として学期末のレポート(4000～8000字程度)で評価する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【備考欄】 「日本史講義」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「日本史講義1A」を履修しておく必要はない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|---|-----|----|-----|-------|
| 対面授業 | | | | 13015 |
| 日本史講義 3C | | | | 三田 智子 |
| History of Japan 3C (Medieval Japan) | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 ここ 30 年ほどのあいだに、日本近世における「身分」の捉え方は大きく変化し、それは社会全体の問い直しにつながっている。その論理的な部分について概観したあと、各分野における実証の成果について史料をふまえながら説明をおこなう。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 山川の日本史教科書の記述変化について 2 「身分」をめぐる二つの見方とその統一 3 「社会集団」と身分制社会 4 村請制とは何か 5 和泉のかわた(えた)村について① —南王子村の村方騒動— 6 和泉のかわた(えた)村について② —南王子村のイエ— 7 和泉のかわた(えた)村について③ —南王子村のイエ— 8 和泉のかわた(えた)村について④ —南王子村の生業— 9 和泉のかわた(えた)村について⑤ —南王子村の 19 世紀— 10 和泉のかわた(えた)村について⑥ —南王子村の 19 世紀— 11 和泉のかわた(えた)村について⑦ —地域社会と南王子村— 12 和泉のかわた(えた)村について⑧ —地域社会と南王子村— 13 和泉のかわた(えた)村について⑨ —地域社会と南王子村— 14 和泉のかわた(えた)村について⑩ —地域社会と南王子村— 15 和泉のかわた(えた)村について⑪ —賤称廃止令と地域社会— | | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p>毎回プリントを配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> <p>塚田孝『近世身分社会の捉え方—山川出版社日本史教科書を通して—』(部落問題研究所、2010) ISBN978-4-8298-1077-4</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>受講態度 45%、レポート 55%で評価する。 受講態度については、毎回記入するリアクションペーパーの内容をもとに、授業内容を理解しているかどうかを評価する。レポートについては、史料を基礎に論理を構成するという実証方法の基礎ができているか、適切な表現がとられているか、などを主な評価基準とする。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> <p>「日本史講義」の科目はそれぞれ独立した内容のため、「日本史講義1A」や「日本史講義2C」を履修しておく必要はない。</p> | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------------------|----|--------|--|----------------|-------------|--------------|----------|------------------|------------|--------------|--------------------|-------------------|-----------------------|---------------------------------|---------------|---------|-------|-------------|--|
| 対面授業 | | | 13016 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヨーロッパ・アメリカ史講義 1C | | | 小林 亜沙美 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| History of Europe/America1C (Medieval Europe) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパ(5世紀半ばから16世紀初め)に生じた様々な出来事の一部は、当時の社会にとって衝撃的であったという理由で、あるいは、各出来事が後世に何らかの大きな影響をおよぼしたという理由で、歴史的に重要な事象とされている。 ・本講義ではそのような事件や事柄に焦点を当て、関与した派閥や人間の動機、事件の前史や背景、事件の経緯や結末などを説明する。 ・各事象・事件が同時代および後の時代に及ぼした影響などにも触れる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 「中世ヨーロッパ」とは？</td> <td>9 異端者に対する戦い</td> </tr> <tr> <td>2 西ローマ帝国の終わり</td> <td>10 農村・都市</td> </tr> <tr> <td>3 クローヴィスのキリスト教改宗</td> <td>11 教皇庁(前半)</td> </tr> <tr> <td>4 西ローマ帝国「復活」</td> <td>12 教皇庁(後半)・修道院(前半)</td> </tr> <tr> <td>5 中世初期「イングランド」の成立</td> <td>13 修道院(後半)・帝国国王選挙(前半)</td> </tr> <tr> <td>6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」「フランス」の形成</td> <td>14 帝国国王選挙(後半)</td> </tr> <tr> <td>7 叙任権闘争</td> <td>15 総括</td> </tr> <tr> <td>8 異教徒に対する戦い</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1 「中世ヨーロッパ」とは？ | 9 異端者に対する戦い | 2 西ローマ帝国の終わり | 10 農村・都市 | 3 クローヴィスのキリスト教改宗 | 11 教皇庁(前半) | 4 西ローマ帝国「復活」 | 12 教皇庁(後半)・修道院(前半) | 5 中世初期「イングランド」の成立 | 13 修道院(後半)・帝国国王選挙(前半) | 6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」「フランス」の形成 | 14 帝国国王選挙(後半) | 7 叙任権闘争 | 15 総括 | 8 異教徒に対する戦い | |
| 1 「中世ヨーロッパ」とは？ | 9 異端者に対する戦い | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 西ローマ帝国の終わり | 10 農村・都市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 クローヴィスのキリスト教改宗 | 11 教皇庁(前半) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 西ローマ帝国「復活」 | 12 教皇庁(後半)・修道院(前半) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 中世初期「イングランド」の成立 | 13 修道院(後半)・帝国国王選挙(前半) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 フランク王国分割:「ドイツ」「イタリア」「フランス」の形成 | 14 帝国国王選挙(後半) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 叙任権闘争 | 15 総括 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 異教徒に対する戦い | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p>授業で配布する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菊地良生『神聖ローマ帝国(講談社現代新書)』(講談社、2003年、ISBN 978-4061496736) ・ハンス・K.シュルツェ(小倉欣一、河野淳訳)『西欧中世史事典Ⅲ 王権とその支配(MINERVA 西洋史ライブラリー96)』(ミネルヴァ書房、2013年、ISBN 978-4623067428) ・神崎忠明『【新版】ヨーロッパの中世』慶應義塾大学出版会、2022年(ISBN 978-4766428087) ・川原温、堀越宏一『西洋中世史』放送大学教育振興会、2021年(ISBN 978-4595141584) ・ヨーロッパ中世史研究会(編集)『西洋中世史料集』東京大学出版会、2000年(ISBN 978-4130220170) ・その他、必要に応じてWebClassに参考文献を記載する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業の小テスト(50%)、最終テスト(50%)。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【備考欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テストは授業で配付したプリントを見ながら、問いに答える筆記形式のもの。 ・フィードバックは次の授業の冒頭に行く。最終テストのフィードバックは休み期間中に個人指導で行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------------|----|-------|--|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------------------|--------------------|----------------|----------------|--------------|-------------------|-----------------|--------------------|--------|-----------|--|
| 対面授業 | | | 13017 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アジア史講義1A | | | 渡邊 将智 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| History of Asia 1A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業の目的】 中国の歴代王朝は、前代の王朝や自分の王朝の歴史を記録し続けてきた。中国史学の特色とその発展の過程を学ぶことは、過去の歴史に向き合うための視点を広げるとともに、現代の社会を読み解くために必要な目を養うことにつながる。この授業では、前近代中国における史書編纂の過程と歴史叙述の特色を、思想的・文化的・政治的な背景に目を向けつつ概観する。さらに、同時期における歴史研究や史学理論の発展の過程についても学ぶ。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前近代中国の史学とその評価</td> <td>9. 『史通』の史学理論と史料批判</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家</td> <td>10. 『資治通鑑』と編年体の採用</td> </tr> <tr> <td>3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出</td> <td>11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判</td> </tr> <tr> <td>4. 『史記』の対秦評価と同時代批判</td> <td>12. 地方志の隆盛と方志学</td> </tr> <tr> <td>5. 断代史の創出と『漢書』</td> <td>13. 清朝考証学の世界</td> </tr> <tr> <td>6. 三国鼎立と『三国志』の正統観</td> <td>14. 『文史通義』の史学理論</td> </tr> <tr> <td>7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述</td> <td>15. 総括</td> </tr> <tr> <td>8. 家学と注釈学</td> <td></td> </tr> </table> | | | | | 1. 前近代中国の史学とその評価 | 9. 『史通』の史学理論と史料批判 | 2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家 | 10. 『資治通鑑』と編年体の採用 | 3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出 | 11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判 | 4. 『史記』の対秦評価と同時代批判 | 12. 地方志の隆盛と方志学 | 5. 断代史の創出と『漢書』 | 13. 清朝考証学の世界 | 6. 三国鼎立と『三国志』の正統観 | 14. 『文史通義』の史学理論 | 7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述 | 15. 総括 | 8. 家学と注釈学 | |
| 1. 前近代中国の史学とその評価 | 9. 『史通』の史学理論と史料批判 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 歴史叙述の形成と先秦諸子百家 | 10. 『資治通鑑』と編年体の採用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 『史記』の編纂と紀伝体の創出 | 11. 『資治通鑑』の帝王学と同時代批判 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 『史記』の対秦評価と同時代批判 | 12. 地方志の隆盛と方志学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 断代史の創出と『漢書』 | 13. 清朝考証学の世界 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 三国鼎立と『三国志』の正統観 | 14. 『文史通義』の史学理論 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 『後漢書』の編纂とその歴史叙述 | 15. 総括 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8. 家学と注釈学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【テキスト】 指定しない。毎回資料を配布する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【参考図書】 授業中に参考文献を紹介する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 レビューシート 40% (授業中)、レポート 60% (学期末) レビューシートは、講義内容に対する理解の度合いと、講義で得た知識に基づき自分自身の視点で考察できているかを評価する。また、レポートは、講義内容に対する理解度と考察力に加えて、書籍・論文などの参考文献を調査し、それらを活用して分析・考察する力を具えているかどうかを評価する。 レビューシートを回収後、教員は次回の授業中に補足説明を行う。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

就実大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏 名 | | | 印 |

※出願の際には
履修願に写真は
貼らずに添付し
て提出してくだ
さい。

**写真
貼付
(4 cm × 3cm)**

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | | | |
|----------|---|-----|-----------|-------|---|---|-----|
| 所属大学等 | | | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | | 学科 | | 年 | |
| 学生番号 | | 性別 | 生年 月 日 | 西暦 | | 年 | |
| | | 男・女 | | 昭和・平成 | 年 | 月 | 日 生 |
| 現住所 | 〒 ー Tel () ー | | | | | | |
| メールアドレス | _____ @ ※kyoumu@shujitsu.ac.jp からのメールが受信できるように設定をお願いします。 | | | | | | |

* 履修受付締切日：前期：3月31日(火)まで 後期：9月7日(月)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開 講 期 | 配 当 学 年 | 備 考 | 曜 日 ・ 時 限 | 履 修 希 望 | 評 価 |
|-------------------------------|-------------|-----|-------------|-----|-------|---------|-------|---------------|--------------------------|-----|
| 対面授業科目 ※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓ | | | | | | | | | | |
| 13001 | 古典文学研究 1 | 専門 | 瓦井 裕子 | 2 | 前期 | 2~4 | 同時履修可 | 火 10:50~12:20 | <input type="checkbox"/> | |
| 13002 | 古典文学講義 2 | 専門 | 川崎 剛志 | 2 | 後期 | 3~4 | | 木 10:50~12:20 | <input type="checkbox"/> | |
| 13003 | 古典文学研究 3 | 専門 | 竹内 洪介 | 2 | 後期 | 2~4 | 同時履修可 | 木 13:10~14:40 | <input type="checkbox"/> | |
| 13004 | 近現代文学講義 3 | 専門 | 坂 堅太 | 2 | 前期 | 3~4 | | 火 13:10~14:40 | <input type="checkbox"/> | |
| 13005 | 異文化理解と交流 1A | 専門 | L. ダンテ | 2 | 前期 | 3~4 | 同時履修可 | 木 9:10~10:40 | <input type="checkbox"/> | |
| 13006 | 異文化理解と交流 1B | 専門 | テレサ ストックウェル | 2 | 前期 | 3~4 | | 水 10:50~12:20 | <input type="checkbox"/> | |
| 13007 | 異文化理解と交流 1C | 専門 | 福田 耕佑 | 2 | 前期 | 3~4 | | 火 9:10~10:40 | <input type="checkbox"/> | |

| No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開講 期 | 配当 学年 | 備 考 | 曜日・時限 | 履修 希望 | 評価 |
|------------------------|-----------------|-----|------------|-----|------|-------|-------|-------|-------------|--------------------------|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| ※ 希望する授業科目に○を付けてください ↓ | | | | | | | | | | |
| 13008 | 異文化理解と交流 2A | 専門 | D.J.マカントニー | 2 | 後期 | 3~4 | 同時履修可 | 金 | 13:10~14:40 | <input type="checkbox"/> |
| 13009 | 異文化理解と交流 2B | 専門 | D.J.マカントニー | 2 | 後期 | 3~4 | | 木 | 9:10~10:40 | <input type="checkbox"/> |
| 13010 | 英語文化文学研究1 | 専門 | 雨森 未来 | 2 | 後期 | 3~4 | 同時履修可 | 木 | 13:10~14:40 | <input type="checkbox"/> |
| 13011 | 英語文化文学研究2 | 専門 | 原田 昂 | 2 | 前期 | 3~4 | | 火 | 13:10~14:40 | <input type="checkbox"/> |
| 13012 | 英語文化文学研究3 | 専門 | 苫米地 夏緒 | 2 | 後期 | 3~4 | | 火 | 13:10~14:40 | <input type="checkbox"/> |
| 13013 | 日本史講義 1A | 専門 | 鈴木 琢郎 | 2 | 後期 | 3~4 | 同時履修可 | 金 | 10:50~12:20 | <input type="checkbox"/> |
| 13014 | 日本史講義 2C | 専門 | 苅米 一志 | 2 | 前期 | 3~4 | | 金 | 13:10~14:40 | <input type="checkbox"/> |
| 13015 | 日本史講義 3C | 専門 | 三田 智子 | 2 | 後期 | 3~4 | | 木 | 10:50~12:20 | <input type="checkbox"/> |
| 13016 | ヨーロッパ・アメリカ史講義1C | 専門 | 小林 亜沙美 | 2 | 後期 | 3~4 | | 水 | 13:10~14:40 | <input type="checkbox"/> |
| 13017 | アジア史講義 1A | 専門 | 渡邊 将智 | 2 | 後期 | 3~4 | | 木 | 13:10~14:40 | <input type="checkbox"/> |

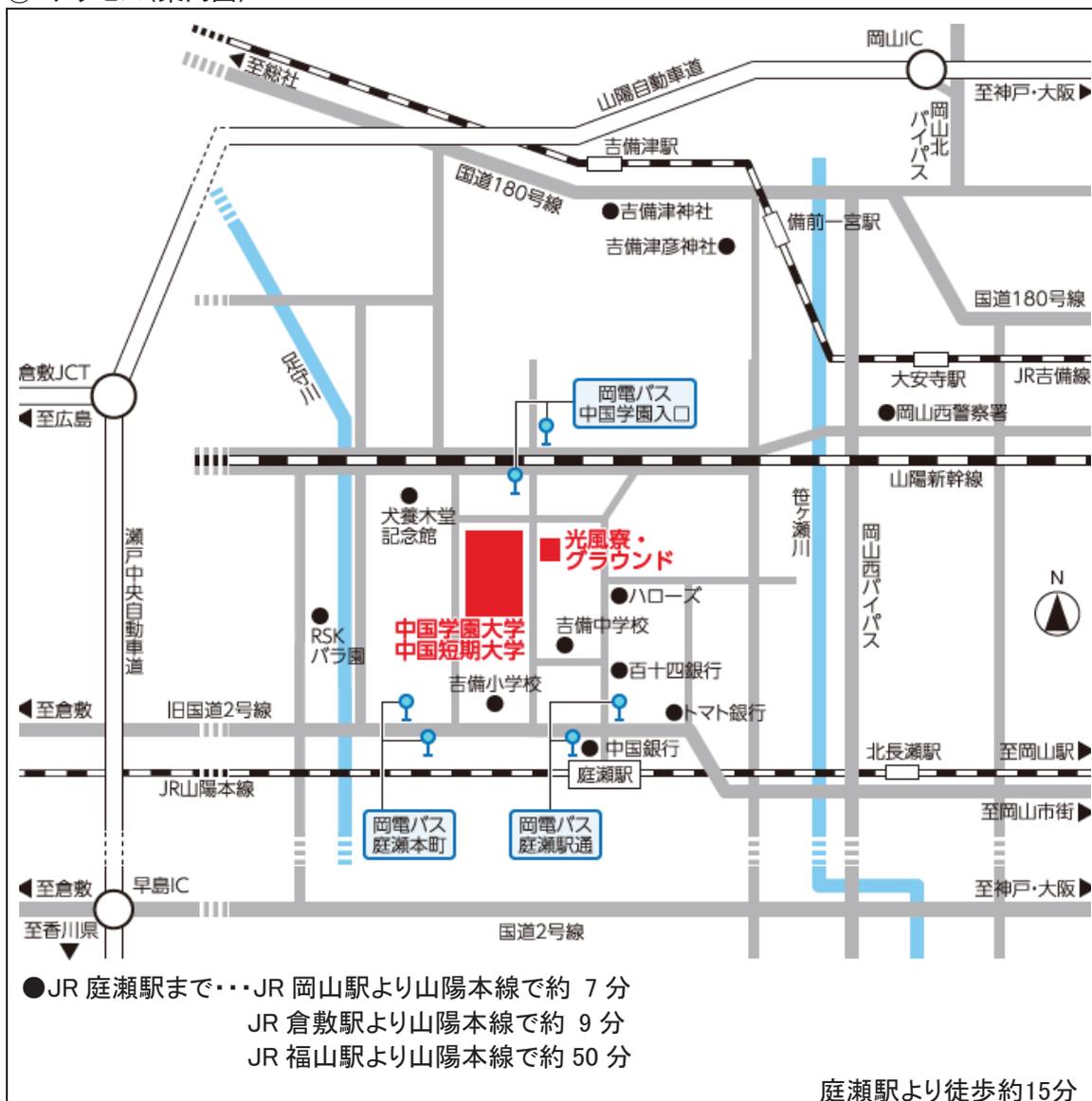
| 写真提出枚数 (※ 出願の際には、履修願に写真は貼らずに 添付して提出してください) (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 単位互換科目 履修願用 | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
|---|----------------|--------|-------|----|
| | 1枚 | 0枚 | 0枚 | 1枚 |

(14)中国学園大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年4月9日 | ～ | 2026年7月30日 |
| | 後期 | 2026年9月25日 | ～ | 2027年1月28日 |
| 試験期間 | 前期 | 2026年7月31日 | ～ | 2026年8月6日 |
| | 後期 | 2027年1月29日 | ～ | 2026年2月5日 |
| 授業時間 | 1限 | 9:20 | ～ | 10:50 |
| | 2限 | 11:00 | ～ | 12:30 |
| | 3限 | 13:10 | ～ | 14:40 |
| | 4限 | 14:50 | ～ | 16:20 |
| | 5限 | 16:30 | ～ | 18:00 |

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

| | |
|--------------------|---|
| <p>教学・アドミッション課</p> | |
| 所在地 | <p>岡山市北区庭瀬 83 本館 2 階 事務局 教学・アドミッション課</p>  |
| 電話 | 086-293-0542 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限は前期:4月2日(木)まで、後期:9月16日(水)までとします。
 ※所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

所属大学の窓口にて所定の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください。

対面授業科目を履修する方

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。また、講義室の場所等の説明も行いますので、初回は時間の余裕を持って教学・アドミッション課窓口まで来てください。

- ① 学生便覧
- ② 授業時間割表
- ③ シラバス(該当科目)
- ④ 学生証(単位互換履修生証)
- ⑤ 図書館案内

・ 施設利用

中国学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・学食等が利用可能です。
 図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.cjc.ac.jp/campuslife/syllabus.html>
 (中国学園大学・中国短期大学HP →Web シラバス)

・対面授業科目

| | | | |
|--|-----|---------------|-----|
| 対面授業 | | 14001 | |
| 授業科目名:フードコーディネート論 | | 担当教員氏名: 山崎 真未 | |
| Food Coordinate | | | |
| 1～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ |
| <p>【授業の目的】 授業概要:フードコーディネーターとは、『新しい食の「ブランド」「トレンド」を作る, 食の「開発」「出演」「運営」のクリエイター』と定義されている。そこで本講義では, 料理を提供する場面で快適な食事ができるための料理・メニュー・食卓・食空間を含めた食(フード)のコーディネートについて講義する。</p> <p>【到達目標】 本講義では, レストランやファストフードをはじめとする外食産業のオープニングからメニュープランニング, ビジネス展開の計画まで, さらに, 料理を盛り付ける食器や, テーブルクロス, 照明や色彩など快適な食空間をトータルにコーディネートできる力を身につける。 なお, 本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち, <知識・理解><態度>の修得に貢献する。</p> | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フードコーディネートとは 2. 文化(食文化)「食の歴史と文化と風土」～日本料理～ 3. 文化(食文化)「食の歴史と文化と風土」～歴と旬～ 4. 文化(食文化)「食の歴史と文化と風土」～外国の食事～ 5. 文化(食文化)「食の歴史と文化と風土」～食品・食材の知識～ 6. 科学(健康と栄養と安全)～厨房の基礎知識～ 7. デザイン・アート(食環境デザインと芸術的創造性)～食空間のあり方と内装デザイン～ 8. デザイン・アート(食環境デザインと芸術的創造性)～照明計画～ 9. デザイン・アート(食環境デザインと芸術的創造性)～食空間とテーブルコーディネート(洋食)～ 10. デザイン・アート(食環境デザインと芸術的創造性)～食空間とテーブルコーディネート(和食)～ 11. デザイン・アート(食環境デザインと芸術的創造性)～食空間とテーブルコーディネート(中国料理)～ 12. デザイン・アート(食環境デザインと芸術的創造性)～カラーコーディネート～ 13. デザイン・アート(食環境デザインと芸術的創造性)～テーブルマナーとサービス～ 14. 経済・経営(経済的概念と食関連事業経営実務)～フードマネジメント～ 15. 経済・経営(経済的概念と食関連事業経営実務)～食の企画・構成・演出の流れ～ | | | |
| <p>【テキスト】 書名:新・フードコーディネーター教本／著者名:特定非営利活動法人日本フードコーディネーター協会／出版社:柴田書店</p> | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。</p> <p>・定期試験(100%) 最終的な理解度を評価する。</p> | | | |

| | | | | | |
|---|-----|----|----------------|--|--|
| 対面授業 | | | 14002 | | |
| 授業科目名:食生活論 | | | 担当教員氏名: 藤原 三保子 | | |
| Food and Health | | | | | |
| 1～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | | |
| <p>【授業の目的】 授業概要: 栄養・食に関わる専門職(管理栄養士・栄養士・栄養教諭 等)になるための専門教科を学修するに先立ち、人間にとって「食生活」とは何かを包括的に捉え考えるための入門編の科目である。食の成り立ち、食と環境の関わり、食文化、健康的な食生活、食育の推進について等を講義する。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活の歴史や文化と共に現状の課題について理解できるようになる。 ・食育の推進を担う食の専門家として、今後の食文化の形成に関わっていることを理解できるようになる。 ・自身の食生活に興味・関心をもち見直し、より健康的な食生活を営む知識と能力を身に付けることができるようになる。 ・食の専門家を目指す学生として、食育の推進について理解し考えることができるようになる。 <p>なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉〈思考・問題解決能力〉の修得に貢献する。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食生活の概念 食生活の概念を知り、理解する。 2. 世界の食生活史(1)DVD「食の文明と未来」 世界の食生活史について知り、理解する。 3. 世界の食生活史(2)DVD「日本と世界の食文化」/日本の食生活史 日本と世界の食文化について知り、理解する。 4. 日本の食文化(1)DVD「かつおだし」 和食のうま味について知り、理解する。 5. 味覚・うま味の科学 DVD「おいしさの科学 味覚研究の最先端2・3」 味覚・おいしさについて知り、理解する。 6. 日本の食文化(2) 日本の食文化、お茶の伝来について理解する。 7. 日本の食生活の変遷(1) 近現代における日本の食生活の変化について知り、理解する。 8. 食生活と安全(1) 環境と食の安全について知り、理解する。 9. 日本の食生活の変遷(2) 日本の学校給食の歴史、世界の学校給食、栄養教諭の創設と学校給食法について知り、理解する。 10. ライフステージに応じた食育(1)妊娠前～授乳期・乳児期・幼児期 それぞれのライフステージに応じた食育の指針について知り、理解する。 11. 食生活と安全(2)食物アレルギー 食の現代的な諸課題を知り、理解を深め考えることができる。 12. ライフステージに応じた食育(2)学童期～高齢期 学校教育と食育、朝食の大切さを知り、食生活を考えることができる。 13. ライフステージに応じた食育(3)壮年期 DVD「やさしい栄養学 健康と栄養」 生活習慣病の特徴について知り、壮年期の食生活と健康のつながりについて理解を深める。 14. ライフステージに応じた食育(4)高齢期 高齢期の健康について考える。 これからの食育(1)災害時に向けた食育とSDGS 災害時に備える食の意識を高め、栄養士としての知識を深める。 15. これからの食育(2)情報化社会における食育 まとめ 食の専門家である栄養士を目指す者として、これからの食育の推進について考える。 | | | | | |

【テキスト】

書名:食文化論／食育・食生活論(栄養科学シリーズ NEXT 食べ物と健康)／
著者名:濱口郁枝・富田圭子・小野真実 編／出版社:講談社

【参考図書】

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

- ・**授業への取り組みの姿勢／態度(10%)**
意欲的な受講態度, 発表
- ・**定期試験(60%)**
最終的な理解度を評価する。
- ・**その他(30%)**
提出物

| | | | | |
|---|-----|----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 14003 |
| 授業科目名:心理学 | | | 担当教員氏名: 國田 祥子 | |
| Psychology | | | | |
| 1～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 授業概要:この授業では、心理学全般の基本的な知識、心理学理論による人間理解とその技法の基礎について解説する。</p> <p>【到達目標】 クリティカルシンキングやクリエイティブシンキングなどの心理学的思考法を身につけることを目的とする。 なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉〈思考・問題解決能力〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学とは 「不思議」とされる現象を題材に、人の心のしくみについて長年研究を積み重ねてきた心理学の概要を紹介する。 2. 予知体験の不思議 「予知」「予言」と呼ばれる現象はなぜ起こるのか、推論のプロセスから解説する。 3. 記憶の不思議 「存在しない記憶」を確信を持って思い出してしまうのはなぜ？ 不思議な記憶のメカニズムについて解説する。 4. 影響されるころ 意見や態度は変容するものである。しかし「影響されやすい」状況やその特徴を知っておくことは重要かもしれない。 5. 揺れうごくころ 感情が私たちの生活の中でどのような働きをするのか、悪徳商法や、心身に良いとされるものを例に考える。 6. 検査で「自分」がわかるのか ネットや雑誌などで目にする「心理テスト」はあてになる？ 本物の「心理検査」「パーソナリティ測定」とは。 7. 占い・新宗教がもつ現代的意味 占いなどのスピリチュアルな世界に魅力を感じる人は多い。その心理を、背景にある悩みや迷いから紐解いていく。 8. 中間のまとめ 第1回～第7回の内容を振り返り、理解を確認する。 9. 子どもから見た現実と想像の世界 さっきまで鬼を怖がって逃げていた子が、今度は鬼の面を付けて「鬼さん」に変身！子どもたちが世界をどう捉えているのか考える。 10. 「もしかして……」と揺れ動く心の発達 「本当はいない」と分かっているにもかかわらず「いるかもしれない」と思うオバケへの恐怖。想像と現実を行き来する子どもの心を考える。 11. 不思議現象に立ち向かう子どもたち 子どもたちは想像の世界に積極的に立ち向かうことで、現実を探求するように。「科学する心」の始まりを解説する。 12. 脳とこころの不思議な世界 「金縛り」や「幻覚」はなぜ起こるのか。脳神経系の生理的変化から説明できる心の活動について解説する。 13. 科学的に検証するとはどういうことか 目に見えない「心」の存在やその活動を科学的に捉えるには、厳密な実験計画と統計的検定が重要。 14. 心理学を学ぶ人のために 分かりやすくもないし簡単でもない、意外と地味な心理学だからこそ学べる「面白さ」。 | | | | |

15. 期末のまとめ

第 9 回～第 14 回の内容を振り返り, 理解を確認する。

【テキスト】

【参考図書】

書名: 不思議現象 なぜ信じるのか こころの科学入門／著者名: 菊地 聡・谷口高士・宮元博章(編著)／出版社: 北大路書房

書名: 不思議現象 子どもの心と教育／著者名: 菊地 聡・木下孝司(編著)／出版社: 北大路書房

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

・定期試験(100%)

理解度を評価する。

| | | | | |
|--|-----|----|--------------|-------|
| 対面授業 | | | | 14004 |
| 授業科目名：自然科学概論 | | | 担当教員氏名：清水 憲志 | |
| Introduction to Natural Sciences | | | | |
| 1～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 授業概要：私たちの日常の関わりの中から，自然を概観する授業を行う。ネイチャーゲームを中心としながら，自然の意義，価値を捉えなおす。その気づきを言語化・可視化する中で日本ならではの季節に起因する自然の豊かさを知る。</p> <p>【到達目標】 私たちの身のまわり，日常の中にある自然に対する向き合い方や捉え方等を再考することを目指す。なお，本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち，〈知識・理解〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然案内人とは ネイチャーゲームを体験してみよう。 2. 身近な自然を見つけよう 大学内を散策して，色々な不思議に気づこう。 3. 泥団子を作ってみよう 泥団子を作って楽しもう。 4. 泥団子を極めよう 泥団子の理論を理解して，実践してみよう。 5. 視覚を塞いで気づく世界とは 視覚を使わずに過ごすことで，感じられるものを体験してみよう。 6. 自然物を使って遊ぶことで，細やかな気づきを意識しよう 落ち葉や石を使いながら，それぞれの良さに気づこう。 7. 自然を色々な形で味わい表現してみよう 自然の音を感じたり，その日ならではの景色を描いたりして身近な場所から再発見しよう。 8. 自然環境と子どもの育ち 自然について理解し，子どもの育ちに与える影響を理解する。 9. 自分と似ている自然とは？ 自分を自然に例えることで，自然を身近に捉えよう。 10. 自然から感じたことを言語化しよう 自然から感じたことをありのままに表現すると共に他者の言葉を受けいれて感性を広げる。 11. 自然物の特徴に気付こう 触感や視覚を頼りに色々な特徴に気づこう。 12. オリジナルノーズを描こう 自分だけのノーズを使って，自然への知識を深めよう。 13. 色水遊びをしてみよう 多様な色が持つ不思議を再現してみよう。 14. 自然の中での擬態するものとは 見えるようで，見えない視点を意識的に使ってみよう。 15. 自然を感じて遊ぶとはいかなることか 授業全体の振り返りと社会的事象を踏まえながら自然との共生を考える。 | | | | |
| 【テキスト】 適時資料を配布します。 | | | | |
| 【参考図書】ネイチャーゲームリーダーハンドブック理論編 日本シェアリングネイチャー協会発刊 | | | | |

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

・**授業への取り組みの姿勢／態度(20%)**

意欲的な受講態度, 実習・討議等への参加度等によって評価する。

・**小レポート(30%)**

授業毎に振り返りペーパーの内容について評価する。

・**定期試験(50%)**

最終的な理解度を評価する。

| | | | | |
|--|-----|----|---------------|--|
| 対面授業 | | | 14005 | |
| 授業科目名: 英語プレゼンテーション | | | 担当教員氏名: 藤代 昇文 | |
| English Presentation | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 授業概要: 事前に配布された新聞記事やニュースを読んだり聞いたりして的確に理解する力の養成に努め、学んだり経験したことに基づいて、その情報や自分の考え方をまとめて発表する演習を行う。また、発表された情報や提案を聞いたり読んだりして、自己の立場に基づいて質問したり意見を述べたりする活動を行う。</p> <p>【到達目標】 英語を通して、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながらまとまりのある情報や提案を分かり易く伝える能力を養う。また、英語を通して、発表された情報や提案を的確に理解し、自己の立場に基づいて質問したり意見を述べたりする能力を養う。 なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈思考・問題解決能力〉〈技能〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意味を知る: 英語によるプレゼンテーションとは 「プレゼンテーション」の意味等の基礎知識について解説。 プレゼンテーション5つの目的分類、プレゼンテーションとスピーチの違いなどについて解説する。 2. 対象と目的を意識する: プレゼンテーションは何のために誰のために 目的を明確にし、必要な事前分析を行うことの必要性について解説する。 3. 大切な要素を知る: プレゼンテーション成功のための3要素 「伝える方法」「伝える内容」「伝える順序」について解説する。 プレゼンテーション演習準備(グループ): 発明品 4. 方法を考える: 伝えたいことをいかに伝えるか 伝達手段と伝える技術(言語と非言語による伝達, 表現方法), 違いを生み出すデリバリー技術について解説する。 プレゼンテーション演習準備(グループ): 発明品 5. 内容を定める: 何を伝えるかを吟味する テーマに応じてプレゼンテーションの内容を決定する。 グループ・ペアでの議論の仕方: ブレインストーミング・KJ法について解説する。 プレゼンテーション演習準備(グループ): 発明品 6. 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう①(グループ発表) 各グループの発明品についてプレゼンテーションを行う。 相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。 7. 構成を考える: いかに分かりやすく伝えるか 分かりやすい話の組み立て方(「導入」⇒「本論」⇒「結論」)について解説 プレゼンテーション演習準備(個別): 身近な話題・関心のある事 8. 磨きをかける: 改善のための方法 動画を用いた振り返りとメタ認知について解説。 プレゼンテーション演習準備(個別): 身近な話題・関心のある事 9. 評価する: プレゼンテーション評価の規準 評価者の目で自分のプレゼンテーションを見直すこと, 他人のプレゼンテーションを評価の観点から見る必要性について解説。 プレゼンテーション演習準備(個別): 身近な話題・関心のある事 10. 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう②(個人発表1: 前半) 身近な話題・関心のある事について各個人別に全体発表を行う。 発表の様子を動画で振り返り, 相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。 11. 実際に英語プレゼンテーションをしてみよう②(個人発表2: 後半) 身近な話題・関心のある事について各個人別に全体発表を行う。 | | | | |

発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。

12. **プレゼンテーションのテーマについて英語でディスカッションしてみよう1**

グループで地元について英語で話し合い、英語でレポートする。

英語のプレゼンテーション動画を真似してみよう

TEDの中から1つ動画を選び真似て発表する練習する。

プレゼンテーション演習準備(個別):社会的な課題について

13. **プレゼンテーションのテーマについて英語でディスカッションしてみよう2**

グループで好きな音楽について英語で話し合い、英語でレポートする。

英語のプレゼンテーション動画を真似してみよう

TEDの中から1つ動画を選び真似て発表する練習する。

プレゼンテーション演習準備(個別):社会的な課題について

14. **実際に英語プレゼンテーションをしてみよう③(個人発表1:前半)**

社会的な課題について各個人別に全体発表を行う。

発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。

15. **実際に英語プレゼンテーションをしてみよう③(個人発表2:後半)**

社会的な課題について各個人別に全体発表を行う。

発表の様子を動画で振り返り、相互評価及び教師によるコメントにより修正すべき点を確認する。

【テキスト】

書名:英語プレゼンのトリセツ/著者名:藤代昇丈/出版社:日本橋出版

【参考図書】

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

・**授業への取り組みの姿勢/態度(30%)**

意欲的な受講態度、予習の状況及び授業への貢献度を評価する。

・**レポート(30%)**

課題のテーマについて適切にまとめてあるかを評価する。課題提出後の授業で、グループワークを通して発表及び相互評価を行い、内容についてコメントし、フィードバックを行う。

・**その他(40%)**

積極的に自分の考えをプレゼン発表できるかを評価する。

| | | | | |
|--|-----|----|----------------|-------|
| 対面授業 | | | | 14006 |
| 授業科目名:現代ビジネス論 | | | 担当教員氏名: 佐々木 公之 | |
| Contemporary Business | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 授業概要:「ビジネス実務士」資格取得のための必修科目である本講義では、組織におけるビジネス実務の概念について基本的な知識、およびビジネス活動の進め方について学んでいく。また、実社会において必要とされる「社会人基礎力」の習得を図り、その力を発揮し応用するレベルまでスキルアップを目指す。ビジネスの基本知識と現代マーケティング理論を習得しながらキャリア形成を考えていく。</p> <p>【到達目標】 「ビジネス概念」「ビジネスの推進力・能力開発」「ビジネス実務の基本的技術等」を身に付け、ケーススタディー等を通じてビジネスの総合的な知識を高め、論理的思考にて判断できる力を養う。 なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、＜思考・問題解決能力＞の修得に貢献する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代ビジネスの現状と傾向 2. 現代マーケティング戦略を学ぶ(1) 3. 現代マーケティング戦略を学ぶ(2) 4. 企業の経営戦略(1) 5. 企業の経営戦略(2)実践事例 6. 企業の経営戦略(3)ケーススタディー 7. 企業の経営戦略(4)ケーススタディー 8. 企業の事業戦略(1)サービス・マーケティング 9. 企業の事業戦略(2)実践事例 10. 企業の事業戦略(3)ケーススタディー 11. 企業の事業戦略(4)ケーススタディー 12. 現代ビジネスの分析(1) 13. 現代ビジネスの分析(2) 14. 現代ビジネスの分析(3)ケーススタディー 15. 現代ビジネスの分析(4)ケーススタディー | | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| <p>【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みの姿勢／態度(30%) 意欲的な授業態度、授業への貢献度を評価する。 ・定期試験(70%) プロジェクトマネジメントを通じて各テーマの主要ポイントを評価する。 | | | | |

| | | | | | |
|--|-----|----|--------------|--|--|
| 対面授業 | | | 14007 | | |
| 授業科目名:マーケティング論 | | | 担当教員氏名: 宋 娘沃 | | |
| Marketing | | | | | |
| 2～4年次 | 2単位 | 前期 | 1コマ | | |
| <p>【授業の目的】 授業概要:市場では消費者の好みやライフスタイルがますます多様化し、個別化している。マーケティングは単に作った製品を販売するだけではなく、売れる製品をいかにして作るかが求められている。そのためには、消費者のニーズを明確に捉え、それに見合った新製品を開発することが重要な戦略となっている。マーケティングはこうした製品をどのようにターゲット市場に細分化し、宣伝、広告、流通チャネルまでトータルに捉えていくのかが必要不可欠である。本講義では、企業が提供する商品やサービスをどのように消費者に結びつけ購買行動を促進するのか、企業と消費者行動との関係性、いかにしてブランドの構築を行っているのかを考察する。講義では、具体的な企業の事例を取り上げ、今日のマーケティングの考え方や技法を明らかにする。</p> <p>【到達目標】 ・マーケティングに関する基礎知識が修得できる。 ・企業のブランド力や商品やサービスが市場で販売されるまでのプロセスが理解できる。 ・実際の企業のマーケティング戦略を学ぶことによって、実務的な学習能力を培うことができる。 なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉〈思考・問題解決能力〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マーケティングとは マーケティングが登場したのは、19世紀から20世紀初頭のアメリカの大量生産技術や大規模生産技術がさまざまな産業で導入された。 マーケティング登場の歴史的な変遷を学習する。 2. マーケティングミックス マーケティング戦略は市場環境や競争環境といった外部環境を正確に把握することが必要不可欠である。マーケティングの標的市場と市場細分化について理解する。 3. 競争環境・競争要因 企業の外部環境の分析は、市場の競争要因を把握することである。競争構造によって、マーケティング戦略は異なるが、自社の経営資源分析とは何かを学習する。 4. 競争対抗戦略と市場環境 競争対抗戦略の類型は市場環境に適合するリーダー企業のマーケティング戦略がどのように構築されているのか。 5. 市場環境と消費者行動の捉え方 市場における消費者の購買意思決定過程を理解する。 6. 顧客志向のマーケティング 市場で販売されている商品やサービスは顧客志向に合致しているのか、売手としての企業側の利潤だけに求められているのか。買い手と売り手との競争要因を学習する。 7. 製品ライフサイクル 市場で販売されている商品やサービスは大半製品寿命によって変化する。 市場での商品のライフサイクルはどのように変化していくのか。 8. 流通環境と中間業者の役割 商品が市場で販売されるまで、どのような流通経路をたどっていくのか。 中間業者の流通機能、流通系列化、取引の効率化について学習する。 9. 消費者行動とマーケティング 今日のインターネット時代における消費者行動はどのように変化しているのか。 10. 市場環境と購買意思決定の変容 消費者行動の意思決定過程や代替案評価過程はどのようなものかを理解する。 11. ブランド構築の基礎 なぜブランドを構築するのか。何をブランド化するのか。顧客接点型商品ブランドとは何か。 12. マーケティング・レベルのブランド戦略 フォーカス顧客戦略とブランド価値のプロポジション、差別化ポイント | | | | | |

13. **価格設定のマーケティング**

価格規定要因としての費用, 価格規定要因としての需要, 競合品・代替品の中での価格設定はどのように構築されるのか。

14. **プロモーション政策**

プロモーション活動の役割, プロモーションの手段, プロモーションミックス

15. **デジタル時代のマーケティング戦略**

情報過剰と消費者, 社会とユーザーからみたブランドの変化, 企業側からみたブランドの変化

【テキスト】

書名: 入門・マーケティング戦略 / 著者名: 池尾恭一 / 出版社: 有斐閣

【参考図書】

書名: 1からのマーケティング / 著者名: 石井淳蔵・廣田章光編 / 出版社: 中央経済社

書名: マーケティング・コンセプト / 著者名: フィリップ・コトラー著 恩藏直人監訳 大川修二訳 / 出版社: 東洋経済新報社

書名: ベーシック・マーケティング / 著者名: 日本マーケティング協会監修 恩藏直人・三浦俊彦・芳賀康浩・坂下玄哲編 / 出版社: 同文館出版

書名: ブランド戦略 ケースブック 2.0 / 著者名: 田中洋 / 出版社: 同文館出版

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

・**授業への取り組みの姿勢／態度 (20%)**

予習・復習の状況, 講義への意欲や質問, 課題提出について評価する。

・**レポート (30%)**

企業の商品や市場での動向を調べ, マーケティングの実体例をまとめる。提出されたレポートは, 内容のコメントを加えて返却する。

・**小テスト (50%)**

キーワードの理解度, 講義全体の理解度を評価する。

| | | | | |
|---|-----|----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 14008 |
| 授業科目名: カウンセリング論 | | | 担当教員氏名: 平尾 太亮 | |
| Counseling | | | | |
| 3～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 授業概要: カウンセリングに関わる基礎理論を獲得するとともに, ロールプレイや事例検討を通して, カウンセリングに関する技術の修得を目的とする。</p> <p>【到達目標】 ・カウンセリングの知識について, 基礎的な知識を獲得する。 ・カウンセリングの基礎的な技法について, 実際の場面で使うことができる。 なお, 本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち, <態度>の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングとは? 2. カウンセリングの理論 1: 精神分析療法 精神分析的な考え方について学ぶ。 3. カウンセリングの理論 2: 認知行動療法, 論理療法 行動論的な考え方について学ぶ。 4. カウンセリングの理論 3: 自己理論 自己理論的な考え方について学ぶ。 5. カウンセリング・マインドについて 専門職におけるカウンセリング・マインドとは何か?について考え, 獲得できるようになる。 6. カウンセリングのすすめ方 1: インテーク面接 インテーク面接について学ぶ, 進め方の実際を知る。 7. カウンセリングのすすめ方 2: アセスメント 1 アセスメントについて学ぶ。 8. カウンセリングのすすめ方 3: アセスメント 2 様々なアセスメント方法について学び, 体験する。 9. カウンセリングのすすめ方 4: 介入と終結 介入と集結方法について学ぶ。 10. カウンセリングにおける具体的なテクニック 1: 相づち, 反射, 開いた質問, 閉じた質問 実際のカウンセリングを通して, 具体的なテクニックについて学びを深める。 11. カウンセリングにおける具体的なテクニック 2: 要約, 明確化 具体的なテクニックについて学びを深める。 12. 事例検討 1 様々な事例を通して, カウンセリングの実際を知る。 13. 事例検討 2 様々な事例を通して, カウンセリングの実際を知る。 14. ロールプレイ 実際にカウンセリングを体験してみる。 15. まとめ <p>【テキスト】</p> <p>【参考図書】</p> <p>【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みの姿勢/態度 (20%) 授業に積極的に参加し, 意見や疑問を表現することができる。 ・レポート (30%) 全講義終了後, カウンセリングにおける知識と視点をふまえて総合的に論じることができる。 次回授業時にフィードバックを行う。 ・その他 (50%) 事例検討 (30%) やロールプレイ (20%) に積極的に参加し, 意見を出すことができる。 | | | | |

| | | | | | |
|---|-----|----|---------------|--|--|
| 対面授業 | | | 14009 | | |
| 授業科目名: 現代環境論 | | | 担当教員氏名: 小築 康弘 | | |
| Introduction to Contemporary Environmental Issues | | | | | |
| 1～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | | |
| <p>【授業の目的】 授業概要: 本授業は、現代社会における環境問題を、私たちの身近な生活や社会との関わりの中で理解することを目的とする。環境問題を、自然環境の悪化や自然保護の問題としてだけ捉えるのではなく、日常の暮らし方、消費行動、社会の仕組みと密接に関係する課題として考えることを重視する。環境問題は自然だけの問題ではなく、人間の生活や経済活動、社会の成り立ちと深く結びついていることを踏まえ、個々の問題を断片的に覚えるのではなく、全体像を捉えるための基礎的な考え方を身につけることを目指す。</p> <p>【到達目標】 ・現代における環境問題について、基礎的な内容と全体像を理解している。 ・環境問題を自分自身の生活や社会の在り方と結びつけて考え、自分の言葉で説明できる。 なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> イントロダクション: 環境問題のイロハ 環境問題とは何を指すのかを整理し、自然保護との違いや、なぜ現代社会で重要な課題となっているのかを概観する。 人間と環境の関係の変化 人間の生活様式が歴史的にどのように変化し、それに伴って環境への影響がどのように拡大してきたのかを理解する。 人口増加と環境問題 世界人口の増加が、食料・水・資源などの環境問題とどのように結びついているのかを考える。 資源は無限ではない: 資源問題の基礎 私たちが利用している資源の種類と特徴を整理し、資源の有限性について理解する。 エネルギー問題の基本構造 化石燃料、原子力、再生可能エネルギーの特徴を比較し、エネルギー選択の難しさを学ぶ。 地球温暖化①: 何が起きているのか 地球温暖化の基本的な仕組みを押さえ、なぜ問題視されているのかを理解する。 地球温暖化②: 社会と生活への影響 気候変動が自然災害や人々の生活、将来世代に与える影響について考察する。 ごみ問題とリサイクルの現実 ごみがどのように処理されているのかを知り、リサイクルの役割と限界を理解する。 プラスチック問題を考える プラスチックの利便性と環境への影響を整理し、私たちの使い方を見直す。 生物多様性と環境 生物多様性の意味を理解し、生き物の減少が人間社会に与える影響を考える。 環境問題と経済・ビジネス 環境と経済の関係を整理し、環境に配慮したビジネスや消費行動について考える。 環境問題と国際社会 環境問題が国境を越える課題であることを理解し、国際協力の難しさを学ぶ。 子どもと環境: 次世代への視点 子どもの生活環境や環境教育の重要性を通して、次世代に何を伝えるべきかを考える。 私たちにできる環境への関わり方 個人の行動が持つ意味を整理し、無理なく続けられる環境配慮のあり方を考察する。 まとめ: 現代環境論を振り返る 授業全体を振り返り、環境問題を多面的に捉える視点と、考え続ける姿勢を確認する。 <p>【テキスト】</p> | | | | | |

【参考図書】

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

・**小テスト(30%)**

各回の授業の最後に実施し、当日の授業内容の理解度を確認する。基本的な用語や概念、授業で扱った内容を中心とする。テストは採点し次第、速やかに返却する。

・**レポート(14%)**

次回授業のテーマに関連して、事前のイメージや考え、疑問点などを記述する。調査や専門的知識の正確さよりも、自分の言葉で考えを表現しているかを重視する。レポートは採点し次第、速やかに返却する。

・**期末試験(56%)**

授業全体を通して扱った内容について、環境問題をどのように理解しているかを確認する。単なる暗記ではなく、授業で学んだ内容を踏まえて説明できるかを評価する。

| | | | | | |
|--|-----|----|---------------|--|--|
| 対面授業 | | | 14010 | | |
| 授業科目名: 英語科教育法 | | | 担当教員氏名: 西田 寛子 | | |
| Teaching Methods for Elementary School English | | | | | |
| 2～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | | |
| <p>【授業の目的】 授業概要: 小学校英語の授業実践に必要な知識・技術を習得するために、事前にテキストを熟読してそのポイントについてまとめ、授業ではそれを指導に生かす具体的な方法についてディスカッションを通して考案する。また、授業づくりに必要な基本的な指導技術を身に付けるために、実際の授業観察や分析を行ったり、指導教員による授業を児童の立場で体験したりする。さらに、教師の立場で模擬授業を行い、省察・指導の改善を行うことにより、理論と実践の往還・統合を図る。</p> <p>【到達目標】 ・小学校外国語教育に係る背景知識や主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解する。 ・児童期の第二言語習得の特徴を理解し、模擬授業における指導に生かすことができる。 ・実践に必要な基本的な指導技術と実際の授業づくりに必要な知識・技術を身に付ける。 本科目は、ディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉〈技能〉〈態度〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ・イントロダクション: 講座の目標・内容・評価方法を確認する。 ・小学校外国語教育導入の背景・変遷、外国語活動・外国語科、小・中・高等学校の外国語科の目標、内容について理解する。 ・小・中・高等学校の連携と小学校の役割について理解する。 (授業ビデオ視聴とグループディスカッション) ・主教材の趣旨、構成、特徴について理解する。 (グループディスカッションで互いの気づきを共有する。) ・様々な指導環境に柔軟に対応するため、児童や学校の多様性について、基礎的な事柄を理解する。 ・言語使用を通して言語を習得することについて、授業体験を通して理解する。 ・音声によるインプットの内容の類推から理解への進むプロセスを経ることを、授業体験を通して理解する。 (上記の理解を踏まえた具体的な指導法について、ディスカッションを通して考案し、模擬授業に生かす。) ・児童の発達段階を踏まえた音声によるインプットの在り方について理解する。 ・コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて意味のあるやり取りを行う重要性について、授業体験を通して理解する。 (上記の理解を踏まえた具体的な指導法について、ディスカッションを通して考案し、模擬授業に生かす。) ・受信から発信、音声から文字へ進むプロセスを理解する。 ・国語教育との連携等による言葉の面白さや豊かさへの気づきについて理解する。 ・文字言語との出合わせ方、読む活動・書く活動への導き方について理解する。 (上記の理解を踏まえた具体的な指導法について、ディスカッションを通して考案し、模擬授業に生かす。) ・児童の発話につながるよう、効果的に英語で語りかける。 ・児童の英語での発話を引き出し、児童とのやり取りを進める。 (授業場面を設定し、マイクロティーチングで上記の活動を行う。Classroom English, Small Talk, Teacher Talk の練習をする。) ・ALT/JTE 等とのチームティーチングによる指導の在り方について授業体験の中で理解する。 (授業場面を設定し、マイクロティーチングで上記の活動を行う。Classroom English, Small Talk, Teacher Talk の練習をする。) ・ICT 等の効果的な活用の仕方について理解し、活用法を考案する。また、デジタル教科書を指導に活用する。 (上記の理解を踏まえた具体的な指導法について、ディスカッションを通して考案し、模擬授業に生かす。) | | | | | |

9. ・学習状況の評価(パフォーマンス評価や学習到達目標の活用を含む)について理解する。
(上記の理解を踏まえた具体的な指導法について、ディスカッションを通して考案し、
模擬授業に生かす。)
10. ・小学校での授業参観・分析や児童支援を通して、自身の授業構想・教材作成につなげる。
(小学校での学外授業は、日程変更となる場合があるが、その際は事前に連絡をする。)
11. ・題材選定、教材研究の仕方について理解する。
・模擬授業に向けて、適切に題材選定、教材研究を行う。
12. ・学習到達目標に基づいた指導計画(年間指導計画、単元計画、学習指導案、短時間学習等の
授業時間の設定を含めたカリキュラム・マネジメント等)について理解する。
・模擬授業に向けた学習指導案を立案する。
13. ・マイクロティーチング①:これまでの授業における知識・理解に基づき、模擬授業、省察、指導の
改善を行う。
14. ・マイクロティーチング②:これまでの授業における知識・理解に基づき、模擬授業、省察、指導の
改善を行う。
15. ・講座全体のまとめ、省察を行い、今後の指導の改善に向けて協議する。

【テキスト】

- ・書名:小学校英語はじめる教科書(改訂第3版)外国語科・外国語活動指導者養成のために-コア・
カリキュラムに沿って/著者名:小川隆夫・東仁美/出版社:mpi
- ・書名:Crown Jr. 5/著者名:酒井英樹 ほか/出版社:三省堂
- ・書名:Crown Jr. 6/著者名:酒井英樹 ほか/出版社:三省堂
- ・書名:Let's Try!1/著者名:文部科学省/出版社:東京書籍
- ・書名:Let's Try!2/著者名:文部科学省/出版社:東京書籍
- ・小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 外国語活動・外国語編/編著者名:文部科学省/
出版社:開隆堂出版

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

・授業への取り組みの姿勢/態度(40%)

授業中のディスカッション、模擬授業実践・省察・指導の改善における意欲的な態度ならびに
自律的な学びの姿勢(予習・復習)を評価する。<態度>

・レポート(40%)

理論と実践の往還を図りながら考えたことの記述内容や、指導計画(学習指導案等)、指導実践の
省察を評価する。<知識・理解>

*レポートについてはコメントを記入して返却するとともに、良い例はクラス全体に紹介する。

・授業実践の技能(20%)

授業づくり、模擬授業実践における技能を評価する。<技能>

| | | | | | |
|---|-----|----|--------------|--|--|
| 対面授業 | | | 14011 | | |
| 授業科目名:ブランド戦略論 | | | 担当教員氏名: 宋 娘沃 | | |
| Brand Starategy | | | | | |
| 3~4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | | |
| <p>【授業の目的】 授業概要:わたしたちの生活において、ブランドへの関心が年々高まったのは1980年代から1990年代の初めにかけてである。今日ブランドへの関心や競争はますます高くなり、海外のジャーナルや日本国内にもブランドに関するブランド戦略論やブランド・マネジメントの論評が多くなってきている。ブランドはどのように創られ、それを発展させ持続していくのかが最大限の関心ごとである。ブランドは今日、プライベート・ブランド、地域ブランド、グローバル・ブランドなど異なった領域においてブランドの重要性がより一層認識されるようになってきている。本講義では、前半でブランドの基礎理論やブランドの機能について解説し、後半ではブランド戦略を駆使し、確実したブランド構築を成し遂げている企業の事例を用いて学習する。</p> <p>【到達目標】 ・ブランド戦略に関する基礎理論や歴史が理解できる。 ・企業はどのようにブランド構築に取り組んで、それを持続させているのかが理解できる。 ・事例研究を通じて消費者の観点から価値創出やブランド力行使が理解できるようになる。 なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力のうち、〈知識・理解〉〈思考・問題解決能力〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ブランドの定義 ブランドの語源、商標、ブランドの機能、ブランドの効果と影響力、ブランド・エクイティ 2. ブランドと交換 交換パラダイム、交換価値、信頼財、探索財、等価交換、差異からの価値創出、競争的差異 3. イノベーションとブランド 包装革命とブランド、顧客の創造、新しいパターンの創出、持続的交換関係、ブランド使用 4. ブランド史の構造 ブランドの歴史的構造、近代ブランド、アイデンティティの成立、消費財ブランド、ブランド・マネジメント 5. 統合ブランド戦略の基礎 ブランド戦略、ブランド構築、潜在的可能性、ノンブランド市場、戦略マトリクス 6. 経営レベルのブランド戦略 ブランド・テリトリー、6C分析、経営資源の意思決定、ブランド・アーキテクチャー、ブランド配置 7. マーケティングレベルのブランド戦略 フォーカス顧客、価値の創造、セグメンテーションの困難、ポジショニング 8. 企業ブランド戦略とブランド拡張 企業ブランド、マネジメントの視点、ブランド拡張、動機付け、カテゴリー、パーソナリティ 9. ブランドM&Aとライセンス ブランドの買収、グローバル企業の買収、ブランド買収の効果 10. グローバルブランド戦略 市場と自社の課題、自覚共通化、ブランド保有、マネジメントの課題解決 11. ブランド経験とブランド信頼 ブランド経験価値、ピーク・エンド法則、信頼概念、意図に対する信頼、ブランド意図 12. 食品・飲料ブランドの事例 新ビジネスモデル、ブランド活性化、成熟ブランドの再活性化、市場の転機、競合と自社分析 13. 耐久消費財のブランド戦略(ダイソンとティファールの事例) ブランド革新、サイクロン技術、デザインのカ、人口減少と高齢化、エコロジー志向 14. ツーリズム・ブランド(ハウステンボスの事例) エンターテインメントブランドの再構築、オンリーワン思考、市場対応、失敗に学ぶ、顧客ニーズ 15. BtoBと企業ブランド 成熟産業、事業革新、事業ドメイン、戦略単位の源泉、酸素繊維、市場の需要 | | | | | |

【テキスト】

【参考図書】

書名：ブランド戦略論／著者名：田中洋／出版社：有斐閣

書名：ベーシック・マーケティング／著者名：恩藏直人編著／出版社：同文館出版

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

・授業への取り組みの姿勢／態度，課題作成(30%)

予習や復習の状況，講義への意欲や質問，課題提出などを評価する

・レポート(30%)

提出されたレポートは，きちんと書かれていたかを検討し，内容のコメントを加えて返却する。

・小テスト(40%)

キーワードの理解度，授業全体の理解度を評価する。

| | | | | |
|--|-----|----|-----------------|--|
| 対面授業 | | | 14012 | |
| 授業科目名: 観光英語B | | | 担当教員氏名: 佐々木 真帆美 | |
| Tourism English B | | | | |
| 2～4年次 | 2単位 | 後期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 授業概要: この講義では観光・ホスピタリティの現場で実際に使用される英語表現を学び、訪日外国人旅行者に対して適切かつ柔軟に対応できる実践的な英語運用能力を養うことを目的とする。教科書に基づいた会話練習・リスニング・ロールプレイの他に、日本の観光地や名産品について英語で紹介をする発表を行う。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光・接客場面における基本的な英語表現を理解し使用できる。 2. 交通、宿泊、飲食、観光案内などの場面で適切な英語対応ができる。 3. 日本の文化や習慣を簡潔な英語で説明できる。 4. 日本の観光地・名産品を簡潔な英語で紹介することができる。 <p>なお、本科目はディプロマ・ポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉〈技能〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光英語とホスピタリティ 授業全体の目的・進め方・評価方法を説明する。観光英語とホスピタリティの基本的な考え方について理解する。 2. Unit 1 Transportation 公共交通機関を利用する観光客に対する案内表現を学ぶ。時刻、料金、乗り換え、交通系 IC カードなどの説明練習を行う。 3. Unit 2 At a Check-in Counter (hotel) ホテルのチェックイン場面を想定し、予約確認や基本的な接客英語表現を学ぶ。ロールプレイを通じて実践力を養う。 4. Unit 3 Facilities and Services (hotel) ホテルや施設内の設備・サービスについて説明する英語表現を学ぶ。利用方法や注意事項の伝え方を練習する。 5. Unit 4 Giving Directions 道案内に必要な基本表現を学ぶ。地図やランドマークを用いて分かりやすく説明する練習を行う。 6. Unit 5 Recommending a Trip 観光客の希望に応じて旅行先や観光プランを提案する表現を学ぶ。おすすめ理由を英語で説明する力を養う。 7. 中間発表 これまで学習した表現を参考にしながら、テーマに沿った国内の観光地を1つ選び英語で紹介する。発表後にフィードバックを行う。 8. Unit 6 Dining in Japan ① 相手の要望を理解し、日本の飲食店や料理を提案する表現を学ぶ。食事制限や好みを尋ねる表現を学び、異文化に配慮した対応力を身につける。 9. Unit 7 Dining in Japan ② 日本食を英語で説明する英語表現を学ぶ。海外の料理と比較して説明ができるように、日本料理の特徴や文化的背景を英語で説明できるようにする。 10. Unit 8 Arranging a Tour ツアーの手配やスケジュール説明に必要な英語表現を学ぶ。集合時間や注意事項の伝え方を練習する。 11. Unit 9 Staying at a Ryokan 旅館での滞在を想定し、日本特有の宿泊文化を説明する英語表現を学ぶ。温泉や和室のルールを英語で説明する。 12. Unit 10 Culture Expression in Japan 日本の文化や生活習慣について英語で説明する表現を学ぶ。観光客に向けた分かりやすい説明を意識する。 | | | | |

13. Unit 11 Culture Expression in Japan ②

日本の年中行事や祭, 伝統芸能について英語で説明する表現を学ぶ。文化的背景や意味を踏まえ, 外国人観光客に分かりやすく伝えられるようにする。

14. Unit 12 Japanese Souvenirs

日本のお土産とショッピングの案内の仕方を学ぶ。商品の特徴や意味を英語で説明し, 適切なお土産を提案できるようにする。

15. 期末発表

これまでに学習した表現を用いて, テーマに沿った国内の料理・名産品を1つ選び, 英語で紹介をする。発表後にフィードバックを行う。

【テキスト】

書名: 現場から学ぶ観光英語の実践レッスン / 著者名: 上杉恵美・阿部佳・渭東史江ほか / 出版社: 金星堂

【参考図書】

【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。

・授業への取り組みの姿勢／態度(20%)

意欲的な受講態度, 発表・討議への参加, 予・復習の状況によって評価する。

・小テスト(20%)

毎回授業開始時に前回の授業内容に関する小テストを行う。観光英語に関する理解度を評価する。

・定期試験(30%)

授業全体で学んだ交通, 宿泊, 飲食, 文化紹介などの観光英語について理解度を確認する。暗記中心の試験ではなく, 具体的な場面設定に対して, 授業で学んだ内容を踏まえて英語で説明できるかを評価する。

・その他(30%)

課題のテーマについて調べ適切にまとめ, 自分の考えを英語で具体的に発表できていること。発表のフィードバックは授業時に全体に対して行う。

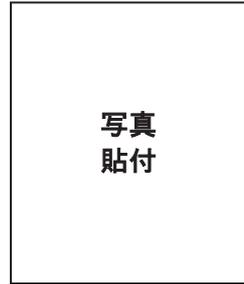
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

中国学園大学長 殿

| | | | | |
|-------------|----|---|---|---|
| 提出日 | 令和 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな 氏 名 | | | | 印 |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|-------------------------------|-----|----------|-------|---|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 年 | | | 学科 | |
| 学生番号 | | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | |
| | | 男・女 | | 昭和・平成 | 年 |
| 現住所 | 〒 - - - - - Tel () - - - - - | | | | |
| メールアドレス | | | | | |

* 履修受付締切日:前期:4月2日(木)まで 後期:9月16日(水)まで

* 区分(教養/専門):開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授 業 科 目 | 区分 | 担当教員 | 単 位 | 開講期 | 配当 学年 | 備 考 | 曜日・時限 | 履修 希望 | 評価 |
|---------------|-------------|----|---------|--------|-----|----------|--------|---------------|----------|----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 14001 | フードコーディネート論 | 専門 | 山崎 真未 | 2 | 前期 | 1~4 | 定員 10名 | 木 14:50~16:20 | | |
| 14002 | 食生活論 | 専門 | 藤原 三保子 | 2 | 前期 | 1~4 | 定員 10名 | 金 11:00~12:30 | | |
| 14003 | 心理学 | 教養 | 國田 祥子 | 2 | 前期 | 1~4 | 定員 10名 | 金 9:20~10:50 | | |
| 14004 | 自然科学概論 | 教養 | 清水 憲志 | 2 | 前期 | 1~4 | 定員 10名 | 月 11:00~12:30 | | |
| 14005 | 英語プレゼンテーション | 専門 | 藤代 昇文 | 2 | 前期 | 3~4 | 定員 10名 | 水 9:20~10:50 | | |
| 14006 | 現代ビジネス論 | 専門 | 佐々木 公之 | 2 | 前期 | 3~4 | 定員 10名 | 水 11:00~12:30 | | |
| 14007 | マーケティング論 | 専門 | 宋 娘沃 | 2 | 前期 | 2~4 | 定員 10名 | 木 13:10~14:40 | | |
| 14008 | カウンセリング論 | 専門 | 平尾 太亮 | 2 | 後期 | 3~4 | 定員 10名 | 水 9:20~10:50 | | |
| 14009 | 現代環境論 | 教養 | 小築 康弘 | 2 | 後期 | 1~4 | 定員 10名 | 火 13:10~14:40 | | |
| 14010 | 英語科教育法 | 専門 | 西田 寛子 | 2 | 後期 | 2~4 | 定員 10名 | 火 13:10~14:40 | | |
| 14011 | ブランド戦略論 | 専門 | 宋 娘沃 | 2 | 後期 | 3~4 | 定員 10名 | 木 11:00~12:30 | | |
| 14012 | 観光英語 B | 専門 | 佐々木 真帆美 | 2 | 後期 | 2~4 | 定員 10名 | 火 11:00~12:30 | | |

| | | | | |
|--|--------------------|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 単位互換科目 履修願用(本紙) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 1 枚 | 1 枚 | 0 枚 | 2 枚 |

・(15)ノートルダム清心女子大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|------------|
| 開講期間 | 1期 | 2026年4月9日 | ～ | 2026年8月7日 |
| | 2期 | 2026年9月18日 | ～ | 2027年1月30日 |
| 試験期間 | 1期 | 2026年7月24日 | ～ | 2026年8月7日 |
| | 2期 | 2027年1月18日 | ～ | 2027年1月30日 |
| 授業時間 | 1限 | 9:00 | ～ | 10:30 |
| | 2限 | 10:45 | ～ | 12:15 |
| | 3限 | 13:00 | ～ | 14:30 |
| | 4限 | 14:45 | ～ | 16:15 |
| | 5限 | 16:30 | ～ | 18:00 |

② アクセス(案内図)

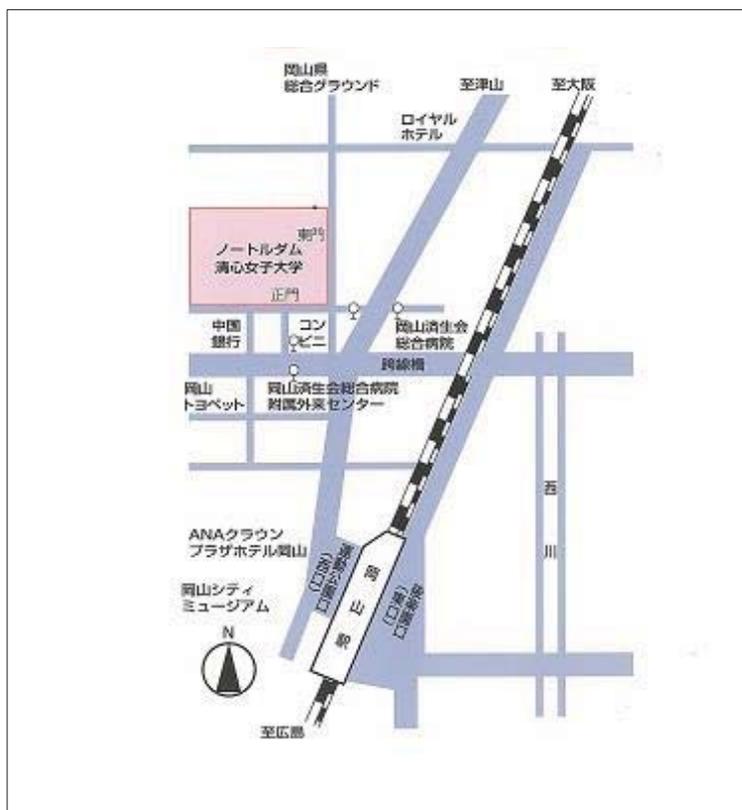
【交通アクセス】

○ JR岡山駅(西口)から北へ徒歩約10分

○ 岡電バス又は中鉄バスのいずれかで

「済生会病院前」下車

○ 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9



③ 担当窓口

| | |
|------|---------------------------|
| 学務部 | |
| 所在地: | 〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9 |
| 電話: | 086-255-5583 |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込期限は、前期:3月31日(火)まで 後期:9月9日(水)までです。なお、お申込みについては、必ず所属大学等のご担当者を通してください。

・ 履修手続

履修者の皆さんへ

1 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、初回授業時に必ず受け取りに来てください。

また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ① 学生便覧
- ② 学内案内図
- ③ 図書館の利用について
- ④ その他 講義関係書類

図書館を利用するためにはライブラリーカードが必要です。附属図書館で申請してください。手続きの際は、学務部よりご案内いたします。

2 自転車通学を希望する場合は、手続きが必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

・ 施設利用

ノートルダム清心女子大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

履修条件等の制限がある科目は、備考欄に記載あり。記載のない科目については、履修条件等の制限はありません。

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.ndsu.ac.jp/department/syllabus.html>

・対面授業科目

| | | | | |
|--|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15001 |
| 授業科目名:キリスト教学Ⅱ | | | 担当教員氏名:岡田 紅理子 | |
| Christian Studies Ⅱ | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】</p> <p>キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。しかし本科目のねらいは、イエスがなぜキリストなのかというよりも、歴史上に実在したイエスという人物について、「史的イエス(ナザレのイエス)」研究を手がかりとして探究することにある。</p> <p>具体的には、イエスが生きた当時の社会、文化、政治的背景を踏まえつつ、「罪人」とかカテゴリーライズされた人々とともに生き、皮肉やユーモアを交えた言葉と具体的な行動によって権力と抑圧に抗った、喜怒哀楽の感情を持つイエスの人間像に迫り、キリスト教の本質を問うていく。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 聖書とは 3. 古代ユダヤ世界 4. イエスが生きた時代 5. 洗礼者ヨハネとの出会い 6. イエスの自立 7. イエスと「罪人」たち 8. イエスが起こした奇跡 9. イエスが説いた神 10. 律法学者たちとイエス 11. イエスが説いた愛と交わり 12. イエスの危機 13. イエスの受難と死、復活 14. ナザレのイエスと信仰のキリスト(ディスカッション) 15. 聖書、イエスの再発見(ディスカッション) | | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p>『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> <p><課題図書></p> <ol style="list-style-type: none"> ① ジョン・ディア『山上の説教を生きる:八福の教えと平和創造』志村真(訳)、新教出版社、2021年 ISBN 978-4400407546 ② 本田哲郎『釜ヶ崎と福音:神は貧しく小さくされた者と共に』岩波書店、2015年 ISBN 978-4006032821 <p><参考書></p> <p>・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門(第3版)』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4</p> <p>*その他は授業時またレジュメにおいて示す。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み態度 20% ・リアクションペーパー 30% ・レポート 50% | | | | |
| <p>【備考欄】</p> <p>本科目は2期開講の「キリスト教学Ⅷ」と内容が重なる。そのため、同科目を履修済みあるいは履修予定の人は、本科目の履修を避けること。</p> | | | | |

| | | | | | |
|--|------|-----|----------------|--|--|
| 対面授業 | | | 15002 | | |
| 授業科目名: キリスト教学 VIII | | | 担当教員氏名: 岡田 紅理子 | | |
| Christian Studies VIII | | | | | |
| 履修年次 1~4 | 2 単位 | 2 期 | 1 コマ | | |
| <p>【授業の目的】 キリスト教の成立と発展の中核にあるのは、イエスという人物を「神の子キリスト(救い主)」とする信仰である。その結果、イエスの死後成立したキリスト教会の内外では、イエスのみならず教会内部での実践を過度に神聖視し、イエスとその教えが果てしなく遠く、一切の疑念を持つてはいけないかのような認識に陥る傾向がある。</p> <p>本科目では、イエスという人物を「ナザレに生きた一人の男」として位置づけなおす一方で、その稀有な生き方と使命感に着目する。そして、現代の文脈にあわせて聖書を読み直し、イエスの言動を通じて、(キリスト者であるか否かに関わらず)人間とはどのような存在なのか、また人間は何を問われているのかについて考察していく。</p> | | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 聖書という書物 3. 古代ユダヤ世界 4. キリスト待望論とイエスの誕生 5. イエスの召命 6. 公生活の開始 7. 「罪人」との出会いと連帯 8. 奇跡といやし 9. 神と人間 10. 律法学者たちへの挑戦 11. 隣人愛とは:愛、ゆるし、交わり 12. イエスに訪れた危機 13. 受難と死 14. それぞれのイエス理解(ディスカッション) 15. 聖書を読み直し、イエスを再発見する(ディスカッション) | | | | | |
| <p>【テキスト】 『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p> | | | | | |
| <p>【参考図書】 <課題図書></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 田川建三『イエスという男 第二版(増補改訂版)』作品社、2021 ISBN 978-4-87893-681-4 ② 本田哲郎『聖書を発見する』岩波書店、2010(2016) ISBN 978-4-00-730440-8 <p><参考書> ・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門(第3版)』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4 *その他は授業時またレジュメにおいて示す。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業への取り組み態度(ディスカッション含む) 20% リアクションペーパー 30% レポート 50%</p> | | | | | |
| <p>【備考欄】 本科目は1期開講の「キリスト教学 II」と内容が重なる。そのため、同科目を履修済みあるいは履修予定の人は、本科目の履修を避けること。</p> | | | | | |

| | | | | |
|---|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15003 |
| 授業科目名:キリスト教学Ⅹ | | | 担当教員氏名:岡田 紅理子 | |
| Christian Studies X | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】</p> <p>キリスト教は社会のなかから生まれ、社会のなかで生きてきた。国家権力と緊密な関係を保っていた時代から、植民地・帝国主義時代や世界大戦をへた変革の時代のなかで、キリスト教が省察してきた人類社会に対する自らの態度、使命はいかなるもので、キリスト教は人類社会になにを訴えてきたのだろうか。</p> <p>本科目では、教皇の公文書である回勅、書簡、勧告のほか、公会議の憲章をはじめとするカトリック教会の諸文書を通じてキリスト教の価値観を学びながら、現代の社会、環境、生命をめぐる倫理的諸問題について学び、考えていく。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. キリスト教が示す倫理 3. 社会①教育と労働 4. 社会②開発と格差、貧困 5. 社会③戦争、暴力と平和 6. 社会④差別と基本的人権 7. 社会⑤他宗教との対話 8. 環境①自然と生きる人間 9. 環境②自然と科学技術 10. 生命①家庭と生殖 11. 生命②医療技術と人間の尊厳 12. 生命③自死 13. 生命④尊厳死と安楽死 14. 生命⑤死刑制度 15. まとめ(ディスカッション) | | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p>『聖書(新共同訳)』もしくは『聖書(聖書協会共同訳)』(いずれも日本聖書協会)</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> <p>教皇フランシスコ『回勅 ラウダート・シ:ともに暮らす家を大切に』カトリック中央協議会、2016年 ISBN 978-4877501990</p> <p>・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ 大学生のための知的技法入門(第3版)』慶應義塾大学出版会、2020 ISBN 978-4-7664-2656-4</p> <p>*その他は授業時またレジュメにおいて示す。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み態度 20% ・リアクションペーパー 40% ・レポート 40% | | | | |
| <p>【備考欄】</p> <p>キリスト教の歴史また信仰についての基本的な知識を必須とするため、履修者にはすでに他のキリスト教学の科目を1つ以上履修済みであることを求める。</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|-----|-------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15004 |
| 授業科目名：英語学・言語学研究IVA | | | 担当教員氏名：齋藤 衛 | |
| Research in English Linguistics IVA | | | | |
| 履修年次 3～4 | 2 単位 | 1 期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 日本語のさまざまな文法現象を取り上げて、英語と対比させながら分析する。取り上げる現象は、基本的な句構造、文法格、主題化、補文構造、接続詞、受動化、使役化などを含む。日英語に見られる共通点と相違点を観察しながら、卒業論文研究で必要となる文法分析の方法を学ぶ。母語の分析を行うので、受講生の積極的な参加が期待される。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語と日本語の特徴 2. 主題と主語化 3. 文法格 (1) 4. 文法格 (2) - 複合動詞の場合 5. 文法格と後置詞 6. 日本語の自由語順 7. 修飾節 8. 補文標識の種類と解釈 (1) 9. 補文標識の種類と解釈 (2) 10. 日英語における「はい」と「いいえ」 11. 再帰代名詞 12. 主題化と主語化再考 13. 日英語の存在文 (1) 14. 日英語の存在文 (2) 15. 総復習 | | | | |
| <p>【テキスト】 毎回、ハンドアウトを配布する。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 齋藤 衛 『生成統語論の成果と課題—極小主義アプローチと比較統語論』 開拓社、2024.</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 レポート (50%) 数回の宿題 (50%)</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

| | | | |
|--|------|--------------|-------|
| 対面授業 | | | 15005 |
| 授業科目名: 英米文学研究 IIIA | | 担当教員氏名: 新野 緑 | |
| Research in British and American Literature IIIA | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1 コマ |
| <p>【授業の目的】</p> <p><『不思議の国のアリス』を読む></p> <p>オックスフォード大学の数学教師ルイス・キャロルが書いた『不思議の国のアリス』(1865)は、当時の児童書としては珍しい<教訓のない物語>である。言葉の意味の二重性や既存の詩のパロディを駆使して、当時の人々に浸透し、現在の私たちもまた共通して持っている常識や価値観に、読者が疑問を持ち、それを覆していくような仕掛けがふんだんに施されている。この物語は決して、子供のためだけの無邪気な冒険物語ではない。物語を精読しながら、ヴィクトリア朝のイギリスの文化や社会のあり方を学ぶと同時に、言葉の孕む様々な不思議を発見することで、社会の常識から自由になって、世界を見る新たな視点を獲得する方法について考えてみたい。</p> | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction: 授業の進め方と作家紹介 2. Chapter 1: 地下の国とは 3. Chapter 1: アリスとは何者か 4. Chapter 2: パロディの意義 5. Chapter 3: イギリスの歴史 6. Chapter 3: 同音異義語の面白さ 7. Chapter 5: 人間のアイデンティティとは何か 8. Chapter 6: チェシャ猫と笑い 9. Chapter 7: 儀礼と意味 10. Chapter 7: 時間とは何か 11. Chapter 9: ウミガメもどきと教育 12. Chapter 9: 言葉の変容 13. Chapter 11&12: 裁判の手順 14. Chapter 12: 夢と現実 15. まとめ・試験 <p>(なお、取り上げる箇所は変更する可能性がある)</p> | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p>Lewis Carroll, <i>Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking-Glass</i> (Penguin Classics, 2003). ISBN-10: 9780141439761</p> | | | |
| <p>【参考図書】</p> <p>教室で適宜紹介する</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言等) 30%</p> <p>学期末試験 70%</p> | | | |
| <p>【備考欄】</p> <p>授業は本学で行います。十分に予習をして臨んでください。</p> | | | |

| | | | |
|--|------|-------------|-------|
| 対面授業 | | | 15006 |
| 授業科目名:英米文学研究 III B | | 担当教員氏名:新野 緑 | |
| Research in British and American Literature III B | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 2 期 | 1コマ |
| <p>【授業の目的】 <肖像画と文学> 肖像画はヨーロッパにおいて上層階級のステイタスを表すものとして貴族やジェントリ ーの屋敷に飾られてきた。18世紀になると、そうした風習は裕福な中産階級にも好ん で取り入れられ、単なる個人の肖像ではなく、親しい友人や家族がグループワークに従 事する「家族の肖像」も流行する。こうした当時の歴史的文化的風潮を受けてか、文学 作品にもさまざまな「肖像画」の描写が導入されて、物語に重要な役割を果たす。18 世紀から19世紀に至るイギリスの演劇、小説、詩に現れる肖像画の描写を取り上げて 全員で精読し、肖像画、あるいは肖像画の描写が作品に果たす意味についてグループデ ィスカッションを通して考えたい。</p> | | | |
| <p>【授業内容】 1. Introduction: 授業の進め方と肖像画の歴史 2. Richard Brinsley Sheridan, <i>The School for Scandal</i> 3. クラスディスカッション 4. Jane Austen, <i>Pride and Prejudice</i> 5. クラスディスカッション 6. William Makepeace Thackeray, <i>Vanity Fair</i> 7. クラスディスカッション 8. George Eliot, <i>Middlemarch</i> 9. クラスディスカッション 10. Robert Browning, "My Last Duchess" 11. クラスディスカッション 12. Oscar Wilde, <i>Picture of Dorian Grey</i> 13. クラスディスカッション 14. Daphne du Maurier, <i>Rebecca</i> 15. まとめ・試験 (なお、取り上げる作品は変更する可能性がある)</p> | | | |
| <p>【テキスト】 プリントを配布する</p> | | | |
| <p>【参考図書】 教室で適宜指示する</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業への積極的参加(レスポンスペーパー、授業での発言、クラスディスカッションの成果等) 30% 学期末試験 70%</p> | | | |
| <p>【備考欄】 授業は本学で行う。十分に予習をして臨んでください。</p> | | | |

| | | | | |
|---|------|-----|---------------|--|
| 対面授業 | | | 15007 | |
| 授業科目名: International Communication IA | | | 担当教員氏名: 桑山 敬己 | |
| | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 文化人類学的異文化研究の基礎を講義する。具体的には、①文化の概念、②文化相対主義、③国民・民族・人種、④フィールドワークについて、まず日本語で説明する。次に、それぞれのテーマについて、英米の大学教員が解説したビデオを見て、英語での表現の仕方を覚える。また、文化人類学者が実際にフィールドで何を体験したかについて、エッセイ集を読みながら学習する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 導入 2 文化人類学とは 3 文化の概念(1) 4 細見「他者像を完成させない」 5 文化の概念(2) 6 川瀬「フィールドに「身を置く」と「わかる」こと」 7 文化相対主義 8 櫻間「フィールドとの「つながり」、フィールドとの「断絶」」 9 国民・民族・人種(1) 10 石田「「わたし」と「あなた」が会う時」 11 国民・民族・人種(2) 12 ボレイコ「五感から異文化を考える」 13 フィールドワーク 14 アン「無」としてのマイノリティ」 15 まとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 人類学者は異文化をどう体験したか、桑山 敬己、ミネルヴァ書房、2500、9784623091621 、冊子版 必携書 桑山敬己・島村則恭・鈴木慎一郎『文化人類学と現代民俗学』風響社 2019年 ISBN 978-4-89489-412-9 その他にアメリカの文化人類学の入門書をプリントで配布する</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業中に行われる 2 回の小テストにパスする(40%)。 教材のエッセイ集の中から 1 つテーマを選んで、自分で収集した参考文献を基に期末レポートを作成する(60%)。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15008 |
| 授業科目名: International Communication IB | | | 担当教員氏名: 桑山 敬己 | |
| | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 2 期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 文化人類学的異文化研究の基礎を講義する。具体的には、アメリカの文化人類学の入門書から、①文化の概念、②文化とコミュニケーション、に関する章をまず解説する。次に、それぞれのテーマについて、英米の大学教員が解説したビデオを見て、英語での表現の仕方を覚える。また、文化人類学者が実際にフィールドで何を体験したかについて、エッセイ集を読みながら学習する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 導入 2 文化人類学とは 3 The idea of culture (1) 4 安念「『当たり前』を問い直す」 5 The idea of culture (2) 6 野口「フィールドで『信頼する』ことと『信頼される』こと」 7 The idea of culture (3) 8 水谷「知らない土地とのつながりを見つける旅」 9 Culture and communication (1) 10 孫「『日本』を追い求めて」 11 Culture and communication (2) 12 呉「国内の異文化体験」 13 Culture and communication (3) 14 川内「無知から愛着へ」 15 まとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 人類学者は異文化をどう体験したか、桑山 敬己、ミネルヴァ書房、2500、9784623091621、冊子版 必携書 桑山敬己・島村恭則・鈴木慎一郎『文化人類学と現代民俗学』風響社 2019年 ISBN 978-4-89489-412-9 その他にアメリカの文化人類学の入門書をプリントで配布する</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業中に行われる2回の小テストにパスする(40%)。 教材のエッセイ集の中から1つテーマを選んで、自分で収集した参考文献を基に期末レポートを作成する(60%)。</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15009 |
| 授業科目名: 古代文学特講 I | | | 担当教員氏名: 東城 敏毅 | |
| Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature I | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 『万葉集』は、奈良時代に成立した日本最古の和歌集である。本授業は、『万葉集』を取り上げ、七・八世紀の時代背景も詳細に概観しながら、日本の和歌がいに形成されていったのかを考察する。また、万葉歌の表現方法・表記方法の多様性と特色を、古代和歌史の視点や考古学・歴史学の視点も取り入れながら考察する。 | | | | |
| 【授業内容】 1 授業ガイダンス: 「訓む」ことと「読む」ことと『万葉集』の基本 2 額田王の世界①: 代作歌人としての位置付け 3 額田王の世界②: 難訓歌に挑む 4 大和三山の歌①: 三首の疑問 5 大和三山の歌②: 歴史的背景と難訓歌 6 歌木簡と万葉集①: 木簡から見える古代の生活 7 歌木簡と万葉集②: 「難波津の歌」の謎 8 但馬皇女・穂積皇子歌群①: 配列から考える「歌物語」 9 但馬皇女・穂積皇子歌群②: 但馬皇女の「朝川渡る」 10 柿本人麻呂の世界①: 安騎野の歌の歴史的背景 11 柿本人麻呂の世界②: 安騎野の歌「東の野に炎の」の訓み 12 天平時代のサラリーマン事情①: 平城京の住居事情と出世への遠い道のり 13 天平時代のサラリーマン事情②: 奈良時代の昇進事情 14 高橋虫麻呂「浦嶋伝説歌」①: 上代における「伝説歌」の意義 15 高橋虫麻呂「浦嶋伝説歌」②: 考古学・歴史学の視点から・授業の総括 | | | | |
| 【テキスト】 ＜必携書＞ * 購入の必要あり 東城敏毅『多角的に考える『万葉集』十五講』(大学教育出版・2026年) | | | | |
| 【参考図書】 ＜参考書等＞ * 購入の必要なし 佐竹昭広他『補訂版 萬葉集 本文篇』(塙書房・1998年) 上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編『万葉集の基礎知識』(KADOKAWA・2021年) その他、授業中に適宜紹介する。 | | | | |
| 【成績評価の方法】 レスポンスカード 50% 学期末レポート 50% | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15010 |
| 授業科目名: 古代文学特講Ⅱ | | | 担当教員氏名: 東城 敏毅 | |
| Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅱ | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 2 期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 『万葉集』は、奈良時代に成立した日本最古の和歌集である。本授業は、『万葉集』を取り上げ、七・八世紀の時代背景も詳細に概観しながら、日本の和歌がいかに形成されていったのかを考察する。また、万葉歌の表現方法・表記方法の多様性と特色を、古代和歌史の視点や考古学・歴史学の視点も取り入れながら考察する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 授業ガイダンス: 「訓む」ことと「読む」ことと・『万葉集』の基本 2 「訓む」から「読む」へ—難訓歌への挑戦— 3 額田王「蒲生野の歌」—「あかねさす紫野行き標野行き」 4 高市黒人「羈旅歌八首」: 八首の配列の方法 5 山部赤人「神岳の歌」①: 行幸歌としての位置づけ 6 山部赤人「神岳の歌」②: 「神岳」とはどの山か? 7 大伴旅人「讃酒歌」—大宰府文学圏の世界—①: 「酔い泣き」と「賢しら」 8 大伴旅人「讃酒歌」—大宰府文学圏の世界—②: 旅人の亡妻挽歌 9 山上憶良「貧窮問答歌」①: 「貧窮」を詠む意義 10 山上憶良「貧窮問答歌」②: 漢籍との比較 11 卷十六の「笑い」①: 長忌寸意吉麻呂の「物名歌」 12 卷十六の「笑い」②: からかいの歌 13 卷十六の「物語歌」③: 物語文学への萌芽 14 万葉集最後の歌—家持の願い—①: 季節観と四時観 15 万葉集最後の歌—家持の願い—②: 「元旦立春」の意義・授業の総括・レポートについて</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 ＜必携書＞* 購入の必要あり 東城敏毅『多角的に考える『万葉集』十五講』(大学教育出版・2026年)</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 ＜参考書等＞* 購入の必要なし 佐竹昭広他『補訂版 萬葉集 本文篇』(塙書房・1998年) 上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編『万葉集の基礎知識』(KADOKAWA・2021年) その他、授業中に適宜紹介する。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 レスポンスカード 50% 学期末レポート 50%</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

| | | | | |
|---|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15011 |
| 授業科目名: 古代文学特講Ⅲ | | | 担当教員氏名: 中井 賢一 | |
| Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature Ⅲ | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1コマ | 定員 5人 |
| <p>【授業の目的】 平安期物語作品が、後代にいかにより継承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 講義概要の説明—物語享受の諸相— 2 古筆切1—概説— 3 古筆切2—和歌切— 4 古筆切3—物語切— 5 源氏物語の写本1—概説— 6 源氏物語の写本2—青表紙本系— 7 源氏物語の写本3—その他— 8 中間まとめ 9 物語絵と物語歌合1—物語絵の世界— 10 物語絵と物語歌合2—風葉和歌集— 11 源氏物語の古注釈1—三条西家の学統— 12 源氏物語の古注釈2—その他— 13 文学と教育1 14 文学と教育2 15 1期まとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 <必携書> 『字典かな』 4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院 『古典文学研究の視角』 大学教育出版</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 <参考書等> 適宜指示する。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。 (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15012 |
| 授業科目名: 古代文学特講IV | | | 担当教員氏名: 中井 賢一 | |
| Special Lecture on Early Mediaeval Japanese Literature IV | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 2 期 | 1コマ | 定員 5人 |
| <p>【授業の目的】 平安期物語作品が、後代にいかに関承され、また超克されていくか、その享受の様相について、源氏物語を軸に多角的に考察する。途上、一部、和歌や随筆等の享受様態についても目配りをする予定である。1期・2期とも、体験的理解の観点から、個人、あるいはグループによる演習を含むものとする。なお、2期においては、適宜、各研究機関より、特別講師を招聘することがある。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1 講義概要の説明—物語享受の諸相— 2 無名草子1—概説— 3 無名草子2—源氏物語論— 4 無名草子3—その他— 5 源氏物語と後期物語1—浜松中納言物語— 6 源氏物語と後期物語2—夜の寝覚— 7 源氏物語と後期物語3—狭衣物語とその他— 8 中間まとめ 9 源氏物語の続編・偽作 1—概説— 10 源氏物語の続編・偽作 2—山路の露①— 11 源氏物語の続編・偽作 3—山路の露②— 12 源氏物語の続編・偽作 4—山路の露③— 13 源氏物語の続編・偽作 5—雲隠六帖①— 14 源氏物語の続編・偽作 6—雲隠六帖②— 15 2 期まとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 <必携書> 特になし。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 <参考書等> 適宜指示する。『字典かな』(4305702606 笠間影印叢書刊行会編 笠間書院)があると望ましい。</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 学期末レポートを課す。また、授業時間中に小テストを行う(2回程度)。 (復習シート 10%・小テスト 40%・学期末レポート 40%・演習発表と口頭試問 10%)</p> | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

| | | | |
|---|------|----------------|-------|
| 対面授業 | | | 15013 |
| 授業科目名: 中世文学特講 I | | 担当教員氏名: 江草 弥由起 | |
| Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature I | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1コマ |
| <p>【授業の目的】 本授業では鎌倉初頭に成立した『新古今和歌集』を学ぶことで、和歌史上類を見ないほど歌壇が隆盛した新古今時代を理解し、勅撰集を鑑賞する目を養うことを目的とする。『新古今和歌集』は他の勅撰集よりもその成立過程を詳細に見ることが出来る作品であり、一旦成立を見た直後から幾度も後鳥羽院の意思による改訂が行われるという、院の並々ならぬ本歌集への執心のほどが窺われる作品でもある。院は承久の乱で隠岐に遷された後も、さらに改訂を行い「隠岐本」と称される『新古今和歌集』を作り上げた。これほど長い時間をかけられ、撰集を命じた院本人に執着された勅撰集は例がない。授業前半では、『新古今和歌集』について、『明月記』や『源家長日記』などの記録を踏まえながら、その成立の在り方を学ぶ。後半では、『新古今和歌集』の歌を歌人毎に学び、和歌史上技巧のと評される新古今時代の和歌を楽しむ感性を養ってもらいたい。</p> | | | |
| <p>【授業内容】 1. 勅撰和歌集について 2. 後鳥羽院について 3. 『新古今和歌集』成立過程① 和歌所設置と撰集の下命 4. 『新古今和歌集』成立過程② 完成と切り継ぎ 5. 承久の乱と隠岐本『新古今和歌集』 6. 和歌の鑑賞① 後鳥羽院 7. 和歌の鑑賞② 藤原定家 8. 和歌の鑑賞③ 藤原家隆 9. 和歌の鑑賞④ 藤原良経 10. 和歌の鑑賞⑤ 源通親 11. 和歌の鑑賞⑥ 源通具 12. 和歌の鑑賞⑦ 俊成卿女 13. 和歌の鑑賞⑧ 式子内親王 14. 和歌の鑑賞⑨ 西行 15. 授業のまとめ 定期試験に向けての学習要点の説明</p> | | | |
| <p>【テキスト】 <必携書> 授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメプリントの配布はしない。</p> | | | |
| <p>【参考図書】 <参考書等></p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】 小テスト・定期試験(manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p> | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|----------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15014 |
| 授業科目名: 中世文学特講Ⅱ | | | 担当教員氏名: 江草 弥由起 | |
| Special Lecture on Mediaeval Japanese Literature Ⅱ | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 2 期 | 1コマ | |
| <p>【授業の目的】 本授業では、『平家公達草紙』のテキストの読解と絵巻の鑑賞を行う。『平家公達草紙』は、平維盛、平資盛、平重衡などの平家の公達らの逸話を集めたものである。華やかな宮廷行事の様や女たちとのやりとりが中心に描かれており、『平家物語』とは異なった視点で平家公達を表現している点の特徴にあげられる。平家公達を中心とした平家文化圏の人々が、鎌倉時代中後期(13世紀半ば~14世紀半ば)においてどのように描かれたのかを理解すること、その表現が何に基づき為されたのかを他作品と比較しながら読解すること、また『平家公達草紙』のような作品が後世に求められた意義を考えられることを目的とする。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1. 『平家公達草紙』の基礎知識 2. 「内裏近き火」 3. 「青海波」① 4. 「青海波」② 5. 「青海波」③ 「花陰の鞠」 6. 「公達の盗人」① 7. 「公達の盗人」② * 授業後、manaba より小テスト出題。 8. 「かたのまもり」 9. 「秋のみやまのもみじ葉」 10. 「将棋倒し」「建春門院の面影」① 11. 「建春門院の面影」② 12. 「重衡とその想い人たち」① 13. 「重衡とその想い人たち」② 14. 「東北院の遊び」 15. 「隠れ蓑の中将」 授業のまとめ * 授業後、manaba より期末テスト出題。</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 <必携書> 授業に必要なレジュメは、manaba 掲示板を通じてデータで配布する。授業までにダウンロードし、必要に応じて印刷をして備えること。授業内でレジュメの配布はしない。</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 <参考書等></p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 小テスト及び定期試験(manaba のレポート機能を用いて行う。プリント・ノート類の利用可)</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|--------------|--------|
| 対面授業 | | | | 15015 |
| 授業科目名:近代文学特講 I | | | 担当教員氏名:山根 知子 | |
| Special Lecture on Modern Japanese Literature I | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1コマ | 定員 5 人 |
| <p>【授業の目的】</p> <p>岡山市出身の小説家・児童文学作家である坪田譲治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考察することができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岡山を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イン트로ダクション 2 坪田譲治年譜による作家理解 3 作品と同時代および風土について 4 坪田譲治の作品理解 5 学生による「感想」「イラスト」についての発表 (岡山市主催「学生による坪田譲治ワールドへの招待」への応募内容について各自発表) 6 映像授業「第一部 坪田譲治の生涯」 7 童話集『かっぱとドンコツ』および 6 の解説 8 映像授業「第二部 作品から学ぶ坪田譲治」 9 小説「風の中の子供」および 8 の解説 10 映像授業「第三部 坪田譲治の時代から学ぶ岡山」 11 10 の解説および期末レポート課題の説明 12 同時代資料を使った小説の読解 13 同時代資料を使った童話の読解 14 期末レポート仮提出とそのフィードバック 15 作品分析と作家理解について <p>期末レポート本提出</p> | | | | |
| 【テキスト】 担当教員より印刷物等を配付 | | | | |
| 【参考図書】 なし | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p> | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|--------------|--------|
| 対面授業 | | | | 15016 |
| 授業科目名:近代文学特講Ⅱ | | | 担当教員氏名:山根 知子 | |
| Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅱ | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 2 期 | 1コマ | 定員 5 人 |
| <p>【授業の目的】</p> <p>岩手県花巻市出身の児童文学作家・詩人である宮沢賢治の作品を読み深めることができ、作品の特質の理解とともに作家の特質を考えることができるようになる。</p> <p>さらに、講義内容によって得た知識から、履修者は発展的に、作家の作品とその思想が同時代の問題および岩手を舞台とした風土の問題とどのように関係するかについて、テキスト分析と同時代資料の調査を実行する力と、それをもとにみずから考察して読解を深める力を身につけ、その成果としてのレポートを仕上げる。</p> <p>授業中の課題では、コメントシートへの記入のほか、口頭発表も取り入れることで、自分の思考内容を人に伝える力としての表現力を養う。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イン트로ダクション 2 宮沢賢治年譜による作家理解 3 作品と同時代について 4 作品と風土について 5 宮沢トシ「自省録」 6 童話「虔十公園林」 7 童話「めくらぶだうと虹」 8 童話「アラムハラドの見た着物」 9 童話「ひかりの素足」 10 童話「マグノリアの木」 11 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品成立過程 12 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—作品構造 13 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—信仰と科学 14 期末レポート仮提出とそのフィードバック 15 同時代資料を使った「銀河鉄道の夜」読解—農民芸術論と新世界 <p>期末レポート本提出</p> | | | | |
| 【テキスト】 担当教員より印刷物等を配付 | | | | |
| 【参考図書】 なし | | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>授業中の課題と発表: 30%、レポート(仮提出・本提出): 70%</p> | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

| | | | |
|---|------|---------------|-------|
| 対面授業 | | | 15017 |
| 授業科目名:近代文学特講Ⅲ | | 担当教員氏名:長原 しのぶ | |
| Special Lecture on Modern Japanese Literature Ⅲ | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1コマ |
| <p>【授業の目的】</p> <p>現在でも映画化・キャラクター化される太宰治とその作品を取り上げる。太宰作品を具体的に読み解き、普遍的な作家の魅力に繋がる特徴を考えていく。太宰の文学活動と重なる近代(昭和)の戦争期という時代背景を理解し、文学と戦争との関わりを考察する。太宰文学を通して、時代と社会を論理的に言語化する力を身につける。</p> | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨン(導入と授業の進め方) 2 太宰治の生涯について 3 現代に生きる太宰治(サブカルチャーへの継承と展開) 4 前期文学の特徴 5 中期文学の特徴 6 後期文学の特徴 7 前期作品の読解① 8 前期作品の読解② 9 中期作品の読解① 10 中期作品の読解② 11 太宰治と戦争 12 後期作品の読解① 13 後期作品の読解② 14 太宰治とキリスト教 15 太宰治の死と戦後 <p>* 読解対象の作品は授業内で伝える</p> | | | |
| <p>【テキスト】</p> <p><必携書></p> <p>授業中に適宜資料プリントを配布する。</p> | | | |
| <p>【参考図書】</p> <p><参考書等></p> <p>授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>課題プリントとコメント用紙の提出(40%)</p> <p>期末レポート(60%)</p> | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | |

| | | | |
|--|------|---------------|-------|
| 対面授業 | | | 15018 |
| 授業科目名:近代文学特講IV | | 担当教員氏名:長原 しのぶ | |
| Special Lecture on Modern Japanese Literature IV | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 2 期 | 1コマ |
| <p>【授業の目的】 近代と現代の作家・作品に結びついた様々なメディアに着目し、取り上げる文学作品を読み深めるとともに、異なる媒体(マンガ・アニメ・映画)の中で変容する文学のあり方を探る。作家・作品の背景となる時代状況と現代のメディアから読み取る社会状況を理解した上で、作家・作品の特質を考え、現代の文化に新しく繋がる文学の魅力を論理的に言語化する力を身につける。</p> | | | |
| <p>【授業内容】 1 インTRODクシヨN(導入と授業の進め方) 2 文学研究の方法から探るマンガの世界① 3 文学研究の方法から探るマンガの世界② 4 現代の文化(マンガ・アニメ・映画)と文学について 5 文学とマンガ—太宰治・泉鏡花 6 作品読解① 7 作品読解② 8 文学とアニメ—堀辰雄・梶井基次郎 9 作品読解③ 10 作品読解④ 11 文学と映画—松本清張・太宰治 12 作品読解⑤ 13 作品読解⑥ 14 メディア拡大する教科書の中の作家達① 15 メディア拡大する教科書の中の作家達② * 読解対象の作品は授業内で伝える</p> | | | |
| <p>【テキスト】 <必携書> 授業中に適宜資料プリントを配布する。</p> | | | |
| <p>【参考図書】 <参考書等> 授業中に適宜資料プリントを配布する。資料プリント内で指示する。</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】 課題プリントとコメント用紙の提出(40%) 期末レポート(60%)</p> | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|--------------|--|
| 対面授業 | | | 15019 | |
| 授業科目名：日本語学特講IV | | | 担当教員氏名：星野 佳之 | |
| Special Lecture on Japanese Linguistics IV | | | | |
| 履修年次 2～4 | 2 単位 | 2 期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 日本語の文法について考察する(現代語及び古代語)。いわゆる学校文法の「連用・連体」「主語・述語」「格」等の術語は、目にするが実のところよく理解されていないことが多い。これらの概念と文法論的諸問題の整理を通して、日本語の文法をどう把握するのが妥当なのか考えていく。 今年度は、例示の「副助詞」類としてクライの成立と副助詞以外の用法との関係を考察する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 第1回 「法」という範疇 第2回 品詞について 第3回 述語について 第4回 副助詞と係助詞について 第5回 副助詞各論 1 第6回 副助詞各論 2 第7回 副助詞各論 3 第8回 副助詞各論 4 第9回 副助詞各論 5 第10回 副助詞各論 6 第11回 副助詞各論 7 第12回 副助詞各論 8 第13回 副助詞各論 9 第14回 副助詞各論 10 第15回 副助詞各論 11 定期試験</p> | | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業中の課題に 30 点を配当する。 期末レポートの作成を課す。これに 70 点を配当する。</p> | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

| | | | | |
|---|------|-----|---------------|--|
| 対面授業 | | | 15020 | |
| 授業科目名： 家族社会学 | | | 担当教員氏名： 山下 美紀 | |
| Sociology of the Family | | | | |
| 履修年次 2～4 | 2 単位 | 2 期 | 1 コマ | |
| <p>【授業の目的】 本講義では、家族変動を読み解く基本的な理論と方法論を提示し、現代の家族に迫る。歴史の中で変転を遂げてきた家族の姿を追い、現代家族の抱える問題を析出する。家族および人と人のつながりを考えていく手がかりを提示する。講義中心であるが、グループ討議や発表の機会を持つ。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】 1. 家族研究への招待 2. 家族研究の紹介・アンケート 3. 社会と家族と個人 4. 家族イメージの変容 5. 社会の変化と家族の変容・グループディスカッション 6. 近代家族と「子どもの誕生」 7. 近代家族の特徴 8. 近代家族の揺らぎ・中間試験 9. 日本型近代家族と「家」 10. 日本社会の家族変動 11. 現代の子ども事情 12. 恋愛と結婚 13. 日本の婚姻動向と婚姻観 14. 家族の変化と現代的課題・中間試験 15. まとめ・家族の現代的意味を問う</p> | | | | |
| <p>【テキスト】</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 <参考書> 『現代家族を読み解く 12 章』, 日本家政学会編, 丸善出版.</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 中間試験: 2回実施60% 課題レポート: 10% 期末レポート: 30%</p> | | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15021 |
| 授業科目名:地域社会学 I | | | 担当教員氏名:二階堂 裕子 | |
| Regional and Community Studies I | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 本講義の目的は、現代における地域社会の諸問題への関心と理解を深めること、そして、新たな社会システムの構築に向けて、今後、私たちが取り組むべき課題とは何かを考察することにある。まず、私たちが日常生活を営む地域社会というものの捉え方やその成り立ちを学ぶ。そのうえで、戦後の高度経済成長期に日本の都市化がどのように進み、地域社会における人々の関係がどのように変容したのかを理解する。さらに、少子高齢化の進行、地方都市における衰退、安全・安心をめぐる危機の深刻化、グローバル化の進展などの社会変動が、今日の地域社会にどのような問題を生み出しているのかについて検討する。 | | | | |
| 【授業内容】 1. 地域社会とコミュニティ 2. コミュニティ問題の登場 3. 都市化と地域社会における変容 4. 町内会とコミュニティ形成 5. コミュニティ活動における自治体・住民・NPO の関係 6. コミュニティ・センター 7. コミュニティ活動 8. 子育てと地域社会 9. 高齢化と地域社会 10. 中山間地域における過疎化 11. 地方都市の衰退と再生 12. インナーシティ問題の発生 13. 安全・安心な生活と地域社会 14. グローバル化と地域社会 15. 多民族・多文化化とコミュニティ形成 | | | | |
| 【テキスト】 使用しない。 | | | | |
| 【参考図書】 講義中に適宜資料を提示するほか、参考書なども紹介する。 | | | | |
| 【成績評価の方法】 毎回の小課題(授業で学んだことや意見): 30% 期末レポート: 70% | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

| | | | |
|---|------|-----|--------------|
| 対面授業 | | | 15022 |
| 授業科目名: 日本社会史Ⅱ | | | 担当教員氏名: 久野 洋 |
| Social History of Japan II | | | |
| 履修年次 2～4 | 2 単位 | 2 期 | 1コマ |
| <p>【授業の目的】 本授業では、近世から近現代にかけての日本社会の具体的なありようと、その変容過程について考察する。高等学校までの日本史の中心的話題は、政治権力や政策レベルの歴史だったかもしれない。この授業では、とりわけ村や都市といった地域社会と国家・権力との関係を捉えることで、日本社会の歴史的展開をより深く理解することを目指す。その際、史料にもとづきながら、地域に生きた人々が抱えた矛盾・葛藤を具体化し、各時代における社会のゆがみを見定めることに注力する。</p> | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 徳川社会で生きる 3. 「徳川システム」のゆらぎ 4. 近世民衆の姿 5. 開国と幕末社会—地域の視点から— 6. 近代化と地方名望家 7. 近代化と地域の民衆 8. 明治社会で生きる 9. 「家」と農村の女性 10. 都市民衆騒擾の時代 11. 第一次世界大戦後の大衆社会化 12. 恐慌の時代 13. 民衆はなぜ戦争に「協力」したのか 14. 総力戦体制下の矛盾 15. むすび | | | |
| <p>【テキスト】 使用しない。</p> | | | |
| <p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡辺尚志『百姓の力—江戸時代から見える日本—』（柏書房、2008年／角川ソフィア文庫、2015年） ・松沢裕作『生きづらい明治社会—不安と競争の時代—』（岩波ジュニア新書、2018年） ・季武嘉也編『日本の近現代—交差する人々と地域—』（放送大学教育振興会、2015年） ・大門正克『戦争と戦後を生きる』（小学館、2009年） <p>その他の文献については授業中に適宜紹介する。</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験ト 70%</p> <p>リアクションペーパー・授業への取り組み度 30%</p> | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|--------------|--|
| 対面授業 | | | 15023 | |
| 授業科目名: アジア社会史Ⅱ | | | 担当教員氏名: 鈴木 真 | |
| Social History of Asia Ⅱ | | | | |
| 履修年次 2～4 | 2 単位 | 2 期 | 1 コマ | |
| 【授業の目的】 中国史上における民衆蜂起やアウトローたちの世界について取り上げ、官僚や知識人の世界(「アジア社会史Ⅰ」で講義)とは異なる中国社会について講義する。 | | | | |
| 【授業内容】 1. 中国社会の「士」と「庶」 2. 中国社会の民衆 3. 中国社会のネットワーク 4. 墨家と道家 5. 民衆と宗教 6. 中国史における塩と塩商人 7. 塩の専売と私塩 8. 唐宋時代の社会変容 9. 江湖の人びと 10. 廟と財神 11. 血縁と結義 12. 筆記の中の神さま 13. 清代の秘密結社 14. 結社と革命 15. まとめ | | | | |
| 【テキスト】 | | | | |
| 【参考図書】 参考文献は講義中に適宜紹介する。 また漢文史料等を掲載した資料プリントを、毎回配付する。 | | | | |
| 【成績評価の方法】 小レポート: 10% 期末試験 : 90% (※「持込み不可」の長文論述試験を、対面でおこなう) | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

| | | | |
|--|------|---------------|-------|
| 対面授業 | | | 15024 |
| 授業科目名:ヨーロッパ社会史 I | | 担当教員氏名:轟木 広太郎 | |
| Social History of Europe I | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 1 期 | 1 コマ |
| <p>【授業の目的】 古代から現代にかけて、ヨーロッパ社会史のさまざまなテーマを取り上げる。前半から中盤にかけては、古代から現代にいたるまで時代別に固有のテーマを設定するが、後半は、アナー学派の代表的歴史家のある研究を詳細に紹介するという形式で進める。</p> | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古代末期の社会史; 殉教者崇敬 2. 中世の社会史; 聖遺物崇敬のはじまり 3. 中世の社会史; 聖遺物崇敬の発展 4. 中世の社会史; 修道生活 5. 中世の社会史; 騎士と封建社会 6. 中世の社会史; 騎士文化 7. アンシャンレージュムの社会史; 近世における国王儀礼 8. アンシャンレージュムの社会史; ガリカニスムのもとでのカトリック教会 9. フランス革命の社会史; 非キリスト教化 10. フランス革命の社会史; 習俗の革命 11. フランス革命の社会史; 革命祭典 12. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 中世 13. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 近世 14. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 近代 15. フィリップ・アリエスの「死の社会史」; 現代 | | | |
| <p>【テキスト】 毎回の授業で資料教材を配布する。</p> | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | |
| <p>【成績評価の方法】 平常点(15%) レポート(85%)</p> | | | |
| <p>【備考欄】</p> | | | |

| | | | | |
|--|------|-----|---------------|-------|
| 対面授業 | | | | 15025 |
| 授業科目名: 考古学II | | | 担当教員氏名: 紺谷 亮一 | |
| Archeology II | | | | |
| 履修年次 2~4 | 2 単位 | 2 期 | 1コマ | |
| 【授業の目的】 オリент考古学についての基礎的知識の習得を図る。農耕の開始、都市の出現、文字の発明、交易網の整備等、人類史の主な出来事が、オリエンの地でおこったことを学ぶ。オリエンでの発掘調査の方法論の独自性を理解する。その一方で、日本考古学との相違点について理解する。そして、流動的な現代中東世界を理解するうえで、オリエン考古学の果たす役割について学ぶ。 | | | | |
| 【授業内容】 1 講義概要 2 古代オリエンの地理学的概念 3 新石器(農耕)革命 4 都市革命 5 文字の発明 6 交易の時代・青銅器の出現 7 帝国と鉄器の出現 8 オリエンの発掘史 1 9 オリエンの発掘史 2 10 オリエンの遺跡 1(ヒッタイト帝国の首都ハットウシヤ) 11 オリエンの遺跡 2(ホメロスの伝説都市トロイ) 12 オリエンの遺跡 3(アッシリア王の都ニルムド) 13 トルコにおける考古学調査 14 オリエン考古学に携わった人々(アラビアのロレンス、アガサ・クリスティー等) 15 総括 | | | | |
| 【テキスト】 <必携書> 『西アジア考古学講義ノート』, 西アジア考古学講義ノート編集委員会, 西アジア考古学会、2013年 | | | | |
| 【参考図書】 | | | | |
| 【成績評価の方法】 レポート(2回) 50% ノート提出 50% | | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

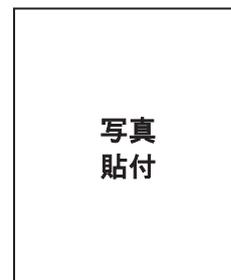
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

ノートルダム清心
女子大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏 名 | | | 印 |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|------------------|-----------|-------|---|-----|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | 学科 | | 年 |
| 学生番号 | 性別 | 生年 月 日 | 西暦 年 | | |
| | | | 昭和・平成 | 年 | 月 日 |
| 現住所 | 〒 — Tel () — | | | | |
| メールアドレス | | | | | |

- * 履修受付締切日：前期：3月31日(火)まで 後期：9月9日(水)まで
- * 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授 業 科 目 | 区 分 | 担当教員 | 単 位 | 開講 期 | 配当 学年 | 備 考 | 曜 日・時 限 | 履 修 希 望 | 評 価 |
|---------------|-----------------------------------|-----|--------|-----|------|-------|-----------------------------|--------------------|---------|-----|
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 15001 | キリスト教学Ⅱ | 教養 | 岡田 紅理子 | 2 | 1期 | 2~4 | 女子のみ キリスト教学Ⅱ・Ⅷ受 講要件なし | 火 2 10:45~12:15 | | |
| 15002 | キリスト教学Ⅷ | 教養 | 岡田 紅理子 | 2 | 2期 | 1~4 | | 火 2 10:45~12:15 | | |
| 15003 | キリスト教学Ⅹ | 教養 | 岡田 紅理子 | 2 | 2期 | 2~4 | 女子のみ、他のキリスト 教学科目履修必要 | 水 2 10:45~12:15 | | |
| 15004 | 英語学・言語学研究ⅣA | 専門 | 齋藤 衛 | 2 | 1期 | 3~4 | 女子のみ | 木 1 9:00~10:30 | | |
| 15005 | 英米文学研究ⅢA | 専門 | 新野 緑 | 2 | 1期 | 2~4 | 女子のみ ⅢA・ⅢB受講要件なし | 木 5 16:30~18:00 | | |
| 15006 | 英米文学研究ⅢB | 専門 | 新野 緑 | 2 | 2期 | 2~4 | | 木 5 16:30~18:00 | | |
| 15007 | International Communication IA | 専門 | 桑山 敬己 | 2 | 1期 | 2~4 | 女子のみ IA・IB受講要件なし | 水 3 13:00~14:30 | | |
| 15008 | International Communication IB | 専門 | 桑山 敬己 | 2 | 2期 | 2~4 | | 水 3 13:00~14:30 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|----|--------|---|----|-----|---------------------------|--------|-------------|--|--|
| 15009 | 古代文学特講Ⅰ | 専門 | 東城 敏毅 | 2 | 1期 | 2~4 | 女子のみ Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ受講要件 なし | 月 2 | 10:45~12:15 | | |
| 15010 | 古代文学特講Ⅱ | 専門 | 東城 敏毅 | 2 | 2期 | 2~4 | | 水 1 | 9:00~10:30 | | |
| 15011 | 古代文学特講Ⅲ | 専門 | 中井 賢一 | 2 | 1期 | 2~4 | | 金 4 | 14:45~16:15 | | |
| 15012 | 古代文学特講Ⅳ | 専門 | 中井 賢一 | 2 | 2期 | 2~4 | | 木 3 | 13:00~14:30 | | |
| 15013 | 中世文学特講Ⅰ | 専門 | 江草 弥由起 | 2 | 1期 | 2~4 | 女子のみ Ⅰ・Ⅱ受講要件なし | 金 2 | 10:45~12:15 | | |
| 15014 | 中世文学特講Ⅱ | 専門 | 江草 弥由起 | 2 | 2期 | 2~4 | | 金 2 | 10:45~12:15 | | |
| 15015 | 近代文学特講Ⅰ | 専門 | 山根 知子 | 2 | 1期 | 2~4 | 女子のみ Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ受講要件 なし | 火 2 | 10:45~12:15 | | |
| 15016 | 近代文学特講Ⅱ | 専門 | 山根 知子 | 2 | 2期 | 2~4 | | 水 2 | 10:45~12:15 | | |
| 15017 | 近代文学特講Ⅲ | 専門 | 長原 しのぶ | 2 | 1期 | 2~4 | | 水 3 | 13:00~14:30 | | |
| 15018 | 近代文学特講Ⅳ | 専門 | 長原 しのぶ | 2 | 2期 | 2~4 | | 火 2 | 10:45~12:15 | | |
| 15019 | 日本語学特講Ⅳ | 専門 | 星野 佳之 | 2 | 1期 | 2~4 | 女子のみ | 月 3 | 13:00~14:30 | | |
| 15020 | 家族社会学 | 専門 | 山下 美紀 | 2 | 2期 | 2~4 | 女子のみ | 水 2 | 10:45~12:15 | | |
| 15021 | 地域社会学Ⅰ | 専門 | 二階堂 裕子 | 2 | 1期 | 2~4 | 女子のみ | 火 5 | 16:30~18:00 | | |
| 15022 | 日本社会史Ⅱ | 専門 | 久野 洋 | 2 | 2期 | 2~4 | 女子のみ | 火 1 | 9:00~10:30 | | |
| 15023 | アジア社会史Ⅱ | 専門 | 鈴木 真 | 2 | 2期 | 2~4 | 女子のみ | 火 2 | 10:45~12:15 | | |
| 15024 | ヨーロッパ社会史Ⅰ | 専門 | 轟木 広太郎 | 2 | 1期 | 2~4 | 女子のみ | 火 3 | 13:00~14:30 | | |
| 15025 | 考古学Ⅱ | 専門 | 紺谷 亮一 | 2 | 2期 | 2~4 | 女子のみ | 木 3 | 13:00~14:30 | | |

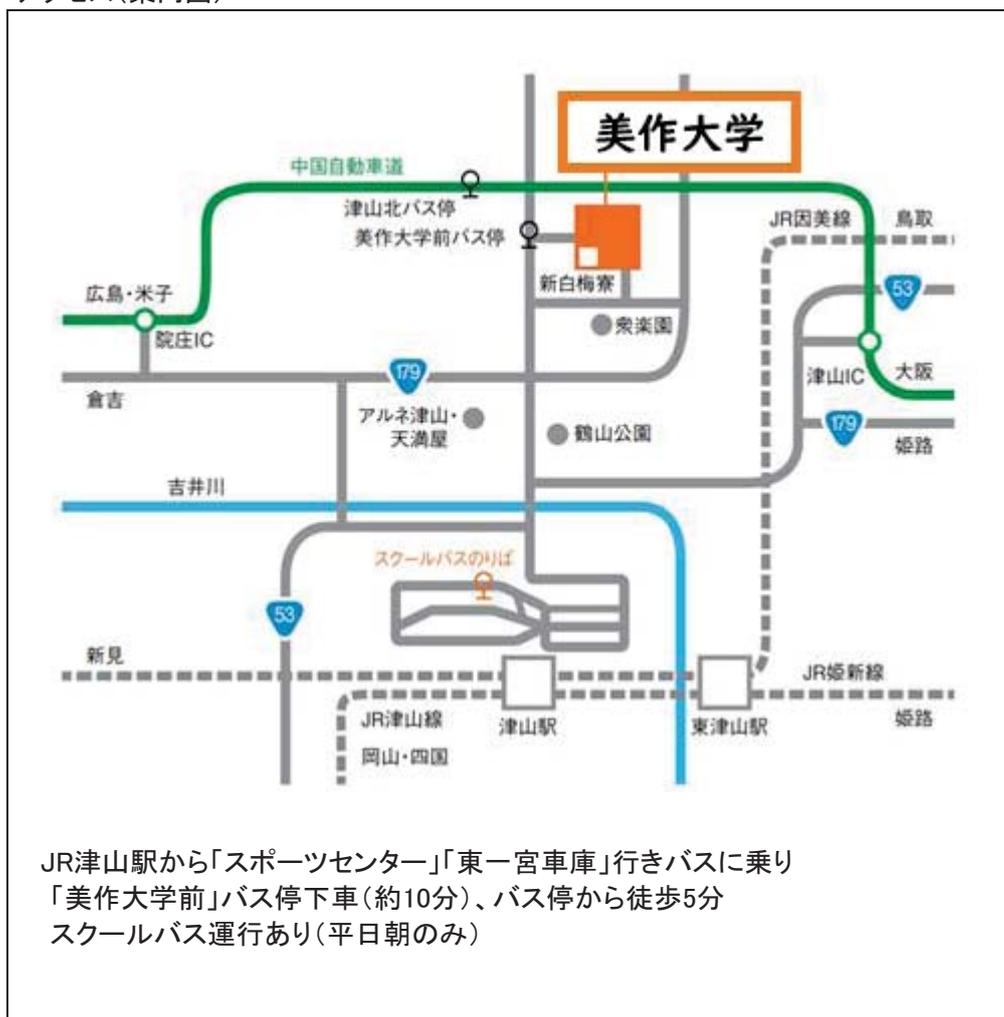
| | | | |
|--|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 1 枚 | 0 枚 | 1 枚 |

(16) 美作大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

| | | | | |
|------|----|------------|---|------------|
| 開講期間 | 前期 | 2026年4月10日 | ～ | 2026年7月30日 |
| | 後期 | 2026年9月25日 | ～ | 2027年1月29日 |
| 試験期間 | 前期 | 2026年7月31日 | ～ | 2026年8月7日 |
| | 後期 | 2027年2月3日 | ～ | 2027年2月10日 |
| 授業時間 | 1限 | 8:40 | ～ | 10:10 |
| | 2限 | 10:20 | ～ | 11:50 |
| | 3限 | 12:40 | ～ | 14:10 |
| | 4限 | 14:20 | ～ | 15:50 |
| | 5限 | 16:00 | ～ | 17:30 |

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

| | |
|-----|----------------------|
| 教務課 | |
| 所在地 | 岡山県津山市北園町 50 |
| 電話 | 0868-22-7310 (教務課直通) |

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

前期 4月6日(月)
後期 9月18日(金)
※所属大学によって提出期間が別に定められている場合はその指示に従ってください

・ 履修手続

所属大学の窓口にて上記の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください

・ 施設利用

1. 美作大学在学の学生と同じ扱いとします
2. 以下の印刷物等を配付します(オンライン授業のみ履修の場合は一部省略します)
 - ①履修要項 (教務課)
 - ②シラバス(該当科目) (教務課)
 - ③授業時間割表 (教務課)
 - ④行事予定表 (教務課)
 - ⑤学生証 (総務課)
 - ⑥キャンパスガイド (学生課)
 - ⑦駐車許可証(該当者のみ) (総務課)
 - ⑧図書館利用案内 (図書館)

・ 特記事項

| |
|--|
| |
|--|

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mimasaka.cloud-syllabus.com/>

・遠隔授業科目

| | | | | |
|---|-----|----|--------|-------|
| オンライン授業 | | | | 16101 |
| 韓国語 I | | | 朴 貞淑 | |
| Korean I | | | | |
| 履修年次 1～4 | 1単位 | 前期 | 金曜 3コマ | |
| <p>【授業の目標】 アンニョンハセヨ！ 基礎から学ぶ韓国語である。韓国語は、語順及び語彙が日本語と最も近い言語であり、文字と発音さえしっかり身につければ、楽しく話せる外国語である。本授業では、「聞く・話す・読む・書く」に関する基礎的な能力を養成することを目指す。</p> <p>【授業の内容及び方法】 本授業では、韓国語の文字・発音・文法などの基礎を理解し、基本表現を身に付け、簡単なコミュニケーションができる能力を学ぶ。ビデオ等の視聴覚教材を用いて、韓国の文化や社会への理解を深める。オンライン授業と対面授業を併用したハイブリッド授業である。</p> <p>【授業内容】 (1)オリエンテーション 「韓国語 I」授業におけるガイダンス (2)基本母音字 ハングルの構成 (3)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション (4)基本子音字 ハングルの構成、ハングル表 (5)合成母音字 母音と子音の構成、合成母音字の組み合わせ (6)パッチム 初音・中音・終声、発音のルール、発音の変化 (7)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション (8)あいさつ、自己紹介 挨拶、自己紹介の表現 (9)趣味は何ですか？ 「何」を表す疑問詞 (10)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション (11)訪問 場所・位置・方向を表す指示詞 (12)空港で 固有数詞・時刻・時間の表現 (13)基本形・丁寧形・会話形 基本形・丁寧形・会話形の活用 (14)平叙文・肯定文と否定文・疑問文 平叙文・肯定文と否定文・疑問文の活用 (15)まとめ 1課～8課まで前期のまとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 『実践韓国語』改訂2版、朴貞淑著、ふくろう出版</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 『NHK ハングル講座』(NHK 出版)</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 レポート課題(70%)、学習態度(30%)</p> | | | | |

・遠隔授業科目

| | | | | |
|---|-----|----|--------|-------|
| オンライン授業 | | | | 16102 |
| 韓国語Ⅱ | | | 朴 貞淑 | |
| Korean Ⅱ | | | | |
| 履修年次 1～4 | 1単位 | 後期 | 金曜 3コマ | |
| <p>【授業の目標】 本授業では、「韓国語Ⅰ」に引き続き、文字と発音に重点を置きながら、使用頻度の高い語彙また、基本的な文法や実践的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力を高める。また、ビデオ等の視聴覚教材を用いて、韓国の文化や社会の理解を深めることで、より効果的な学習を目指す。</p> <p>【授業の内容及び方法】 本授業では、韓国語の文字・発音・文法などを理解し、基本表現を身に付け、コミュニケーションができる能力を学ぶ。視聴覚教材を用いて、韓国の文化の理解を深めることで、より効果的な学習を目指す。オンライン授業と対面授業を併用したハイブリッド授業である。</p> <p>【授業内容】 (1)オリエンテーション 「韓国語Ⅱ」授業におけるガイダンス、前期内容の復習 (2)レストランで 会話、尊敬語の表現 (3)意志・推測・依頼 意志・推測・依頼の表現 (4)地下鉄で 希望・願望の表現 (5)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション (6)何月何日ですか？ 漢数詞、数詞、年・月・日の表現 (7)今日は何曜日ですか？ 否定形、曜日の表現 (8)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション (9)家族 家族・親族の名称 (10)ソウル旅行 現在進行形、誘い・推量の表現 (11)お正月 過去形、お正月の風習紹介 (12)書店で 助数詞、通貨の表現 (13)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション (14)規則活用、不規則活用 規則活用、不規則活用、事例表現 (15)まとめ 9課～16課まで後期のまとめ</p> | | | | |
| <p>【テキスト】 『実践韓国語』改訂2版、朴貞淑著、ふくろう出版</p> | | | | |
| <p>【参考図書】 『NHK ハングル講座』(NHK 出版)</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 レポート課題(70%)、学習態度(30%)</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|--|-----|----|-------|---------------------------------|
| 対面授業 | | | | 16001 |
| 情報のユニバーサルデザイン論 | | | 関根 千佳 | |
| Theory of Universal Design for Information | | | | |
| 履修年次 2～4 | 2単位 | 前期 | 集中 | 6/13(土)・6/14(日)・7/18(土)・7/19(日) |
| <p>【授業の目標】 この授業では、学生が世界最高齢国家の日本で、福祉職や行政職など全ての仕事で必要不可欠なユニバーサルデザイン(誰もが使いやすいまちやもの、ICT、情報サービスのありかた)と、ジェロントロジー(高齢学)について学ぶ。この概念に基づく多様な人々を幸せにする ICT について説明し、自分の仕事と人生において活かせるようになることを目標とする。</p> <p>【授業の内容及び方法】 基本的に講義形式であるが、ICT を用いた障害者や高齢者の社会参加や情報受発信に関する多くの事例を映像等を見て、課題や解決策をグループで話し合ったり、その結果を発表するといったアクティブ・ラーニング形式での講義となる。世界各国や日本の障害者支援技術やユニバーサルデザインの現状や、企業や行政の優れた取組を知る中で、障害や加齢を自分事として捉える視点を持ち、これから人生で出会う人々を少しでも幸せにしていく方法について考える。 ただ座って講義を聴くだけでなく、授業内でのグループディスカッションや発表、フィールドワークなども行う可能性がある。</p> <p>【授業内容】 (1)自己紹介とアイスブレイク「私の考えるユニバーサルデザイン」 (2)ユニバーサルデザインの考え方はなぜ必要か (3)まちのユニバーサルデザイン (4)もののユニバーサルデザイン (5)サービスやスポーツのユニバーサルデザイン (6)情報や ICT のユニバーサルデザイン (7)テレワークとワークライフバランス (8)かわいい社会起業家を探す (9)ジェロントロジーって何？ (10)アクティブシニアのライフスタイル (11)高齢者の社会参加、就労、学び (12)ヤングケアラーの問題をどう考える？ (13)高齢者と社会のコミュニケーション (14)よく生きて、よく死ぬための死生学入門 (15)人生を完成させるためのデザイン</p> <p>【テキスト】 『ユニバーサルデザインのちから』関根千佳著 生産性出版 2010 年 『東大が作った高齢社会の教科書』東京大学出版会 2017 年</p> <p>【参考図書】 『情報社会のユニバーサルデザイン』放送大学テキスト 2019 年</p> <p>【成績評価の方法】 出席点 40% 授業中の議論への参加と発表 30% 最終レポート 30%</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|---|-----|----|-------|---------------|
| 対面授業 | | | | 16002 |
| 災害を知る | | | オムニバス | |
| Disaster Theory | | | | |
| 履修年次 1～4 | 2単位 | 前期 | 集中 | 8月17日～21日(予定) |
| <p>【授業の目標】 本授業では、近年多発している自然災害のしくみと、災害に関わる情報を理解でき、現場で活躍できる防災士として必要な能力を養うことをめざす。</p> <p>【授業の内容及び方法】 授業はオムニバス講義形式で行う。最初に近年発生した自然災害と防災士の役割を概説した後、教科書に沿って防災士に必要な知識を具体的に説明する。各講義終了時に質問を受け付け、最終回で回答する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)ガイダンス、近年の主な自然災害 (2)地震・津波による災害(Ⅰ) (3)地震・津波による災害(Ⅱ) (4)地震・津波による災害(Ⅲ) (5)火山災害 (6)震災火災・住宅火災 (7)気象災害・風水害・土砂災害 (8)災害関連情報と予報・警報 (9)被害想定・ハザードマップと避難情報 (10)災害情報の活用と発信 (11)災害医療とこころのケア (12)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅰ) (13)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅱ) (14)企業・団体の事業継続 (15)まとめ | | | | |
| <p>【テキスト】 防災士教本(日本防災士機構)</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 提出課題(60%)、配布課題の取り組み(40%)</p> | | | | |

・対面授業科目

| | | | | |
|--|-----|----|-------|---------------|
| 対面授業 | | | | 16003 |
| 災害に備える | | | オムニバス | |
| Disaster Preventon Theory | | | | |
| 履修年次 1～4 | 2単位 | 前期 | 集中 | 8月24日～28日(予定) |
| <p>【授業の目標】 本授業では、災害発生後の行政の対応や、避難所設置、ボランティア活動など、発生後の復旧、復興の流れを理解し、現場で活躍できる防災士として必要な能力を養うことをめざす。</p> <p>【授業の内容及び方法】 授業はオムニバス講義形式で行う。地域の防災活動、減災や危機管理の概念を具体的事例を取り上げながら説明する。防災訓練では、グループワークによる実技演習を行う。この授業では、実際に防災や災害支援等に関わっている専門職等も担当し、現場理解を促す事例を紹介する。</p> | | | | |
| <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅰ) (2)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅱ) (3)災害と保険、都市防災 (4)防災士に期待される活動 (5)耐震診断と補強 (6)地震・津波の備え (7)風水害・土砂災害等への備え (8)避難所の設置と運営協力 (9)地域防災と多様性への配慮 (10)災害ボランティア活動 (11)災害ボランティア活動 (12)防災訓練① 実技訓練 (13)防災訓練② 図上演習 (14)専門職と防災活動 (15)企業・団体の事業継続 | | | | |
| <p>【テキスト】 防災士教本(日本防災士機構)</p> | | | | |
| <p>【参考図書】</p> | | | | |
| <p>【成績評価の方法】 授業で指示された課題の実施状況により単位を認定する</p> | | | | |

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

| | |
|---------------|--|
| 所属大学の 受付番号 | |
| 受入大学の 受付番号 | |

* 学生は太枠内のみ記入

美作大学長 殿

| | | | |
|------|---|---|---|
| 提出日 | 年 | 月 | 日 |
| ふりがな | | | |
| 氏名 | | | 印 |



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

| | | | | | |
|----------|----------------------------------|-----|----------|-------|---|
| 所属大学等 | | | | | |
| 学部・学科・学年 | 学部 | | 学科 | | 年 |
| 学生番号 | | 性別 | 生年 月日 | 西暦 年 | |
| | | 男・女 | | 昭和・平成 | 年 |
| 現住所 | 〒 — — — — — Tel () — — — — — | | | | |
| メールアドレス | | | | | |

* 履修受付締切日：前期：4月6日(月)まで 後期：9月18日(金)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

| No | 授業科目 | 区分 | 担当教員 | 単位 | 開講期 | 配当学年 | 備考 | 曜日・時限 | 履修希望 | 評価 |
|---------------|----------------|----|-------|----|------|------|-------------------------------------|------------------------------------|------|----|
| 遠隔授業科目 | | | | | | | | | | |
| 16101 | 韓国語Ⅰ | 教養 | 朴 貞淑 | 1 | 前期 | 1~4 | オンライン、定員5名 | 金 12:40~14:10 | | |
| 16102 | 韓国語Ⅱ | 教養 | 朴 貞淑 | 1 | 後期 | 1~4 | オンライン、定員5名 「韓国語Ⅰ」を履修していることが望ましい。 | 金 12:40~14:10 | | |
| 対面授業科目 | | | | | | | | | | |
| 16001 | 情報のユニバーサルデザイン論 | 専門 | 関根 千佳 | 2 | 前期集中 | 2~4 | 定員20名 | 6/13(土)・6/14(日) 7/18(土)・7/19(日) | | |
| 16002 | 災害を知る | 教養 | オムニバス | 2 | 前期集中 | 1~4 | 定員20名 | 8月17日~21日 (予定) | | |
| 16003 | 災害に備える | 教養 | オムニバス | 2 | 前期集中 | 1~4 | 定員20名 | 8月24日~28日 (予定) | | |

| | | | |
|--|--------|-------|-----|
| 写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する) | 身分証明書用 | 学生原簿用 | 計 |
| | 1 枚 | 1 枚 | 2 枚 |